

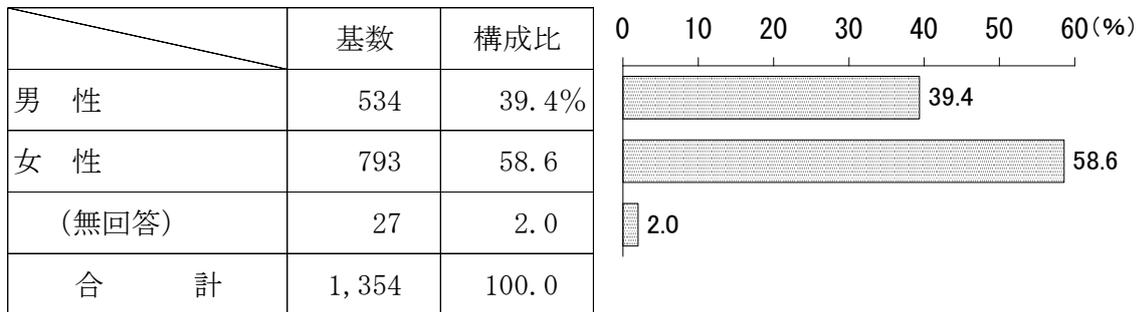
## Ⅱ 調査結果



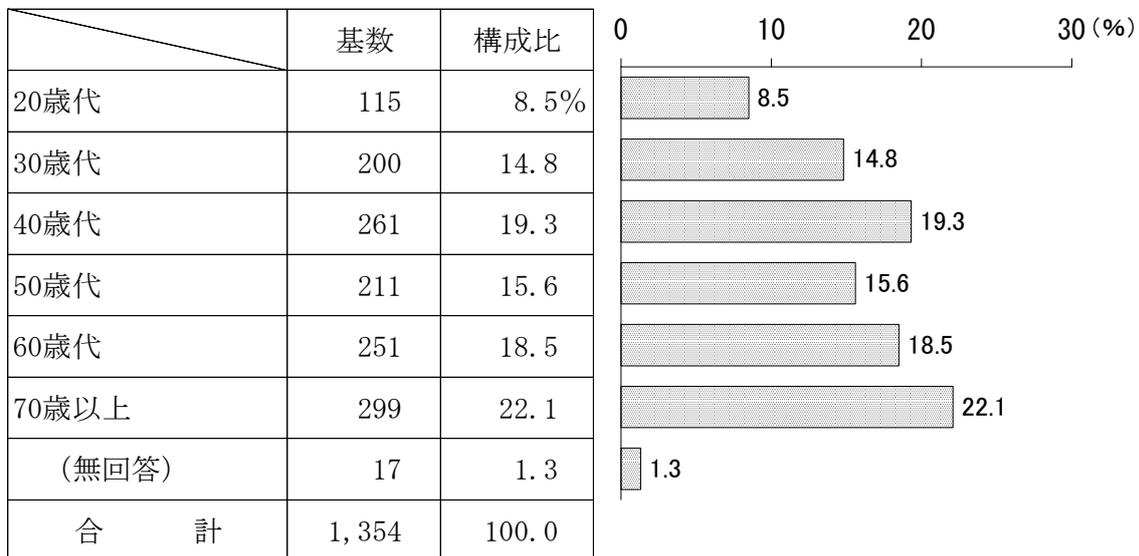
## II 調査結果

### 1. 属性

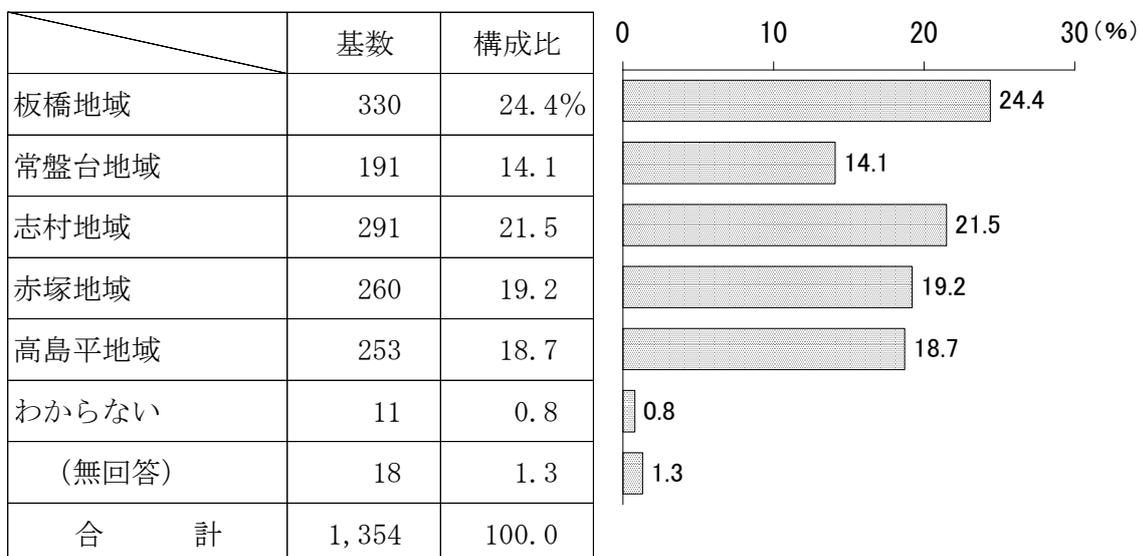
#### (1) 性別



#### (2) 年代

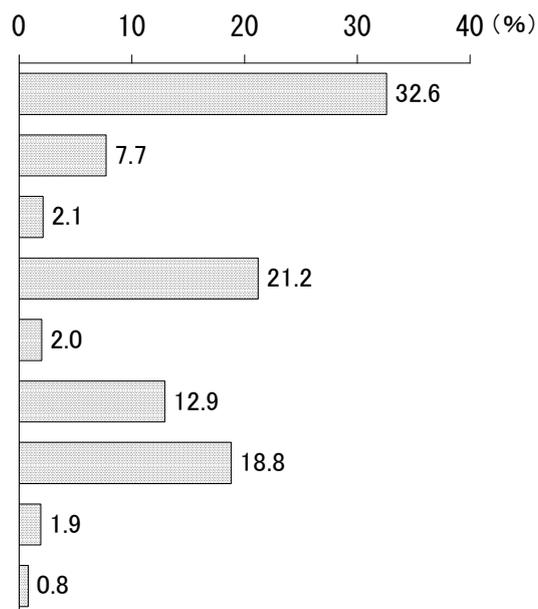


#### (3) 居住地域



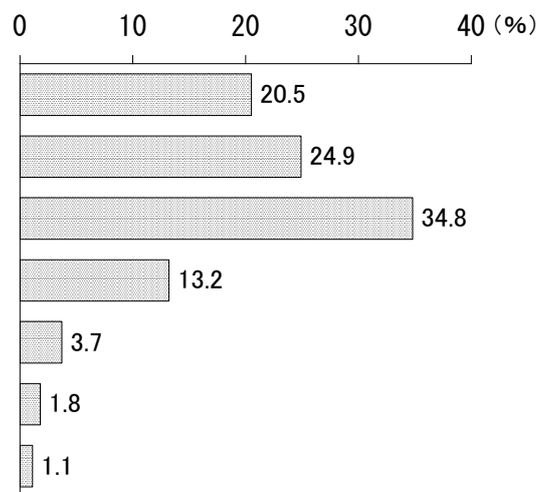
(4) 職 業

	基数	構成比
会社員・公務員	442	32.6%
自営業・自由業	104	7.7
会社役員	28	2.1
主婦・主夫	287	21.2
学生	27	2.0
アルバイト・パート	175	12.9
無職	254	18.8
その他	26	1.9
(無回答)	11	0.8
合 計	1,354	100.0



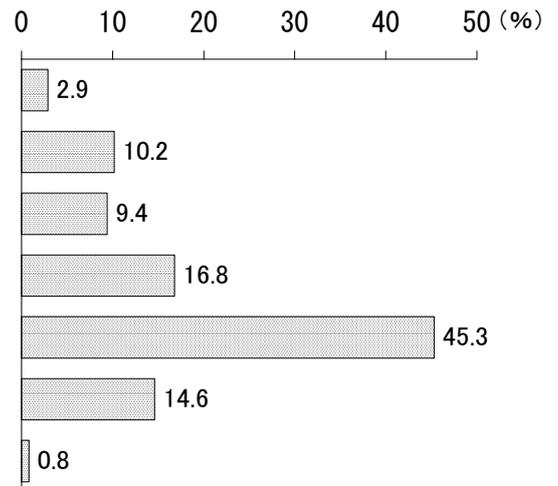
(5) 世帯構成

	基数	構成比
単身世帯	278	20.5%
夫婦のみ	337	24.9
二世帯同居 (子と同居)	471	34.8
二世帯同居 (親と同居)	179	13.2
三世帯同居	50	3.7
その他	24	1.8
(無回答)	15	1.1
合 計	1,354	100.0



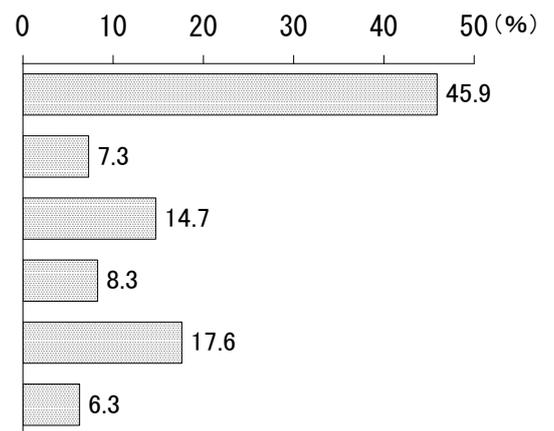
(6) 居住年数

	基数	構成比
1年未満	39	2.9%
1年以上5年未満	138	10.2
5年以上10年未満	127	9.4
10年以上20年未満	227	16.8
20年以上	614	45.3
生まれたときから	198	14.6
(無回答)	11	0.8
合計	1,354	100.0



(7) 直前の居住地

	基数	構成比
東京23区内 (板橋区を除く)	525	45.9%
東京都内の他市町村内	84	7.3
埼玉県内	168	14.7
千葉県・神奈川県内	95	8.3
その他 (海外を含む)	201	17.6
(無回答)	72	6.3
合計	1,145	100.0



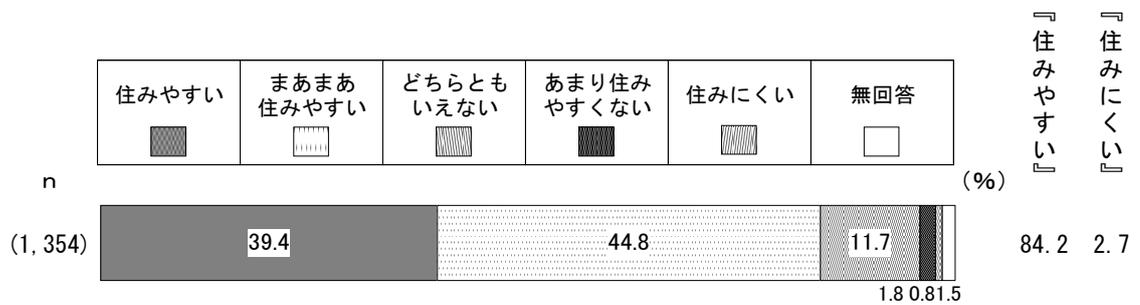
## 2. 区での住み心地

### (1) 住みやすさ

◇『住みやすい』が8割半ば

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-1-1

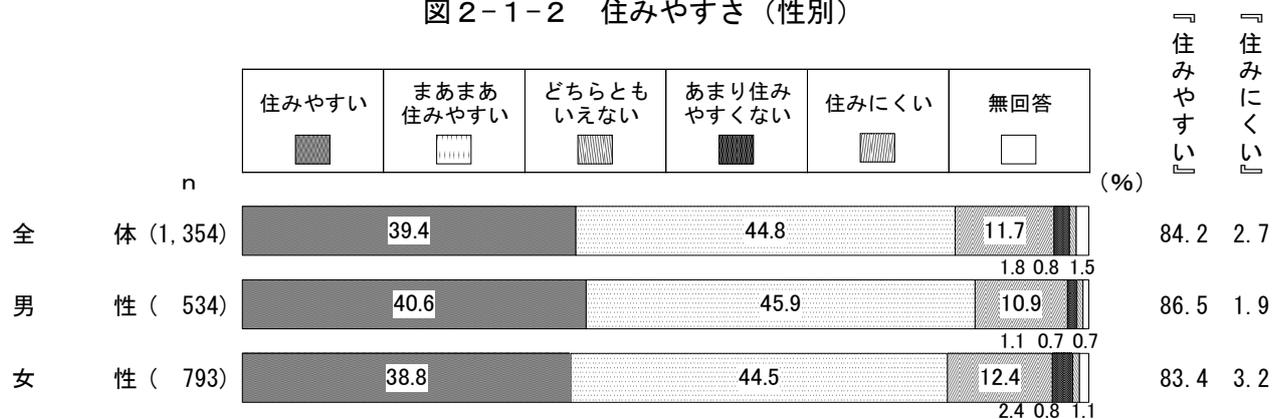


板橋区の住みやすさを聞いたところ、「まあまあ住みやすい」(44.8%)が4割半ばと最も高く、これに「住みやすい」(39.4%)を合わせた『住みやすい』(84.2%)が8割半ばとなっています。一方、「あまり住みやすくない」(1.8%)と「住みにくい」(0.8%)を合わせた『住みにくい』(2.7%)はわずかとなっています。(図2-1-1)

#### ① 性別

性別でみると、『住みやすい』は男性(86.5%)が女性(83.4%)より3.1ポイント高くなっています。(図2-1-2)

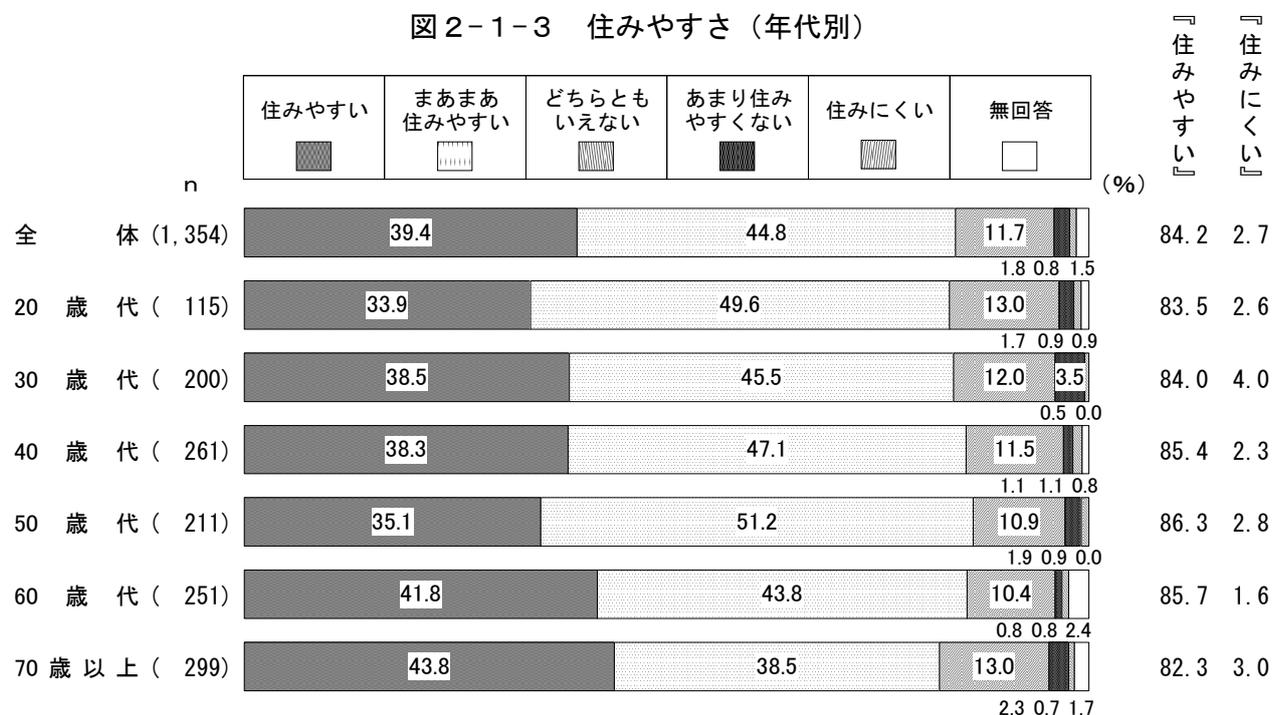
図2-1-2 住みやすさ(性別)



## ② 年代別

年代別でみると、「住みやすい」は60歳代（41.8%）と70歳以上（43.8%）で4割を超えて高くなっています。また、『住みやすい』はすべての年代で8割台となっています。（図2-1-3）

図2-1-3 住みやすさ（年代別）

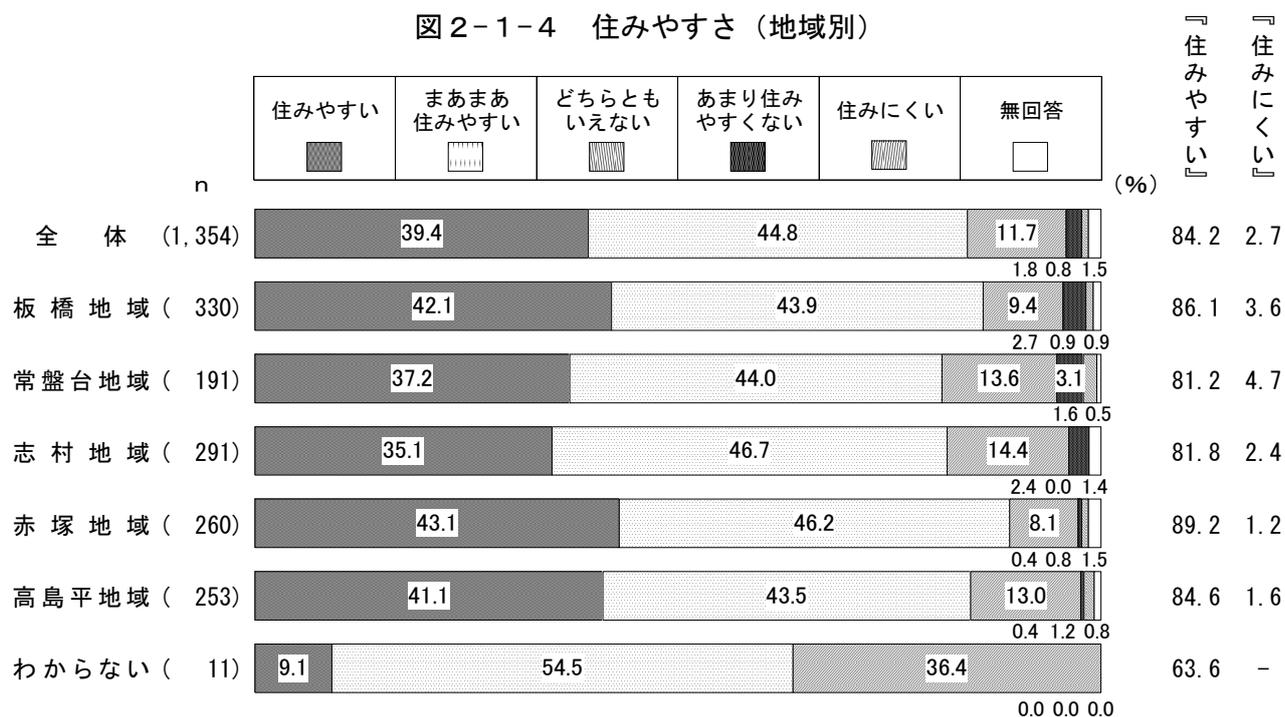


## ③ 地域別

地域別でみると、『住みやすい』は赤塚地域（89.2%）で約9割と高くなっています。

（図2-1-4）

図2-1-4 住みやすさ（地域別）

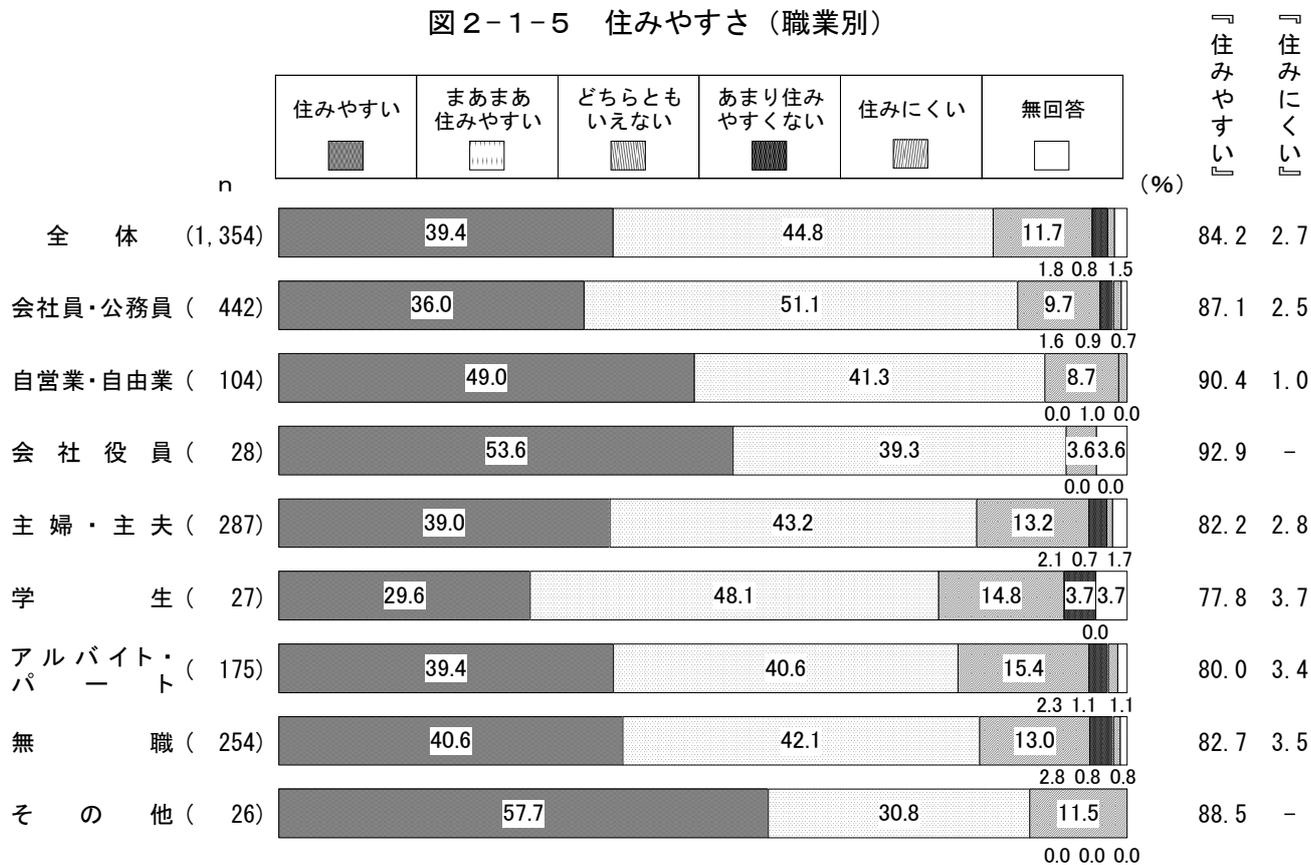


#### ④ 職業別

職業別でみると、「住みやすい」は会社役員（53.6%）で5割を超えて高くなっています。また、『住みやすい』は会社役員（92.9%）と自営業・自由業（90.4%）で9割台と高くなっています。

(図 2-1-5)

図 2-1-5 住みやすさ (職業別)

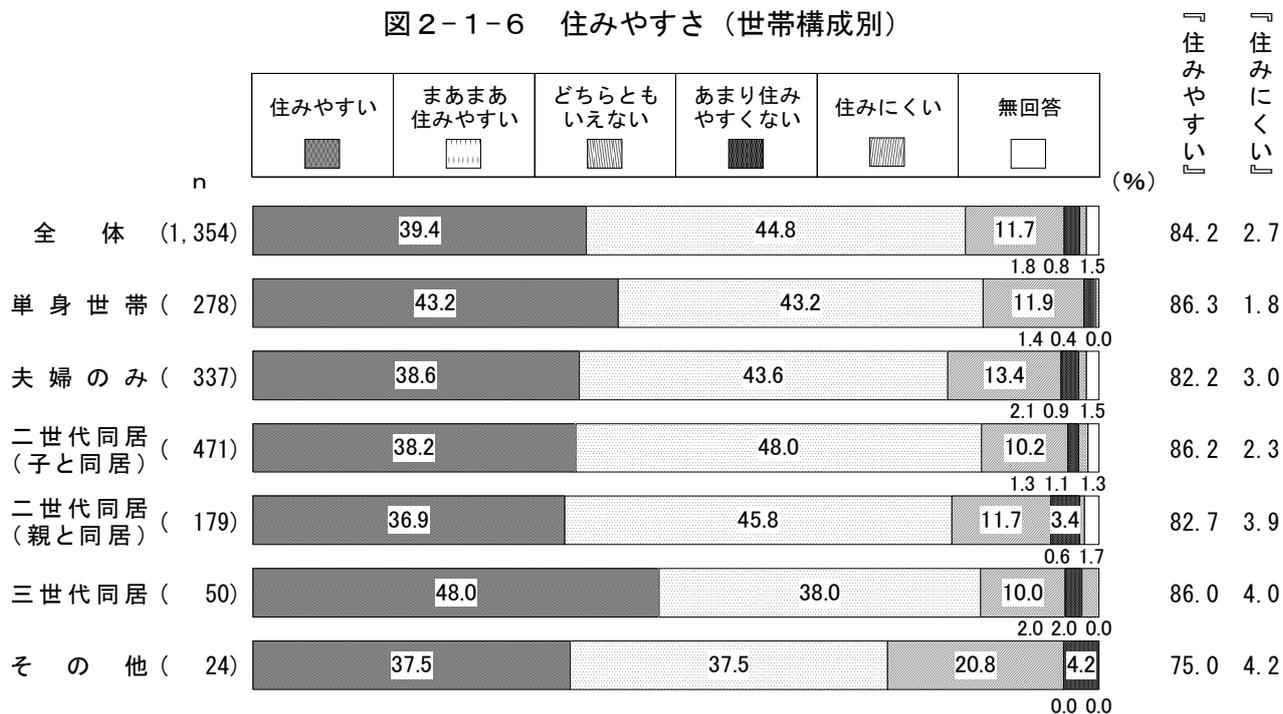


#### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「住みやすい」は三世帯同居（48.0%）で5割近くと高くなっています。

(図 2-1-6)

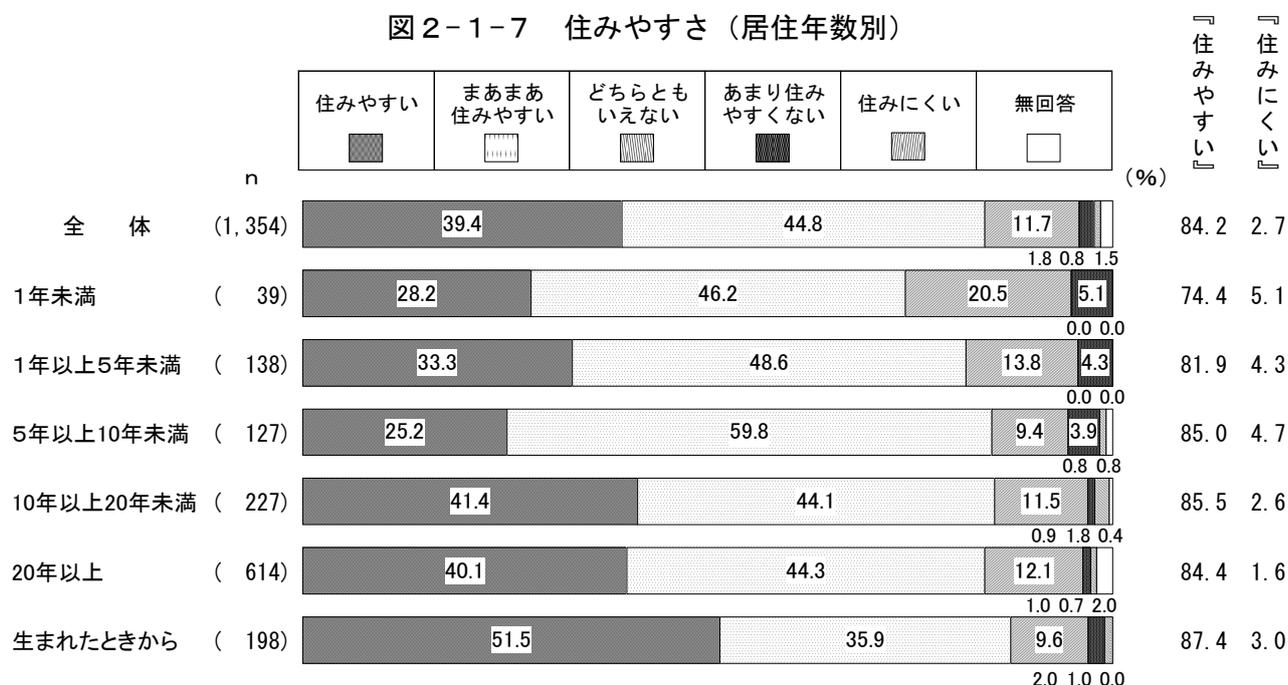
図 2-1-6 住みやすさ (世帯構成別)



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「住みやすい」は生まれたときから（51.5%）で5割を超えて高くなっています。また、『住みやすい』はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高くなっています。

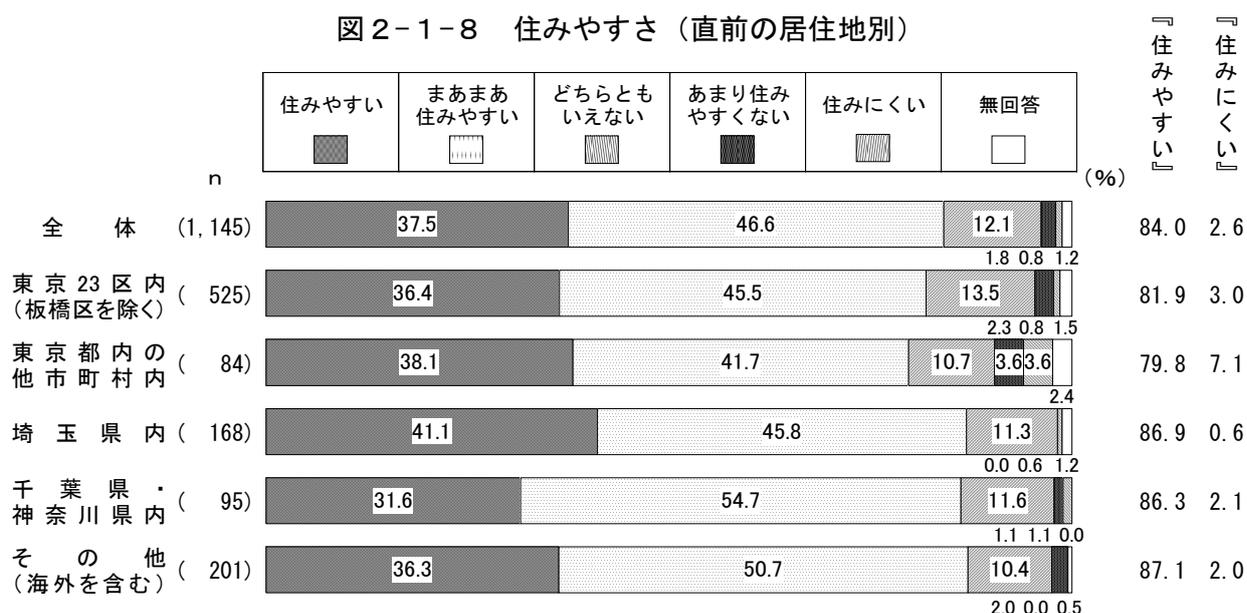
（図 2-1-7）



### ⑦ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「住みやすい」は埼玉県内（41.1%）で4割を超えて高くなっています。

（図 2-1-8）

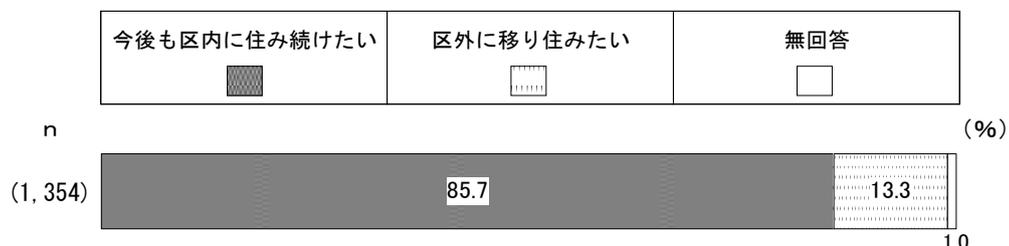


## (2) 定住意向

◇「今後も区内に住み続けたい」が8割半ば

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-1

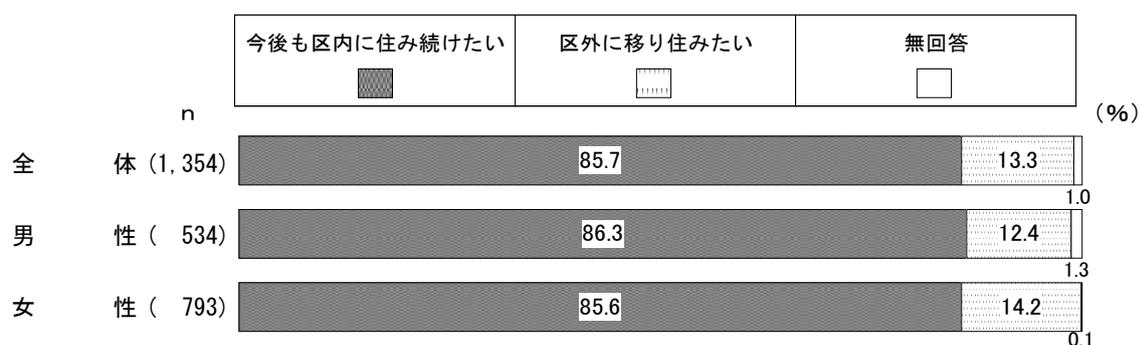


板橋区に住み続けたいか聞いたところ、「今後も区内に住み続けたい」(85.7%)が8割半ば、「区外に移り住みたい」(13.3%)は1割を超える程度となっています。(図2-2-1)

### ① 性別

性別でみると、大きな違いはみられません。(図2-2-2)

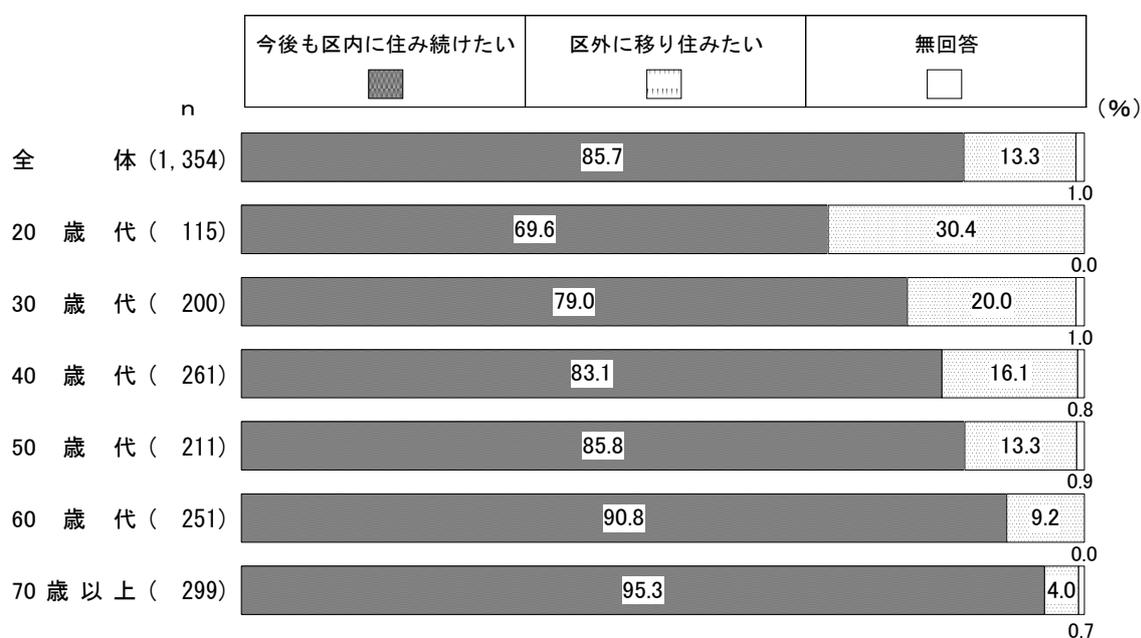
図2-2-2 定住意向(性別)



## ② 年代別

年代別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は年齢が上がるほど割合が高く、70歳以上(95.3%)では9割半ばとなっています。一方、「区外に移り住みたい」は20歳代(30.4%)で3割と高くなっています。(図2-2-3)

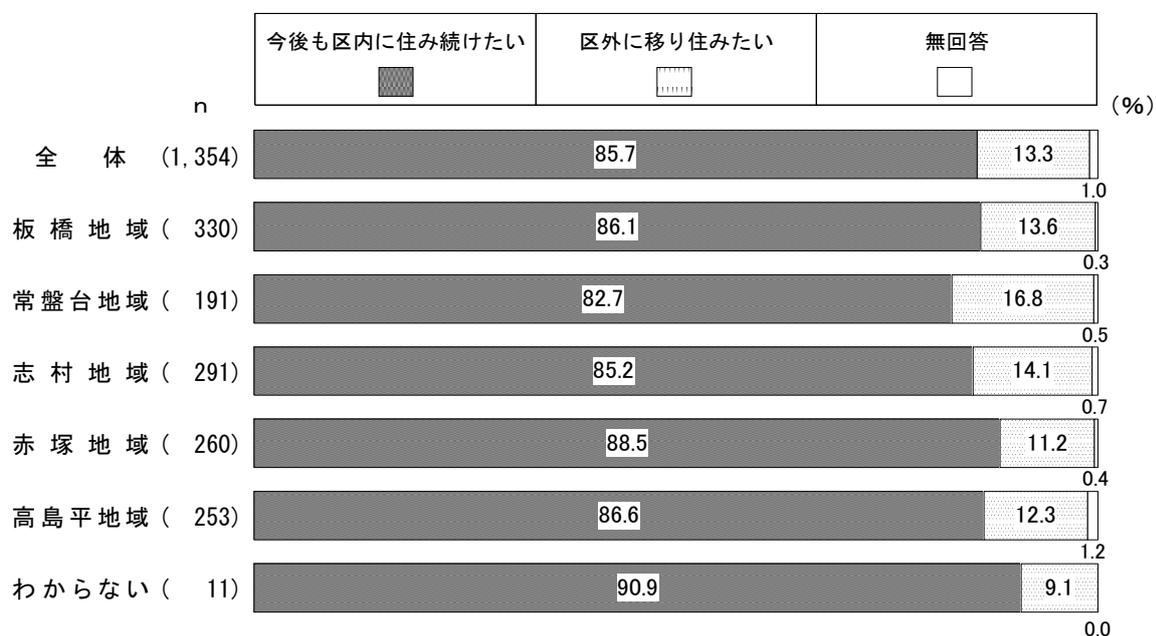
図2-2-3 定住意向(年代別)



## ③ 地域別

地域別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はすべての地域で8割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」は常盤台地域(16.8%)で1割半ばと高くなっています。(図2-2-4)

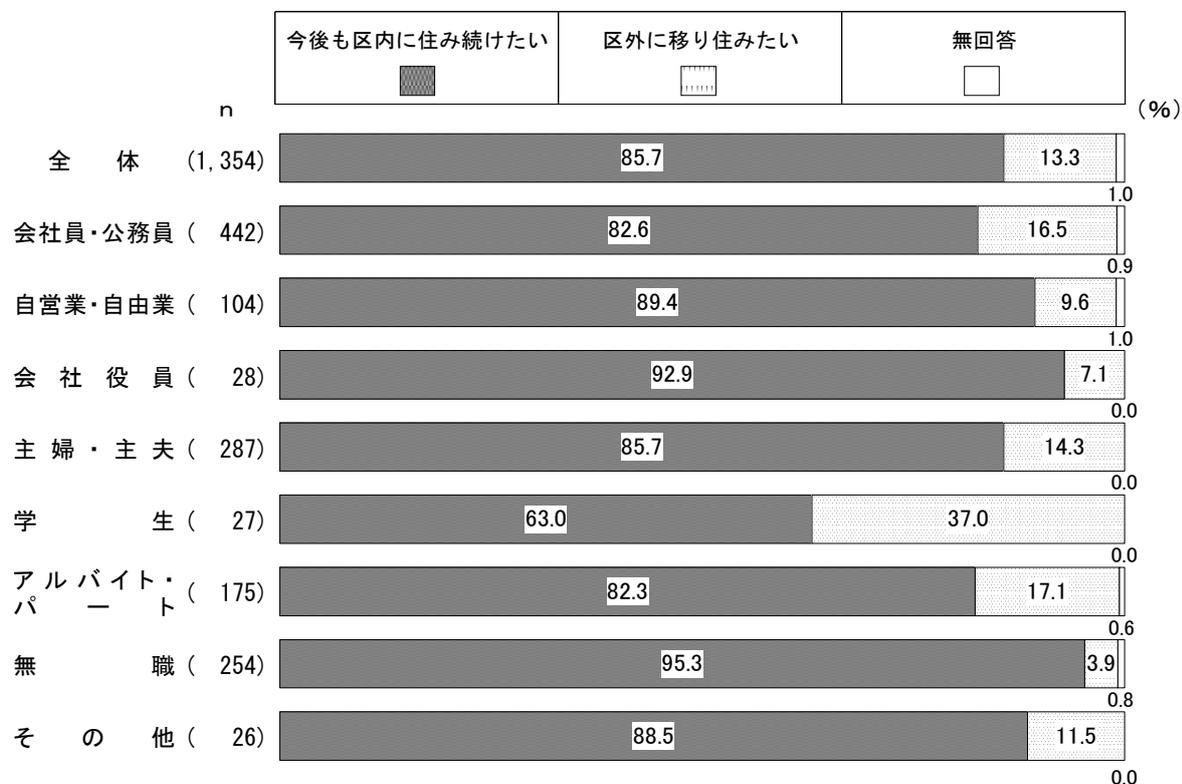
図2-2-4 定住意向(地域別)



#### ④ 職業別

職業別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は無職（95.3%）と会社役員（92.9%）で9割台と高くなっています。一方、「区外に移り住みたい」は学生（37.0%）で4割近くと高くなっています。（図2-2-5）

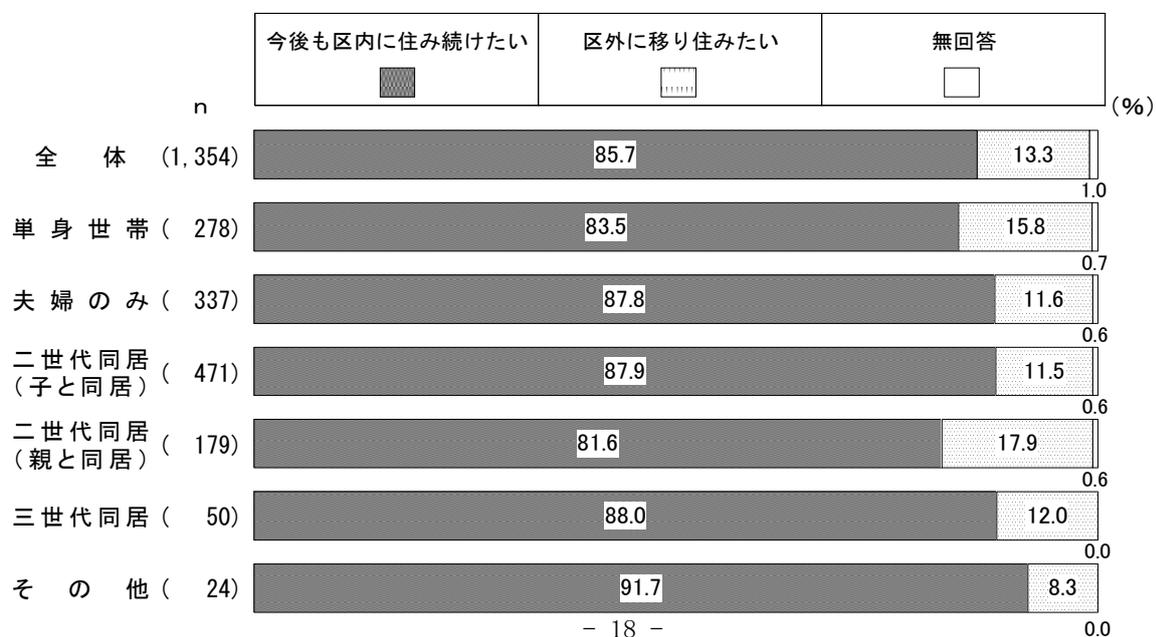
図2-2-5 定住意向（職業別）



#### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はすべての世帯構成で8割以上と高くなっています。一方、「区外に移り住みたい」は二世帯同居(親と同居)（17.9%）で2割近くと高くなっています。（図2-2-6）

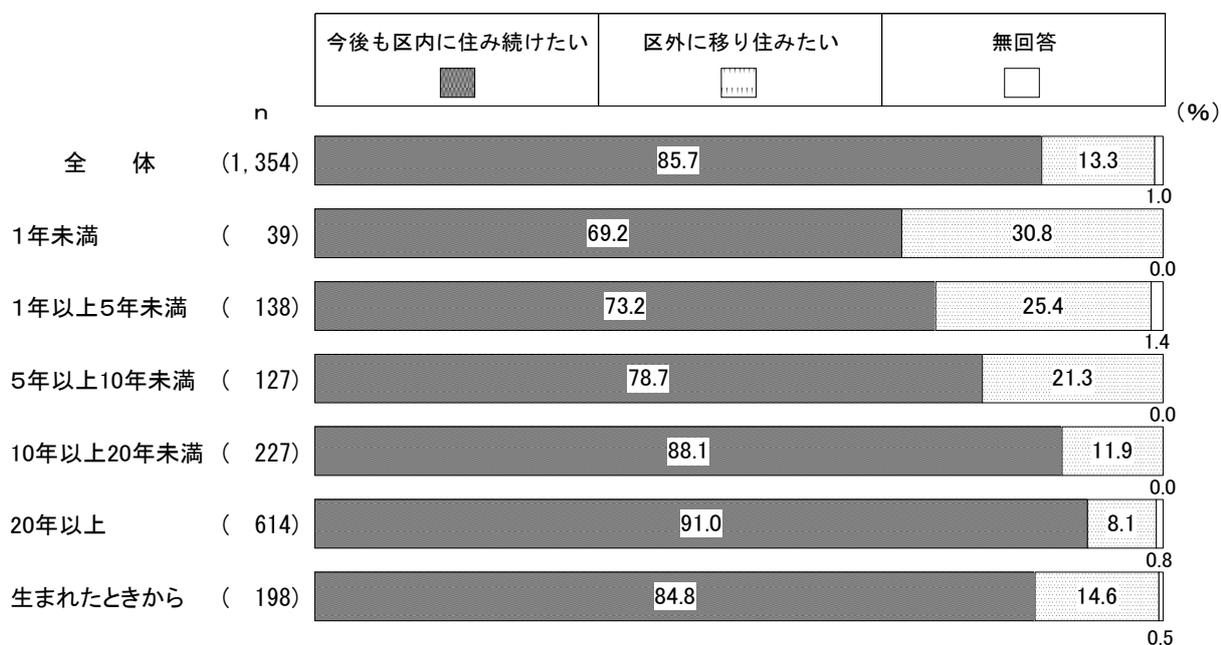
図2-2-6 定住意向（世帯構成別）



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は居住年数が長くなるほど割合が高く、20年以上（91.0%）では9割を超えています。一方、「区外に移り住みたい」は1年未満（30.8%）で約3割と高くなっています。（図2-2-7）

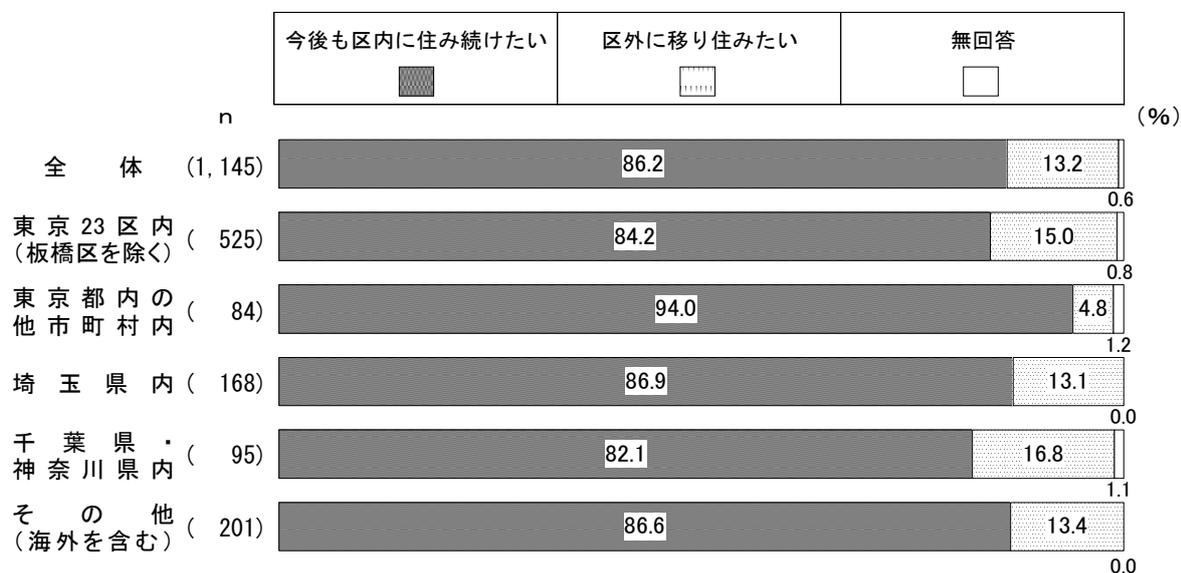
図2-2-7 定住意向（居住年数別）



### ⑦ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は東京都内の他市町村内（94.0%）で9割半ばと高くなっています。一方、「区外に移り住みたい」は千葉県・神奈川県内（16.8%）で1割半ばと高くなっています。（図2-2-8）

図2-2-8 定住意向（直前の居住地別）



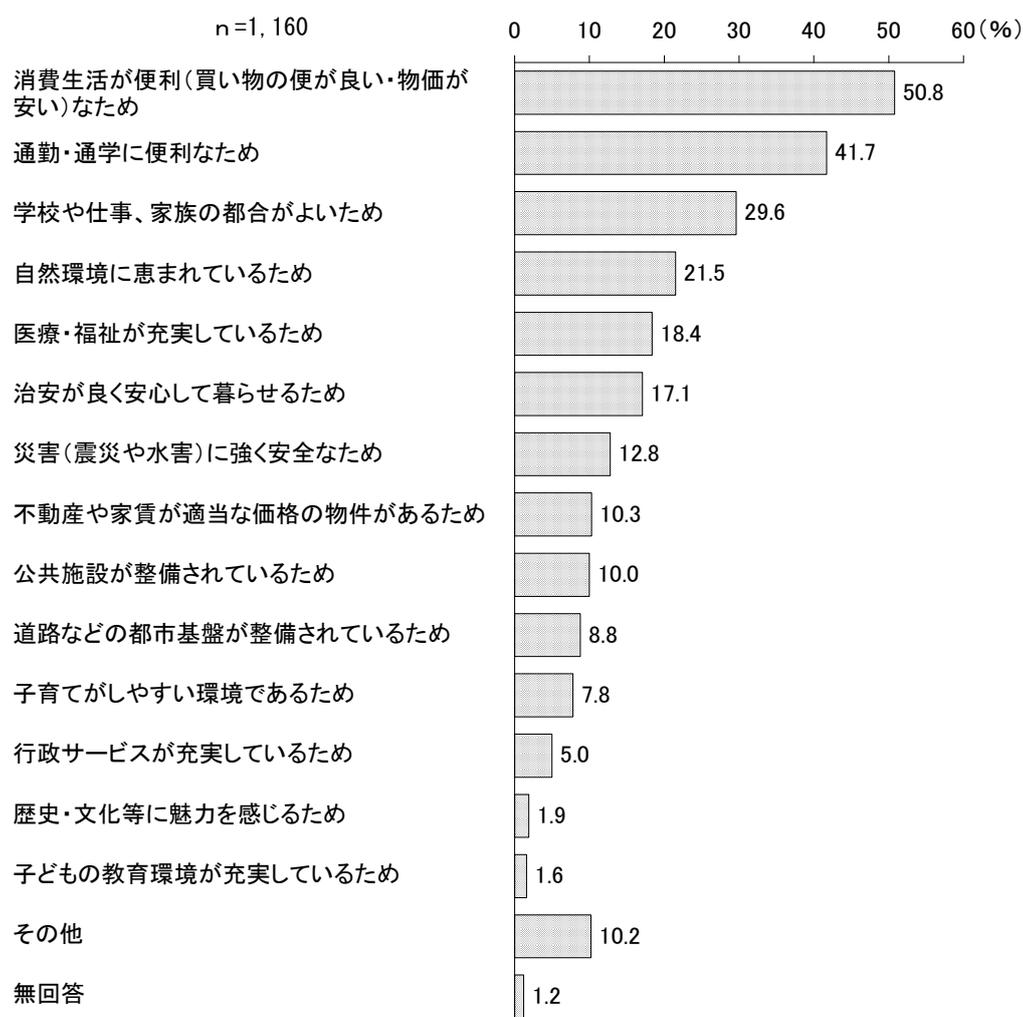
## (2-1) 区内に住み続けたい理由

◇「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」が約5割

(問3で「今後も区内に住み続けたい」と回答した方へ)

問3-1 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-9



問3で、「今後も区内に住み続けたい」と答えた人(1,160人)にその理由を聞いたところ、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(50.8%)が約5割と最も高くなっています。次いで「通勤・通学に便利のため」(41.7%)、「学校や仕事、家族の都合がよいため」(29.6%)、「自然環境に恵まれているため」(21.5%)などとなっています。

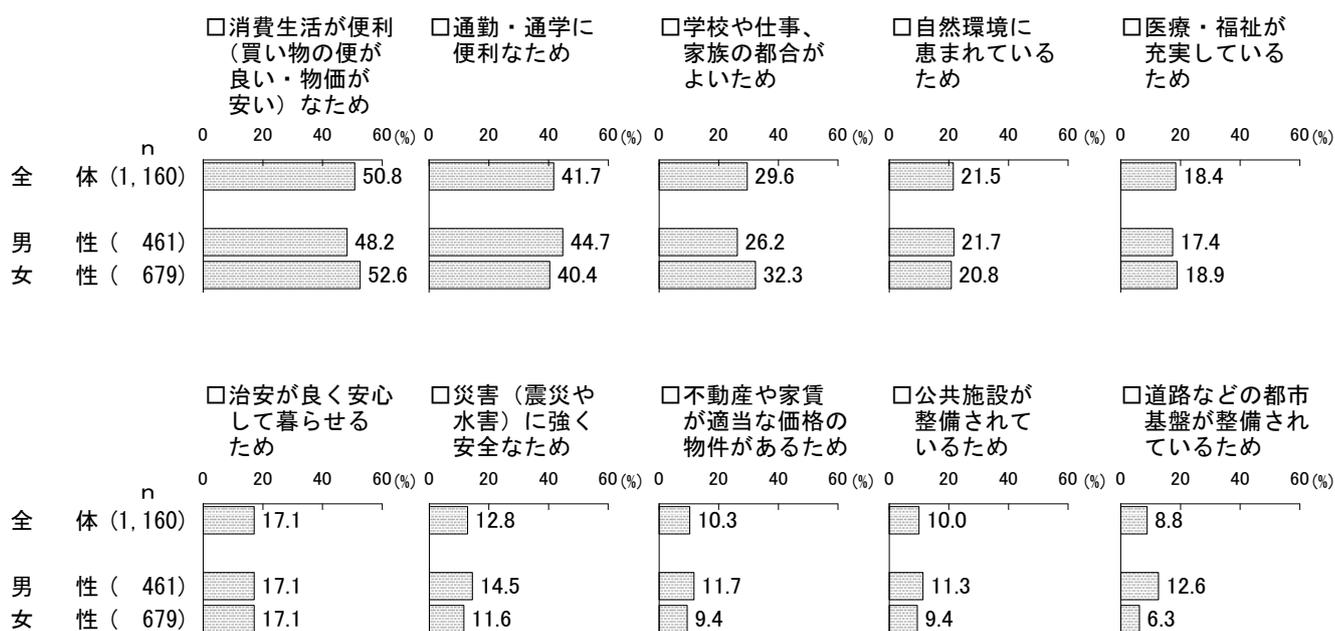
なお、その他の理由として「自宅を購入したため」「住み慣れているため」「区内に住む人々の人柄がよいため」などがありました。(図2-2-9)

① 性別

上位 10 項目を性別で見ると、「道路などの都市基盤が整備されているため」は男性（12.6%）が女性（6.3%）より 6.3 ポイント、「通勤・通学に便利のため」は男性（44.7%）が女性（40.4%）より 4.3 ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「学校や仕事、家族の都合がよいため」は女性（32.3%）が男性（26.2%）より 6.1 ポイント、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は女性（52.6%）が男性（48.2%）より 4.4 ポイント、それぞれ高くなっています。

(図 2-2-10)

図 2-2-10 区内に住み続けたい理由（性別）-上位 10 項目



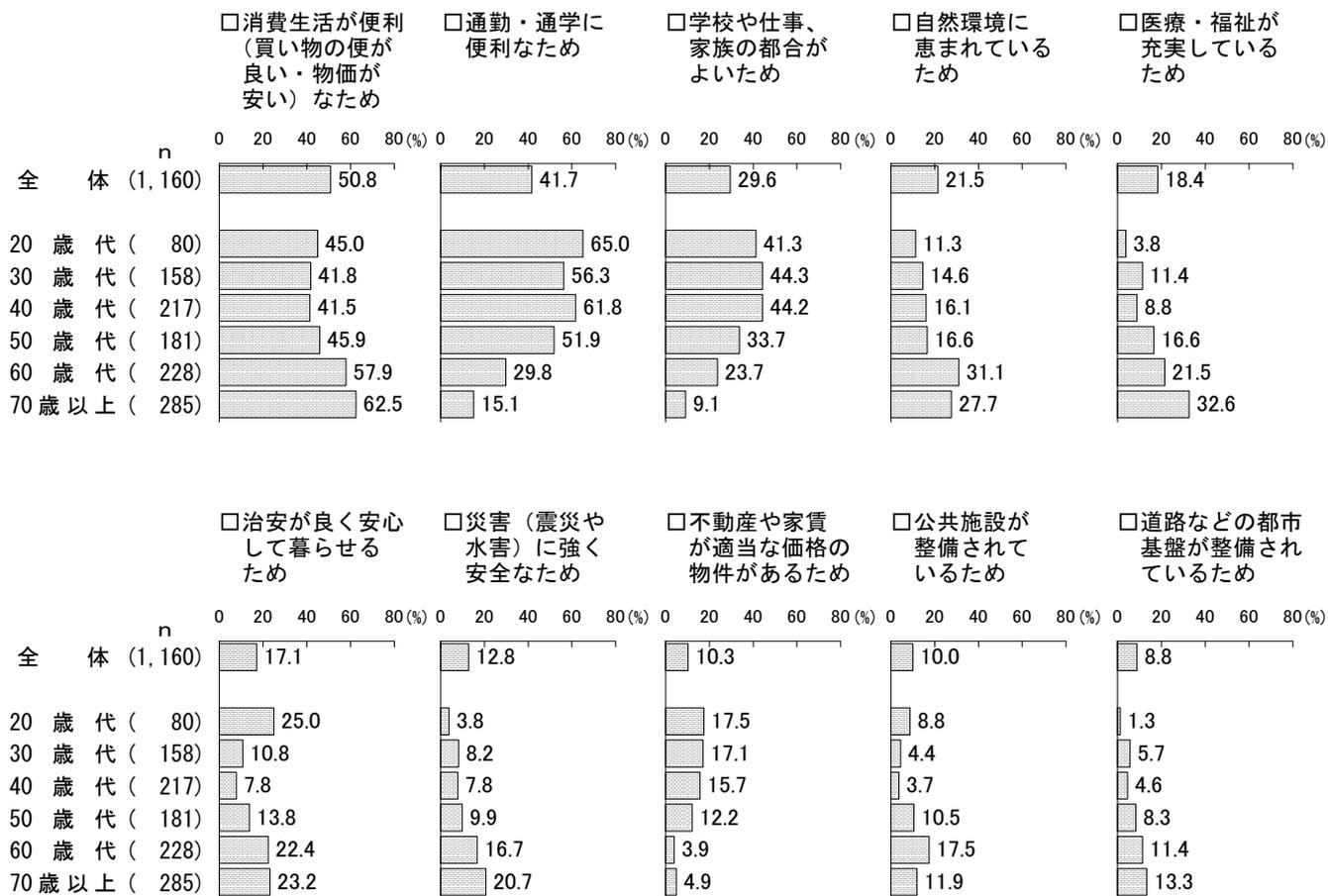
## ② 年代別

上位 10 項目を年代別で見ると、「通勤・通学に便利のため」はおおむね年齢が下がるほど割合が高く、20 歳代 (65.0%) では 6 割半ばとなっています。「消費生活が便利 (買い物の便が良い・物価が安い) のため」は 70 歳以上 (62.5%) で 6 割を超えて高く、「学校や仕事、家族の都合がよいのため」は 40 歳代以下の年代で 4 割台と高くなっています。

また、各回答のうち全体の平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「消費生活が便利 (買い物の便が良い・物価が安い) のため」では 70 歳以上 (62.5%)、「通勤・通学に便利のため」では 20 歳代 (65.0%)・30 歳代 (56.3%)・40 歳代 (61.8%)・50 歳代 (51.9%)、「学校や仕事、家族の都合がよいのため」では 20 歳代 (41.3%)・30 歳代 (44.3%)・40 歳代 (44.2%)、「医療・福祉が充実しているため」では 70 歳以上 (32.6%) となっています。(図 2-2-11)

なお、上位 10 項目には該当しませんが、「子育てがしやすい環境であるため」では 30 歳代 (21.5%) が全体の平均 (7.8%) を 13.7 ポイント上回っています。

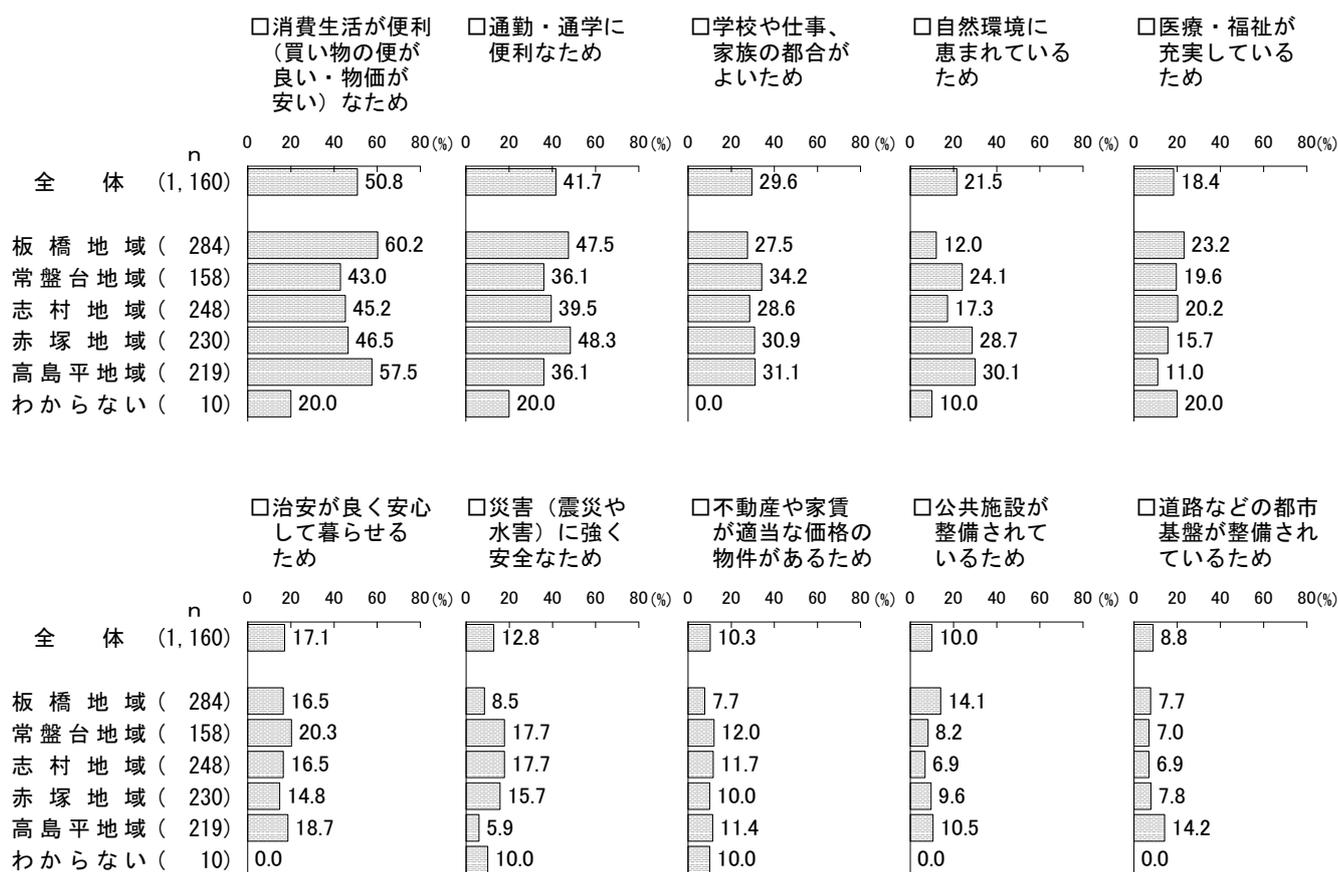
図 2-2-11 区内に住み続けたい理由 (年代別) - 上位 10 項目



### ③ 地域別

上位 10 項目を地域別でみると、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は板橋地域（60.2%）で6割、高島平地域（57.5%）で6割近くと高くなっています。また、「通勤・通学に便利のため」は赤塚地域（48.3%）と板橋地域（47.5%）で5割近くと高く、「学校や仕事、家族の都合がよいため」は常盤台地域（34.2%）で3割半ばと高くなっています。（図 2-2-12）

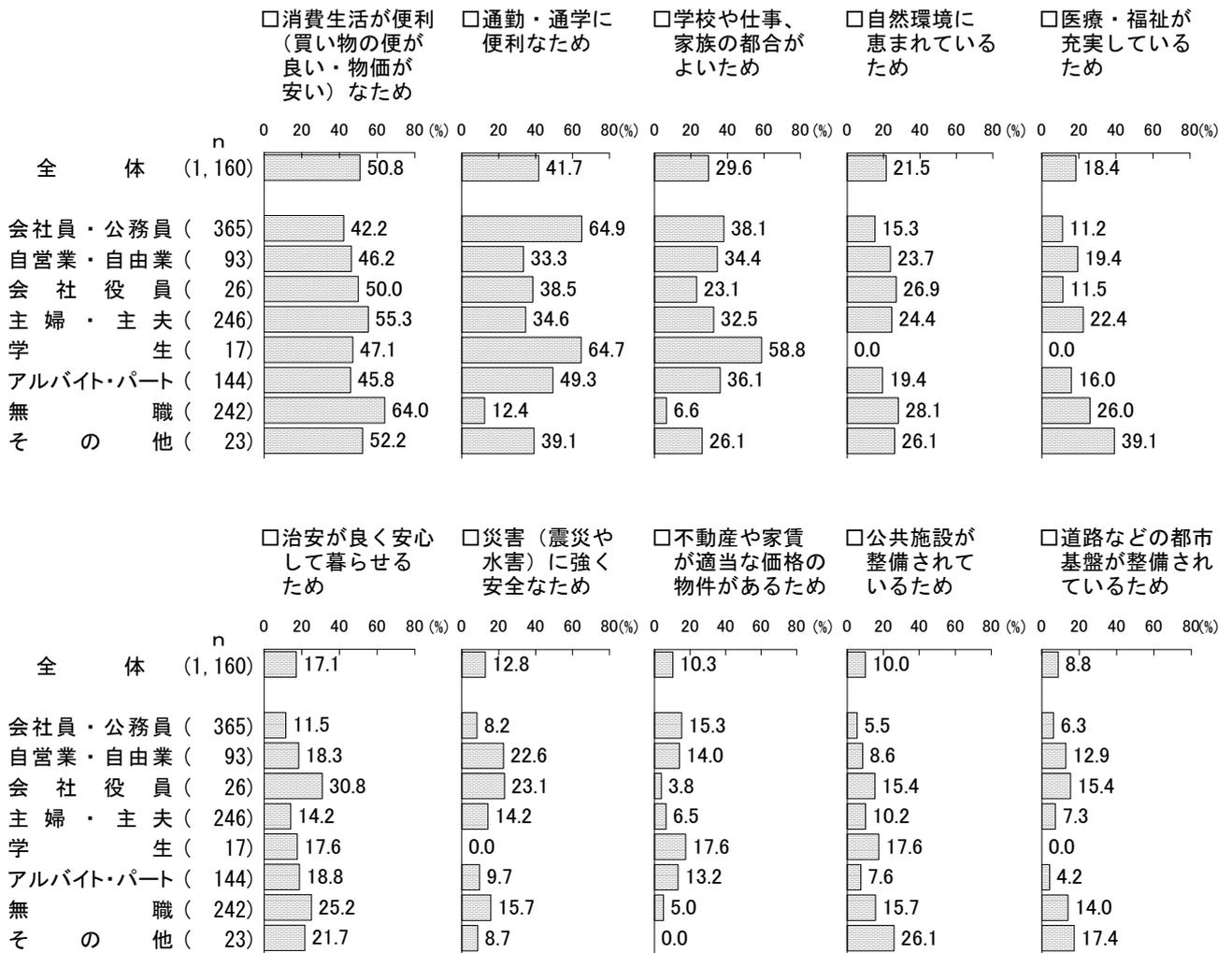
図 2-2-12 区内に住み続けたい理由（地域別）-上位 10 項目



#### ④ 職業別

上位 10 項目を職業別でみると、「通勤・通学に便利のため」は会社員・公務員（64.9%）と学生（64.7%）で6割半ばと高くなっています。また、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）のため」は無職（64.0%）で6割半ばと高くなっています。これらはいずれも、全体の平均を10ポイント以上上回っています。（図2-2-13）

図2-2-13 区内に住み続けたい理由（職業別）-上位10項目

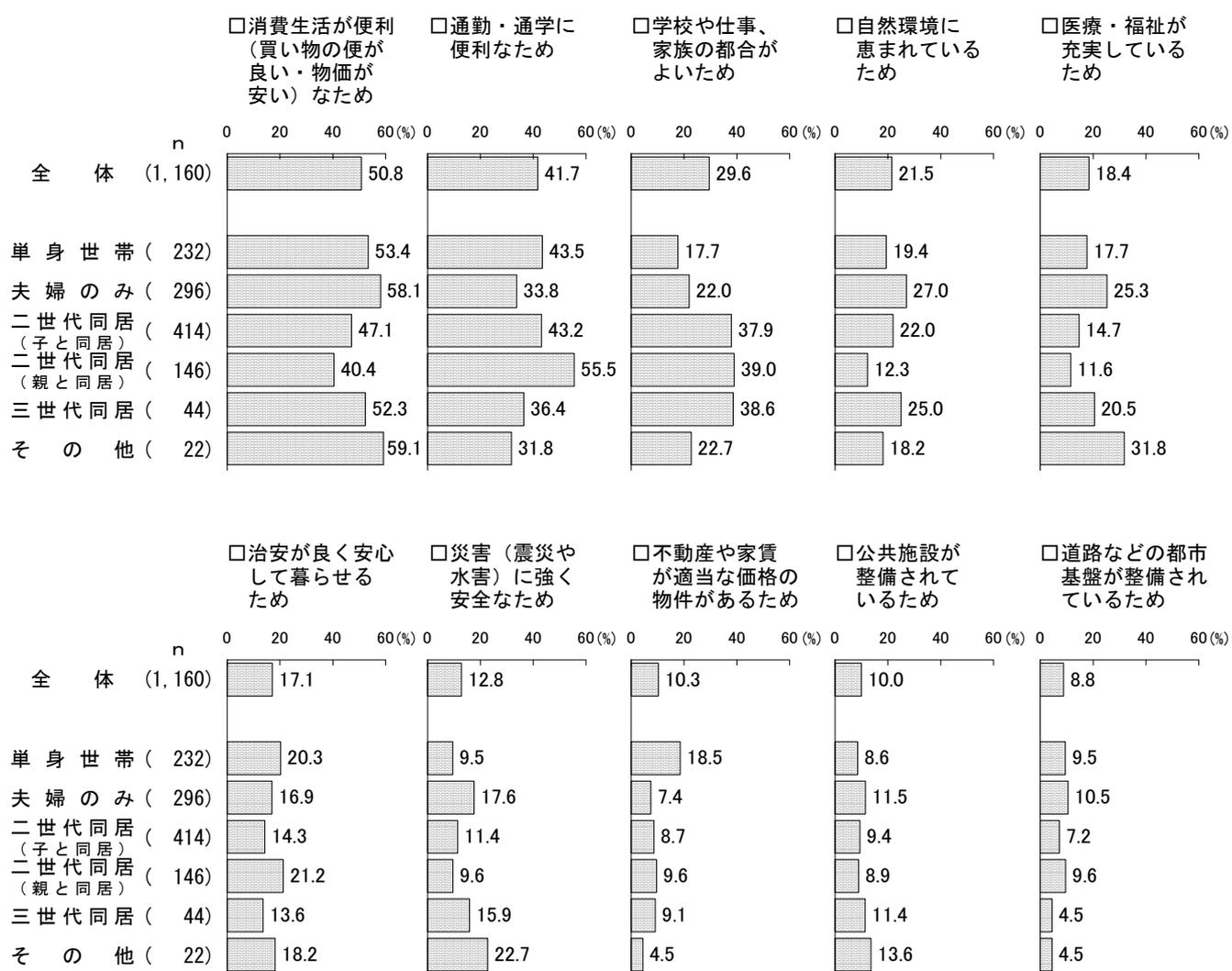


### ⑤ 世帯構成別

上位 10 項目を世帯構成別で見ると、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は夫婦のみ（58.1%）で6割近くと高くなっています。また、「通勤・通学に便利のため」は二世世代同居（親と同居）（55.5%）で5割半ばと高く、「学校や仕事、家族の都合がよいため」は二世世代同居（親と同居）（39.0%）、三世世代同居（38.6%）、二世世代同居（子と同居）（37.9%）で3割台と高くなっています。

このほか、各回答のうち全体の平均を10ポイント以上上回っているのは、「通勤・通学に便利のため」では二世世代同居（親と同居）（55.5%）、「医療・福祉が充実しているため」ではその他（31.8%）となっています。（図2-2-14）

図2-2-14 区内に住み続けたい理由（世帯構成別）-上位10項目

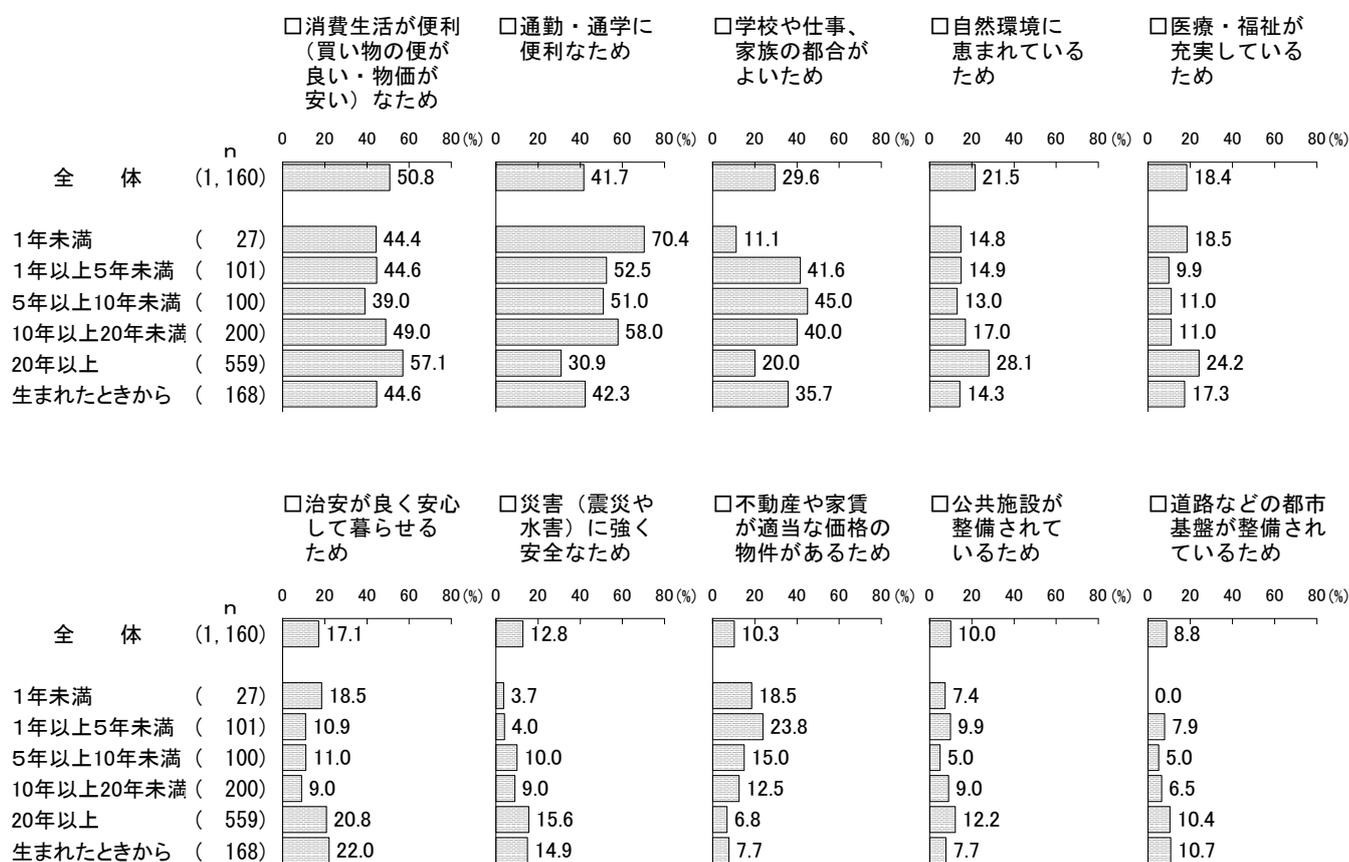


## ⑥ 居住年数別

上位 10 項目を居住年数別で見ると、「通勤・通学に便利のため」は 1 年未満（70.4%）で 7 割と高くなっています。また、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）のため」は 20 年以上（57.1%）で 6 割近くと高く、「学校や仕事、家族の都合がよいため」は 5 年以上 10 年未満（45.0%）で 4 割半ばと高くなっています。

このほか、各回答のうち全体の平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「通勤・通学に便利のため」では 1 年未満（70.4%）・1 年以上 5 年未満（52.5%）・10 年以上 20 年未満（58.0%）、「学校や仕事、家族の都合がよいため」では 1 年以上 5 年未満（41.6%）・5 年以上 10 年未満（45.0%）・10 年以上 20 年未満（40.0%）、「不動産や家賃が適当な価格の物件があるため」では 1 年以上 5 年未満（23.8%）となっています。（図 2-2-15）

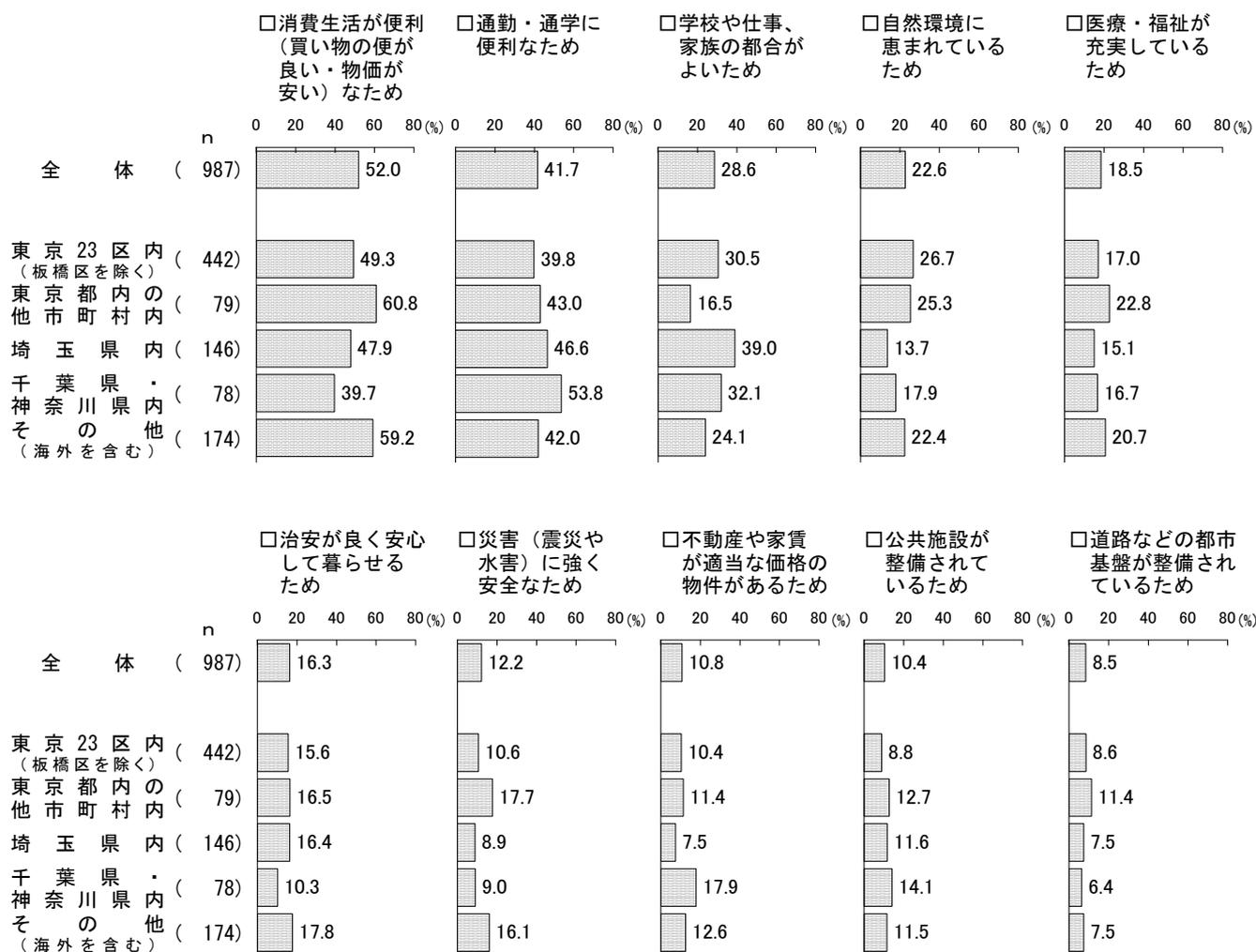
図 2-2-15 区内に住み続けたい理由（居住年数別）-上位 10 項目



### ⑦ 直前の居住地別

上位 10 項目を直前の居住地別で見ると、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は東京都内の他市町村内（60.8%）とその他（海外を含む）（59.2%）で約 6 割と高くなっています。また、「通勤・通学に便利のため」は千葉県・神奈川県内（53.8%）で 5 割を超えて高く、「学校や仕事、家族の都合がよいため」は埼玉県内（39.0%）で約 4 割と高くなっており、いずれも全体の平均を 10 ポイント以上上回っています。（図 2-2-16）

図 2-2-16 区内に住み続けたい理由（直前の居住地別）-上位 10 項目



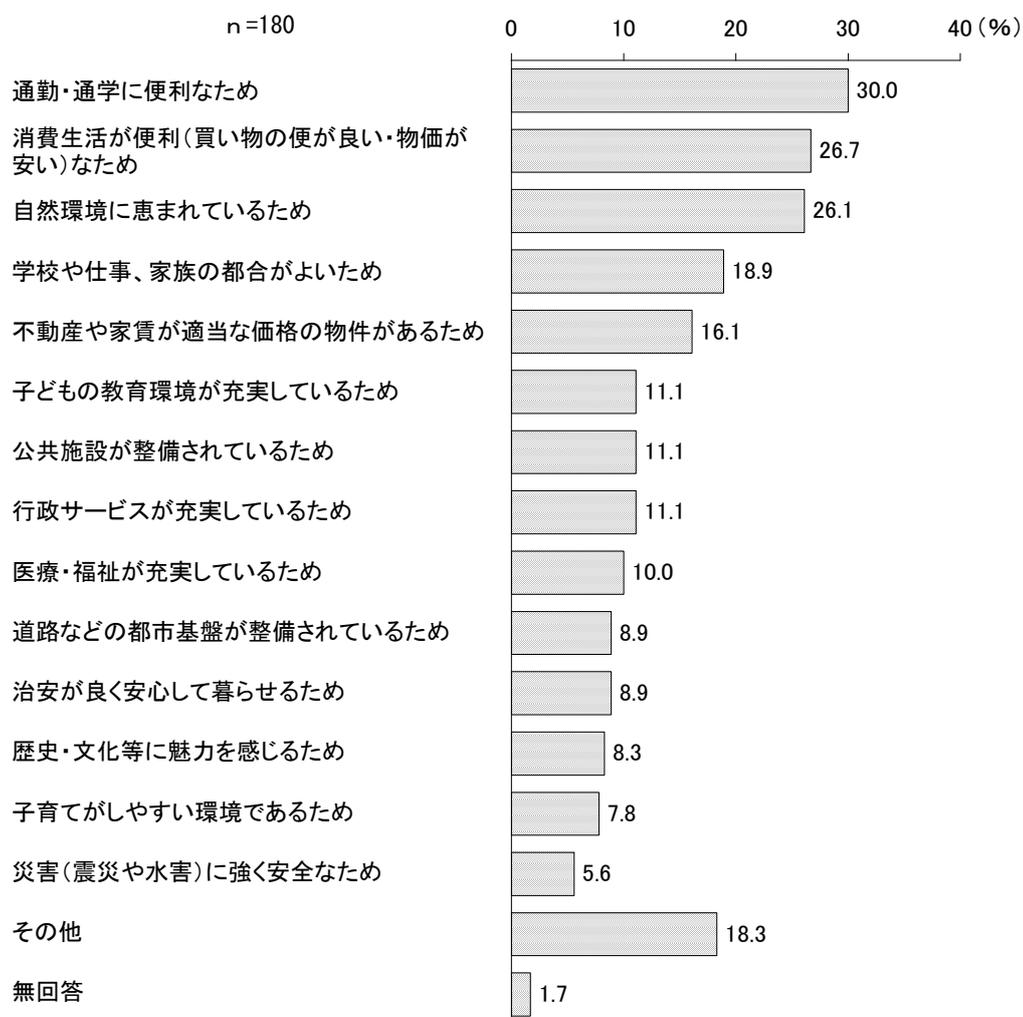
## (2-2) 区外に移り住みたい理由

◇区外の方が「通勤・通学に便利のため」が3割

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方へ)

問3-2 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-17



問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(180人)にその理由を聞いたところ、区外の方が「通勤・通学に便利のため」(30.0%)が3割と最も高くなっています。次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)のため」(26.7%)、「自然環境に恵まれているため」(26.1%)、「学校や仕事、家族の都合がよいため」(18.9%)などとなっています。

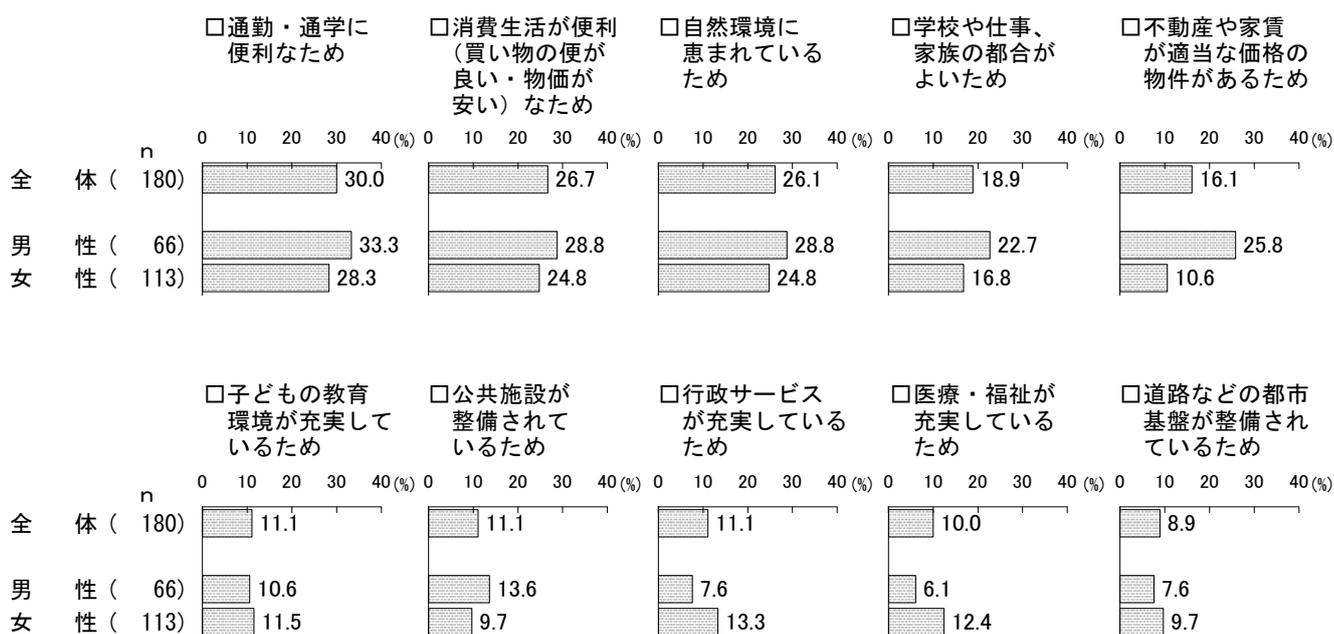
なお、その他の理由として「実家に戻るため」「親から独立するため」などがありました。

(図2-2-17)

### ① 性別

上位10項目を性別で見ると、区外の方が「不動産や家賃が適当な価格の物件があるため」は男性（25.8%）が女性（10.6%）より15.2ポイント、区外の方が「学校や仕事、家族の都合がよいため」は男性（22.7%）が女性（16.8%）より5.9ポイント、それぞれ高くなっています。一方、区外の方が「医療・福祉が充実しているため」は女性（12.4%）が男性（6.1%）より6.3ポイント、区外の方が「行政サービスが充実しているため」は女性（13.3%）が男性（7.6%）より5.7ポイント、それぞれ高くなっています。（図2-2-18）

図2-2-18 区外に移り住みたい理由（性別）-上位10項目

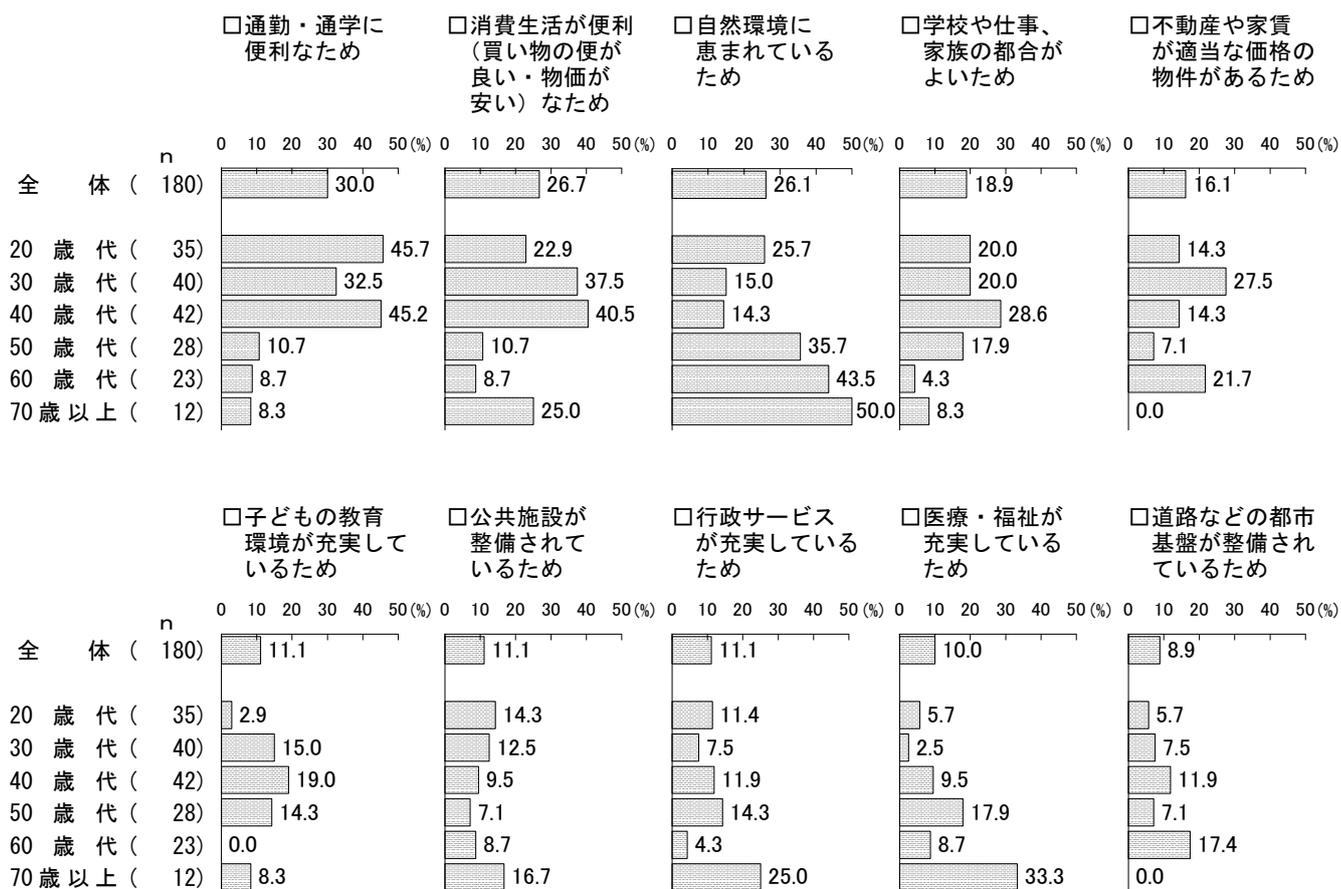


## ② 年代別

上位 10 項目を年代別でみると、区外の方が「自然環境に恵まれているため」は 70 歳以上 (50.0%) で 5 割、60 歳代 (43.5%) で 4 割を超えて高くなっています。また、区外の方が「通勤・通学に便利のため」は 20 歳代 (45.7%) と 40 歳代 (45.2%) で 4 割半ばと高く、区外の方が「消費生活が便利 (買い物の便が良い・物価が安い) のため」は 40 歳代 (40.5%) で約 4 割と高くなっています。

(図 2-2-19)

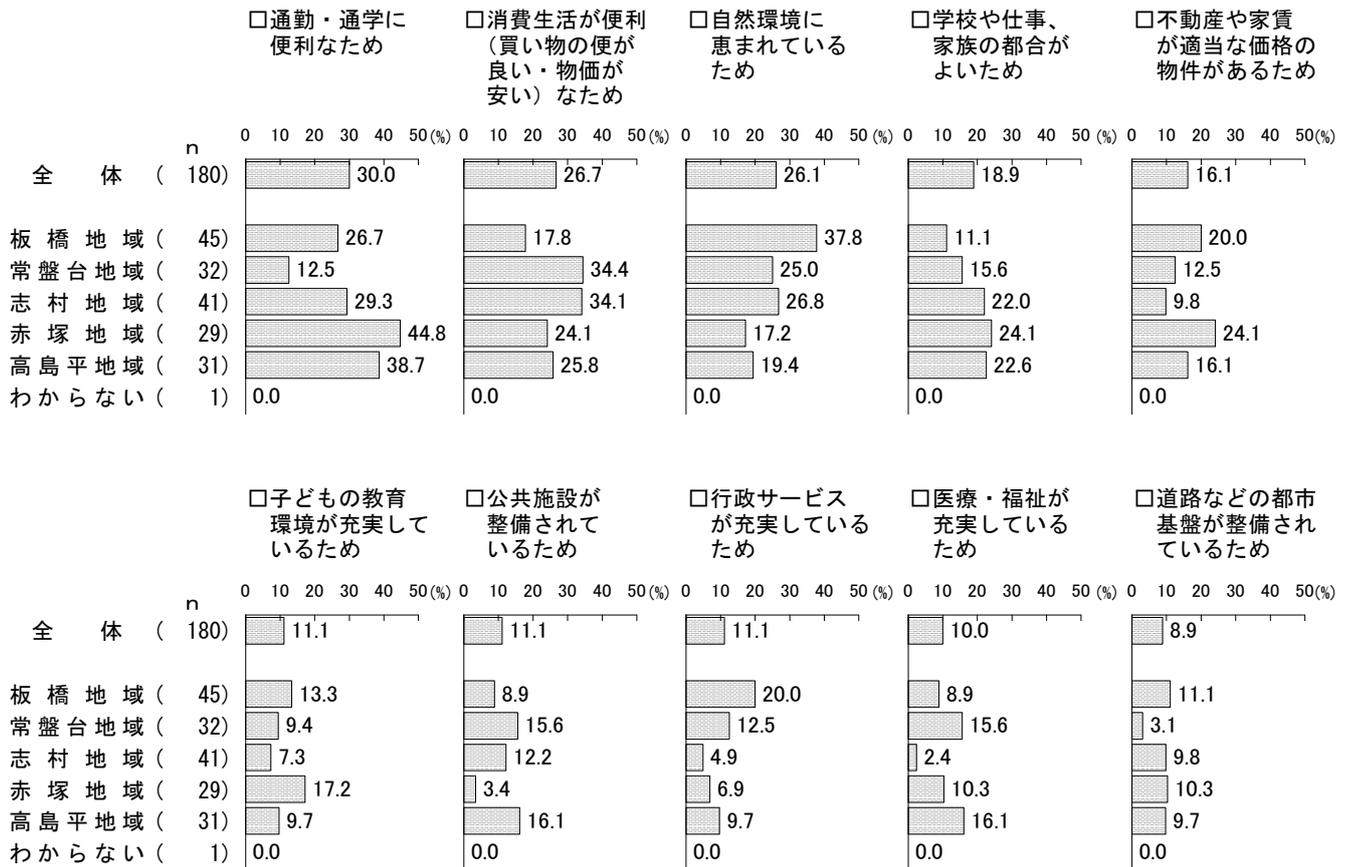
図 2-2-19 区外に移り住みたい理由 (年代別) - 上位 10 項目



### ③ 地域別

上位 10 項目を地域別でみると、区外の方が「通勤・通学に便利のため」は赤塚地域（44.8%）で 4 割半ばと高くなっています。また、区外の方が「自然環境に恵まれているため」は板橋地域（37.8%）で 4 割近くと高く、区外の方が「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）のため」は常盤台地域（34.4%）と志村地域（34.1%）で 3 割半ばと高くなっています。（図 2-2-20）

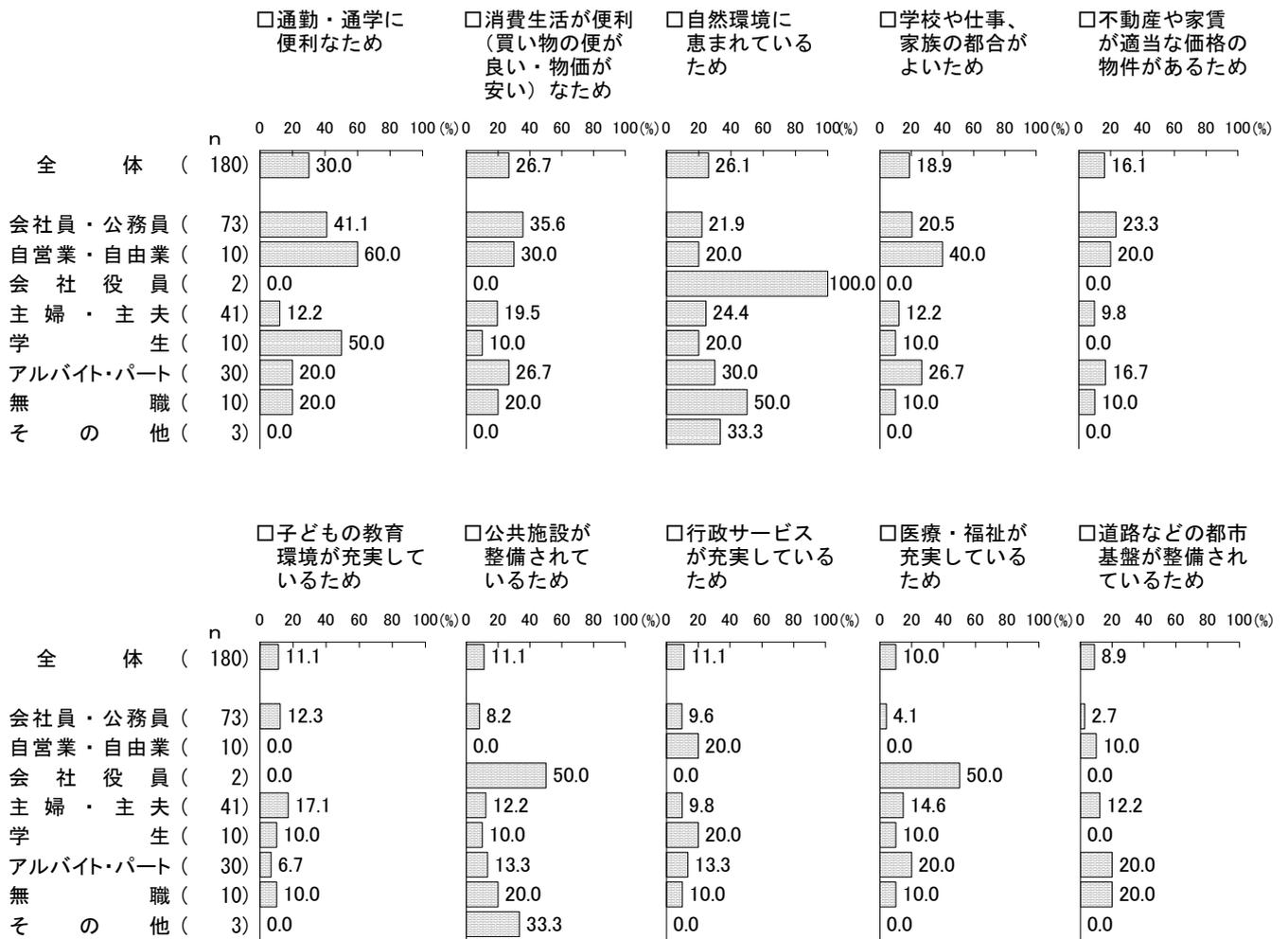
図 2-2-20 区外に移り住みたい理由（地域別）-上位 10 項目



#### ④ 職業別

上位 10 項目を職業別でみると、区外の方が「通勤・通学に便利のため」は自営業・自由業 (60.0%) で6割と高くなっています。また、区外の方が「自然環境に恵まれているため」は無職 (50.0%) で5割と高く、区外の方が「学校や仕事、家族の都合がよいため」は自営業・自由業 (40.0%) で4割と高くなっています。(図 2-2-21)

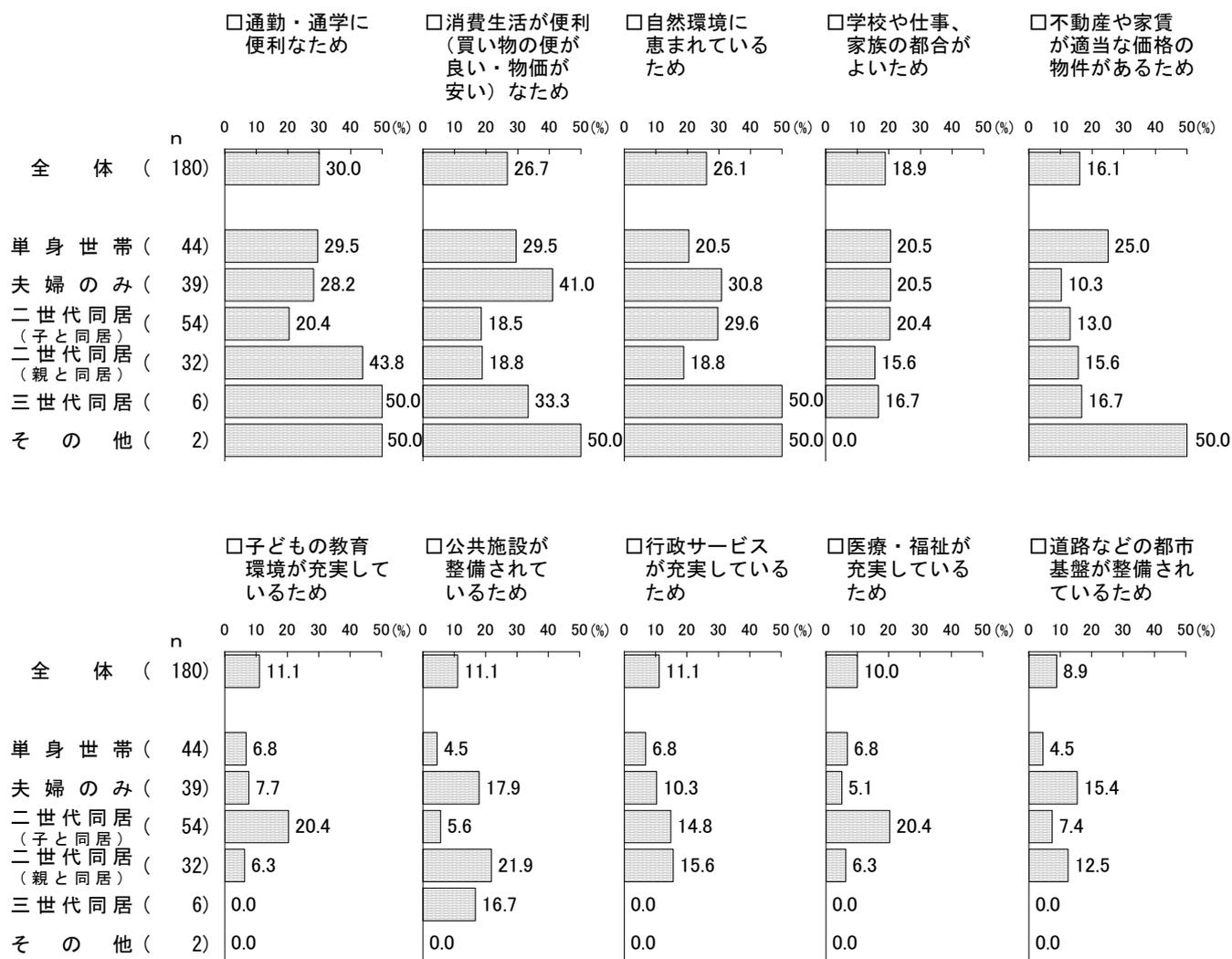
図 2-2-21 区外に移り住みたい理由 (職業別) - 上位 10 項目



### ⑤ 世帯構成別

上位 10 項目を世帯構成別で見ると、区外の方が「通勤・通学に便利のため」は二世帯同居(親と同居) (43.8%) で4割を超えて高くなっています。また、区外の方が「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い) ため」は夫婦のみ (41.0%) で4割を超えて高く、区外の方が「自然環境に恵まれているため」は夫婦のみ (30.8%) と二世帯同居(子と同居) (29.6%) で3割前後と高くなっています。(図2-2-22)

図2-2-22 区外に移り住みたい理由(世帯構成別) - 上位10項目

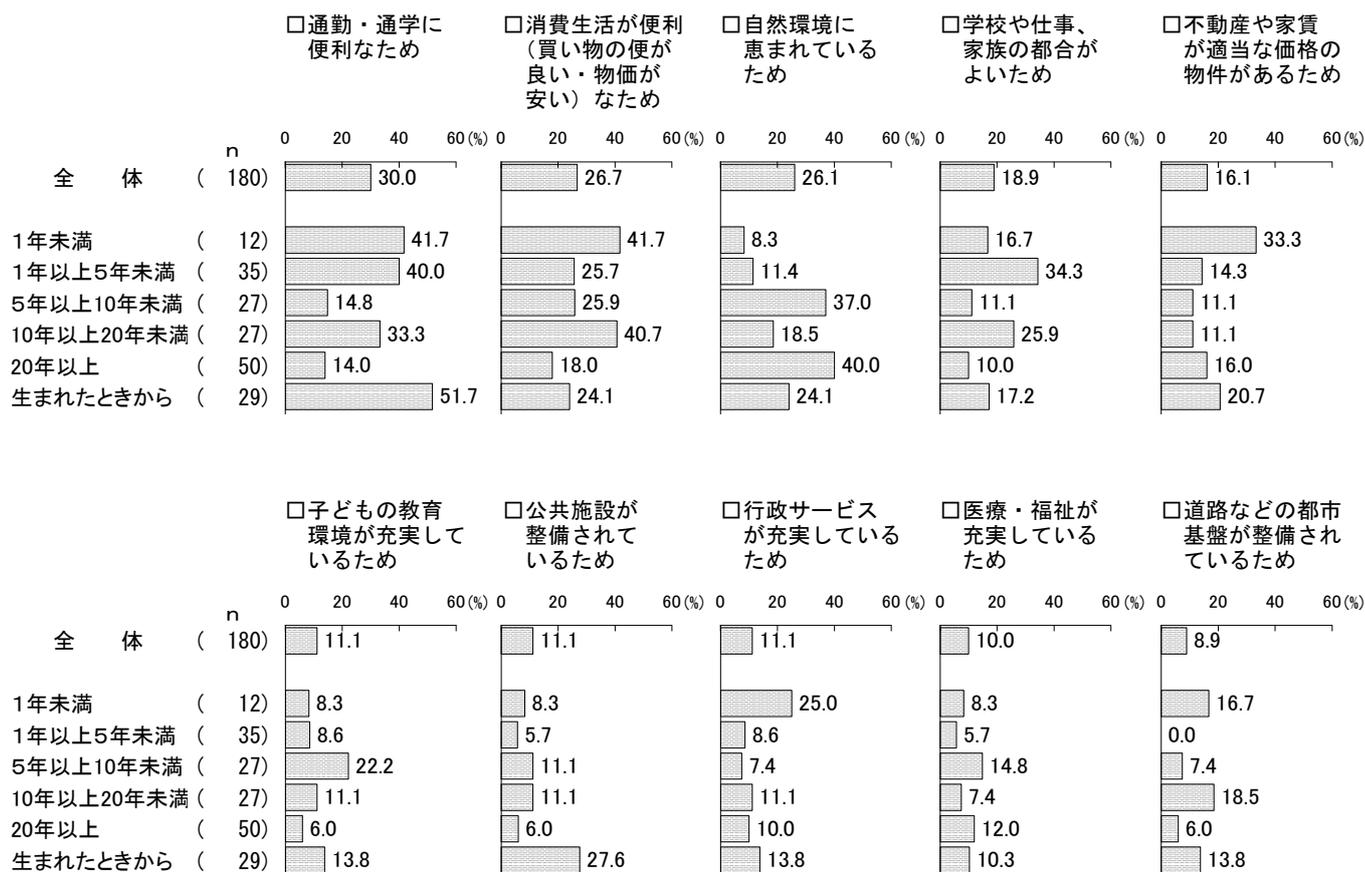


## ⑥ 居住年数別

上位 10 項目を居住年数別で見ると、区外の方が「通勤・通学に便利のため」は生まれたときから (51.7%) で 5 割を超えて高くなっています。また、区外の方が「消費生活が便利 (買い物の便が良い・物価が安い) ため」は 1 年未満 (41.7%) と 10 年以上 20 年未満 (40.7%) で 4 割台と高く、区外の方が「自然環境に恵まれているため」は 20 年以上 (40.0%) で 4 割と高くなっています。

(図 2-2-23)

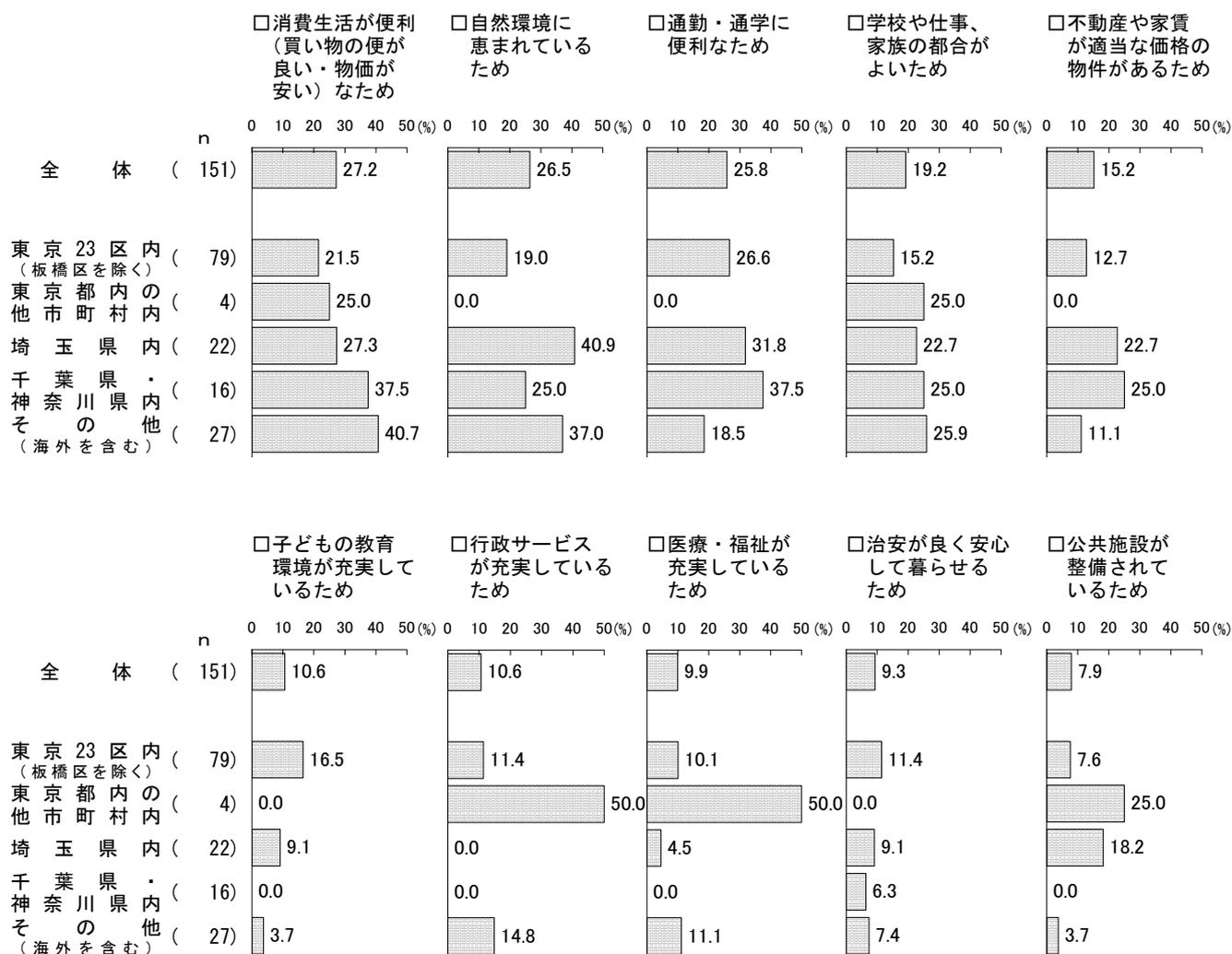
図 2-2-23 区外に移り住みたい理由 (居住年数別) - 上位 10 項目



### ⑦ 直前の居住地別

上位 10 項目を直前の居住地別でみると、区外の方が「自然環境に恵まれているため」は埼玉県内 (40.9%) で約 4 割と高くなっています。また、区外の方が「消費生活が便利 (買い物の便が良い・物価が安い) ため」はその他 (海外を含む) (40.7%) で約 4 割、千葉県・神奈川県内 (37.5%) で 4 割近くと高くなっています。(図 2-2-24)

図 2-2-24 区外に移り住みたい理由 (直前の居住地別) - 上位 10 項目



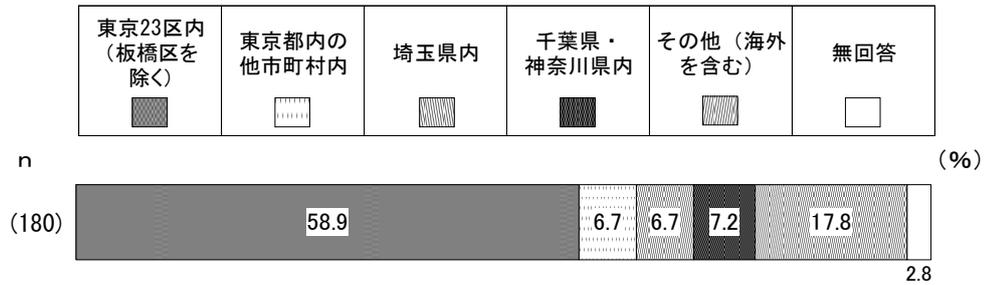
(2-3) 区外に移り住むとしたら住みたい地域

◇「東京23区内（板橋区を除く）」が6割近く

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方へ)

問3-3 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図2-2-25

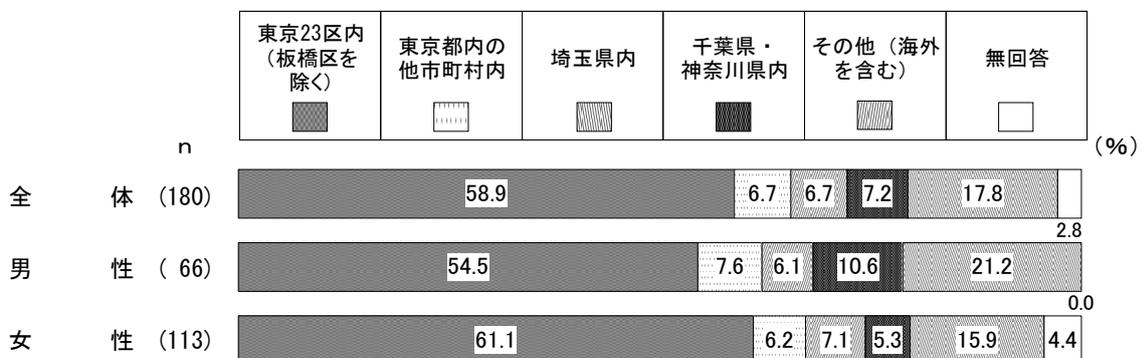


問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(180人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内(板橋区を除く)」(58.9%)が6割近くと最も高くなっています。「千葉県・神奈川県内」(7.2%)、「東京都内の他市町村内」と「埼玉県内」(ともに6.7%)はいずれも1割未満となっています。(図2-2-25)

① 性別

性別で見ると、「東京23区内(板橋区を除く)」は女性(61.1%)が男性(54.5%)より6.6ポイント高くなっています。一方、「千葉県・神奈川県内」は男性(10.6%)が女性(5.3%)より5.3ポイント高くなっています。(図2-2-26)

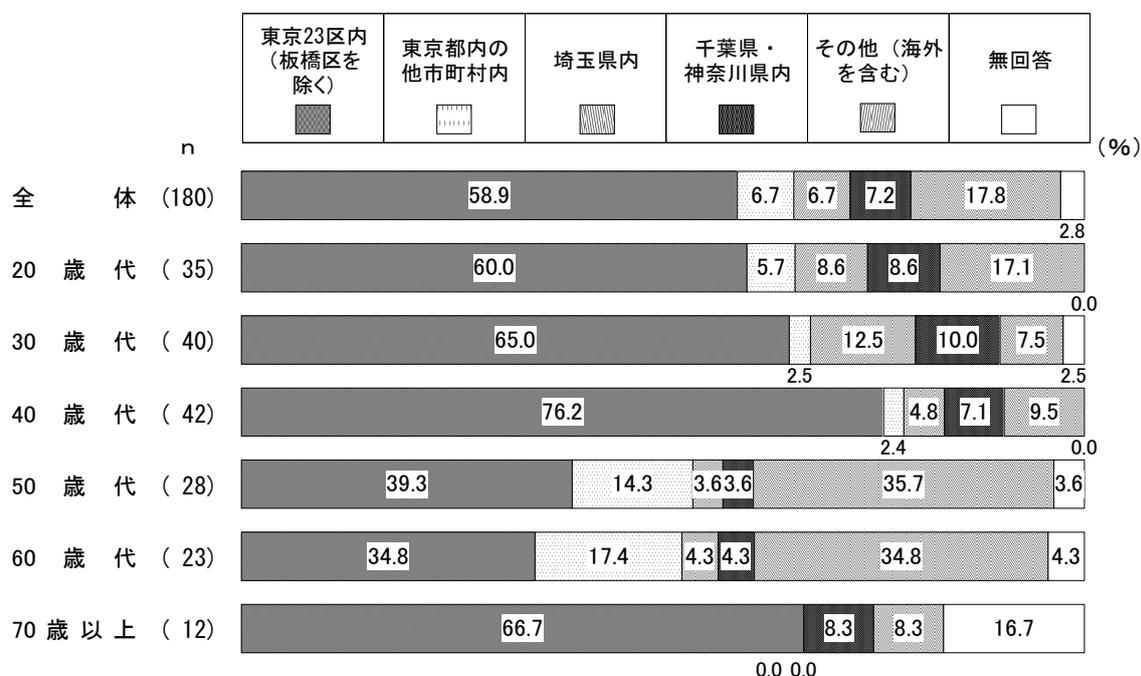
図2-2-26 区外に移り住むとしたら住みたい地域(性別)



## ② 年代別

年代別でみると、「東京 23 区内（板橋区を除く）」は 40 歳代（76.2%）で 7 割半ばと高くなっている一方、50 歳代（39.3%）と 60 歳代（34.8%）では 3 割台となっています。また、「東京都内の他市町村内」は 60 歳代（17.4%）で 2 割近くと高くなっています。（図 2-2-27）

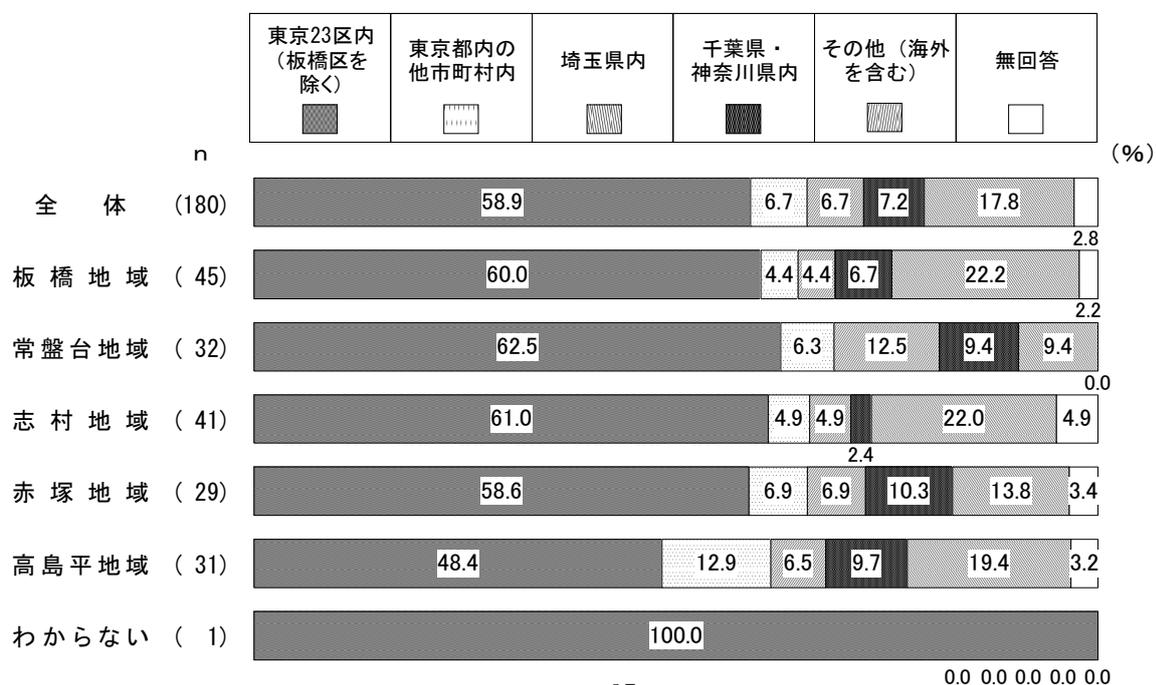
図 2-2-27 区外に移り住むとしたら住みたい地域（年代別）



## ③ 地域別

地域別でみると、「東京 23 区内（板橋区を除く）」は高島平地域（48.4%）を除くすべての地域で 6 割前後となっています。（図 2-2-28）

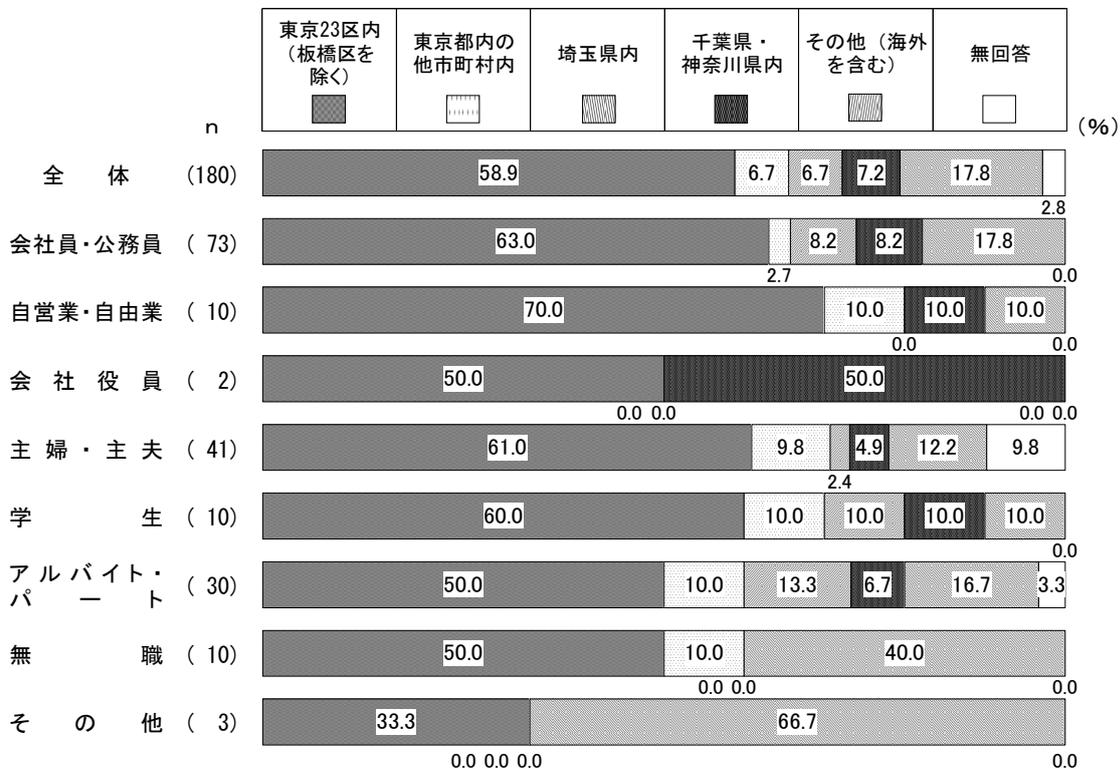
図 2-2-28 区外に移り住むとしたら住みたい地域（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、「東京 23 区内（板橋区を除く）」は自営業・自由業（70.0%）で7割と高くなっています。（図 2-2-29）

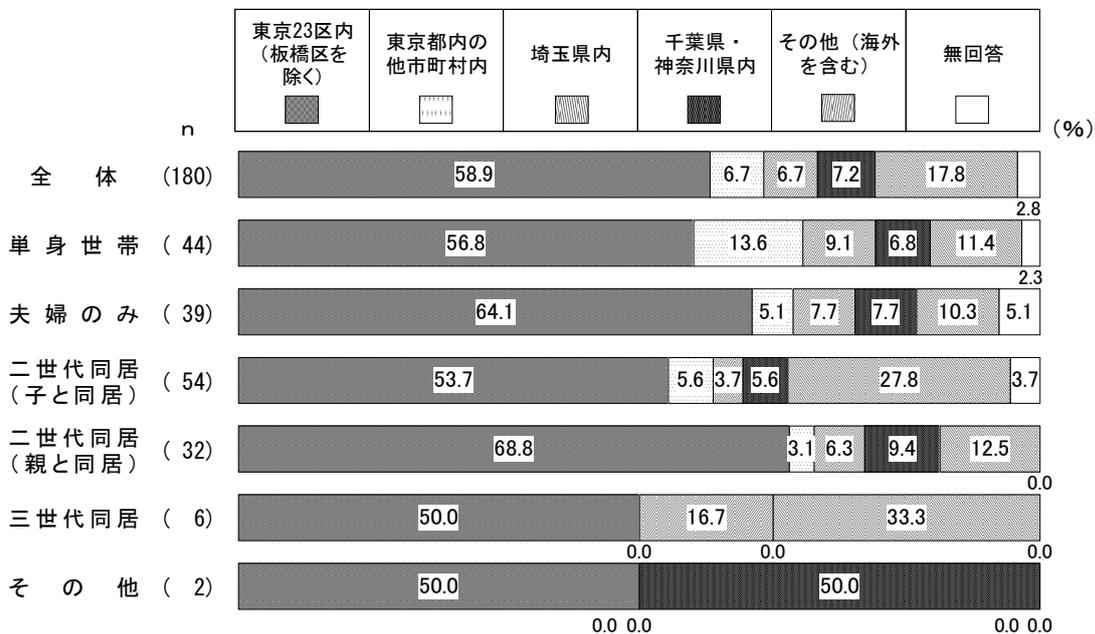
図 2-2-29 区外に移り住むとしたら住みたい地域（職業別）



#### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「東京 23 区内（板橋区を除く）」は二世帯同居（親と同居）（68.8%）と夫婦のみ（64.1%）で6割台と高くなっています。（図 2-2-30）

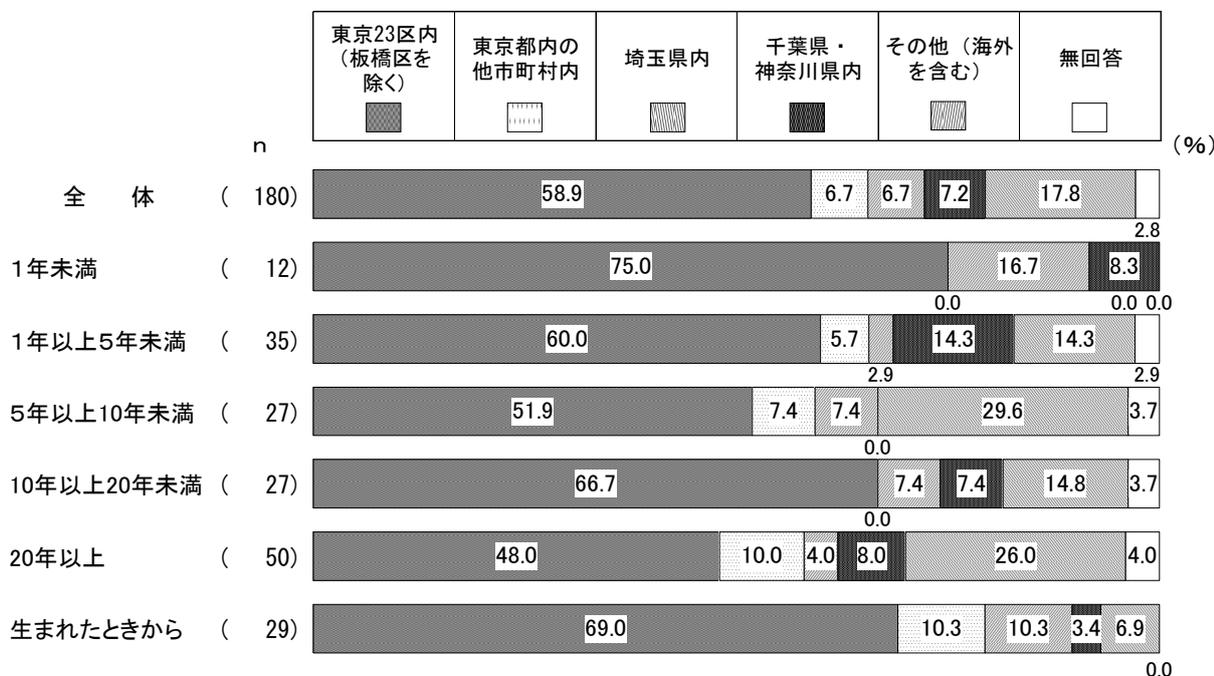
図 2-2-30 区外に移り住むとしたら住みたい地域（世帯構成別）



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「東京 23 区内（板橋区を除く）」は1年未満（75.0%）で7割半ばと高くなっています。また、「千葉県・神奈川県内」は1年以上5年未満（14.3%）で1割半ばと高くなっています。（図 2-2-31）

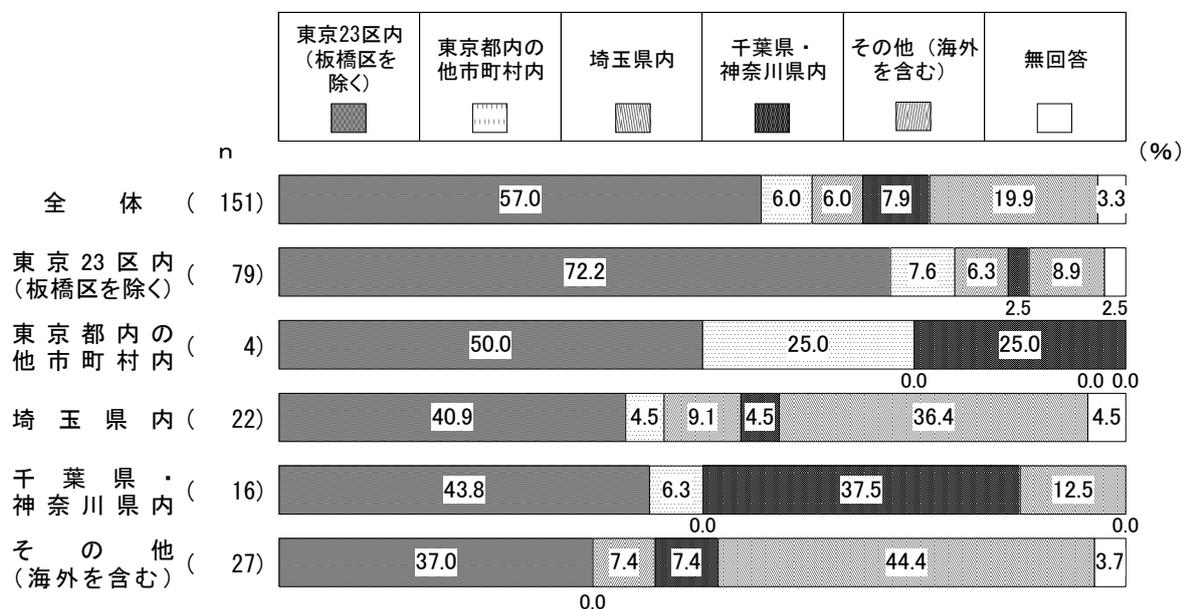
図 2-2-31 区外に移り住むとしたら住みたい地域（居住年数別）



### ⑦ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「東京 23 区内（板橋区を除く）」は直前の居住地が東京 23 区内（板橋区を除く）（72.2%）で7割を超えて高くなっています。また、「千葉県・神奈川県内」は直前の居住地が千葉県・神奈川県内（37.5%）で4割近くと高くなっています。（図 2-2-32）

図 2-2-32 区外に移り住むとしたら住みたい地域（直前の居住地別）



## (2-4) 区外に移り住みたい理由(問3-2)と住みたい地域(問3-3)

区外に移り住みたいと考えている人の理由として最も多いのが「通勤・通学に便利のため」(30.0%)、次いで「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(26.7%)となっています。

地域別では、東京23区内(板橋区を除く)に移り住みたいと考えている人の理由として最も多いのが「通勤・通学に便利のため」(42.5%)、東京都内の他市町村内では「自然環境に恵まれているため」(50.0%)、埼玉県内では「自然環境に恵まれているため」「不動産や家賃が適当な価格の物件があるため」(それぞれ41.7%)、千葉県・神奈川県内も「自然環境に恵まれているため」「不動産や家賃が適当な価格の物件があるため」(それぞれ38.7%)となっており、その他(海外を含む)では「自然環境に恵まれているため(62.5%)」となっています。(表2-2-1)

表2-2-1 区外に移り住みたい理由と住みたい地域(居住年数別)

(%)

	全 体	(板 東 橋 京 区 2 3 区 内 を 除 く)	他 東 市 京 都 都 内 の 村 内 の	埼 玉 県 内	千 葉 県 ・ 神 奈 川 県 内	(海 外 を 含 む) そ の 他
n	180	106	12	12	13	32
通勤・通学に便利のため	30.0	42.5	16.7	8.3	23.1	9.4
消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	26.7	32.1	8.3	25.0	30.8	18.8
自然環境に恵まれているため	26.1	8.5	50.0	41.7	38.5	62.5
学校や仕事、家族の都合がよいため	18.9	19.8	8.3	16.7	30.8	18.8
不動産や家賃が適当な価格の物件があるため	16.1	10.4	25.0	41.7	38.5	15.6
子どもの教育環境が充実しているため	11.1	17.0	-	8.3	7.7	-
公共施設が整備されているため	11.1	12.3	8.3	16.7	7.7	9.4
行政サービスが充実しているため	11.1	16.0	-	8.3	-	6.3
医療・福祉が充実しているため	10.0	11.3	8.3	-	7.7	6.3
道路などの都市基盤が整備されているため	8.9	10.4	16.7	16.7	-	3.1
治安が良く安心して暮らせるため	8.9	9.4	-	16.7	-	9.4
歴史・文化等に魅力を感じるため	8.3	8.5	8.3	-	7.7	9.4
子育てがしやすい環境であるため	7.8	10.4	-	8.3	15.4	-
災害(震災や水害)に強く安全なため	5.6	3.8	16.7	-	7.7	9.4
その他	18.3	15.1	16.7	16.7	15.4	31.3

### 3. 施策に対する満足度・重要度

#### (1) 施策の満足度

問4 「板橋区基本計画」に掲げる3つの基本目標達成のための施策の方向（実現したい姿）のうち、以下の項目について、前ページ下段に示した回答方法に従って、それぞれの満足度をお答えください。

「板橋区基本計画」に掲げる3つの基本目標達成のための施策の方向（実現したい姿）、56項目の満足度について聞きました。なお、質問項目の省略名は以下のとおりです。（表3-1-1）

表3-1-1 質問項目の省略名

基本目標	調査票に表記した質問項目	省略名
基本目標Ⅰ か に 生 き が い を も っ て 暮 ら す ま ち	(1) 子育てしやすい環境が整っている	子育て環境
	(2) 子どものための福祉サービスが整っている	児童福祉サービス
	(3) 健康で人間性豊かな子どもが育っている	子どもの健全育成
	(4) 休日・夜間も含め、安心して医療が受けられる	医療体制
	(5) 家庭・学校・地域が協力して子育てをしている	地域連携による子育て
	(6) 健康づくりに取り組みやすい	健康づくり
	(7) 生涯学習に取り組みやすい	生涯学習
	(8) スポーツに取り組みやすい	スポーツ
	(9) 住居の広さが十分である	住居の広さ
	(10) 高齢者のための福祉サービスが整っている	高齢者福祉サービス
	(11) 障がい者のための福祉サービスが整っている	障がい者福祉サービス
	(12) 高齢者が仕事や地域活動に参加できる	高齢者の社会参加
	(13) 障がい者が仕事や地域活動に参加できる	障がい者の社会参加
	(14) 家事・育児・介護を男女が協力して行っている	家事・育児・介護の男女協力
	(15) 男女が平等に社会活動に参画することができる	男女平等の社会参画
	(16) 働きやすい環境が整っている	労働環境
	(17) 消費生活のトラブルが少ない	消費生活
基本目標Ⅱ あ る か な ふ れ あ い と	(18) 地域社会活動が活発で参加しやすい	地域社会活動
	(19) 地域のボランティア活動(町会・自治会活動を含む)に気軽に参加できる	ボランティア・NPO活動
	(20) 魅力のある商店街が身近にある	魅力ある商店街
	(21) 地域の工業に活力がある	活力ある工業
	(22) 都市農地が保全され、地産地消が促進されている	農地の保全・活用
	(23) 社会ニーズに合った新しいビジネスが生まれている	新産業創出
	(24) 多くの人が集まる名所・旧跡やイベントがある	名所・旧跡、イベント
	(25) 伝統芸能が受け継がれている	伝統芸能
	(26) 歴史的文化財が保存・活用されている	歴史的文化財
	(27) 文化芸術に親しみやすい	文化芸術
	(28) 外国の人々との交流が活発に行われている	国際交流
	(29) 平和の大切さを身近に感じられる	平和意識

基本 目標	調査票に表記した質問項目		省略名
基本 安全 目標Ⅲ 安心 な う る お い の あ る ま ち	(30)	防災意識が高い	防災意識
	(31)	治安が保たれている	防犯対策
	(32)	災害・犯罪・感染症等様々な危機に対応できる体制となっている	危機管理体制
	(33)	衛生上の不安なく食品が入手できる	食品衛生
	(34)	自転車利用のマナーが守られている	自転車利用のマナー
	(35)	地震の時、火災の延焼や建物倒壊等の不安が少ない	震災に強いまち
	(36)	大雨が降っても水害の不安が少ない	水害対策
	(37)	緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている	自然地の保全
	(38)	憩える公園や緑地が整備されている	公園・緑地の整備
	(39)	空気や水がきれいで安心して生活できる	空気・水
	(40)	まちなみや景観が美しい	まちなみ・景観
	(41)	省エネルギーの取り組みが進んでいる	省エネルギー
	(42)	ごみ出しのルール（分別・曜日・場所等）が守られている	ごみ出しルール
	(43)	リサイクルが進んでいる	リサイクル
	(44)	身近なまちが快適で魅力のある生活空間である	快適なまち
	(45)	電車やバスが便利に利用できる	公共交通
	(46)	身近な道路に補修等の必要がなく安全である	道路の安全
	(47)	身近な道路を安全に歩行できる	歩行の安全
	(48)	バリアフリーのまちづくりが進められている	バリアフリー
	(49)	インターネットを通じて必要な区政情報の提供が行われている	IT活用
	(50)	区が保有する個人情報を守られている	個人情報の保護
(51)	区政に関する情報が公開されている	区政情報の公開	
の計 た画 め推 に進	(52)	まちづくりや区の計画づくりへの参画機会が充実している	区計画への参加機会
(53)	区政に区民の声が反映されている	区民の声の区政への反映	
(54)	区の職員の対応が良い	区職員の対応	
(55)	板橋区に愛着を感じる	区への愛着	
(56)	板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる	区への誇り	

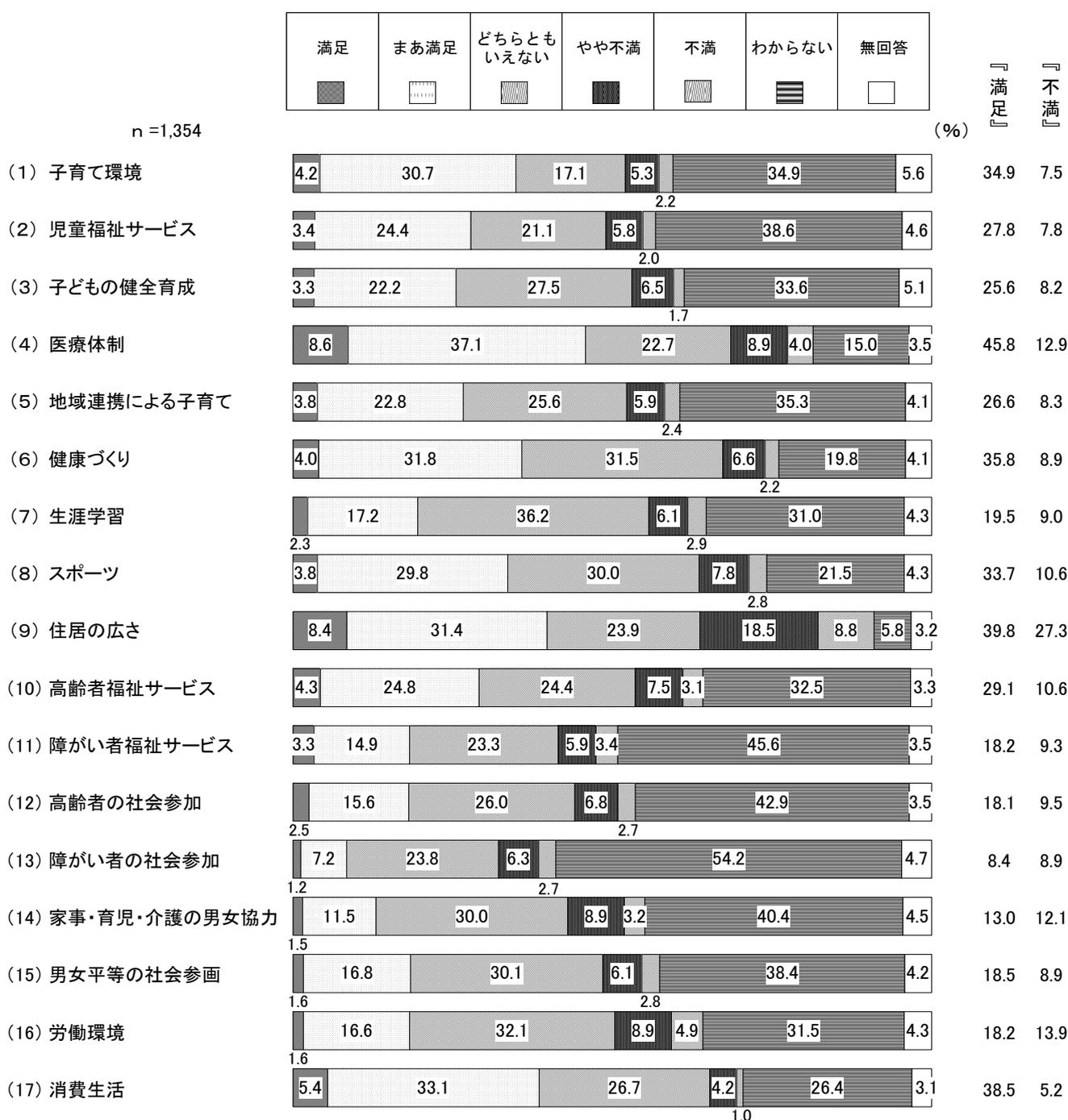
① 施策の満足度

(ア) 基本目標Ⅰ のびやかに生きがいをもって暮らすまち

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、“医療体制”（45.8%）で4割半ばと最も高く、次いで“住居の広さ”（39.8%）、“消費生活”（38.5%）、“健康づくり”（35.8%）などとなっています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、“住居の広さ”（27.3%）で3割近くと最も高く、次いで“労働環境”（13.9%）、“医療体制”（12.9%）などとなっています。

(図3-1-1)

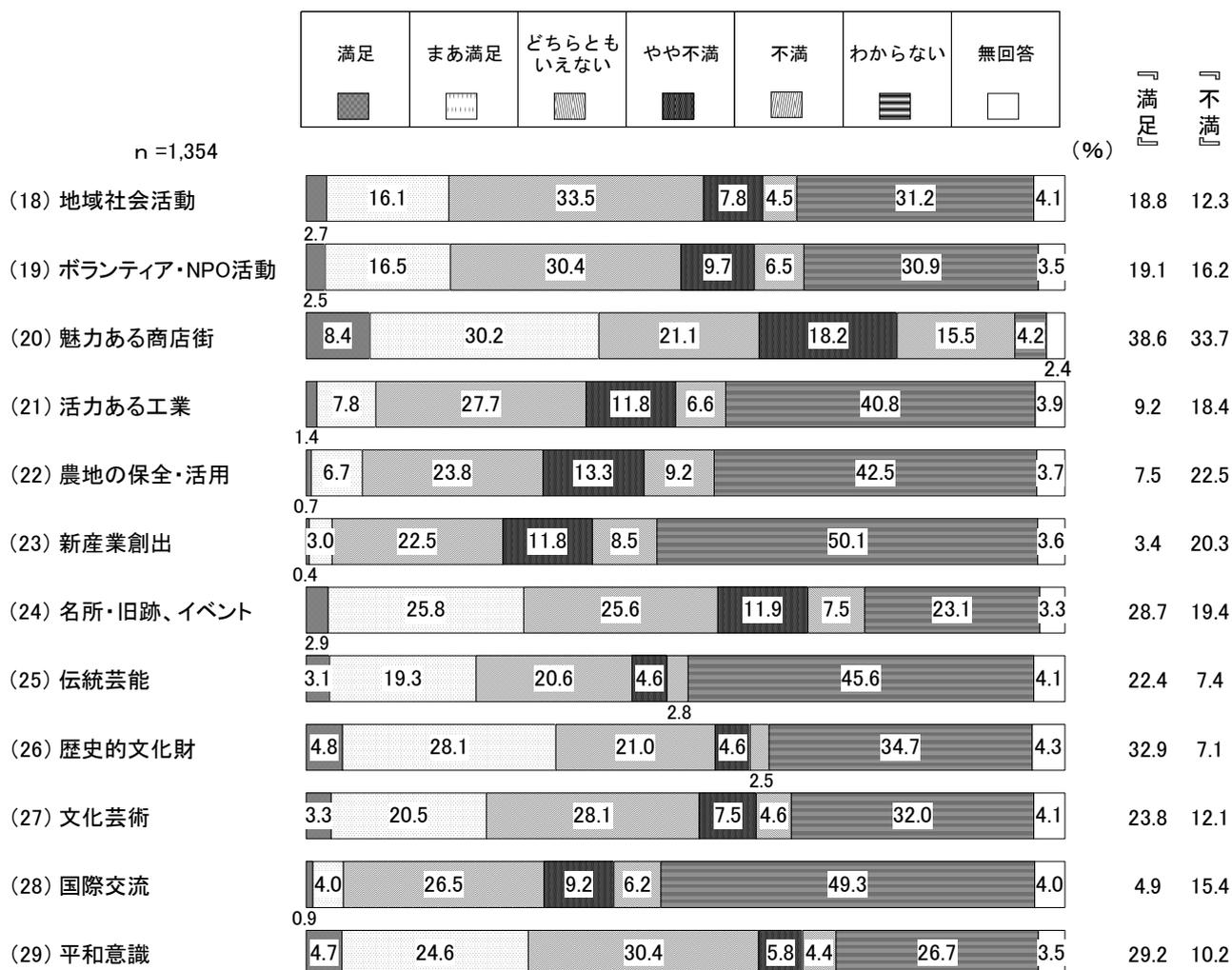
図3-1-1 施策の満足度（基本目標Ⅰ のびやかに生きがいをもって暮らすまち）



(イ) 基本目標Ⅱ ころ豊かなふれあいと活力のあるまち

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、“魅力ある商店街”（38.6%）で4割近くと最も高く、次いで“歴史的文化財”（32.9%）、“平和意識”（29.2%）、“名所・旧跡、イベント”（28.7%）などとなっています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、“魅力ある商店街”（33.7%）で3割を超えて最も高く、次いで“農地の保全・活用”（22.5%）、“新産業創出”（20.3%）などとなっています。（図3-1-2）

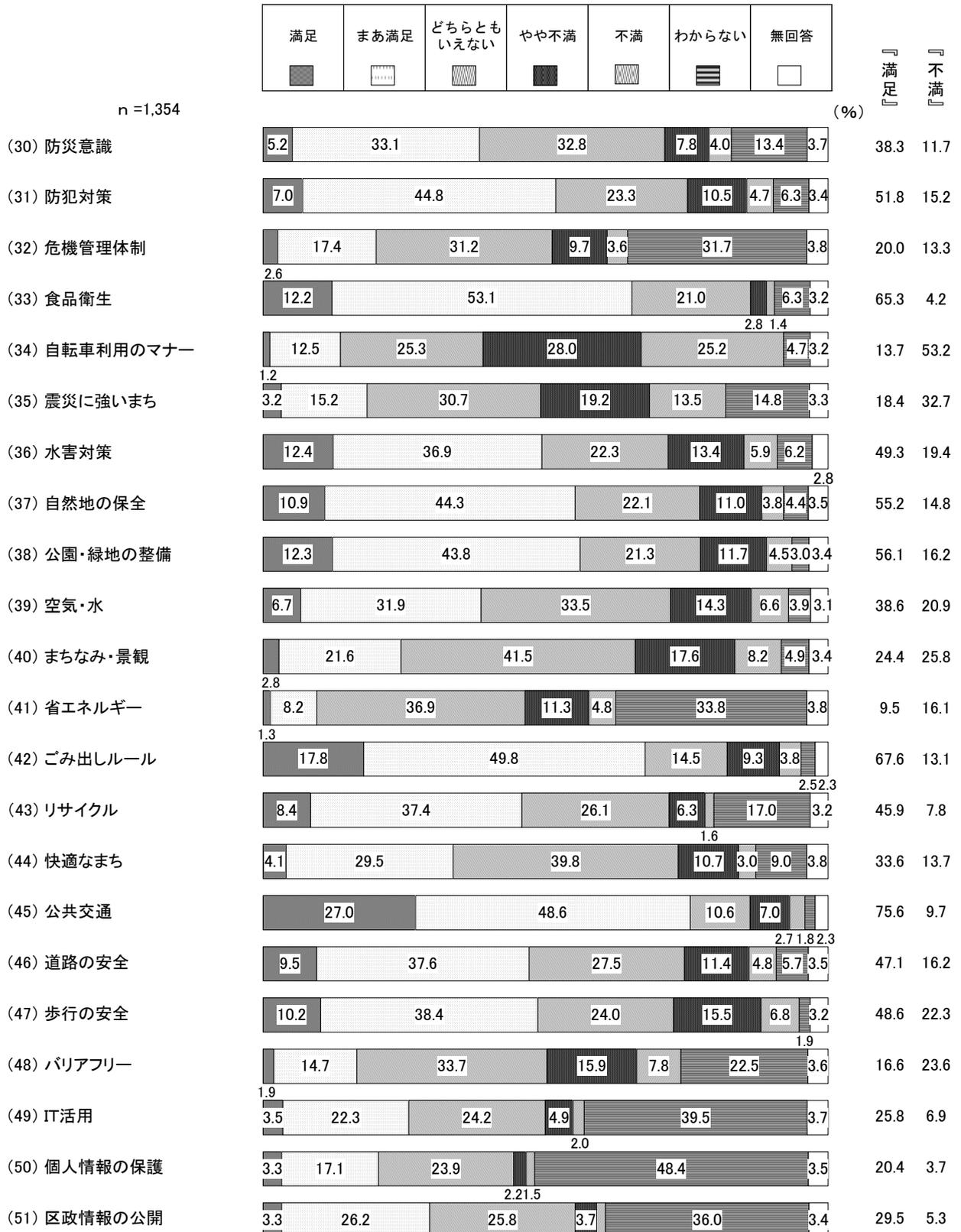
図3-1-2 施策の満足度（基本目標Ⅱ ころ豊かなふれあいと活力のあるまち）



(ウ) 基本目標Ⅲ 安全で安心なうるおいのあるまち

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、“公共交通”（75.6%）で7割半ばと最も高く、次いで“ごみ出しルール”（67.6%）、“食品衛生”（65.3%）、“公園・緑地の整備”（56.1%）、“自然地の保全”（55.2%）などとなっています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、“自転車利用のマナー”（53.2%）で5割を超えて最も高く、次いで“震災に強いまち”（32.7%）、“まちなみ・景観”（25.8%）などとなっています。（図3-1-3）

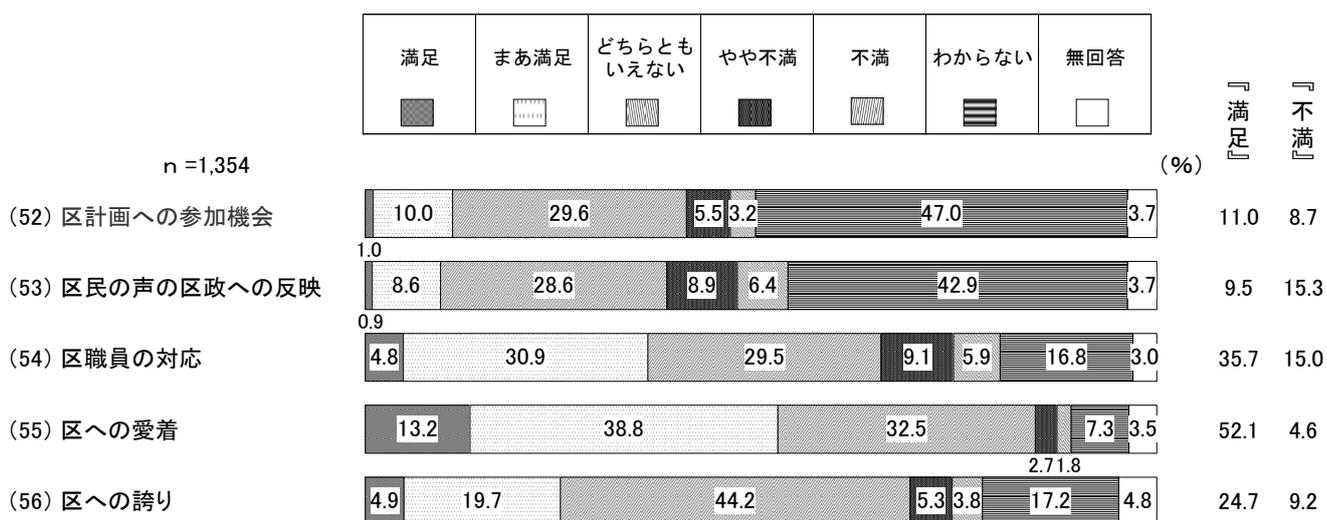
図3-1-3 施策の満足度（基本目標Ⅲ 安全で安心なうるおいのあるまち）



(エ) 計画推進のために

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、“区への愛着” (52.1%) で5割を超えて最も高く、次いで“区職員の対応” (35.7%)、“区への誇り” (24.7%) などとなっています。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、“区民の声の区政への反映” (15.3%) で1割半ばと最も高く、次いで“区職員の対応” (15.0%) などとなっています。(図3-1-4)

図3-1-4 施策の満足度 (計画推進のために)



56の施策項目の満足度について聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合計した値が高い順に並べると以下のとおりとなりました。

最も割合の高い施策項目は、「公共交通」（75.6%）で7割半ばとなっています。次いで「ごみ出しルール」（67.6%）、「食品衛生」（65.3%）、「公園・緑地の整備」（56.1%）などとなっています。（表3-1-2）

表3-1-2 施策の満足度 <<「満足」と「まあ満足」の合計値順>>

順位	施策項目	満足度 (%)	順位	施策項目	満足度 (%)
1	公共交通	75.6	29	地域連携による子育て	26.6
2	ごみ出しルール	67.6	30	I T活用	25.8
3	食品衛生	65.3	31	子どもの健全育成	25.6
4	公園・緑地の整備	56.1	32	区への誇り	24.7
5	自然地の保全	55.2	33	まちなみ・景観	24.4
6	区への愛着	52.1	34	文化芸術	23.8
7	防犯対策	51.8	35	伝統芸能	22.4
8	水害対策	49.3	36	個人情報保護	20.4
9	歩行の安全	48.6	37	危機管理体制	20.0
10	道路の安全	47.1	38	生涯学習	19.5
11	リサイクル	45.9	39	ボランティア・NPO活動	19.1
12	医療体制	45.8	40	地域社会活動	18.8
13	住居の広さ	39.8	41	男女平等の社会参画	18.5
14	魅力ある商店街	38.6	42	震災に強いまち	18.4
15	空気・水	38.6	43	障がい者福祉サービス	18.2
16	消費生活	38.5		労働環境	18.2
17	防災意識	38.3	45	高齢者の社会参加	18.1
18	健康づくり	35.8	46	バリアフリー	16.6
19	区職員の対応	35.7	47	自転車利用のマナー	13.7
20	子育て環境	34.9	48	家事・育児・介護の男女協力	13.0
21	スポーツ	33.7	49	区計画への参加機会	11.0
22	快適なまち	33.6	50	省エネルギー	9.5
23	歴史的文化財	32.9		区民の声の区政への反映	9.5
24	区政情報の公開	29.5	52	活力ある工業	9.2
25	平和意識	29.2	53	障がい者の社会参加	8.4
26	高齢者福祉サービス	29.1	54	農地の保全・活用	7.5
27	名所・旧跡、イベント	28.7	55	国際交流	4.9
28	児童福祉サービス	27.8	56	新産業創出	3.4

表 3-1-3 施策の満足度 &lt;&lt;全 56 項目&gt;&gt;

(%)

基本目標	施策項目	満足	まあ満足	いどちらもない	やや不満	不満	わからない	無回答
基本目標Ⅰ 暮らしやすか に生きがいをも って	(1) 子育て環境	4.2	30.7	17.1	5.3	2.2	34.9	5.6
	(2) 児童福祉サービス	3.4	24.4	21.1	5.8	2.0	38.6	4.6
	(3) 子どもの健全育成	3.3	22.2	27.5	6.5	1.7	33.6	5.1
	(4) 医療体制	8.6	37.1	22.7	8.9	4.0	15.0	3.5
	(5) 地域連携による子育て	3.8	22.8	25.6	5.9	2.4	35.3	4.1
	(6) 健康づくり	4.0	31.8	31.5	6.6	2.2	19.8	4.1
	(7) 生涯学習	2.3	17.2	36.2	6.1	2.9	31.0	4.3
	(8) スポーツ	3.8	29.8	30.0	7.8	2.8	21.5	4.3
	(9) 住居の広さ	8.4	31.4	23.9	18.5	8.8	5.8	3.2
	(10) 高齢者福祉サービス	4.3	24.8	24.4	7.5	3.1	32.5	3.3
	(11) 障がい者福祉サービス	3.3	14.9	23.3	5.9	3.4	45.6	3.5
	(12) 高齢者の社会参加	2.5	15.6	26.0	6.8	2.7	42.9	3.5
	(13) 障がい者の社会参加	1.2	7.2	23.8	6.3	2.7	54.2	4.7
	(14) 家事・育児・介護の男女協力	1.5	11.5	30.0	8.9	3.2	40.4	4.5
	(15) 男女平等の社会参画	1.6	16.8	30.1	6.1	2.8	38.4	4.2
	(16) 労働環境	1.6	16.6	32.1	8.9	4.9	31.5	4.3
	(17) 消費生活	5.4	33.1	26.7	4.2	1.0	26.4	3.1
基本目標Ⅱ と活力のある まち	(18) 地域社会活動	2.7	16.1	33.5	7.8	4.5	31.2	4.1
	(19) ボランティア・NPO活動	2.5	16.5	30.4	9.7	6.5	30.9	3.5
	(20) 魅力ある商店街	8.4	30.2	21.1	18.2	15.5	4.2	2.4
	(21) 活力ある工業	1.4	7.8	27.7	11.8	6.6	40.8	3.9
	(22) 農地の保全・活用	0.7	6.7	23.8	13.3	9.2	42.5	3.7
	(23) 新産業創出	0.4	3.0	22.5	11.8	8.5	50.1	3.6
	(24) 名所・旧跡、イベント	2.9	25.8	25.6	11.9	7.5	23.1	3.3
	(25) 伝統芸能	3.1	19.3	20.6	4.6	2.8	45.6	4.1
	(26) 歴史的文化財	4.8	28.1	21.0	4.6	2.5	34.7	4.3
	(27) 文化芸術	3.3	20.5	28.1	7.5	4.6	32.0	4.1
	(28) 国際交流	0.9	4.0	26.5	9.2	6.2	49.3	4.0
	(29) 平和意識	4.7	24.6	30.4	5.8	4.4	26.7	3.5
基本目標Ⅲ 安全で安心な るおいのある まち	(30) 防災意識	5.2	33.1	32.8	7.8	4.0	13.4	3.7
	(31) 防犯対策	7.0	44.8	23.3	10.5	4.7	6.3	3.4
	(32) 危機管理体制	2.6	17.4	31.2	9.7	3.6	31.7	3.8
	(33) 食品衛生	12.2	53.1	21.0	2.8	1.4	6.3	3.2
	(34) 自転車利用のマナー	1.2	12.5	25.3	28.0	25.2	4.7	3.2
	(35) 震災に強いまち	3.2	15.2	30.7	19.2	13.5	14.8	3.3
	(36) 水害対策	12.4	36.9	22.3	13.4	5.9	6.2	2.8
	(37) 自然地の保全	10.9	44.3	22.1	11.0	3.8	4.4	3.5
	(38) 公園・緑地の整備	12.3	43.8	21.3	11.7	4.5	3.0	3.4
	(39) 空気・水	6.7	31.9	33.5	14.3	6.6	3.9	3.1
	(40) まちなみ・景観	2.8	21.6	41.5	17.6	8.2	4.9	3.4
	(41) 省エネルギー	1.3	8.2	36.9	11.3	4.8	33.8	3.8
	(42) ごみ出しルール	17.8	49.8	14.5	9.3	3.8	2.5	2.3
	(43) リサイクル	8.4	37.4	26.1	6.3	1.6	17.0	3.2
	(44) 快適なまち	4.1	29.5	39.8	10.7	3.0	9.0	3.8
	(45) 公共交通	27.0	48.6	10.6	7.0	2.7	1.8	2.3
	(46) 道路の安全	9.5	37.6	27.5	11.4	4.8	5.7	3.5
	(47) 歩行の安全	10.2	38.4	24.0	15.5	6.8	1.9	3.2
	(48) バリアフリー	1.9	14.7	33.7	15.9	7.8	22.5	3.6
	(49) IT活用	3.5	22.3	24.2	4.9	2.0	39.5	3.7
	(50) 個人情報の保護	3.3	17.1	23.9	2.2	1.5	48.4	3.5
	(51) 区政情報の公開	3.3	26.2	25.8	3.7	1.6	36.0	3.4
計画推進 のため	(52) 区計画への参加機会	1.0	10.0	29.6	5.5	3.2	47.0	3.7
	(53) 区民の声の区政への反映	0.9	8.6	28.6	8.9	6.4	42.9	3.7
	(54) 区職員の対応	4.8	30.9	29.5	9.1	5.9	16.8	3.0
	(55) 区への愛着	13.2	38.8	32.5	2.7	1.8	7.3	3.5
	(56) 区への誇り	4.9	19.7	44.2	5.3	3.8	17.2	4.8

## ② 加重平均値でみる満足度

区民の各施策項目に対する満足度にスコア（得点）を与え、平均化することによって、全体の回答傾向における各施策項目の満足・不満足の評価と、その度合いを把握します。

### 加重平均値の算出方法

「満足」に“+2”、「まあ満足」に“+1”、「どちらでもない」に“0”、「やや不満」に“-1”、「不満」に“-2”を与え、加重平均値を算出しました。

$$\text{加重平均値} = \frac{(\text{満足という回答者数} \times \text{“+2”}) + (\text{まあ満足という回答者数} \times \text{“+1”}) + (\text{どちらでもないという回答者数} \times \text{“0”}) + (\text{やや不満という回答者数} \times \text{“-1”}) + (\text{不満という回答者数} \times \text{“-2”})}{(\text{回答者数} - (\text{わからないという回答者数} + \text{無回答者数}))}$$

したがって、“0”を基準に数値が大きいほど満足度が高く、数値が小さいほど不満度が高いことが示されます。最大値は“2”で、これは全回答が「満足」であったことを示し、最小値は“-2”で、これは全回答が「不満」であったことを示します。

全体の加重平均値をみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは41項目、『不満』（加重平均値が0より小さい）と評価されたものは14項目となっています。また、残り1項目は加重平均値が0となっています。（表3-1-4）

表3-1-4 加重平均値による施策の満足度《スコア順》

順位	施策項目	加重平均	順位	施策項目	加重平均
1	公共交通	0.94	30	区への誇り	0.21
2	食品衛生	0.79	31	空気・水	0.19
3	ごみ出しルール	0.72	32	障がい者福祉サービス	0.17
4	区への愛着	0.66	33	高齢者の社会参加	0.16
5	リサイクル	0.56		文化芸術	0.16
6	消費生活	0.53	35	生涯学習	0.15
7	自然地の保全	0.52		男女平等の社会参	0.15
8	公園・緑地の整備	0.51	37	住居の広さ	0.13
9	子育て環境	0.49	38	危機管理体制	0.09
10	医療体制	0.46	39	地域社会活動	0.07
	歴史的文化財	0.46	40	名所・旧跡、イベント	0.06
12	防犯対策	0.43	41	労働環境	0.02
	区政情報の公開	0.43	42	区計画への参加機会	0.00
14	水害対策	0.40	43	家事・育児・介護の男女協力	-0.01
15	道路の安全	0.39	44	ボランティア・NPO活動	-0.02
	個人情報の保護	0.39		魅力ある商店街	-0.02
17	児童福祉サービス	0.38	46	障がい者の社会参加	-0.05
	健康づくり	0.38	47	まちなみ・景観	-0.07
19	IT活用	0.36	48	省エネルギー	-0.16
20	防災意識	0.34	49	バリアフリー	-0.17
21	スポーツ	0.33	50	区民の声の区政への反映	-0.21
22	地域連携による子育て	0.32	51	活力ある工業	-0.26
	子どもの健全育成	0.31	52	震災に強いまち	-0.30
23	高齢者福祉サービス	0.31	53	国際交流	-0.34
	歩行の安全	0.31	54	農地の保全・活用	-0.44
26	伝統芸能	0.30	55	新産業創出	-0.54
27	平和意識	0.28	56	自転車利用のマナー	-0.69
28	快適なまち	0.24			
	区職員の対応	0.24			

### ③ 前回調査（平成23年度）との比較

#### (ア) 満足度（「満足」と「まあ満足」を合計した値）の比較

満足度の上位5項目をみると、順位に変動はあるものの、4項目が前回調査と同一項目になっており、「公共交通」、「ごみ出しルール」は引き続き上位2位となっています。

満足度の下位5項目をみると、「新産業創出」、「国際交流」は前回調査に引き続き上位2位となっています。（表3-1-5・6）

表3-1-5 満足度の高い施策項目（上位5項目）

順位	平成25年度	(%)	順位	平成23年度	(%)
1	公共交通	75.6	1	公共交通	74.4
2	ごみ出しルール	67.6	2	ごみ出しルール	69.1
3	食品衛生	65.3	3	区への愛着	61.2
4	公園・緑地の整備	56.1	4	食品衛生	60.2
5	自然地の保全	55.2	5	公園・緑地の整備	53.7

表3-1-6 満足度の低い施策項目（下位5項目）

順位	平成25年度	(%)	順位	平成23年度	(%)
1	新産業創出	3.4	1	新産業創出	4.1
2	国際交流	4.9	2	国際交流	6.2
3	農地の保全・活用	7.5	3	ボランティア・NPO活動	6.7
4	障がい者の社会参加	8.4	4	自転車利用のマナー	8.8
5	活力ある工業	9.2	5	障がい者の社会参加	10.2

前回調査と比較して特に満足度が上がった施策項目は、「ボランティア・NPO活動」（12.4ポイント増）で10ポイント以上増加しています。一方、満足度が最も下がった施策項目は、「区への愛着」で9.1ポイント減少しています。（表3-1-7・8）

表3-1-7 満足度が上がった施策項目（上位5項目）

順位	施策項目	前回との変化	平成25年度	平成23年度
1	ボランティア・NPO活動	12.4ポイント	19.1%	6.7%
2	医療体制	8.5ポイント	45.8%	37.3%
3	消費生活	7.6ポイント	38.5%	30.9%
4	歩行の安全	7.0ポイント	48.6%	41.6%
5	スポーツ	6.8ポイント	33.7%	26.9%

表3-1-8 満足度が下がった施策項目（下位5項目）

順位	施策項目	前回との変化	平成25年度	平成23年度
1	区への愛着	-9.1ポイント	52.1%	61.2%
2	家事・育児・介護の男女協力	-7.9ポイント	13.0%	20.9%
3	IT活用	-6.1ポイント	25.8%	31.9%
4	魅力ある商店街	-5.5ポイント	38.6%	44.1%
5	区への誇り	-5.3ポイント	24.7%	30.0%

### (イ) 加重平均値による満足度の比較

加重平均値が高い施策項目について上位5項目をみると、順位に変動はあるものの、5項目すべて同一の項目となっており、「公共交通」は引き続き1位となっています。

加重平均値が低い施策項目について下位5項目をみると、順位に変動はあるものの、同率を含め5項目すべて同一の項目となっており、「自転車利用のマナー」は改善はみられるものの、引き続き1位となっています。(表3-1-9・10)

表3-1-9 満足度の高い施策項目(上位5項目)

順位	平成25年度	加重平均	順位	平成23年度	加重平均
1	公共交通	0.94	1	公共交通	0.91
2	食品衛生	0.79	2	区への愛着	0.82
3	ごみ出しのルール	0.72	3	ごみ出しのルール	0.73
4	区への愛着	0.66	4	食品衛生	0.70
5	リサイクル	0.56	5	リサイクル	0.57

表3-1-10 満足度の低い施策項目(下位5項目)

順位	平成25年度	加重平均	順位	平成23年度	加重平均
1	自転車利用のマナー	-0.69	1	自転車利用のマナー	-0.90
2	新産業創出	-0.54	2	震災に強いまち	-0.45
3	農地の保全・活用	-0.44	3	新産業創出	-0.30
4	国際交流	-0.34	4	国際交流	-0.26
5	震災に強いまち	-0.30	5	農地の保全・活用 バリアフリー	-0.23

前回調査と比較して、最も加重平均値が上がった施策項目は、「医療体制」で0.28ポイント増加しています。一方、加重平均値が下がった施策項目は、「新産業創出」(0.24ポイント減)、「農地の保全・活用」(0.21ポイント減)などとなっています。(表3-1-11・12)

表3-1-11 満足度が上がった施策項目(上位5項目)

順位	施策項目	前回との変化	平成25年度	平成23年度
1	医療体制	0.28ポイント	0.46	0.18
2	自転車利用のマナー	0.21ポイント	-0.69	-0.90
3	水害対策	0.19ポイント	0.40	0.21
4	歩行の安全	0.17ポイント	0.31	0.14
5	労働環境 道路の安全	0.16ポイント	0.02 0.39	-0.14 0.23

表3-1-12 満足度が下がった施策項目(下位5項目)

順位	施策項目	前回との変化	平成25年度	平成23年度
1	新産業創出	-0.24ポイント	-0.54	-0.30
2	農地の保全・活用	-0.21ポイント	-0.44	-0.23
3	名所・旧跡、イベント	-0.17ポイント	0.06	0.23
4	区への愛着	-0.16ポイント	0.66	0.82
5	家事・育児・介護の男女協力	-0.12ポイント	-0.01	0.11

#### ④ 相対満足度と改善度からみた行政ニーズ

56の施策項目が前回の調査からどれだけ改善されているかを評価し、今回の満足度調査の結果と照らし合わせることで、区民の行政ニーズを整理します。

満足と不満足との開き具合を示す相対満足度と改善度との算出方法は以下のとおりです。

相対満足度と改善度の算出方法

※ 相対満足度：（「満足」＋「まあ満足」）と（「不満」＋「やや不満」）との差

※ 改善度：平成25年度と平成23年度との満足度の加重平均値の差

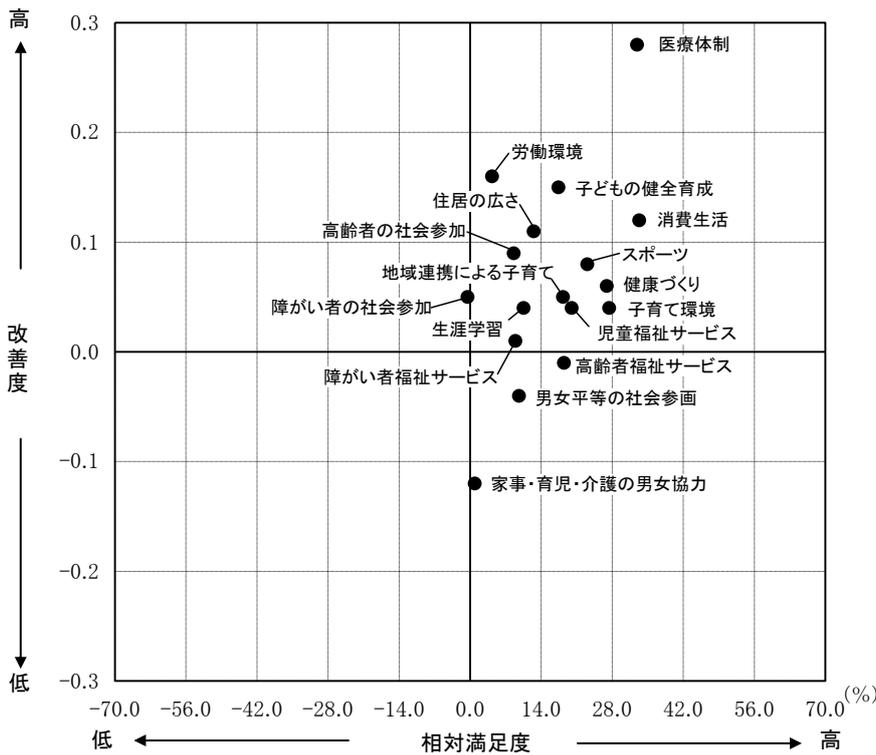
この算出方法に基づく結果は下表のとおりです。また、基本目標ごとの相対満足度と改善度の散布図は次頁以降のとおりです。（表3-1-13）

表3-1-13 施策の満足度と改善度

項目	相対満足度			改善度			項目	相対満足度			改善度		
	相対満足度	～満足	～不満	改善度	25年度	23年度		相対満足度	～満足	～不満	改善度	25年度	23年度
子育て環境	27.40	34.90	7.50	0.04	0.49	0.45	防災意識	26.60	38.30	11.70	-0.05	0.34	0.39
児童福祉サービス	20.00	27.80	7.80	0.04	0.38	0.34	防犯対策	36.60	51.80	15.20	0.06	0.43	0.37
子どもの健全育成	17.40	25.60	8.20	0.15	0.31	0.16	危機管理体制	6.70	20.00	13.30	0.02	0.09	0.07
医療体制	32.90	45.80	12.90	0.28	0.46	0.18	食品衛生	61.10	65.30	4.20	0.09	0.79	0.70
地域連携による子育て	18.30	26.60	8.30	0.05	0.32	0.27	自転車利用のマナー	-39.50	13.70	53.20	0.21	-0.69	-0.90
健康づくり	26.90	35.80	8.90	0.06	0.38	0.32	震災に強いまち	-14.30	18.40	32.70	0.15	-0.30	-0.45
生涯学習	10.50	19.50	9.00	0.04	0.15	0.11	水害対策	29.90	49.30	19.40	0.19	0.40	0.21
スポーツ	23.10	33.70	10.60	0.08	0.33	0.25	自然地の保全	40.40	55.20	14.80	0.15	0.52	0.37
住居の広さ	12.50	39.80	27.30	0.11	0.13	0.02	公園・緑地の整備	39.90	56.10	16.20	0.09	0.51	0.42
高齢者福祉サービス	18.50	29.10	10.60	-0.01	0.31	0.32	空気・水	17.70	38.60	20.90	0.05	0.19	0.14
障がい者福祉サービス	8.90	18.20	9.30	0.01	0.17	0.16	まちなみ・景観	-1.40	24.40	25.80	0.06	-0.07	-0.13
高齢者の社会参加	8.60	18.10	9.50	0.09	0.16	0.07	省エネルギー	-6.60	9.50	16.10	-0.05	-0.16	-0.11
障がい者の社会参加	-0.50	8.40	8.90	0.05	-0.05	-0.10	ごみ出しルール	54.50	67.60	13.10	-0.01	0.72	0.73
家事・育児・介護の男女協力	0.90	13.00	12.10	-0.12	-0.01	0.11	リサイクル	38.10	45.90	7.80	-0.01	0.56	0.57
男女平等の社会参画	9.60	18.50	8.90	-0.04	0.15	0.19	快適なまち	19.90	33.60	13.70	0.12	0.24	0.12
労働環境	4.30	18.20	13.90	0.16	0.02	-0.14	公共交通	65.90	75.60	9.70	0.03	0.94	0.91
消費生活	33.30	38.50	5.20	0.12	0.53	0.41	道路の安全	30.90	47.10	16.20	0.16	0.39	0.23
地域社会活動	6.50	18.80	12.30	0.11	0.07	-0.04	歩行の安全	26.30	48.60	22.30	0.17	0.31	0.14
ボランティア・NPO活動	2.90	19.10	16.20	0.07	-0.02	-0.09	バリアフリー	-7.00	16.60	23.60	0.06	-0.17	-0.23
魅力ある商店街	4.90	38.60	33.70	-0.08	-0.02	0.06	IT活用	18.90	25.80	6.90	0.03	0.36	0.33
活力ある工業	-9.20	9.20	18.40	-0.06	-0.26	-0.20	個人情報の保護	16.70	20.40	3.70	-0.04	0.39	0.43
農地の保全・活用	-15.00	7.50	22.50	-0.21	-0.44	-0.23	区政情報の公開	24.20	29.50	5.30	0.03	0.43	0.40
新産業創出	-16.90	3.40	20.30	-0.24	-0.54	-0.30	区計画への参加機会	2.30	11.00	8.70	0.03	0.00	-0.03
名所・旧跡、イベント	9.30	28.70	19.40	-0.17	0.06	0.23	区民の声の区政への反映	-5.80	9.50	15.30	-0.01	-0.21	-0.20
伝統芸能	15.00	22.40	7.40	0.09	0.30	0.21	区職員の対応	20.70	35.70	15.00	0.00	0.24	0.24
歴史的文化財	25.80	32.90	7.10	0.11	0.46	0.35	区への愛着	47.50	52.10	4.60	-0.16	0.66	0.82
文化芸術	11.70	23.80	12.10	0.09	0.16	0.07	区への誇り	15.50	24.70	9.20	-0.06	0.21	0.27
国際交流	-10.50	4.90	15.40	-0.08	-0.34	-0.26							
平和意識	19.00	29.20	10.20	-0.08	0.28	0.36							

■ は相対満足度・改善度のそれぞれ上位5項目  
 □ は相対満足度・改善度のそれぞれ下位5項目

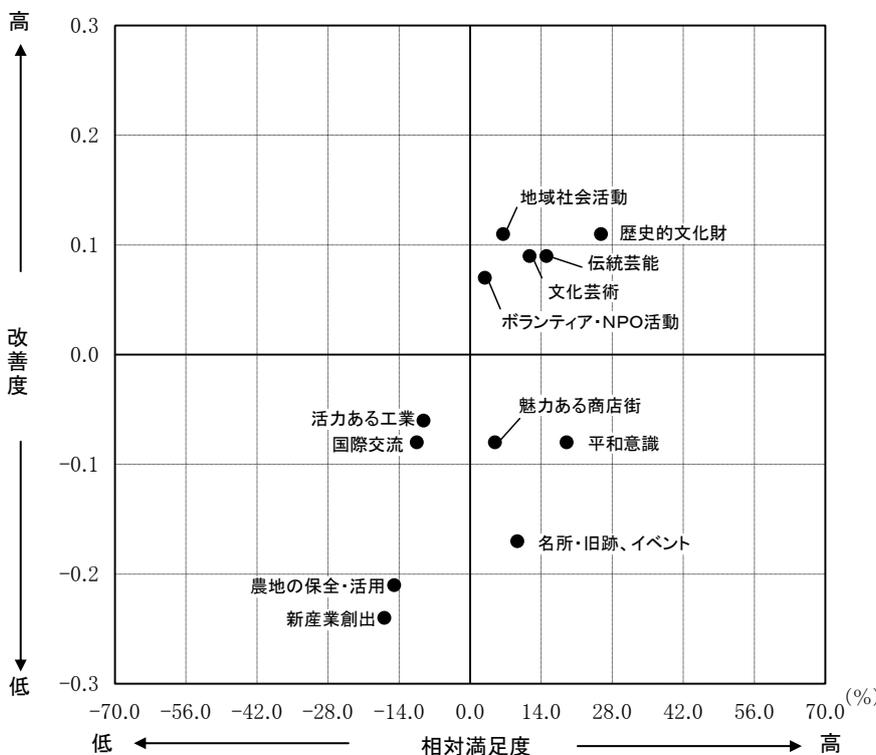
図3-1-5 施策の満足度と改善度 「基本目標Ⅰ のびやかに生きがいをもって暮らすまち」



17施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成23年度より改善した項目」に「医療体制」など13項目が入っています。図左上「相対満足度は低いが、平成23年度より改善した項目」には「障がい者の社会参加」が入り、図右下「相対満足度は高いが、平成23年度より改善していない項目」には「家事・育児・介護の男女協力」など3項目が入っています。

(図3-1-5)

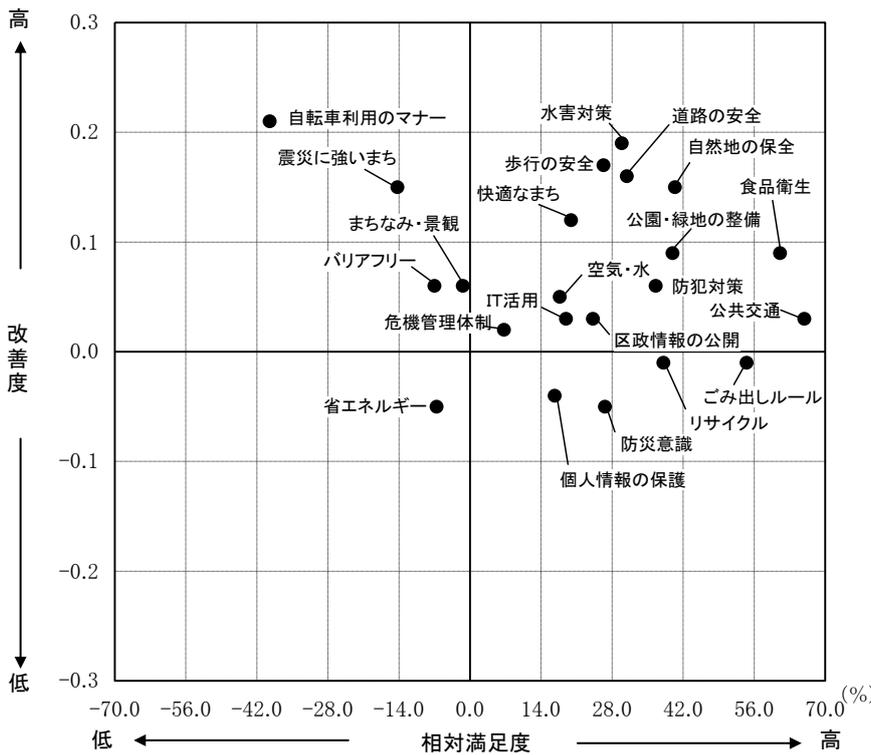
図3-1-6 施策の満足度と改善度 「基本目標Ⅱ ころ豊かなふれあいと活力のあるまち」



12施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成23年度より改善した項目」に「歴史的文化財」など5項目が入っています。図左下「相対満足度は低く、平成23年度より改善していない項目」には「新産業創出」など4項目が入り、図右下「相対満足度は高いが、平成23年度より改善していない項目」には「名所・旧跡、イベント」など3項目が入っています。

(図3-1-6)

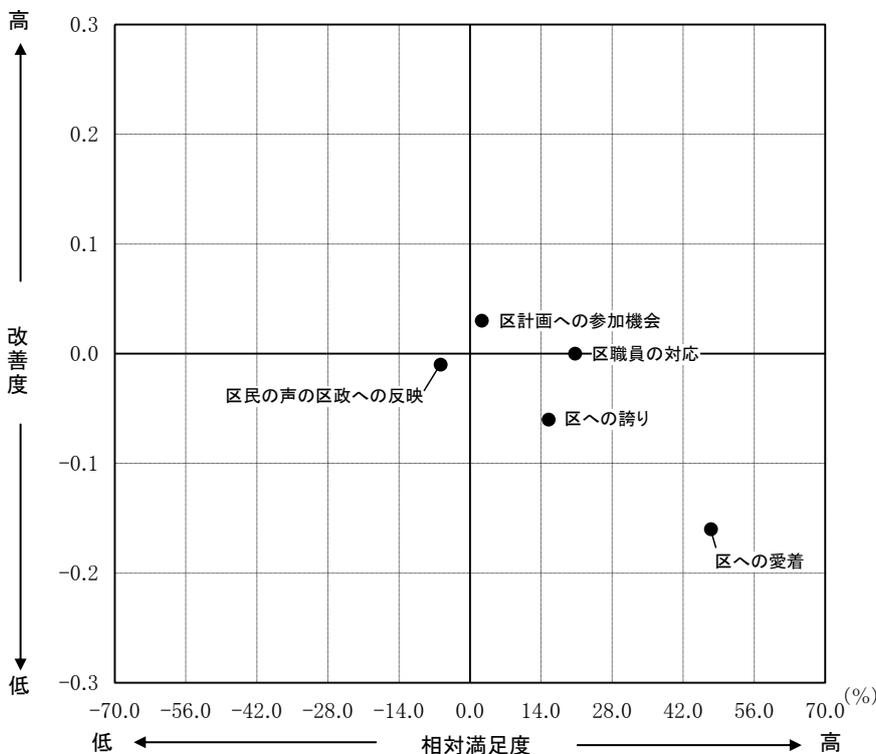
図 3-1-7 施策の満足度と改善度 「基本目標Ⅲ 安全で安心なうるおいのあるまち」



22施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成23年度より改善した項目」に「水害対策」など13項目が入っています。図左上「相対満足度は低いが、平成23年度より改善した項目」には「自転車利用のマナー」など4項目が入り、図右下「相対満足度は高いが、平成23年度より改善していない項目」には「防災意識」など4項目が入っています。また、図左下「相対満足度は低く、平成23年度より改善していない項目」には「省エネルギー」が入っています。

(図 3-1-7)

図 3-1-8 施策の満足度と改善度 「計画推進のために」



5施策項目のうち、図右上「相対満足度は高く、平成23年度より改善した項目」に「区計画への参加機会」が入り、図左下「相対満足度は低く、平成23年度より改善していない項目」には「区民の声の区政への反映」が入っています。また、図右下「相対満足度は高いが、平成23年度より改善していない項目」には「区への誇り」「区への愛着」の2項目が入っています。(図 3-1-8)

## ⑤ 加重平均値でみる属性別の施策の満足度

### (ア) 性別

性別でみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは、女性では43項目、男性では42項目となっています。

また、「障がい者の社会参加」は男性が女性より0.15ポイント、「震災に強いまち」と「区職員の対応」は男性が女性より0.11ポイント、それぞれ上回っています。一方、「省エネルギー」は女性が男性より0.18ポイント、「区計画への参加機会」は女性が男性より0.16ポイント、それぞれ上回っています。（表3-1-14）

表3-1-14 加重平均値でみる属性別の施策の満足度（性別）

	全 体	男 性	女 性
n	1,354	534	793
(1) 子育て環境	0.49	0.47	0.53
(2) 児童福祉サービス	0.38	0.38	0.40
(3) 子どもの健全育成	0.31	0.30	0.32
(4) 医療体制	0.46	0.51	0.44
(5) 地域連携による子育て	0.32	0.26	0.38
(6) 健康づくり	0.38	0.35	0.40
(7) 生涯学習	0.15	0.11	0.19
(8) スポーツ	0.33	0.30	0.34
(9) 住居の広さ	0.13	0.07	0.18
(10) 高齢者福祉サービス	0.31	0.25	0.34
(11) 障害者福祉サービス	0.17	0.21	0.15
(12) 高齢者の社会参加	0.16	0.15	0.18
(13) 障がい者の社会参加	-0.05	0.05	-0.10
(14) 家事・育児・介護の男女協力	-0.01	0.05	-0.04
(15) 男女平等の社会参	0.15	0.18	0.14
(16) 労働環境	0.02	0.04	0.01
(17) 消費生活	0.53	0.55	0.53
(18) 地域社会活動	0.07	0.06	0.08
(19) ボランティア・NPO活動	-0.02	-0.01	-0.02
(20) 魅力ある商店街	-0.02	-0.06	0.01
(21) 活力ある工業	-0.26	-0.33	-0.21
(22) 農地の保全・活用	-0.44	-0.45	-0.43
(23) 新産業創出	-0.54	-0.59	-0.50
(24) 名所・旧跡、イベント	0.06	-0.02	0.13
(25) 伝統芸能	0.30	0.23	0.35
(26) 歴史的文化財	0.46	0.39	0.51
(27) 文化芸術	0.16	0.08	0.23
(28) 国際交流	-0.34	-0.42	-0.28

	全 体	男 性	女 性
n	1,354	534	793
(29) 平和意識	0.28	0.24	0.30
(30) 防災意識	0.34	0.33	0.33
(31) 防犯対策	0.43	0.45	0.41
(32) 危機管理体制	0.09	0.09	0.09
(33) 食品衛生	0.79	0.75	0.82
(34) 自転車利用のマナー	-0.69	-0.75	-0.64
(35) 震災に強いまち	-0.30	-0.24	-0.35
(36) 水害対策	0.40	0.41	0.39
(37) 自然地の保全	0.52	0.53	0.51
(38) 公園・緑地の整備	0.51	0.52	0.49
(39) 空気・水	0.19	0.20	0.18
(40) まちなみ・景観	-0.07	-0.08	-0.07
(41) 省エネルギー	-0.16	-0.26	-0.08
(42) ごみ出しルール	0.72	0.68	0.75
(43) リサイクル	0.56	0.55	0.58
(44) 快適なまち	0.24	0.23	0.25
(45) 公共交通	0.94	0.93	0.95
(46) 道路の安全	0.39	0.40	0.39
(47) 歩行の安全	0.31	0.28	0.33
(48) バリアフリー	-0.17	-0.20	-0.16
(49) IT活用	0.36	0.28	0.42
(50) 個人情報の保護	0.39	0.31	0.44
(51) 区政情報の公開	0.43	0.34	0.48
(52) 区計画への参加機会	0.00	-0.09	0.07
(53) 区民の声の区政への反映	-0.21	-0.24	-0.19
(54) 区職員の対応	0.24	0.31	0.20
(55) 区への愛着	0.66	0.63	0.68
(56) 区への誇り	0.21	0.20	0.23

※ 白抜き は異性を0.1以上上回っているもの

(イ) 年代別

年代別でみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは70歳以上（48項目）が最も多く、次いで60歳代（44項目）、40歳代（40項目）などとなっています。

また、「伝統芸能」は70歳以上で全体より0.36ポイント、「住居の広さ」は70歳以上で全体より0.35ポイント、それぞれ上回っています。一方、「伝統芸能」は20歳代で全体より0.32ポイント、「空気・水」は30歳代で全体より0.32ポイント、それぞれ下回っています。（表3-1-15）

表3-1-15 加重平均値でみる属性別の施策の満足度（年代別）

	全 体	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以 上
n	1,354	115	200	261	211	251	299
(1) 子育て環境	0.49	0.36	0.47	0.62	0.41	0.54	0.42
(2) 児童福祉サービス	0.38	0.21	0.42	0.39	0.34	0.48	0.34
(3) 子どもの健全育成	0.31	0.18	0.37	0.34	0.17	0.33	0.38
(4) 医療体制	0.46	0.41	0.38	0.32	0.36	0.65	0.59
(5) 地域連携による子育て	0.32	0.25	0.30	0.45	<b>0.10</b>	0.38	0.36
(6) 健康づくり	0.38	<b>0.16</b>	0.35	0.33	0.27	0.46	0.56
(7) 生涯学習	0.15	0.00	0.02	0.06	0.03	0.27	<b>0.44</b>
(8) スポーツ	0.33	0.30	0.22	0.27	0.27	0.41	0.49
(9) 住居の広さ	0.13	0.04	<b>-0.18</b>	<b>-0.09</b>	0.07	<b>0.34</b>	<b>0.48</b>
(10) 高齢者福祉サービス	0.31	0.27	0.26	0.28	<b>0.10</b>	0.41	0.39
(11) 障害者福祉サービス	0.17	<b>0.38</b>	0.15	0.12	<b>-0.03</b>	0.27	0.26
(12) 高齢者の社会参加	0.16	<b>0.38</b>	<b>0.38</b>	0.28	0.02	-0.01	0.12
(13) 障がい者の社会参加	-0.05	<b>0.16</b>	0.09	-0.03	-0.15	-0.11	-0.07
(14) 家事・育児・介護の男女協力	-0.01	-0.04	0.12	-0.04	<b>-0.21</b>	0.06	0.01
(15) 男女平等の社会参	0.15	0.32	0.18	0.04	-0.03	0.23	0.26
(16) 労働環境	0.02	0.09	0.03	0.03	-0.07	0.01	0.06
(17) 消費生活	0.53	<b>0.73</b>	0.53	0.49	0.39	0.52	0.64
(18) 地域社会活動	0.07	-0.11	-0.06	0.17	-0.06	0.10	0.23
(19) ボランティア・NPO活動	-0.02	<b>-0.32</b>	-0.17	0.04	-0.10	0.04	<b>0.18</b>
(20) 魅力ある商店街	-0.02	0.13	-0.02	-0.14	-0.21	-0.01	0.15
(21) 活力ある工業	-0.26	-0.17	-0.28	-0.18	-0.39	-0.32	-0.23
(22) 農地の保全・活用	-0.44	-0.63	-0.51	-0.38	-0.52	-0.44	-0.28
(23) 新産業創出	-0.54	-0.68	-0.63	-0.48	-0.66	-0.49	-0.42
(24) 名所・旧跡、イベント	0.06	-0.12	<b>-0.14</b>	0.12	-0.04	0.21	0.23
(25) 伝統芸能	0.30	<b>-0.02</b>	<b>0.00</b>	0.24	0.20	0.44	<b>0.66</b>
(26) 歴史的文化財	0.46	<b>0.17</b>	<b>0.17</b>	0.50	0.38	0.60	<b>0.68</b>
(27) 文化芸術	0.16	-0.06	-0.06	0.21	0.05	0.22	<b>0.40</b>
(28) 国際交流	-0.34	<b>-0.55</b>	-0.50	-0.34	-0.37	-0.22	<b>-0.12</b>
(29) 平和意識	0.28	0.11	0.11	0.11	0.12	0.45	<b>0.56</b>
(30) 防災意識	0.34	0.17	0.20	0.27	0.28	0.41	<b>0.55</b>
(31) 防犯対策	0.43	0.43	<b>0.15</b>	0.24	0.45	0.57	<b>0.70</b>
(32) 危機管理体制	0.09	-0.01	<b>-0.14</b>	-0.01	0.07	0.20	<b>0.35</b>
(33) 食品衛生	0.79	<b>1.05</b>	0.68	0.78	0.76	0.79	0.82
(34) 自転車利用のマナー	-0.69	-0.63	-0.50	-0.58	-0.77	-0.84	-0.75
(35) 震災に強いまち	-0.30	-0.28	-0.36	-0.25	-0.42	-0.25	-0.24
(36) 水害対策	0.40	0.49	0.21	0.26	0.28	0.54	<b>0.62</b>
(37) 自然地の保全	0.52	0.57	0.53	0.46	0.46	0.57	0.53
(38) 公園・緑地の整備	0.51	0.50	0.54	0.44	0.44	0.54	0.56
(39) 空気・水	0.19	<b>-0.04</b>	<b>-0.13</b>	0.07	0.26	0.33	<b>0.48</b>
(40) まちなみ・景観	-0.07	<b>-0.36</b>	<b>-0.27</b>	-0.07	-0.10	0.03	0.10
(41) 省エネルギー	-0.16	-0.18	-0.24	-0.17	-0.23	-0.13	-0.03
(42) ごみ出しルール	0.72	0.80	0.68	0.59	0.66	0.68	<b>0.92</b>
(43) リサイクル	0.56	0.55	<b>0.34</b>	0.42	0.54	0.75	0.74
(44) 快適なまち	0.24	0.26	0.19	0.21	0.19	0.28	0.32
(45) 公共交通	0.94	0.96	0.75	0.93	0.87	1.01	1.08
(46) 道路の安全	0.39	0.47	0.36	0.41	0.31	0.29	0.52
(47) 歩行の安全	0.31	0.48	<b>0.10</b>	0.25	0.23	0.33	0.50
(48) バリアフリー	-0.17	-0.08	-0.25	-0.23	-0.26	-0.22	<b>0.03</b>
(49) IT活用	0.36	0.37	0.23	0.38	0.37	0.47	0.33
(50) 個人情報保護	0.39	<b>0.59</b>	0.45	0.39	<b>0.18</b>	0.47	0.34
(51) 区政情報の公開	0.43	0.38	0.35	0.34	0.30	0.52	0.60
(52) 区計画への参加機会	0.00	-0.19	-0.06	-0.01	-0.17	0.06	<b>0.23</b>
(53) 区民の声の区政への反映	-0.21	-0.30	-0.34	-0.22	-0.39	-0.17	<b>0.02</b>
(54) 区職員の対応	0.24	<b>-0.05</b>	0.10	0.09	0.15	0.36	<b>0.55</b>
(55) 区への愛着	0.66	0.54	0.66	0.61	0.52	0.74	0.79
(56) 区への誇り	0.21	<b>-0.08</b>	0.14	0.18	0.12	0.31	<b>0.44</b>

※ **太字** は全体を0.2以上上回っているもの  
 ※ **白抜き** は全体を0.2以下下回っているもの

(ウ) 地域別

地域別でみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは赤塚地域と高島平地域（ともに43項目）が最も多く、次いで常盤台地域と志村地域（ともに42項目）、板橋地域（40項目）となっています。

また、「魅力ある商店街」は板橋地域で全体より0.60ポイント、「公園・緑地の整備」は高島平地域で全体より0.24ポイント、それぞれ上回っています。一方、「魅力ある商店街」は志村地域で全体より0.36ポイント、「水害対策」は高島平地域で全体より0.34ポイント、それぞれ下回っています。（表3-1-16）

表3-1-16 加重平均値でみる属性別の施策の満足度（地域別）

	全 体	板 橋 地 域	常 盤 台 地 域	志 村 地 域	赤 塚 地 域	高 島 平 地 域	わ か ら な い
n	1,354	330	191	291	260	253	11
(1) 子育て環境	0.49	0.44	0.48	0.44	0.59	0.54	0.50
(2) 児童福祉サービス	0.38	0.32	0.32	0.37	0.44	0.45	0.60
(3) 子どもの健全育成	0.31	0.30	0.36	0.20	0.35	0.38	0.29
(4) 医療体制	0.46	0.49	0.60	0.46	0.35	0.45	0.50
(5) 地域連携による子育て	0.32	0.24	0.43	0.33	0.30	0.37	0.60
(6) 健康づくり	0.38	0.22	0.42	0.34	0.48	0.48	0.33
(7) 生涯学習	0.15	0.06	0.20	0.04	0.26	0.25	0.33
(8) スポーツ	0.33	0.26	0.36	0.25	0.40	0.43	0.13
(9) 住居の広さ	0.13	0.03	0.21	0.18	0.12	0.16	0.10
(10) 高齢者福祉サービス	0.31	0.18	0.40	0.28	0.36	0.36	0.44
(11) 障害者福祉サービス	0.17	0.10	0.20	0.06	0.24	0.30	0.43
(12) 高齢者の社会参加	0.16	0.08	0.07	0.23	0.15	0.24	0.60
(13) 障がい者の社会参加	-0.05	-0.07	-0.06	-0.07	0.00	-0.02	-0.20
(14) 家事・育児・介護の男女協力	-0.01	0.01	0.02	0.02	-0.03	-0.05	-0.25
(15) 男女平等の社会参	0.15	0.13	0.21	0.12	0.23	0.08	-0.14
(16) 労働環境	0.02	-0.11	0.05	0.04	0.10	0.04	-0.20
(17) 消費生活	0.53	0.56	0.65	0.52	0.54	0.47	0.33
(18) 地域社会活動	0.07	0.05	0.09	0.09	0.04	0.11	-0.25
(19) ボランティア・NPO活動	-0.02	-0.09	0.03	0.01	-0.05	0.09	-0.43
(20) 魅力ある商店街	-0.02	0.58	-0.03	-0.38	-0.11	-0.24	-0.45
(21) 活力ある工業	-0.26	-0.17	-0.33	-0.26	-0.28	-0.29	0.13
(22) 農地の保全・活用	-0.44	-0.52	-0.50	-0.48	-0.29	-0.45	0.14
(23) 新産業創出	-0.54	-0.54	-0.52	-0.58	-0.45	-0.61	-0.17
(24) 名所・旧跡、イベント	0.06	0.13	-0.06	-0.04	0.19	0.06	0.22
(25) 伝統芸能	0.30	0.22	0.15	0.27	0.52	0.23	0.33
(26) 歴史的文化財	0.46	0.37	0.35	0.40	0.69	0.45	0.33
(27) 文化芸術	0.16	0.07	0.18	0.13	0.28	0.16	0.11
(28) 国際交流	-0.34	-0.38	-0.39	-0.23	-0.32	-0.39	-0.38
(29) 平和意識	0.28	0.22	0.32	0.27	0.34	0.23	0.70
(30) 防災意識	0.34	0.25	0.39	0.41	0.33	0.33	0.50
(31) 防犯対策	0.43	0.44	0.44	0.47	0.37	0.42	0.50
(32) 危機管理体制	0.09	-0.04	0.11	0.23	0.10	0.10	-0.11
(33) 食品衛生	0.79	0.75	0.89	0.82	0.85	0.70	0.82
(34) 自転車利用のマナー	-0.69	-0.71	-0.63	-0.66	-0.66	-0.76	-0.70
(35) 震災に強いまち	-0.30	-0.50	-0.32	-0.19	-0.20	-0.26	-0.50
(36) 水害対策	0.40	0.29	0.56	0.57	0.59	0.06	-0.30
(37) 自然地の保全	0.52	0.19	0.64	0.45	0.68	0.73	0.91
(38) 公園・緑地の整備	0.51	0.20	0.70	0.43	0.61	0.75	0.55
(39) 空気・水	0.19	-0.05	0.35	0.07	0.40	0.31	0.36
(40) まちなみ・景観	-0.07	-0.25	-0.03	-0.17	0.04	0.13	-0.10
(41) 省エネルギー	-0.16	-0.29	-0.18	-0.21	-0.04	-0.04	-0.29
(42) ごみ出しルール	0.72	0.65	0.73	0.79	0.74	0.71	0.36
(43) リサイクル	0.56	0.56	0.63	0.53	0.55	0.57	0.44
(44) 快適なまち	0.24	0.22	0.22	0.20	0.36	0.25	-0.30
(45) 公共交通	0.94	1.04	0.96	0.95	0.97	0.85	0.18
(46) 道路の安全	0.39	0.38	0.47	0.30	0.46	0.39	0.50
(47) 歩行の安全	0.31	0.33	0.34	0.17	0.40	0.34	0.80
(48) バリアフリー	-0.17	-0.21	-0.21	-0.22	-0.14	-0.09	-0.11
(49) IT活用	0.36	0.29	0.28	0.37	0.48	0.36	0.38
(50) 個人情報の保護	0.39	0.34	0.45	0.36	0.43	0.37	0.43
(51) 区政情報の公開	0.43	0.30	0.50	0.43	0.48	0.49	0.40
(52) 区計画への参加機会	0.00	-0.06	0.00	-0.02	0.11	-0.01	0.17
(53) 区民の声の区政への反映	-0.21	-0.29	-0.19	-0.22	-0.11	-0.20	-0.33
(54) 区職員の対応	0.24	0.23	0.23	0.20	0.29	0.29	0.25
(55) 区への愛着	0.66	0.59	0.59	0.67	0.75	0.74	0.33
(56) 区への誇り	0.21	0.21	0.19	0.19	0.24	0.27	-0.13

※ 太字 は全体を0.2以上上回っているもの  
 ※ 白抜き は全体を0.2以下下回っているもの

(エ) 職業別

職業別でみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは自営業・自由業（44項目）が最も多く、次いで主婦・主夫とアルバイト・パート（ともに42項目）、会社役員（41項目）などとなっています。

また、「地域社会活動」は学生で全体より0.43ポイント、「生涯学習」は会社役員で全体より0.33ポイント、それぞれ上回っています。一方、「水害対策」は学生で全体より0.59ポイント、「労働環境」は学生で全体より0.55ポイント、それぞれ下回っています。（表3-1-17）

表3-1-17 加重平均値でみる属性別の施策の満足度（職業別）

	全 体	会 社 員 ・ 公 務 員	自 営 業 ・ 自 由 業	会 社 役 員	主 婦 ・ 主 夫	学 生	・ ア ル バ イ ト	無 職	そ の 他
n	1,354	442	104	28	287	27	175	254	26
(1) 子育て環境	0.49	0.46	0.55	0.32	0.58	<b>0.73</b>	0.53	0.37	0.63
(2) 児童福祉サービス	0.38	0.35	0.57	0.40	0.43	0.15	0.35	0.33	0.38
(3) 子どもの健全育成	0.31	0.32	0.17	0.35	0.37	-0.06	0.34	0.34	0.00
(4) 医療体制	0.46	0.39	0.56	0.56	0.51	0.35	0.37	0.57	<b>0.71</b>
(5) 地域連携による子育て	0.32	0.25	0.40	0.27	0.43	0.11	0.32	0.35	0.25
(6) 健康づくり	0.38	0.22	0.52	0.54	0.46	0.50	0.36	0.49	0.48
(7) 生涯学習	0.15	0.01	0.22	<b>0.48</b>	0.21	0.00	0.15	0.32	0.16
(8) スポーツ	0.33	0.26	0.47	0.29	0.36	0.30	0.26	0.45	0.26
(9) 住居の広さ	0.13	0.00	0.13	<b>0.44</b>	<b>0.35</b>	-0.13	0.01	0.23	0.00
(10) 高齢者福祉サービス	0.31	0.26	0.39	0.41	0.38	0.28	0.31	0.24	0.44
(11) 障害者福祉サービス	0.17	0.08	0.20	0.32	0.09	0.27	0.31	0.26	<b>0.56</b>
(12) 高齢者の社会参加	0.16	0.22	0.13	0.00	0.15	0.23	0.24	0.02	0.24
(13) 障がい者の社会参加	-0.05	0.02	-0.04	-0.07	-0.17	<b>0.18</b>	-0.01	-0.08	0.06
(14) 家事・育児・介護の男女協力	-0.01	-0.03	0.13	-0.15	-0.02	-0.45	-0.04	0.04	0.18
(15) 男女平等の社会参	0.15	0.12	<b>0.36</b>	0.15	0.07	0.00	0.17	0.17	0.33
(16) 労働環境	0.02	0.11	0.07	0.00	-0.09	-0.53	0.04	-0.03	0.00
(17) 消費生活	0.53	0.56	0.59	0.56	0.49	0.53	0.45	0.58	0.43
(18) 地域社会活動	0.07	-0.06	0.17	<b>0.33</b>	0.17	<b>0.50</b>	0.03	0.14	-0.06
(19) ボランティア・NPO活動	-0.02	-0.12	0.03	<b>0.19</b>	0.10	<b>0.18</b>	-0.06	0.00	-0.12
(20) 魅力ある商店街	-0.02	-0.05	-0.15	-0.37	-0.03	0.00	-0.10	0.14	<b>0.46</b>
(21) 活力ある工業	-0.26	-0.24	-0.49	-0.61	-0.14	-0.11	-0.38	-0.24	-0.12
(22) 農地の保全・活用	-0.44	-0.47	-0.59	-0.61	-0.38	-0.75	-0.44	-0.31	-0.42
(23) 新産業創出	-0.54	-0.62	-0.47	-0.61	-0.48	-0.71	-0.66	<b>-0.34</b>	-0.40
(24) 名所・旧跡、イベント	0.06	-0.08	0.18	0.09	0.13	-0.13	0.05	<b>0.27</b>	0.05
(25) 伝統芸能	0.30	0.15	0.21	0.39	0.45	0.15	0.25	<b>0.58</b>	0.06
(26) 歴史的文化財	0.46	0.30	0.45	0.57	0.61	0.26	0.47	<b>0.67</b>	<b>0.13</b>
(27) 文化芸術	0.16	0.03	0.12	<b>0.48</b>	0.28	-0.05	0.09	0.35	0.00
(28) 国際交流	-0.34	-0.45	-0.35	-0.31	-0.17	-0.61	-0.31	-0.19	<b>-0.57</b>
(29) 平和意識	0.28	0.15	0.29	0.23	0.28	0.00	0.28	<b>0.50</b>	0.47
(30) 防災意識	0.34	0.23	0.42	0.42	0.45	-0.14	0.24	0.49	0.35
(31) 防犯対策	0.43	0.38	0.38	0.48	0.40	0.19	0.39	0.61	<b>0.64</b>
(32) 危機管理体制	0.09	-0.01	0.06	0.14	0.15	-0.21	0.03	<b>0.32</b>	0.10
(33) 食品衛生	0.79	0.82	0.82	0.54	0.74	0.92	0.80	0.81	0.82
(34) 自転車利用のマナー	-0.69	-0.59	-0.73	-1.08	-0.60	-0.64	-0.73	<b>-0.91</b>	<b>-0.41</b>
(35) 震災に強いまち	-0.30	-0.21	-0.13	-0.19	-0.39	-0.77	-0.40	-0.28	-0.39
(36) 水害対策	0.40	0.29	<b>0.70</b>	0.50	0.36	-0.19	0.38	<b>0.62</b>	0.46
(37) 自然地の保全	0.52	0.47	0.69	0.37	0.48	0.15	0.54	0.61	0.57
(38) 公園・緑地の整備	0.51	0.43	0.61	0.46	0.47	0.27	0.54	0.64	0.54
(39) 空気・水	0.19	0.07	0.35	0.33	0.15	-0.35	0.20	<b>0.44</b>	0.33
(40) まちなみ・景観	-0.07	-0.20	-0.07	0.00	-0.02	-0.42	-0.04	0.11	0.05
(41) 省エネルギー	-0.16	-0.24	-0.28	-0.36	-0.05	-0.25	-0.05	-0.07	<b>-0.40</b>
(42) ごみ出しルール	0.72	0.61	0.76	<b>1.04</b>	0.70	0.50	0.79	0.85	0.88
(43) リサイクル	0.56	0.39	0.66	0.56	0.55	0.55	0.71	<b>0.76</b>	0.45
(44) 快適なまち	0.24	0.21	0.24	0.26	0.22	0.15	0.27	0.32	0.39
(45) 公共交通	0.94	0.88	1.07	1.08	0.91	0.81	0.95	1.05	1.08
(46) 道路の安全	0.39	0.46	0.34	<b>0.61</b>	0.38	0.16	0.27	0.38	<b>0.65</b>
(47) 歩行の安全	0.31	0.31	0.21	0.46	0.25	0.00	0.24	0.46	<b>0.68</b>
(48) バリアフリー	-0.17	-0.19	-0.25	-0.04	-0.13	-0.38	-0.21	-0.09	-0.33
(49) IT活用	0.36	0.29	0.51	0.50	0.43	0.07	0.39	0.38	<b>0.13</b>
(50) 個人情報の保護	0.39	0.41	0.40	0.44	0.41	0.36	0.41	0.26	0.36
(51) 区政情報の公開	0.43	0.34	0.47	<b>0.63</b>	0.47	0.38	0.45	0.48	0.39
(52) 区計画への参加機会	0.00	-0.12	0.07	0.06	0.11	-0.10	0.10	-0.05	<b>0.33</b>
(53) 区民の声の区政への反映	-0.21	-0.30	-0.18	<b>0.00</b>	-0.09	-0.27	-0.30	-0.19	<b>0.06</b>
(54) 区職員の対応	0.24	0.13	0.31	0.20	0.32	-0.24	0.13	<b>0.48</b>	0.22
(55) 区への愛着	0.66	0.57	0.82	0.73	0.61	0.65	0.67	0.77	<b>1.09</b>
(56) 区への誇り	0.21	0.11	<b>0.41</b>	0.30	0.24	-0.04	0.14	0.38	0.40

※ **太字** は全体を0.2以上上回っているもの  
 ※ **白抜き** は全体を0.2以上下回っているもの

(オ) 世帯構成別

世帯構成別でみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは単身世帯（45項目）が最も多く、次いで三世帯同居（44項目）、夫婦のみ（43項目）などとなっています。

また、「IT活用」は三世帯同居で全体より0.36ポイント、「高齢者福祉サービス」は三世帯同居で全体より0.35ポイント、それぞれ上回っています。一方、「区職員の対応」は三世帯同居で全体より0.47ポイント、「自転車利用のマナー」は夫婦のみで全体より0.22ポイント、それぞれ下回っています。（表3-1-18）

表3-1-18 加重平均値でみる属性別の施策の満足度（世帯構成別）

	全 体	単 身 世 帯	夫 婦 の み	（ 二 子 世 代 同 居 ）	（ 二 親 世 代 同 居 ）	三 世 代 同 居	そ の 他
n	1,354	278	337	471	179	50	24
(1) 子育て環境	0.49	0.32	0.35	0.60	0.58	0.50	0.40
(2) 児童福祉サービス	0.38	0.38	0.31	0.41	0.36	0.50	0.40
(3) 子どもの健全育成	0.31	0.33	0.13	0.39	0.27	0.45	0.31
(4) 医療体制	0.46	0.37	0.49	0.49	0.39	0.65	0.58
(5) 地域連携による子育て	0.32	0.43	0.21	0.34	0.31	0.44	0.27
(6) 健康づくり	0.38	0.37	0.41	0.35	0.36	0.56	0.33
(7) 生涯学習	0.15	0.16	0.26	0.09	0.08	<b>0.39</b>	0.00
(8) スポーツ	0.33	0.34	0.31	0.32	0.27	<b>0.65</b>	0.33
(9) 住居の広さ	0.13	0.11	0.24	0.03	0.20	<b>0.38</b>	0.10
(10) 高齢者福祉サービス	0.31	0.30	0.38	0.22	0.29	<b>0.66</b>	0.40
(11) 障害者福祉サービス	0.17	<b>0.39</b>	0.12	0.06	0.24	<b>0.44</b>	<b>0.44</b>
(12) 高齢者の社会参加	0.16	0.24	0.12	0.10	0.23	<b>0.42</b>	0.11
(13) 障がい者の社会参加	-0.05	0.09	-0.02	-0.14	0.03	0.00	-0.13
(14) 家事・育児・介護の男女協力	-0.01	0.03	0.03	-0.09	0.06	<b>0.21</b>	-0.11
(15) 男女平等の社会参	0.15	0.26	0.24	0.02	0.20	<b>0.38</b>	0.25
(16) 労働環境	0.02	0.15	0.04	-0.05	-0.05	<b>0.29</b>	0.00
(17) 消費生活	0.53	0.59	0.54	0.52	0.52	0.68	<b>0.27</b>
(18) 地域社会活動	0.07	0.06	0.09	-0.07	0.02	<b>0.33</b>	<b>0.30</b>
(19) ボランティア・NPO活動	-0.02	-0.06	-0.02	-0.02	0.01	0.17	<b>0.27</b>
(20) 魅力ある商店街	-0.02	0.13	-0.03	-0.09	-0.10	0.15	0.13
(21) 活力ある工業	-0.26	-0.24	-0.30	-0.29	-0.20	-0.30	<b>0.11</b>
(22) 農地の保全・活用	-0.44	-0.43	-0.47	-0.42	-0.51	-0.29	-0.38
(23) 新産業創出	-0.54	-0.37	-0.56	-0.58	-0.61	-0.60	-0.50
(24) 名所・旧跡、イベント	0.06	0.05	0.02	0.07	0.05	<b>0.37</b>	0.21
(25) 伝統芸能	0.30	0.41	0.34	0.28	0.16	<b>0.56</b>	0.22
(26) 歴史的文化財	0.46	0.48	0.48	0.45	0.43	0.53	0.33
(27) 文化芸術	0.16	0.20	0.21	0.15	0.08	0.30	0.10
(28) 国際交流	-0.34	-0.30	-0.33	-0.35	-0.35	-0.43	<b>0.33</b>
(29) 平和意識	0.28	0.35	0.34	0.17	0.28	0.39	<b>0.79</b>
(30) 防災意識	0.34	0.29	0.40	0.31	0.29	0.52	0.35
(31) 防犯対策	0.43	0.48	0.50	0.33	0.44	0.60	<b>0.67</b>
(32) 危機管理体制	0.09	0.15	0.10	0.07	-0.01	0.27	<b>0.29</b>
(33) 食品衛生	0.79	0.83	0.76	0.77	0.85	0.87	0.70
(34) 自転車利用のマナー	-0.69	-0.76	<b>-0.91</b>	-0.56	-0.61	-0.70	<b>-0.32</b>
(35) 震災に強いまち	-0.30	-0.20	-0.32	-0.34	-0.30	-0.20	-0.35
(36) 水害対策	0.40	0.59	0.40	0.27	0.41	<b>0.62</b>	0.50
(37) 自然地の保全	0.52	0.50	0.58	0.46	0.48	<b>0.85</b>	0.45
(38) 公園・緑地の整備	0.51	0.49	0.57	0.48	0.50	0.70	0.32
(39) 空気・水	0.19	0.17	0.27	0.14	0.23	0.25	0.27
(40) まちなみ・景観	-0.07	-0.07	-0.08	-0.06	-0.12	-0.17	<b>0.27</b>
(41) 省エネルギー	-0.16	-0.18	-0.24	-0.13	-0.16	-0.03	<b>0.24</b>
(42) ごみ出しルール	0.72	0.80	0.75	0.65	0.80	0.54	0.74
(43) リサイクル	0.56	0.56	0.51	0.57	0.58	0.75	0.75
(44) 快適なまち	0.24	0.31	0.17	0.23	0.25	0.37	0.30
(45) 公共交通	0.94	0.98	0.95	0.91	0.96	0.98	1.08
(46) 道路の安全	0.39	0.49	0.42	0.33	0.37	0.52	0.29
(47) 歩行の安全	0.31	0.40	0.34	0.26	0.35	0.19	0.13
(48) バリアフリー	-0.17	-0.15	-0.16	-0.21	-0.21	0.00	-0.18
(49) IT活用	0.36	0.34	0.29	0.44	0.22	<b>0.72</b>	<b>0.13</b>
(50) 個人情報の保護	0.39	0.33	0.30	0.48	0.35	0.50	0.27
(51) 区政情報の公開	0.43	0.43	0.44	0.46	0.26	<b>0.70</b>	0.38
(52) 区計画への参加機会	0.00	0.02	0.01	0.01	-0.05	0.17	<b>-0.20</b>
(53) 区民の声の区政への反映	-0.21	-0.25	-0.17	-0.19	-0.32	<b>0.00</b>	-0.25
(54) 区職員の対応	0.24	0.40	0.33	0.24	<b>-0.03</b>	<b>-0.23</b>	0.25
(55) 区への愛着	0.66	0.73	0.58	0.61	0.80	<b>0.89</b>	0.50
(56) 区への誇り	0.21	0.29	0.22	0.16	0.20	0.29	0.32

※ **太字** は全体を0.2以上上回っているもの  
 ※ **白抜き** は全体を0.2以下下回っているもの

(カ) 居住年数別

居住年数別でみると、56施策項目のうち『満足』（加重平均値が0より大きい）と評価されたものは生まれたときから（45項目）が最も多く、次いで20年以上（44項目）、10年以上20年未満（41項目）などとなっています。

また、「活力ある工業」は1年未満で全体より0.44ポイント、「個人情報の保護」は1年未満で全体より0.41ポイント、それぞれ上回っています。一方、「国際交流」は1年未満で全体より0.73ポイント、「区への愛着」は1年未満で全体より0.59ポイント、それぞれ下回っています。

（表3-1-19）

表3-1-19 加重平均値でみる属性別の施策の満足度（居住年数別）

	全 体	1 年 未 満	5 1 年 未 以 上	1 5 0 年 未 以 上	2 1 0 年 未 以 上	2 0 年 以 上	か 生 ら ま れ た と き
n	1,354	39	138	127	227	614	198
(1) 子育て環境	0.49	0.21	0.38	0.43	0.50	0.54	0.53
(2) 児童福祉サービス	0.38	0.36	0.41	0.33	0.24	0.44	0.44
(3) 子どもの健全育成	0.31	0.60	0.42	0.21	0.29	0.33	0.29
(4) 医療体制	0.46	0.17	0.50	0.43	0.42	0.54	0.35
(5) 地域連携による子育て	0.32	0.54	0.32	0.24	0.36	0.33	0.31
(6) 健康づくり	0.38	0.32	0.22	0.21	0.34	0.48	0.34
(7) 生涯学習	0.15	0.06	0.04	-0.15	0.09	0.29	0.09
(8) スポーツ	0.33	0.22	0.16	0.13	0.37	0.43	0.25
(9) 住居の広さ	0.13	0.06	-0.09	-0.07	-0.04	0.28	0.20
(10) 高齢者福祉サービス	0.31	0.47	0.13	0.09	0.22	0.35	0.40
(11) 障害者福祉サービス	0.17	0.23	0.00	0.10	0.13	0.22	0.22
(12) 高齢者の社会参加	0.16	0.11	0.31	0.13	0.28	0.06	0.28
(13) 障がい者の社会参加	-0.05	-0.14	-0.13	-0.04	0.04	-0.11	0.07
(14) 家事・育児・介護の男女協力	-0.01	0.30	0.05	-0.06	-0.08	-0.02	0.06
(15) 男女平等の社会参	0.15	0.27	0.11	0.06	0.07	0.17	0.24
(16) 労働環境	0.02	0.42	-0.09	0.07	-0.02	0.02	0.04
(17) 消費生活	0.53	0.73	0.62	0.51	0.50	0.56	0.45
(18) 地域社会活動	0.07	-0.06	-0.11	-0.21	0.17	0.13	0.06
(19) ボランティア・NPO活動	-0.02	-0.20	-0.32	-0.44	0.06	0.08	0.05
(20) 魅力ある商店街	-0.02	-0.06	0.11	-0.14	-0.01	0.00	-0.08
(21) 活力ある工業	-0.26	0.18	-0.21	-0.36	-0.24	-0.27	-0.27
(22) 農地の保全・活用	-0.44	-0.60	-0.57	-0.61	-0.37	-0.38	-0.47
(23) 新産業創出	-0.54	-0.75	-0.74	-0.56	-0.51	-0.48	-0.53
(24) 名所・旧跡、イベント	0.06	-0.39	-0.10	-0.18	0.10	0.17	0.03
(25) 伝統芸能	0.30	-0.08	0.00	-0.06	0.22	0.43	0.35
(26) 歴史的文化財	0.46	0.21	0.17	0.21	0.53	0.54	0.47
(27) 文化芸術	0.16	-0.36	0.01	-0.06	0.20	0.24	0.13
(28) 国際交流	-0.34	-1.07	-0.61	-0.57	-0.35	-0.22	-0.21
(29) 平和意識	0.28	-0.25	0.10	0.04	0.11	0.38	0.45
(30) 防災意識	0.34	-0.04	0.19	0.20	0.28	0.41	0.41
(31) 防犯対策	0.43	0.44	0.26	0.06	0.26	0.57	0.58
(32) 危機管理体制	0.09	-0.32	-0.06	-0.13	0.04	0.17	0.23
(33) 食品衛生	0.79	0.95	0.81	0.67	0.80	0.81	0.78
(34) 自転車利用のマナー	-0.69	-0.35	-0.74	-0.60	-0.71	-0.73	-0.63
(35) 震災に強いまち	-0.30	-0.14	-0.28	-0.22	-0.38	-0.30	-0.28
(36) 水害対策	0.40	0.63	0.31	0.17	0.22	0.51	0.47
(37) 自然地の保全	0.52	0.66	0.50	0.32	0.47	0.57	0.50
(38) 公園・緑地の整備	0.51	0.46	0.52	0.33	0.45	0.57	0.51
(39) 空気・水	0.19	0.00	-0.08	-0.16	0.06	0.38	0.25
(40) まちなみ・景観	-0.07	-0.21	-0.20	-0.34	-0.09	0.04	-0.11
(41) 省エネルギー	-0.16	-0.32	-0.19	-0.32	-0.19	-0.11	-0.11
(42) ごみ出しルール	0.72	0.85	0.73	0.60	0.69	0.78	0.65
(43) リサイクル	0.56	0.61	0.22	0.28	0.56	0.67	0.65
(44) 快適なまち	0.24	-0.03	0.18	0.15	0.30	0.27	0.26
(45) 公共交通	0.94	0.84	0.77	0.69	0.96	1.03	1.01
(46) 道路の安全	0.39	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38	0.49
(47) 歩行の安全	0.31	0.32	0.14	0.16	0.19	0.39	0.43
(48) バリアフリー	-0.17	-0.20	-0.24	-0.31	-0.28	-0.12	-0.07
(49) IT活用	0.36	0.37	0.28	0.26	0.46	0.37	0.31
(50) 個人情報の保護	0.39	0.80	0.55	0.26	0.43	0.34	0.39
(51) 区政情報の公開	0.43	0.18	0.34	0.25	0.41	0.51	0.38
(52) 区計画への参加機会	0.00	-0.53	0.12	-0.25	-0.05	0.06	0.06
(53) 区民の声の区政への反映	-0.21	-0.33	-0.19	-0.44	-0.23	-0.15	-0.22
(54) 区職員の対応	0.24	0.33	0.30	0.13	0.21	0.33	0.03
(55) 区への愛着	0.66	0.07	0.33	0.41	0.60	0.75	0.95
(56) 区への誇り	0.21	-0.17	0.03	0.00	0.15	0.29	0.39

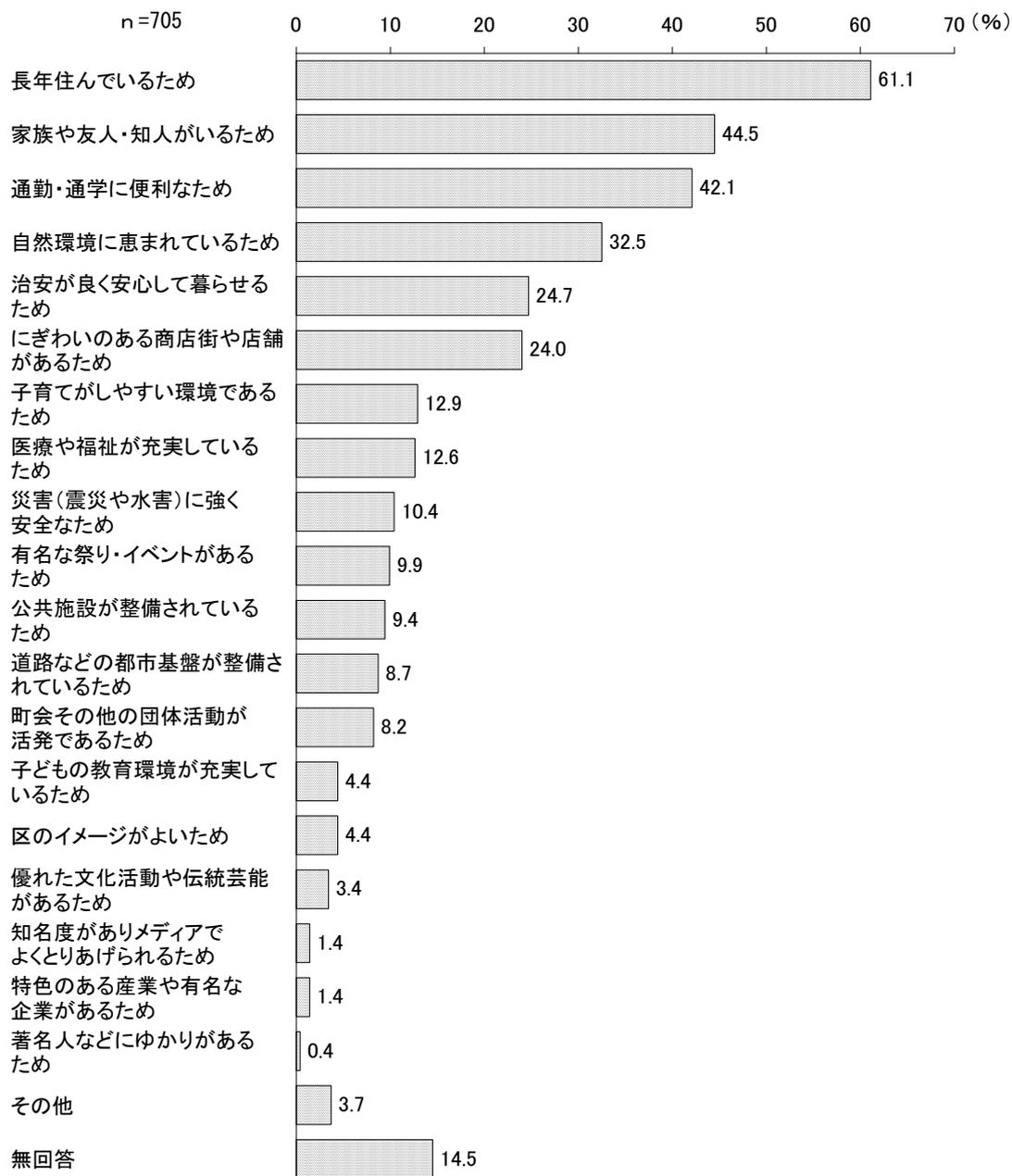
※ 太字 は全体を0.2以上上回っているもの  
 ※ 白抜き は全体を0.2以下下回っているもの

### (1-1) 愛着を感じる理由

◇「長年住んでいるため」が6割を超える

(問4の「(55)板橋区に愛着を感じる」で「満足」または「まあ満足」と回答した方へ)  
問4-1 「愛着を感じる」理由を5つまで選んで下の表に番号を記入してください。(順不同)

図3-1-9

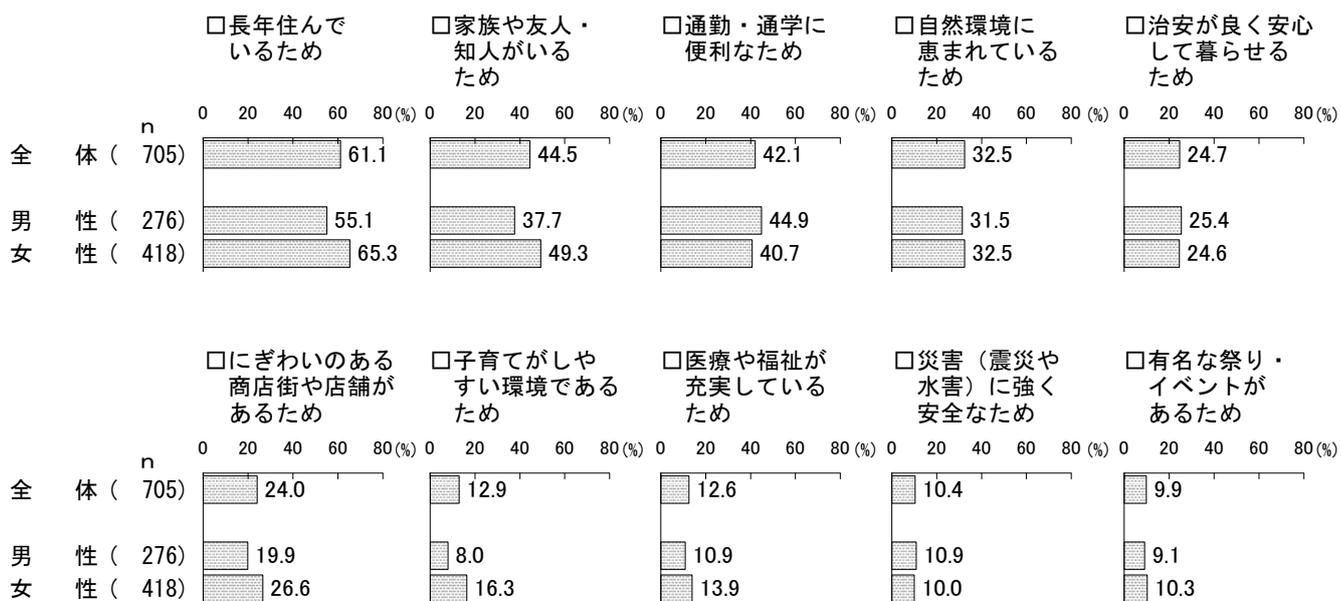


問4の「(55)板橋区に愛着を感じる」で、「満足」または「まあ満足」と答えた人(705人)にその理由を聞いたところ、「長年住んでいるため」(61.1%)が6割を超えて最も高くなっています。次いで「家族や友人・知人がいるため」(44.5%)、「通勤・通学に便利のため」(42.1%)、「自然環境に恵まれているため」(32.5%)などとなっています。(図3-1-9)

① 性別

上位10項目を性別で見ると、「家族や友人・知人がいるため」は女性（49.3%）が男性（37.7%）より11.6ポイント、「長年住んでいるため」は女性（65.3%）が男性（55.1%）より10.2ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「通勤・通学に便利のため」は男性（44.9%）が女性（40.7%）より4.2ポイント高くなっています。（図3-1-10）

図3-1-10 愛着を感じる理由（性別）-上位10項目

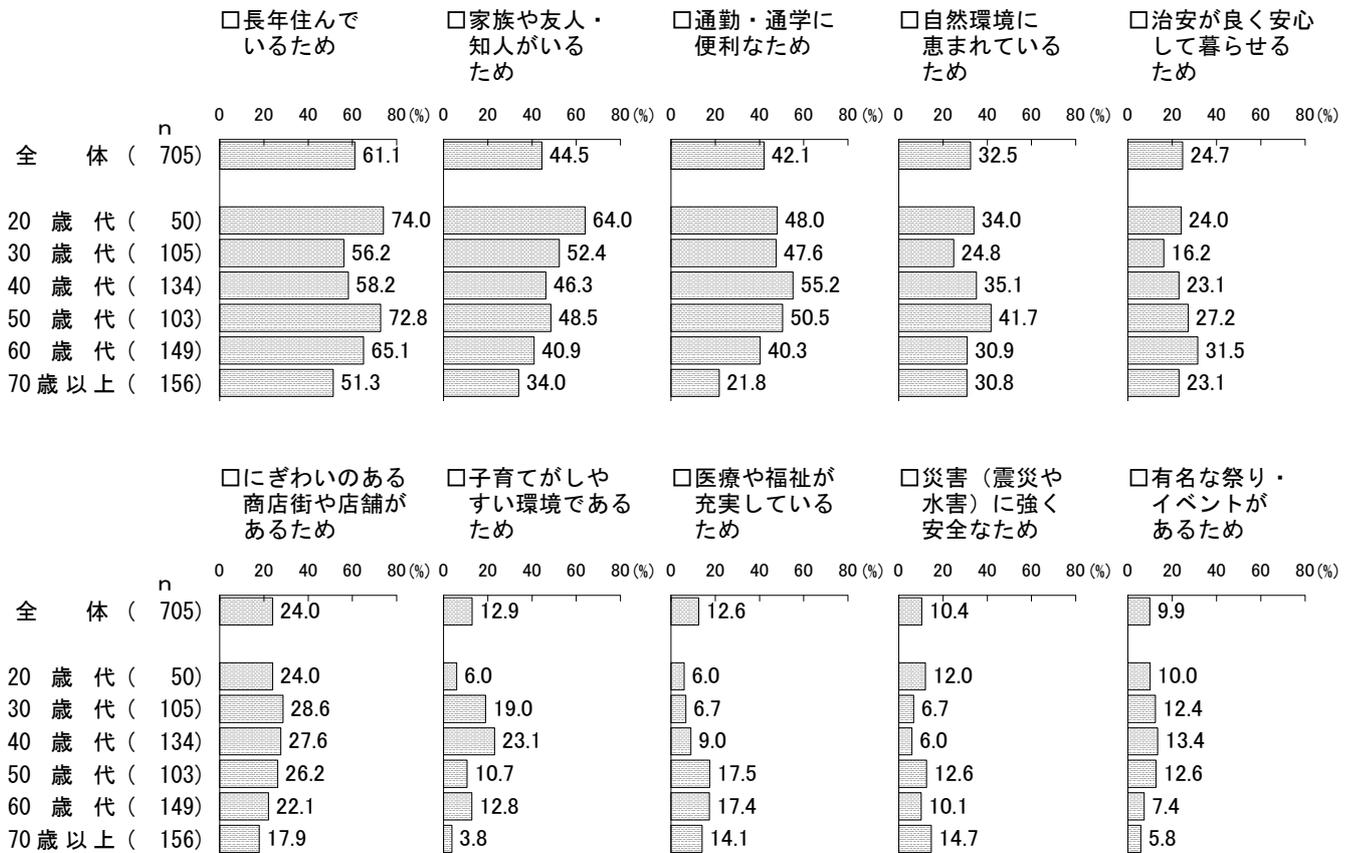


## ② 年代別

上位 10 項目を年代別で見ると、「長年住んでいるため」は 20 歳代 (74.0%) と 50 歳代 (72.8%) で 7 割台と高くなっています。また、「家族や友人・知人がいるため」はおおむね年齢が下がるほど割合が高く、20 歳代 (64.0%) では 6 割半ばとなっています。

このほか、各回答のうち全体平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「長年住んでいるため」では 20 歳代 (74.0%) ・ 50 歳代 (72.8%) 、「家族や友人・知人がいるため」では 20 歳代 (64.0%) 、「通勤・通学に便利のため」では 40 歳代 (55.2%) 、「子育てがしやすい環境であるため」では 40 歳代 (23.1%) となっています。(図 3-1-11)

図 3-1-11 愛着を感じる理由 (年代別) - 上位 10 項目

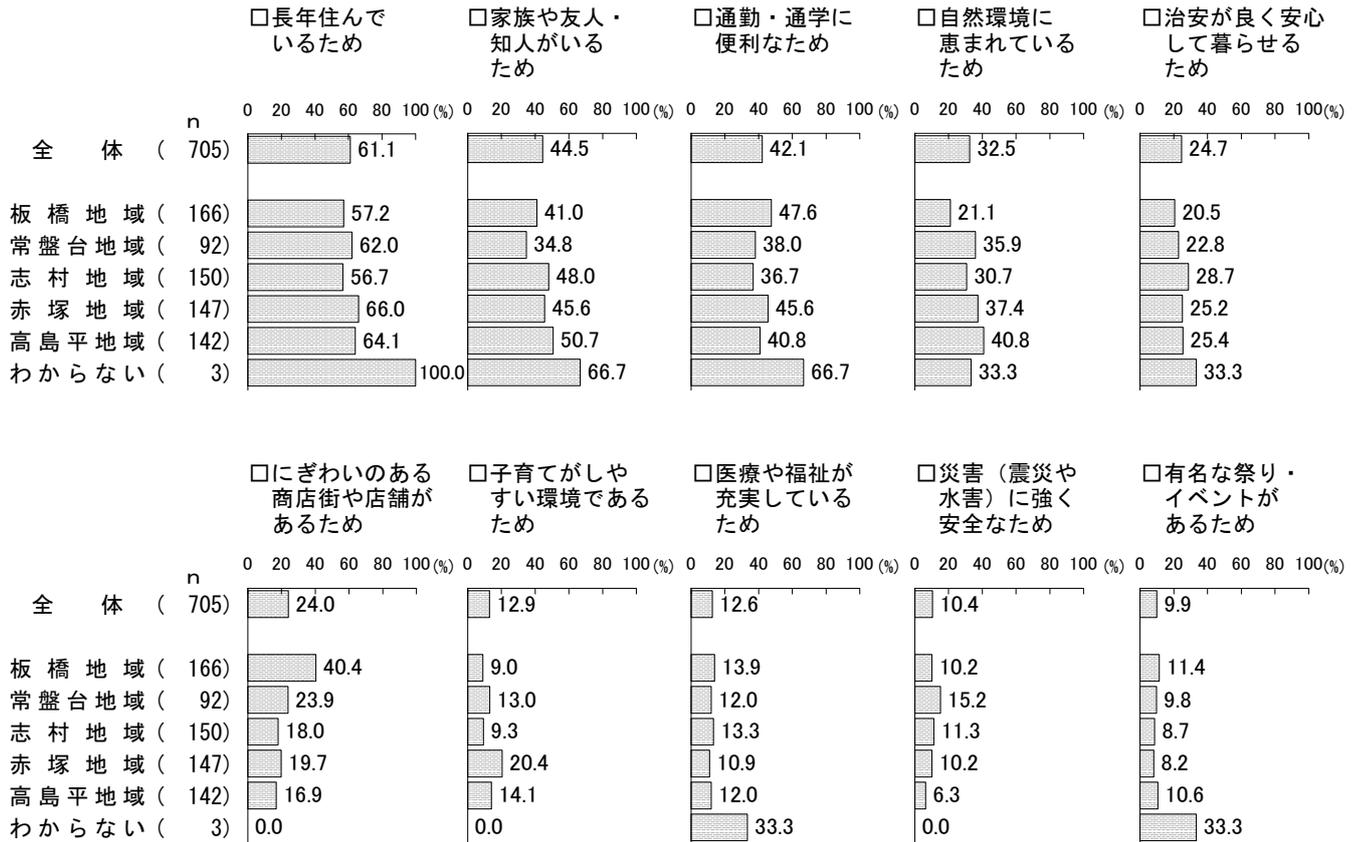


### ③ 地域別

上位 10 項目を地域別でみると、「長年住んでいるため」は赤塚地域(66.0%)と高島平地域(64.1%)で6割半ばと高く、「家族や友人・知人がいるため」は高島平地域(50.7%)で約5割と高くなっています。また、「通勤・通学に便利のため」は板橋地域(47.6%)で5割近くと高くなっています。

「にぎわいのある商店街や店舗があるため」は板橋地域(40.4%)で4割と高くなっており、これは全体の平均を10ポイント以上上回っています。(図3-1-12)

図3-1-12 愛着を感じる理由(地域別)-上位10項目

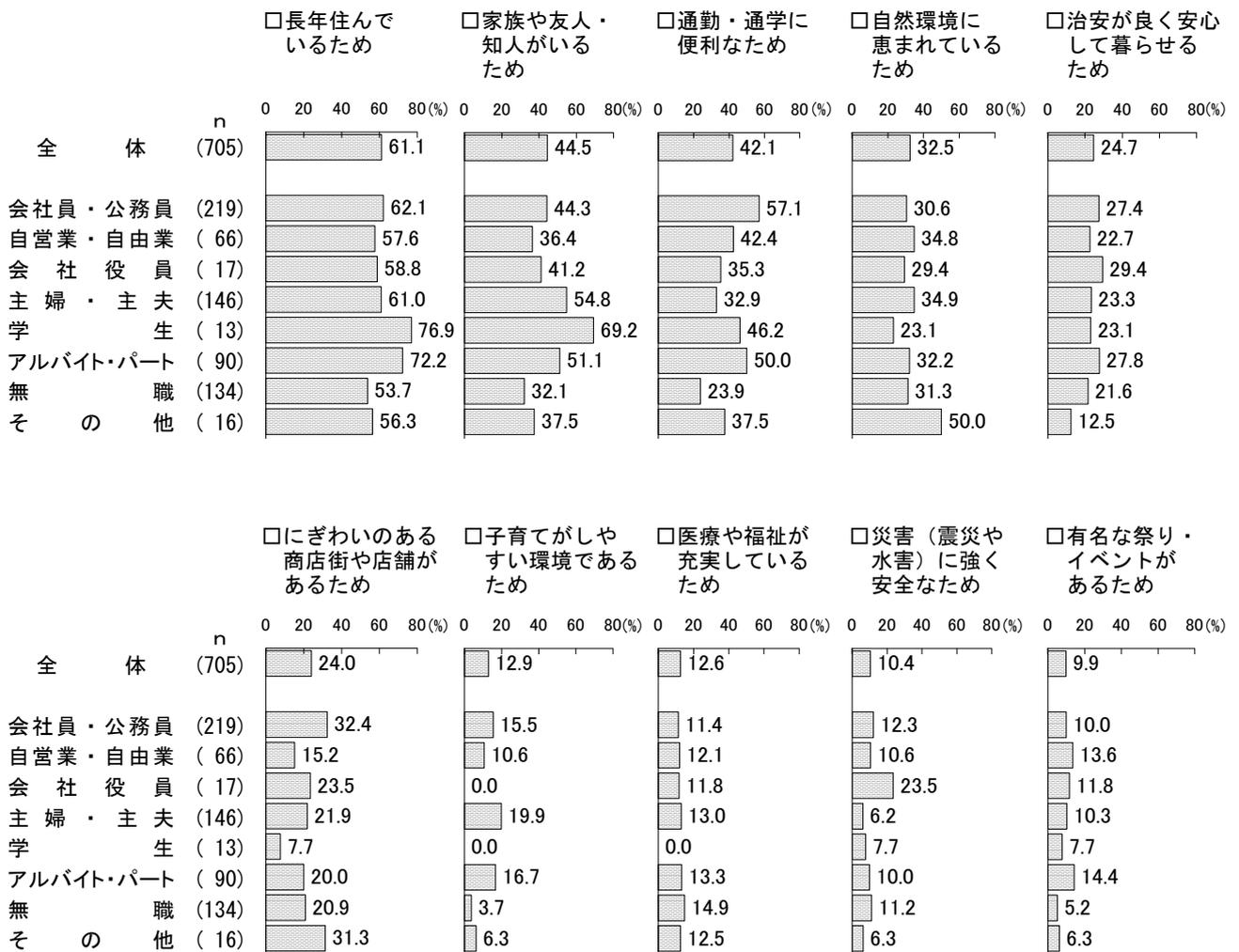


#### ④ 職業別

上位 10 項目を職業別で見ると、「長年住んでいるため」は学生 (76.9%) とアルバイト・パート (72.2%) で 7 割台と高くなっています。また、「家族や友人・知人がいるため」は学生 (69.2%) で約 7 割と高く、「通勤・通学に便利のため」は会社員・公務員 (57.1%) とアルバイト・パート (50.0%) で 5 割台と高くなっています。

このほか、各回答のうち全体の平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「長年住んでいるため」では学生 (76.9%) とアルバイト・パート (72.2%)、「家族や友人・知人がいるため」では主婦・主夫 (54.8%) と学生 (69.2%)、「通勤・通学に便利のため」では会社員・公務員 (57.1%) となっています。(図 3-1-13)

図 3-1-13 愛着を感じる理由 (職業別) - 上位 10 項目

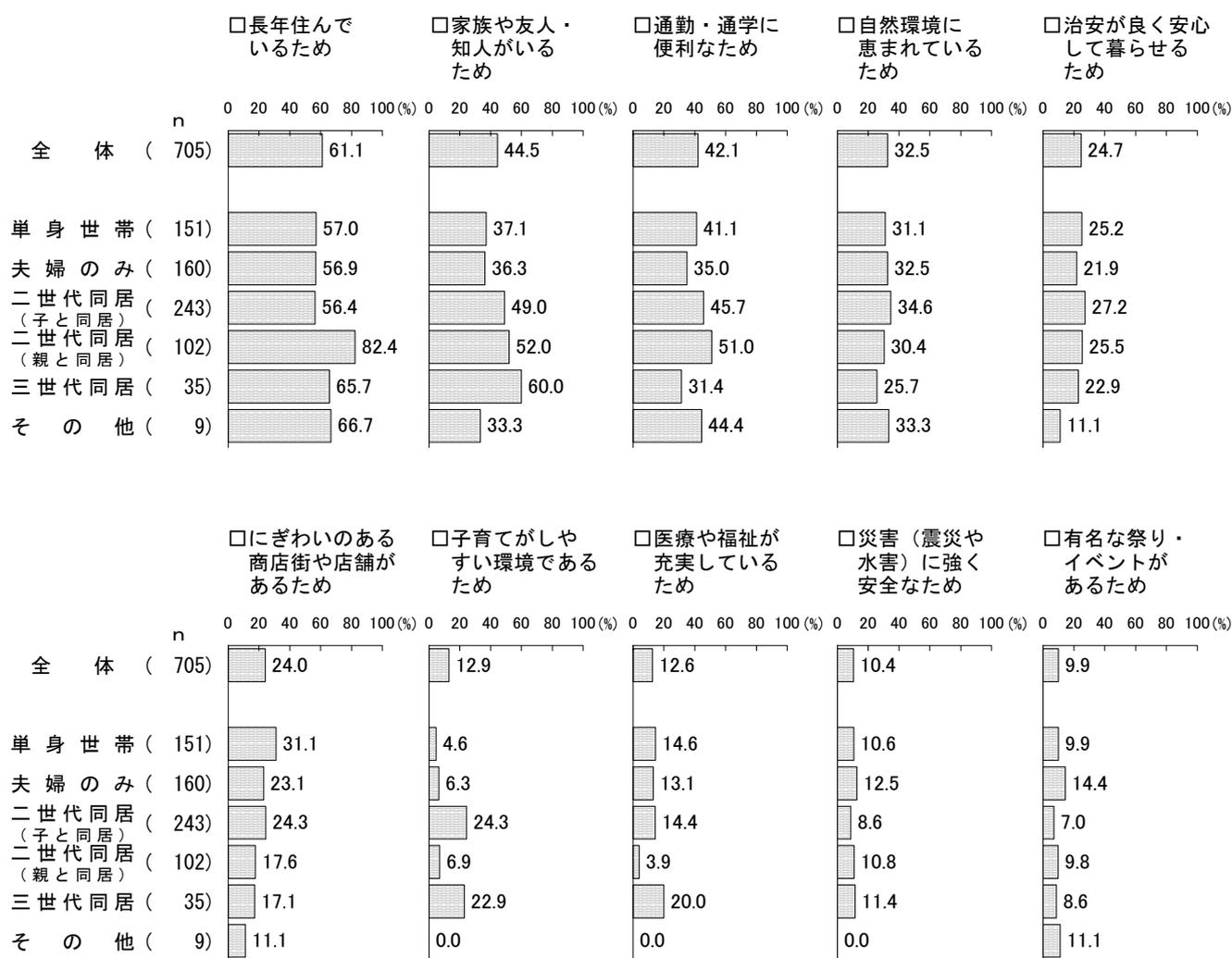


### ⑤ 世帯構成別

上位 10 項目を世帯構成別で見ると、「長年住んでいるため」は二世帯同居(親と同居) (82.4%)で8割を超えて高くなっています。また、「家族や友人・知人がいるため」は三世帯同居 (60.0%)で6割と高く、「通勤・通学に便利のため」は二世帯同居(親と同居) (51.0%)で5割を超えて高くなっています。

このほか、各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、「長年住んでいるため」では二世帯同居(親と同居) (82.4%)、「家族や友人・知人がいるため」では三世帯同居 (60.0%)、「子育てがしやすい環境であるため」では二世帯同居(子と同居) (24.3%)・三世帯同居 (22.9%)となっています。(図3-1-14)

図3-1-14 愛着を感じる理由(世帯構成別)-上位10項目



⑥ 居住年数別

上位 10 項目を居住年数別で見ると、「長年住んでいるため」は居住年数が長くなるほど割合が高く、生まれたときから (84.8%) では8割半ば、20年以上 (67.1%) では7割近くとなっています。また、「家族や友人・知人がいるため」は生まれたときから (58.3%) で6割近くと高く、「通勤・通学に便利のため」は10年以上20年未満 (54.2%) で5割半ばと高くなっています。

このほか、各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、「通勤・通学に便利のため」では5年以上10年未満 (53.8%) ・10年以上20年未満 (54.2%) 、「子育てがしやすい環境であるため」では5年以上10年未満 (32.7%) などとなっています。(図3-1-15)

図3-1-15 愛着を感じる理由 (居住年数別) -上位 10 項目



## (1-2) 誇れると感じる理由

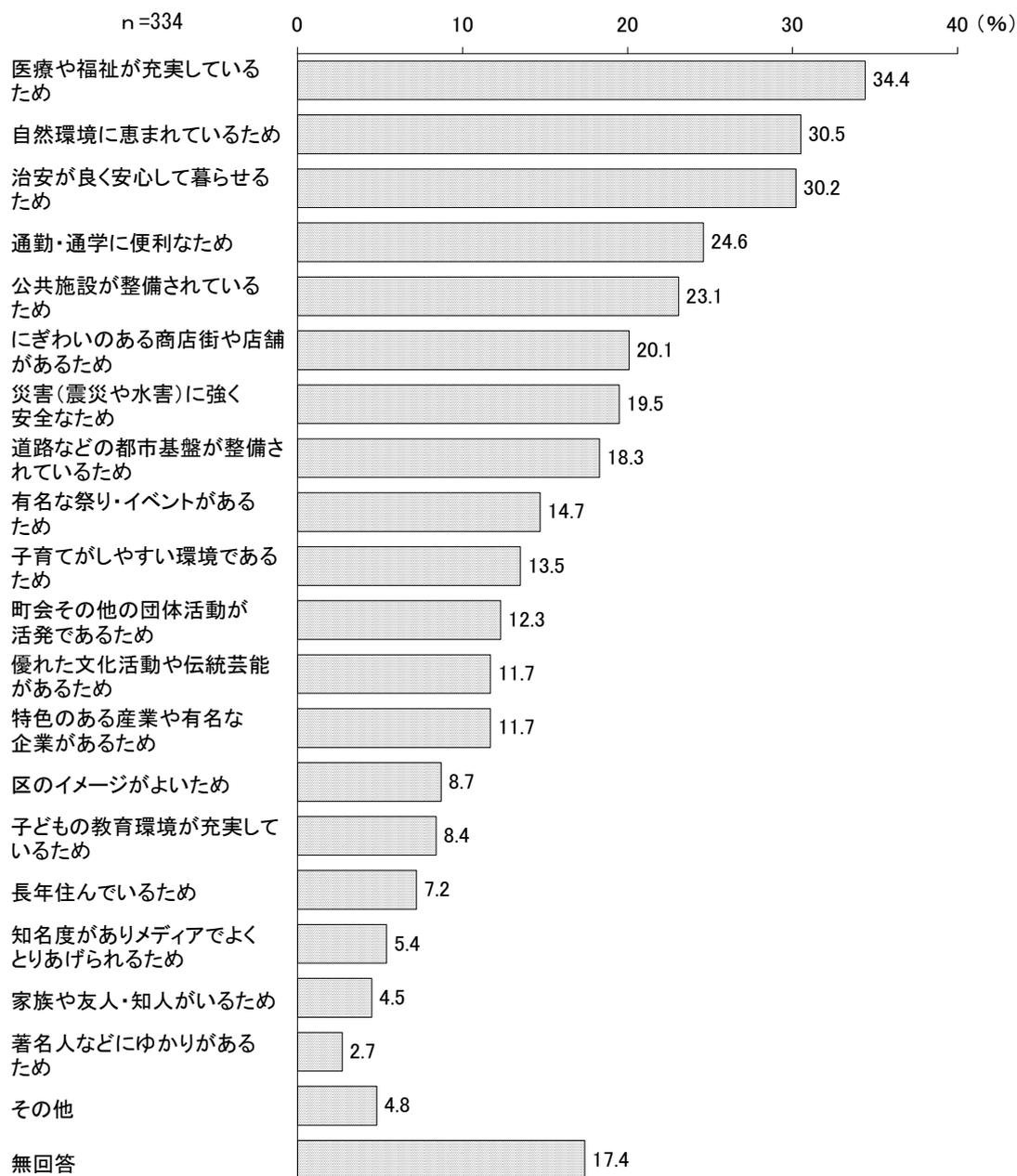
◇「医療や福祉が充実しているため」が3割半ば

(問4の「(56)板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる」で「満足」または「まあ満足」と回答した方へ)

問4-1 「誇れると感じる」理由を5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

(順不同)

図3-1-16

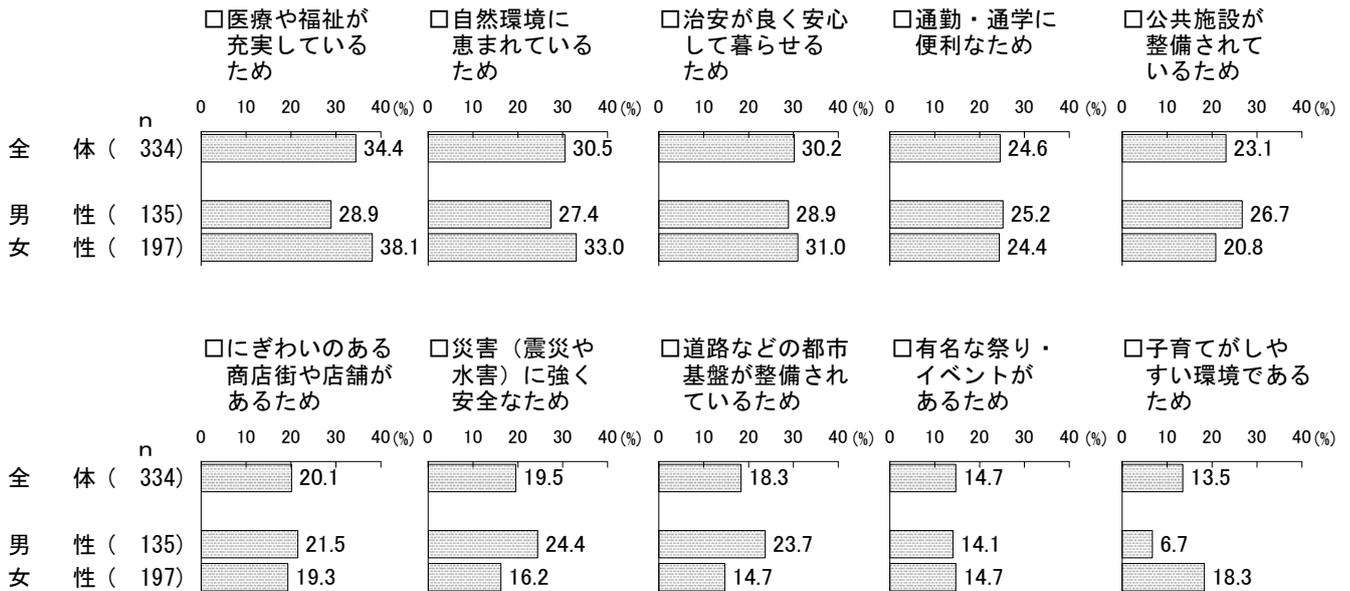


問4の「(56)板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる」で、「満足」または「まあ満足」と答えた人(334人)にその理由を聞いたところ、「医療や福祉が充実しているため」(34.4%)が3割半ばと最も高くなっています。次いで「自然環境に恵まれているため」(30.5%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(30.2%)などとなっています。(図3-1-16)

① 性別

上位10項目を性別で見ると、「子育てがしやすい環境であるため」は女性（18.3%）が男性（6.7%）より11.6ポイント、「医療や福祉が充実しているため」は女性（38.1%）が男性（28.9%）より9.2ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「道路などの都市基盤が整備されているため」は男性（23.7%）が女性（14.7%）より9.0ポイント、「災害（震災や水害）に強く安全なため」は男性（24.4%）が女性（16.2%）より8.2ポイント、それぞれ高くなっています。（図3-1-17）

図3-1-17 誇れると感じる理由（性別）-上位10項目



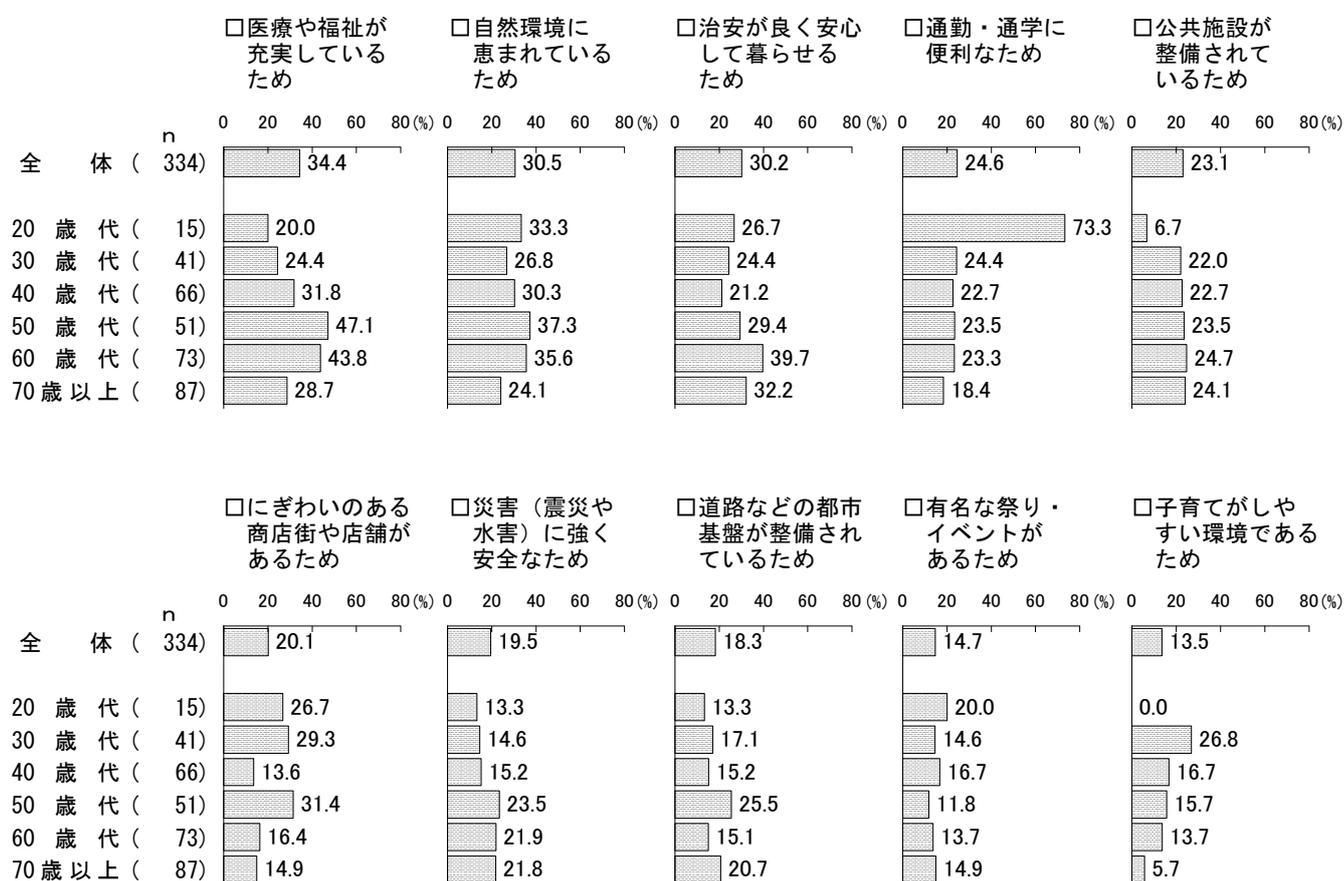
## ② 年代別

上位 10 項目を年代別で見ると、「通勤・通学に便利のため」は 20 歳代 (73.3%) で 7 割を超えて高くなっています。また、「医療や福祉が充実しているため」は 50 歳代 (47.1%) と 60 歳代 (43.8%) で 4 割台と高く、「治安が良く安心して暮らせるため」は 60 歳代 (39.7%) で約 4 割と高くなっています。

このほか、各回答のうち全体平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「医療や福祉が充実しているため」では 50 歳代 (47.1%)、「通勤・通学に便利のため」では 20 歳代 (73.3%)、「にぎわいのある商店街や店舗があるため」では 50 歳代 (31.4%)、「子育てがしやすい環境であるため」では 30 歳代 (26.8%) となっています。(図 3-1-18)

なお、上位 10 項目には該当しませんが、「特色のある産業や有名な企業があるため」では 50 歳代 (31.4%) が全体の平均 (20.1%) を 11.3 ポイント上回っています。

図 3-1-18 誇れると感じる理由 (年代別) - 上位 10 項目

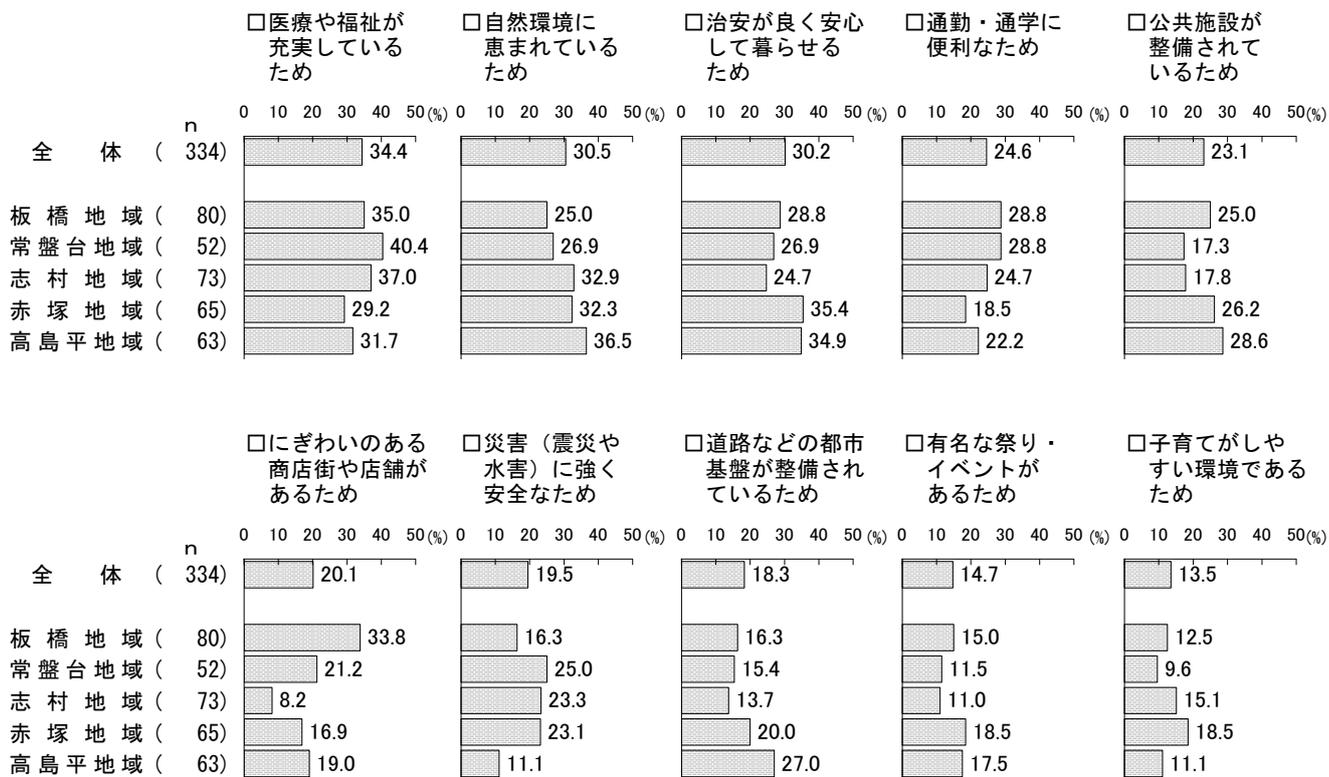


### ③ 地域別

上位 10 項目を地域別でみると、「医療や福祉が充実しているため」は常盤台地域（40.4%）で 4 割と高く、「自然環境に恵まれているため」は高島平地域（36.5%）で 3 割半ばと高くなっています。また、「治安が良く安心して暮らせるため」は赤塚地域（35.4%）と高島平地域（34.9%）で 3 割半ばと高く、「にぎわいのある商店街や店舗があるため」は板橋地域（33.8%）で 3 割を超えて高くなっています。

このほか、各回答のうち全体平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「にぎわいのある商店街や店舗があるため」では板橋地域（33.8%）となっています。（図 3-1-19）

図 3-1-19 誇れると感じる理由（地域別）-上位 10 項目

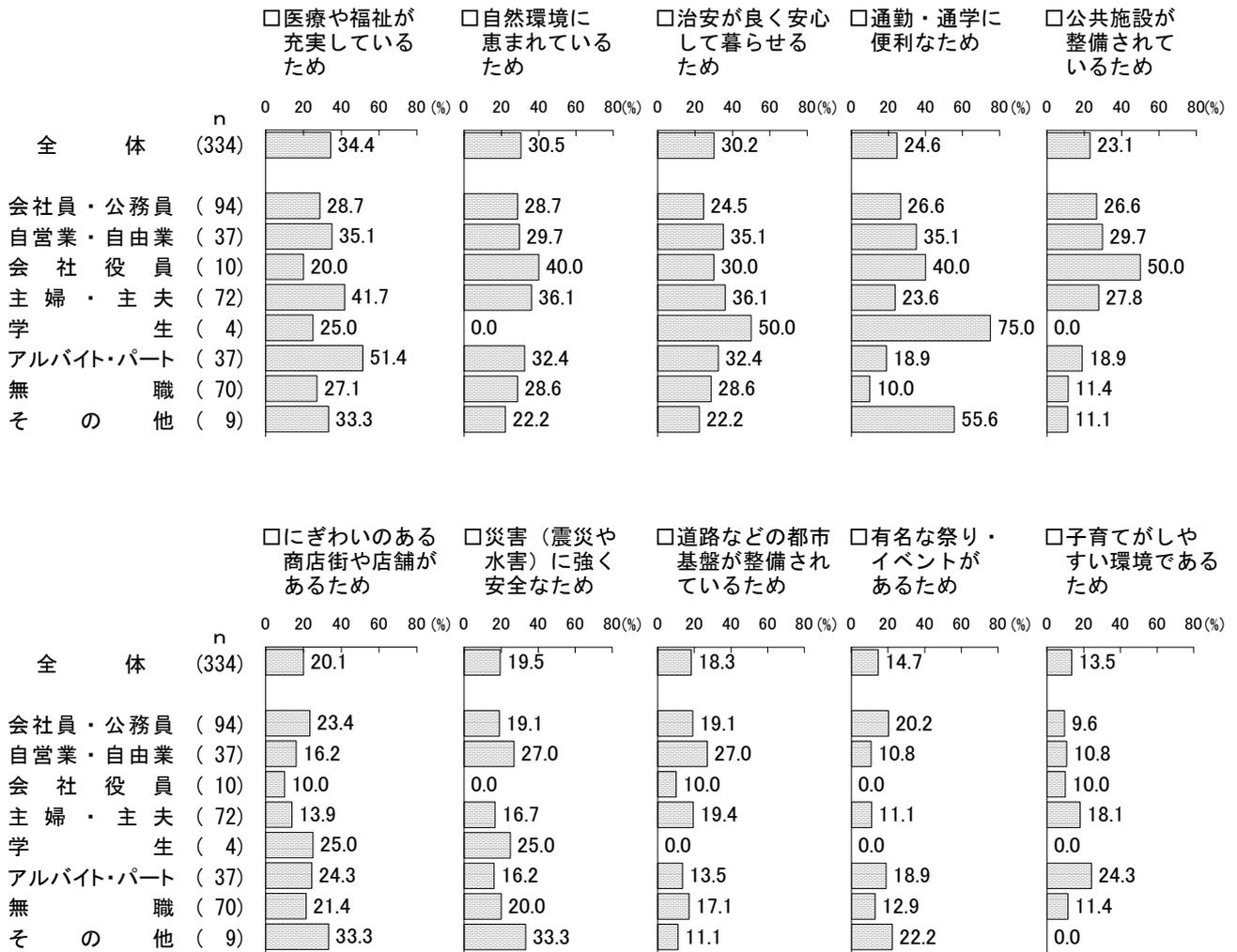


#### ④ 職業別

上位 10 項目を職業別で見ると、「医療や福祉が充実しているため」はアルバイト・パート (51.4%) で 5 割を超え、主婦・主夫 (41.7%) で 4 割を超えて高くなっています。また、「公共施設が整備されているため」は会社役員 (50.0%) で 5 割と高くなっています。

このほか、各回答のうち全体の平均を 10 ポイント以上上回っているのは、「医療や福祉が充実しているため」ではアルバイト・パート (51.4%) などとなっています。(図 3-1-20)

図 3-1-20 誇れると感じる理由 (職業別) - 上位 10 項目



⑤ 世帯構成別

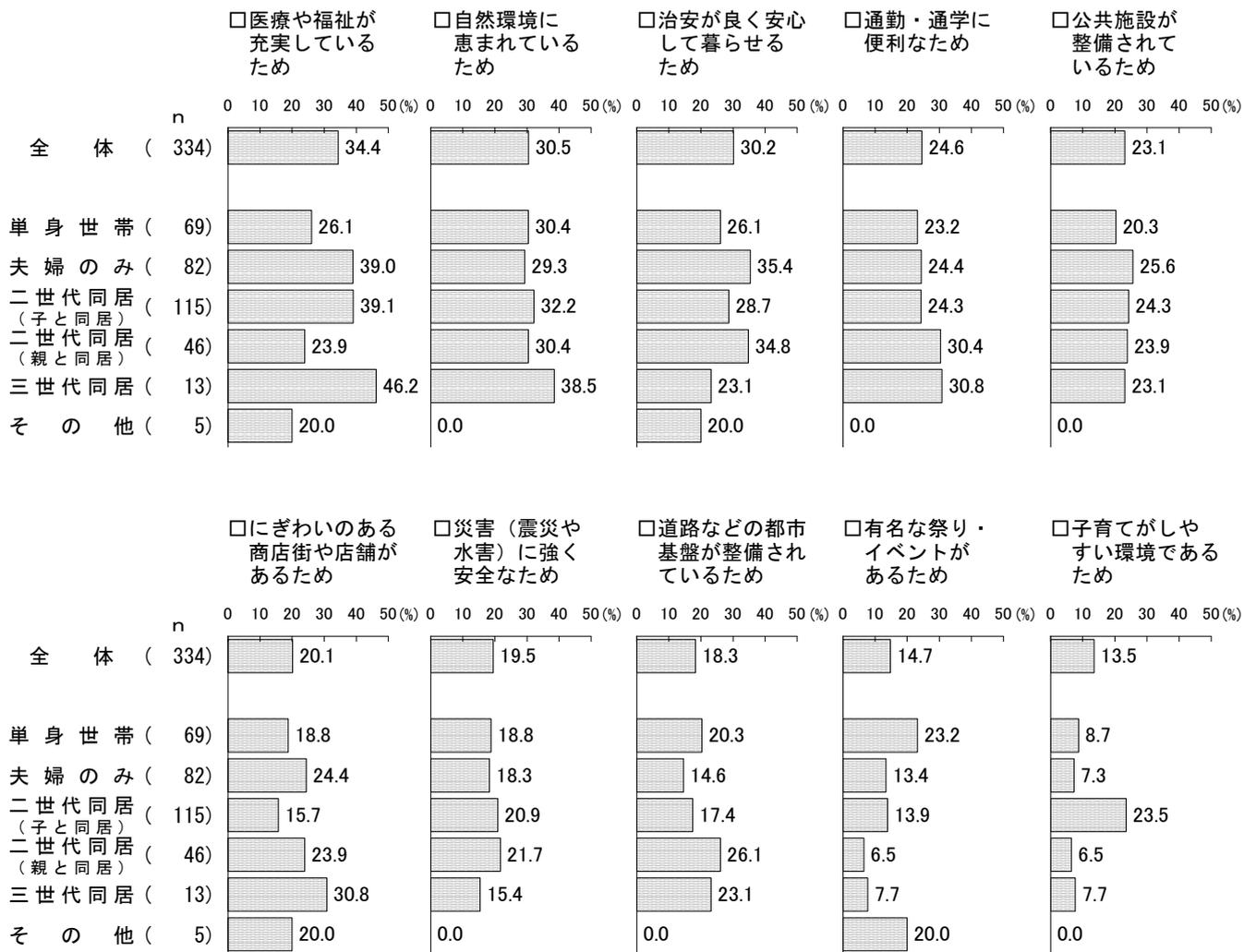
上位 10 項目を世帯構成別で見ると、「医療や福祉が充実しているため」は三世帯同居（46.2%）で4割半ばと高くなっています。また、「自然環境に恵まれているため」は三世帯同居（38.5%）で4割近くと高く、「治安が良く安心して暮らせるため」は夫婦のみ（35.4%）と二世帯同居（親と同居）（34.8%）で3割半ばと高くなっています。

このほか、各回答のうち全体平均を10ポイント以上上回っているのは、「医療や福祉が充実しているため」と「にぎわいのある商店街や店舗があるため」では三世帯同居（それぞれ46.2%、30.8%）、「子育てがしやすい環境であるため」では二世帯同居（子と同居）（23.5%）となっています。

（図 3-1-21）

なお、上位10項目には該当しませんが、「優れた文化活動や伝統芸能があるため」、「特色のある産業や有名な企業があるため」では三世帯同居（ともに23.1%）が全体の平均（ともに11.7%）を11.4ポイント上回っています。

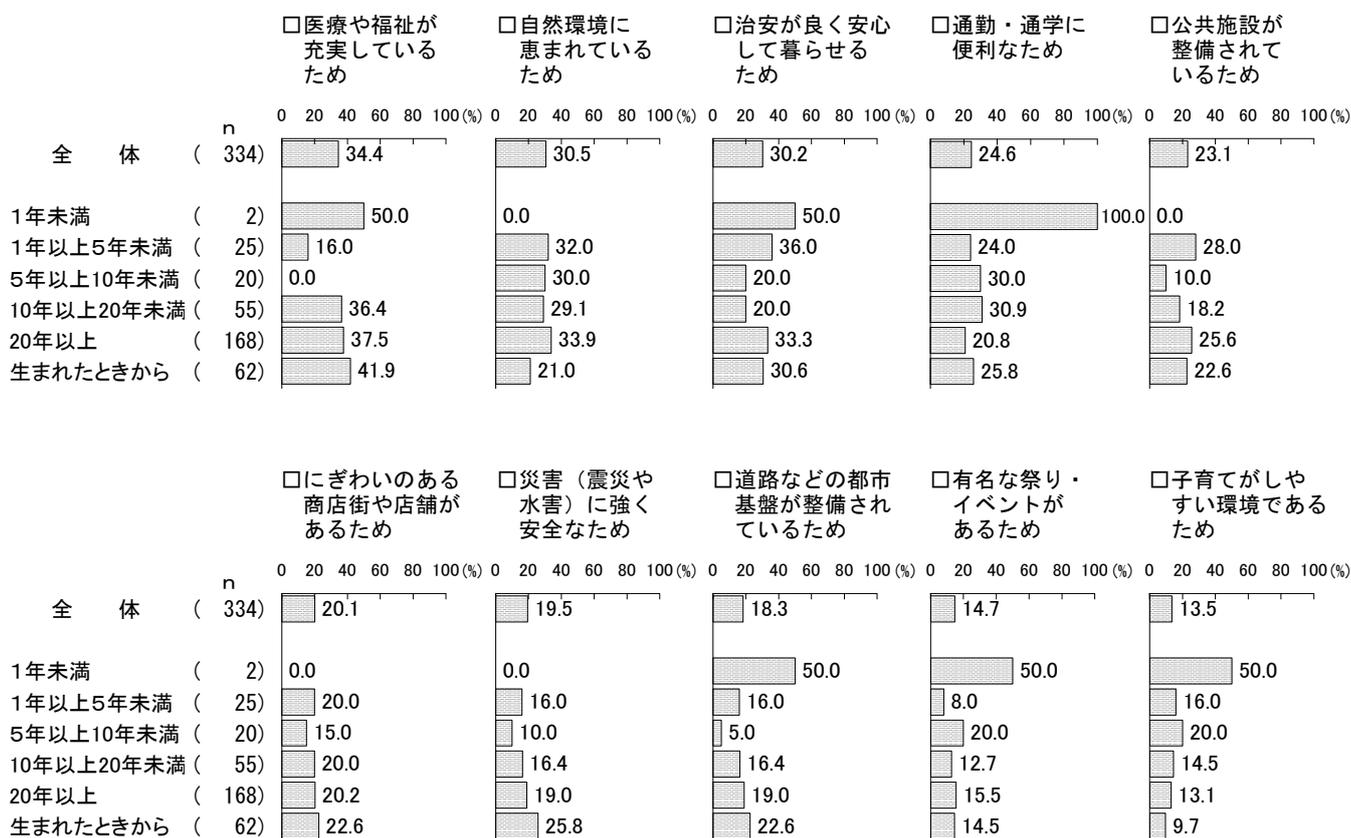
図 3-1-21 誇れると感じる理由（世帯構成別）-上位 10 項目



## ⑥ 居住年数別

上位 10 項目を居住年数別で見ると、「医療や福祉が充実しているため」は生まれたときから (41.9%) で 4 割を超えて高くなっています。また、「通勤・通学に便利のため」は 10 年以上 20 年未満 (30.9%) と 5 年以上 10 年未満 (30.0%) で 3 割台と高くなっています。(図 3-1-22)

図 3-1-22 誇れると感じる理由 (居住年数別) - 上位 10 項目



## (2) 重点的に力を入れるべき分野

◇第1位から第5位までを累計した『全体』でみると、「高齢者介護」が4割  
第1位にあげられた分野をみると、「子育て」が約2割

問5 今後、区が重点的に力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

図 3-2-1



25の分野について、今後、区が重点的に力を入れるべき分野を第1位から第5位までを累計した『全体』でみると、「高齢者介護」(40.2%)が4割と最も高く、次いで「防災」(38.8%)、「子育て」(35.7%)、「防犯」(34.2%)、「学校教育」(32.3%)などとなっています。

また、第1位にあげられた分野をみると、「子育て」(19.9%)が約2割と最も高く、次いで「高齢者介護」(11.4%)、「防災」(8.9%)などとなっています。(図3-2-1)

### ① 経年比較

第1位にあげられた分野を前回調査と比較すると、「子育て」、「高齢者介護」、「防災」が前回調査に引き続き上位3位となっており、割合は前回調査よりそれぞれ増加しています。

(表3-2-1)

表3-2-1 重点的に力を入れるべき分野-第1位 (経年比較)

順位	平成25年度	(%)	順位	平成23年度	(%)
1	子育て	19.9	1	子育て	17.8
2	高齢者介護	11.4	2	高齢者介護	8.5
3	防災	8.9	3	防災	7.0
4	学校教育	8.8	4	健康・衛生	6.9
5	防犯	5.2	5	行財政改革	4.7

### ② 性別

『全体』を性別で見ると、順位に違いはみられるものの、上位5位は同じ分野となっており、第1位は男性では「防災」、女性では「高齢者介護」となっています。(表3-2-2)

表3-2-2 重点的に力を入れるべき分野 (性別)

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		高齢者介護 40.2	防災 38.8	子育て 35.7	防犯 34.2	学校教育 32.3
性別	男性	防災 39.3	高齢者介護 37.6	子育て 36.0	防犯 33.7	学校教育 29.0
	女性	高齢者介護 42.1	防災 38.7	子育て 36.1	学校教育 35.2	防犯 34.8

### ③ 年代別

『全体』を年代別で見ると、20歳代と30歳代では「子育て」、40歳代では「学校教育」、50歳代以上の年代では「高齢者介護」が第1位となっており、50歳代では「防災」も同率で第1位となっています。(表3-2-3)

表3-2-3 重点的に力を入れるべき分野 (年代別)

		1位	2位	3位	4位	5位
全体		高齢者介護 40.2	防災 38.8	子育て 35.7	防犯 34.2	学校教育 32.3
年齢別	20歳代	子育て 44.3	防災 39.1	学校教育 36.5	緑・公園・景観 33.0	市街地整備・まちづくり 30.4
	30歳代	子育て 53.5	学校教育 46.0	防犯 38.0	防災 37.5	緑・公園・景観 34.5
	40歳代	学校教育 46.7	防災 43.7	防犯 42.1	高齢者介護/子育て 41.8	
	50歳代	高齢者介護/防災 49.8		子育て 34.6	防犯 34.1	市街地整備・まちづくり /高齢者社会参加 26.5
	60歳代	高齢者介護 48.2	防災 33.9	子育て 30.3	高齢者社会参加 27.9	防犯 27.1
	70歳以上	高齢者介護 46.2	防犯 32.8	防災 32.4	健康・衛生 23.7	学校教育/ 緑・公園・景観 23.1

#### ④ 地域別

『全体』を地域別でみると、「防災」は板橋地域、常盤台地域、高島平地域で第1位となっています。また、「高齢者介護」は志村地域と赤塚地域で第1位、その他の3地域でも第2位となっています。(表3-2-4)

表3-2-4 重点的に力を入れるべき分野（地域別）

		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
全 体		高齢者介護 40.2	防災 38.8	子育て 35.7	防犯 34.2	学校教育 32.3
地 域 別	板 橋 地 域	防災 44.2	高齢者介護 38.5	防犯 35.2	子育て 31.8	緑・公園・景観 28.8
	常盤台地域	防災 42.9	高齢者介護 42.4	子育て 41.9	防犯 37.7	学校教育 33.5
	志 村 地 域	高齢者介護 41.2	子育て 38.8	学校教育 35.1	緑・公園・景観 28.9	防災 28.2
	赤 塚 地 域	高齢者介護 41.2	子育て 38.5	防災/防犯 37.7		学校教育 36.9
	高島平地域	防災 42.3	高齢者介護 39.9	防犯 36.0	学校教育 32.4	子育て 30.8
	わからない	高齢者介護/防災 54.5		子育て 36.4	防犯/健康・衛生/高齢者社会参加 27.3	

#### ⑤ 職業別

『全体』を職業別でみると、「高齢者介護」は自営業・自由業、会社役員、主婦・主夫、無職で第1位、アルバイト・パートで第2位となっており、「防災」は会社員・公務員とアルバイト・パートで第1位となっています。また、学生では「子育て」、「学校教育」、「市街地整備・まちづくり」が同率で第1位となっています。(表3-2-5)

表3-2-5 重点的に力を入れるべき分野（職業別）

		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
全 体		高齢者介護 40.2	防災 38.8	子育て 35.7	防犯 34.2	学校教育 32.3
職 業 別	会社員・ 公務員	防災 43.7	子育て 41.4	防犯 37.8	高齢者介護 35.5	緑・公園・景観 32.4
	自営業・ 自由業	高齢者介護 41.3	防犯 38.5	子育て 36.5	防災 35.6	学校教育 28.8
	会社役員	高齢者介護 39.3	防災/防犯 35.7		高齢者社会参加 32.1	学校教育/ 緑・公園・景観 28.6
	主婦・主夫	高齢者介護 43.6	学校教育 41.5	防災 40.4	子育て 38.0	防犯 31.4
	学 生	子育て/学校教育/市街地整備・まちづくり 37.0			高齢者介護/防災/防犯 33.3	
	アルバイト ・パート	防災 41.1	高齢者介護 40.6	子育て/学校教育 36.0		防犯 33.7
	無 職	高齢者介護 46.9	防犯 30.7	防災 29.5	子育て 25.2	健康・衛生 24.4
	その他	防災/健康・衛生 38.5		学校教育 34.6	防犯 30.8	子育て 26.9

⑥ 世帯構成別

『全体』を世帯構成別でみると、「防災」は単身世帯で第1位、「高齢者介護」は夫婦のみと二世  
 代同居(親と同居)で第1位となっています。「子育て」は二世代同居(子と同居)と三世代同居で第1  
 位となっており、二世代同居(子と同居)では「学校教育」も同率で第1位となっています。

(表3-2-6)

表3-2-6 重点的に力を入れるべき分野(世帯構成別)

		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
全 体		高齢者介護 40.2	防災 38.8	子育て 35.7	防犯 34.2	学校教育 32.3
家 族 構 成 別	単 身 世 帯	防災 43.2	防犯 42.8	高齢者介護 38.8	子育て 28.1	緑・公園・景観 27.3
	夫 婦 の み	高齢者介護 44.8	防災 35.6	子育て 31.8	防犯 30.0	健康・衛生 28.2
	二世代同居 (子と同居)	子育て/学校教育 42.7		防災 38.0	高齢者介護 36.3	防犯 32.9
	二世代同居 (親と同居)	高齢者介護 45.8	防災 40.2	子育て 35.2	防犯/学校教育 33.0	
	三世代同居	子育て 50.0	防災 42.0	防犯 38.0	高齢者介護 36.0	緑・公園・景観 32.0
	そ の 他	高齢者介護/防災 37.5		学校教育 29.2	環境・清掃・リサイクル・エネルギー/ 道路・交通 29.2	

⑦ 居住年数別

『全体』を居住年数別でみると、「高齢者介護」は20年以上と生まれたときからで第1位、「防災」  
 は1年未満と10年以上20年未満で第1位となっています。また、「子育て」は1年以上5年未満と  
 5年以上10年未満で第1位となっており、5年以上10年未満では「学校教育」も同率で第1位と  
 なっています。(表3-2-7)

表3-2-7 重点的に力を入れるべき分野(居住年数別)

		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
全 体		高齢者介護 40.2	防災 38.8	子育て 35.7	防犯 34.2	学校教育 32.3
居 住 年 数 別	1 年 未 満	防災 43.6	子育て/市街地整備・まちづくり 38.5		道路・交通 33.3	緑・公園・景観 30.8
	1 年 以 上 5 年 未 満	子育て 42.0	防災 41.3	防犯 38.4	緑・公園・景観 34.1	学校教育 33.3
	5 年 以 上 10 年 未 満	子育て/学校教育 49.6		防災 40.2	防犯 35.4	緑・公園・景観 28.3
	10 年 以 上 20 年 未 満	防災 43.6	学校教育 38.3	防犯 36.6	高齢者介護 36.1	子育て 35.2
	20 年 以 上	高齢者介護 47.9	防災 35.5	防犯 32.1	子育て 30.6	学校教育 27.4
	生 ま れ た と き か ら	高齢者介護 46.0	防災 40.9	子育て 38.9	防犯 35.4	学校教育 32.8

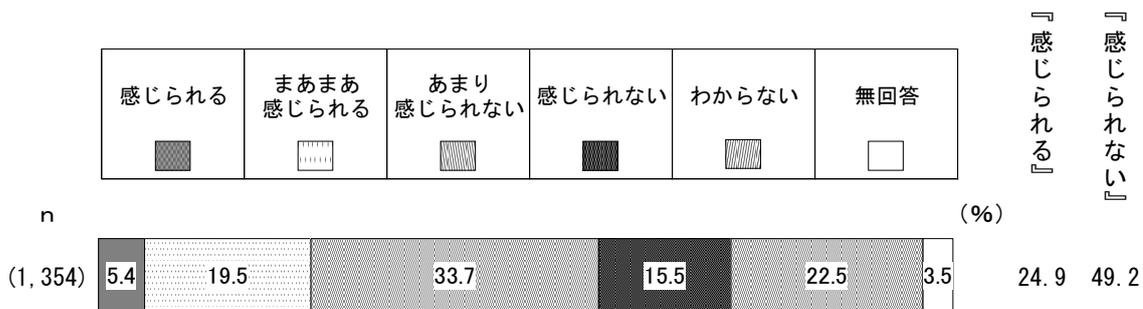
#### 4. 行政サービスと住民負担のバランス

##### (1) 税金に見合った行政サービスの提供

◇『感じられる』が2割半ば

問6 あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図4-1-1

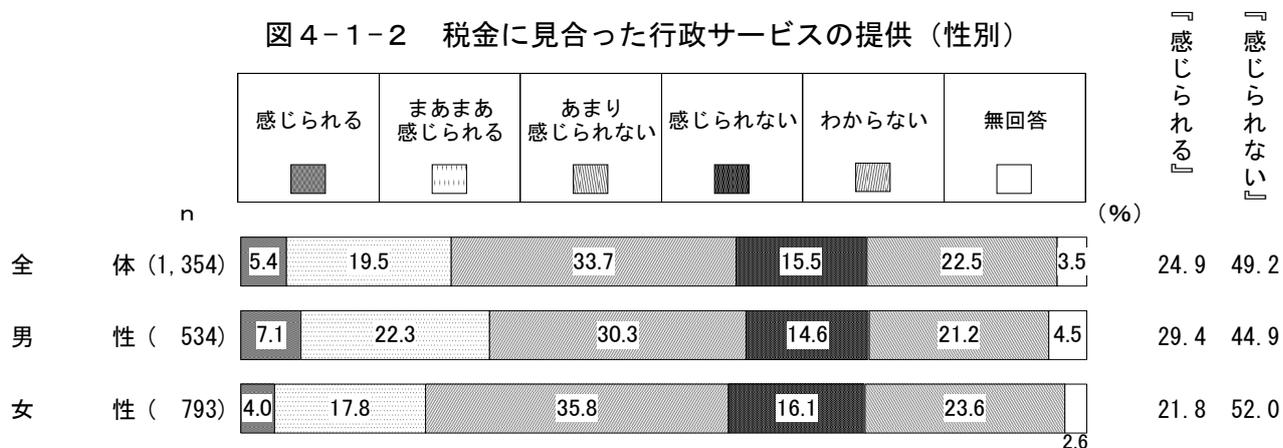


日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられるか聞いたところ、「感じられる」(5.4%)と「まあまあ感じられる」(19.5%)を合わせた『感じられる』(24.9%)は2割半ばとなっています。一方、「あまり感じられない」(33.7%)と「感じられない」(15.5%)を合わせた『感じられない』(49.2%)が約5割となっています。(図4-1-1)

##### ① 性別

性別でみると、『感じられる』は男性(29.4%)が女性(21.8%)より7.6ポイント高くなっています。(図4-1-2)

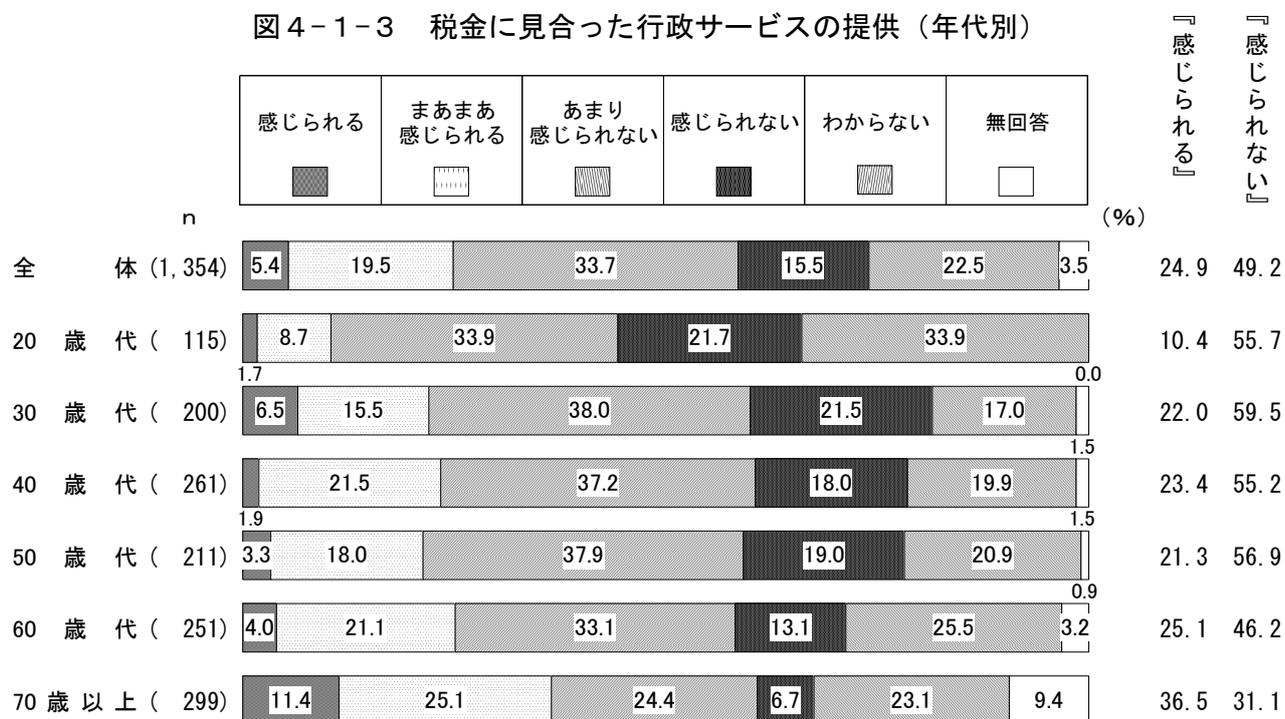
図4-1-2 税金に見合った行政サービスの提供(性別)



## ② 年代別

年代別でみると、『感じられる』は70歳以上（36.5%）で3割半ばと高くなっています。一方、『感じられない』は30歳代（59.5%）で約6割と高くなっています。（図4-1-3）

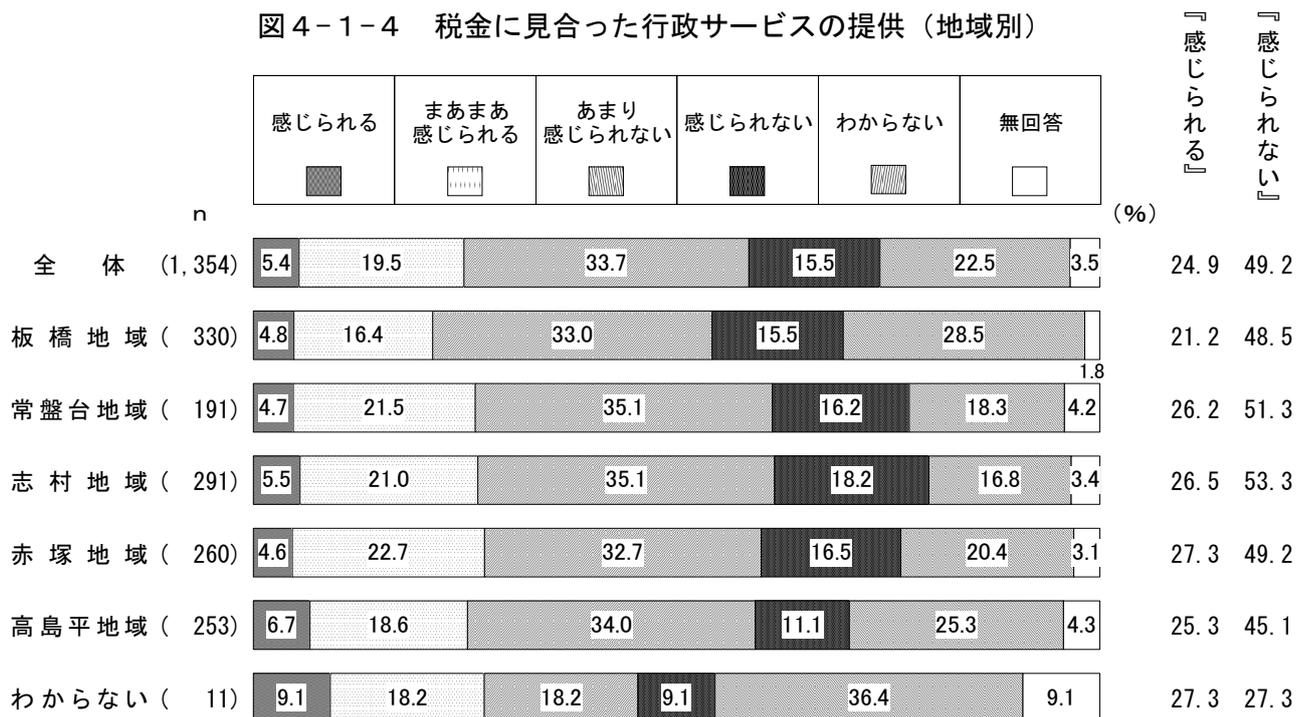
図4-1-3 税金に見合った行政サービスの提供（年代別）



## ③ 地域別

地域別でみると、『感じられない』は志村地域（53.3%）と常盤台地域（51.3%）で5割を超えて高くなっています。（図4-1-4）

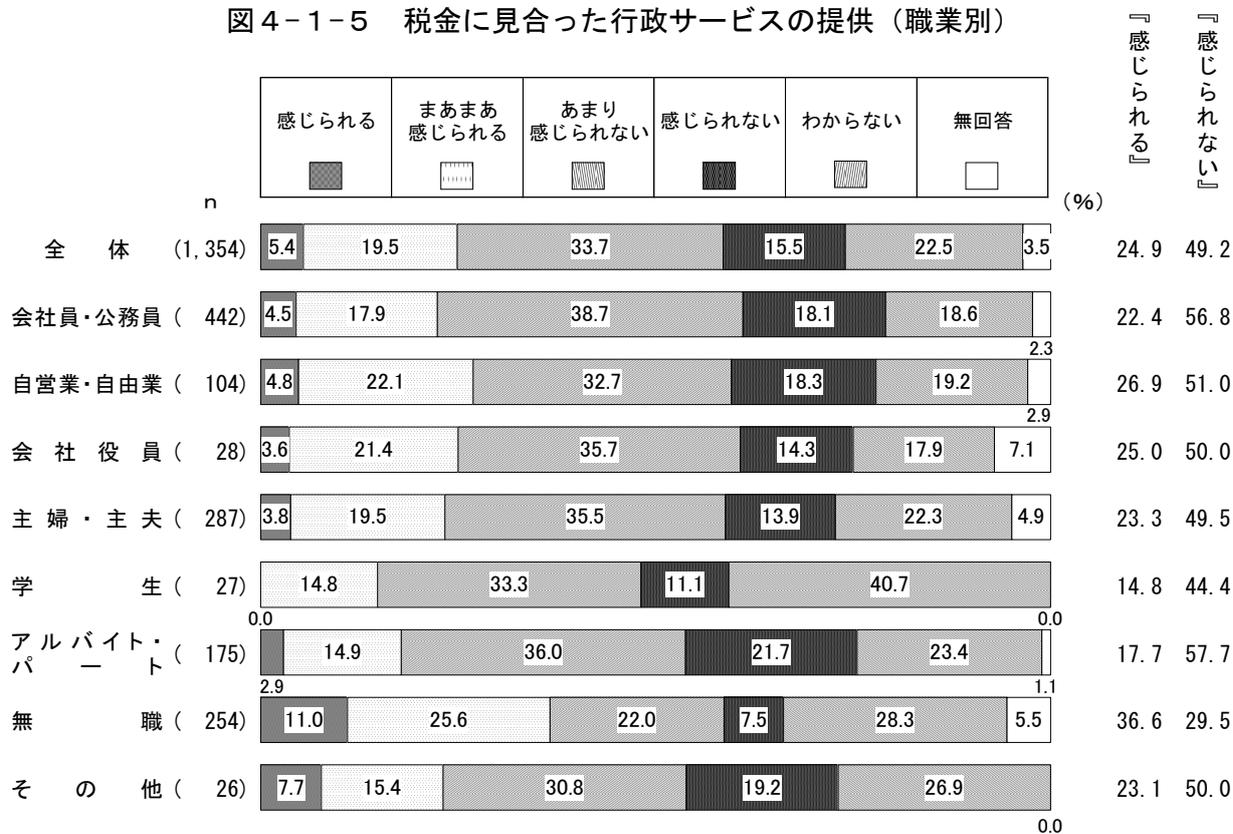
図4-1-4 税金に見合った行政サービスの提供（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、『感じられる』は無職（36.6%）で3割半ばと高くなっています。一方、『感じられない』はアルバイト・パート（57.7%）と会社員・公務員（56.8%）で5割半ばと高くなっています。（図4-1-5）

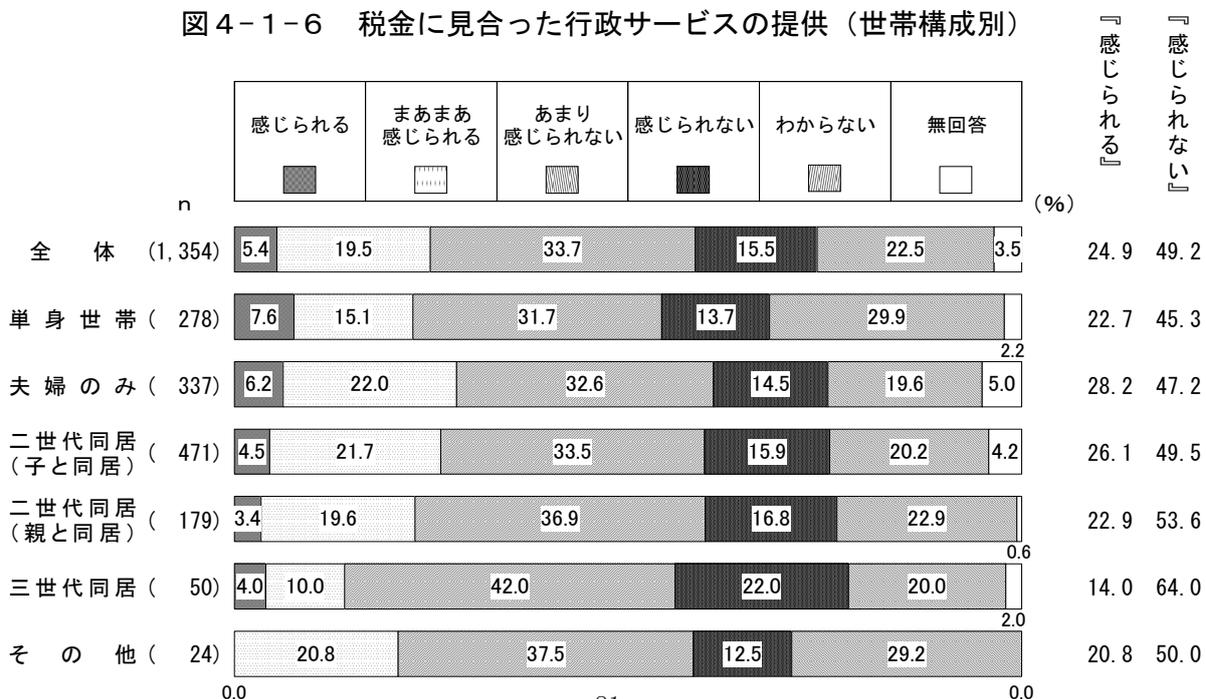
図4-1-5 税金に見合った行政サービスの提供（職業別）



#### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、『感じられる』は夫婦のみ（28.2%）で3割近くと高くなっています。一方、『感じられない』は三世代同居（64.0%）で6割半ば、二世代同居（親と同居）（53.6%）で5を超えて高くなっています。（図4-1-6）

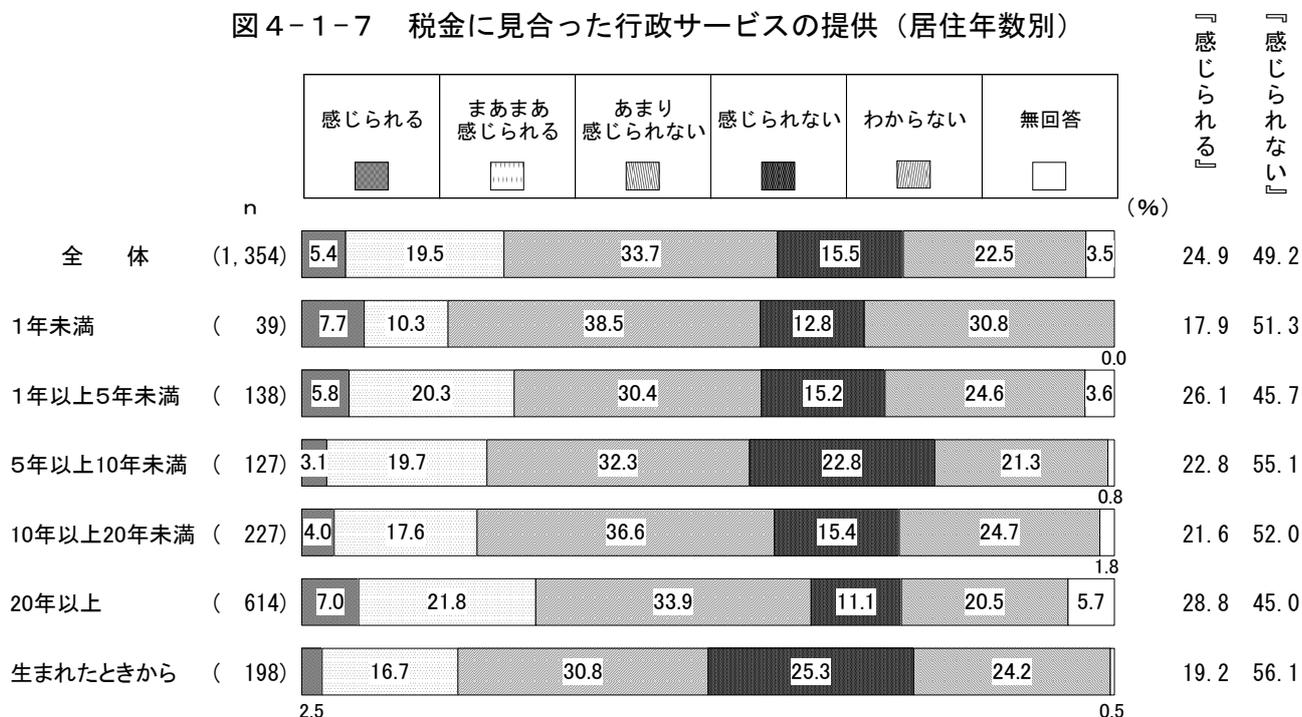
図4-1-6 税金に見合った行政サービスの提供（世帯構成別）



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、『感じられる』は20年以上（28.8%）で3割近くと高くなっています。一方、『感じられない』は生まれたときから（56.1%）と5年以上10年未満（55.1%）で5割半ばと高くなっています。（図4-1-7）

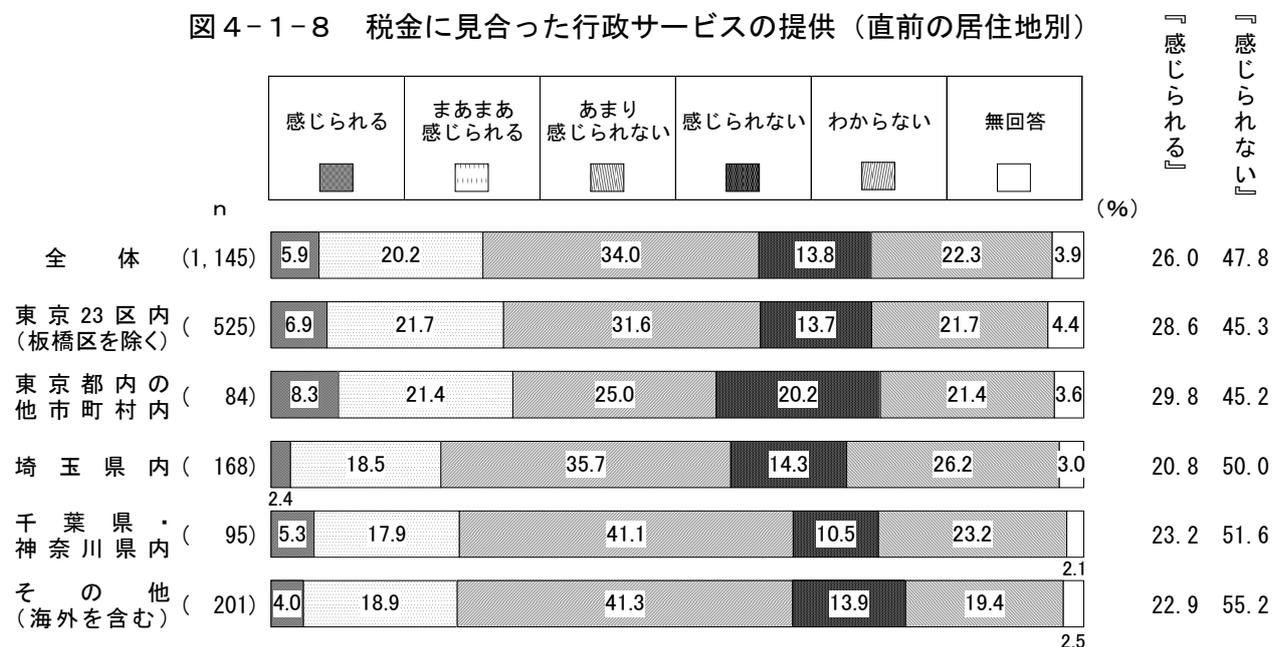
図4-1-7 税金に見合った行政サービスの提供（居住年数別）



### ⑦ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、『感じられる』は東京都内の他市町村内（29.8%）で約3割、東京23区内（板橋区を除く）（28.6%）で3割近くと高くなっています。一方、『感じられない』はその他（海外を含む）（55.2%）、千葉県・神奈川県内（51.6%）、埼玉県内（50.0%）で5割台と高くなっています。（図4-1-8）

図4-1-8 税金に見合った行政サービスの提供（直前の居住地別）

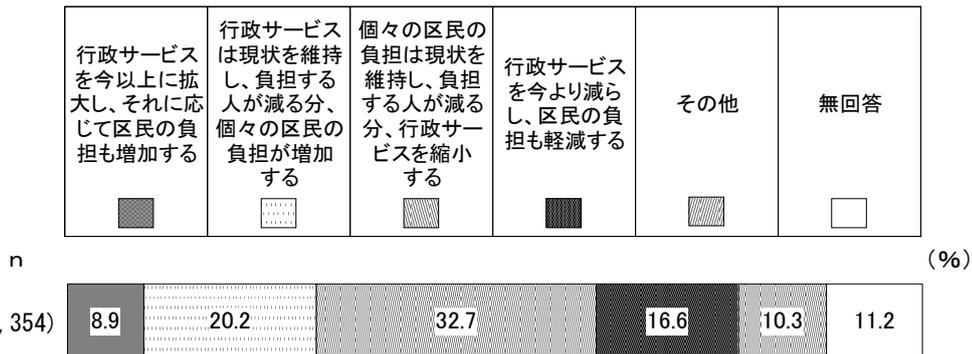


## (2) 将来的な行政サービスと住民負担のバランス

◇「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」が3割を超える

問7 あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図4-2-1

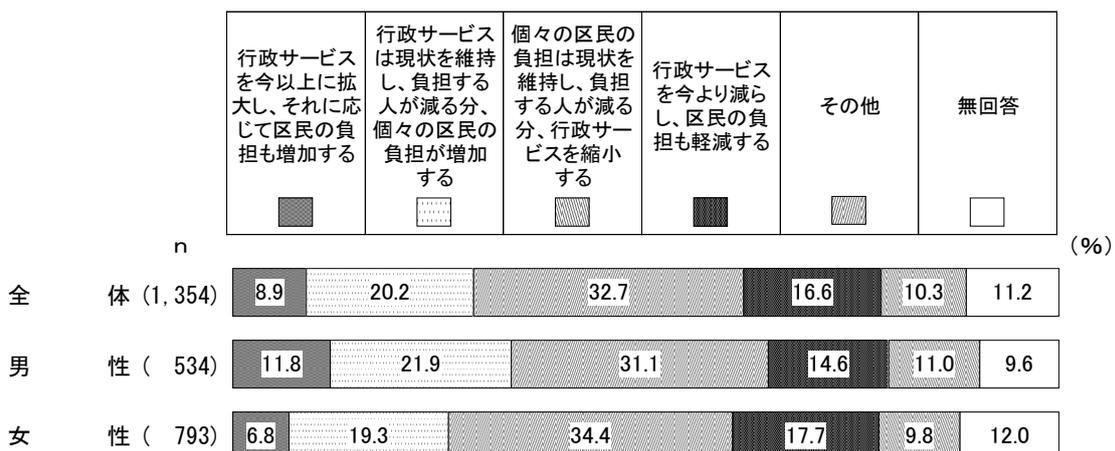


区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいか聞いたところ、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」(32.7%)が3割を超えて最も高くなっています。また、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」(20.2%)が2割、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」(16.6%)が1割半ば、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」(8.9%)は1割未満となっています。(図4-2-1)

### ① 性別

性別でみると、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」は男性(11.8%)が女性(6.8%)より5.0ポイント高くなっています。一方、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は女性(34.4%)が男性(31.1%)より3.3ポイント高くなっています。(図4-2-2)

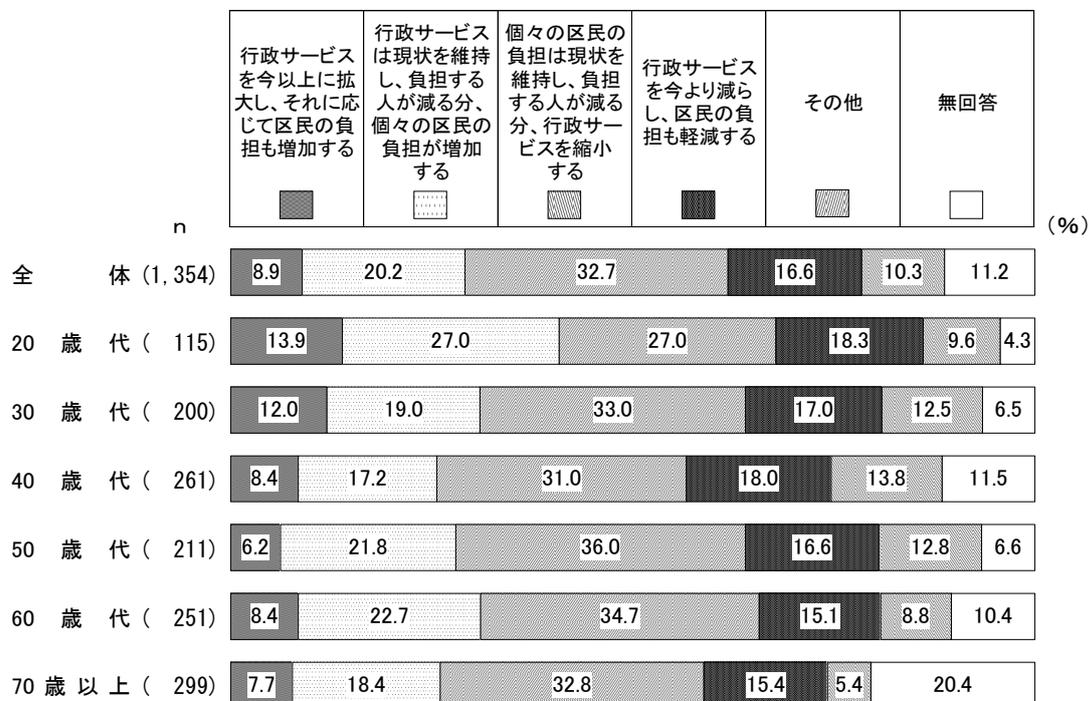
図4-2-2 将来的な行政サービスと住民負担のバランス(性別)



## ② 年代別

年代別でみると、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は20歳代（27.0%）で3割近くと高くなっています。（図4-2-3）

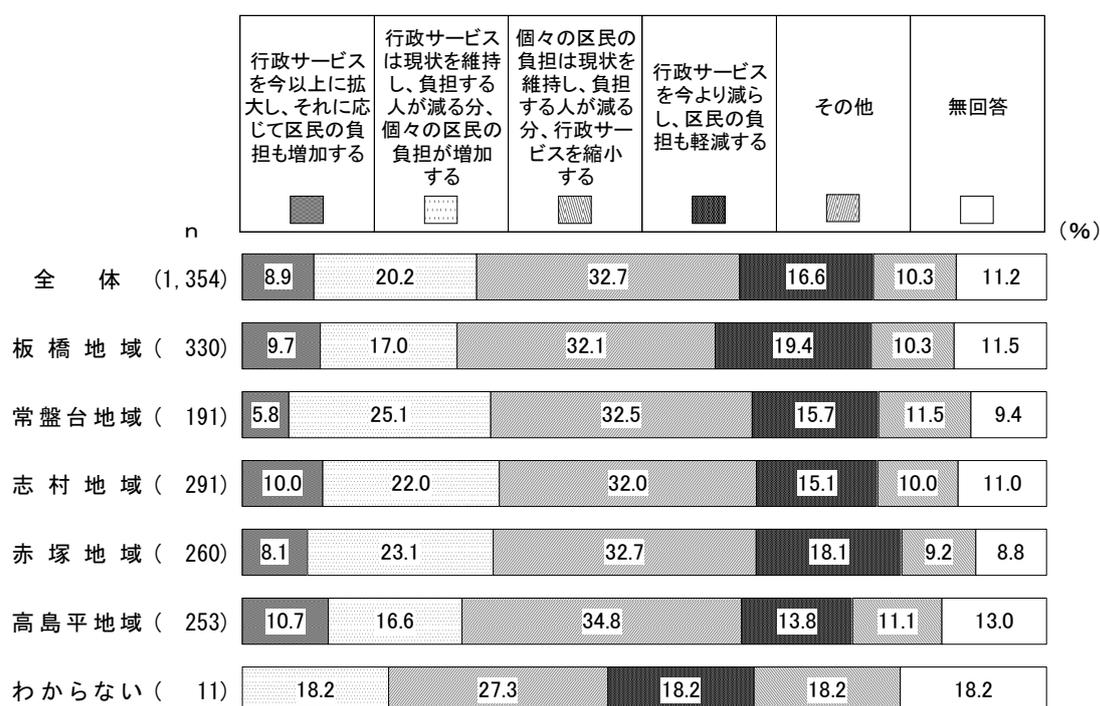
図4-2-3 将来的な行政サービスと住民負担のバランス（年代別）



## ③ 地域別

地域別でみると、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は常盤台地域（25.1%）で2割半ばと高くなっています。（図4-2-4）

図4-2-4 将来的な行政サービスと住民負担のバランス（地域別）

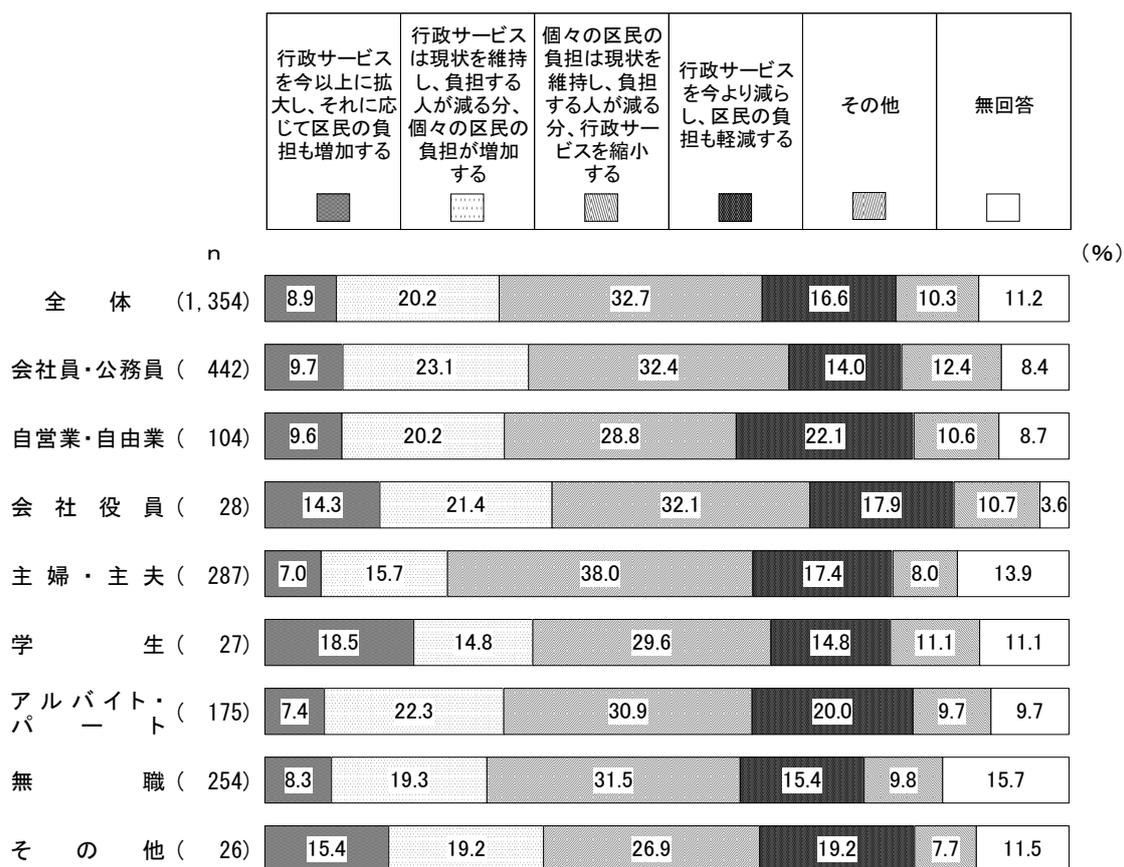


0.0

#### ④ 職業別

職業別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は主婦・主夫（38.0%）で4割近くと高くなっています。また、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」は自営業・自由業（22.1%）とアルバイト・パート（20.0%）で2割台と高く、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」は学生（18.5%）で2割近くと高くなっています。（図4-2-5）

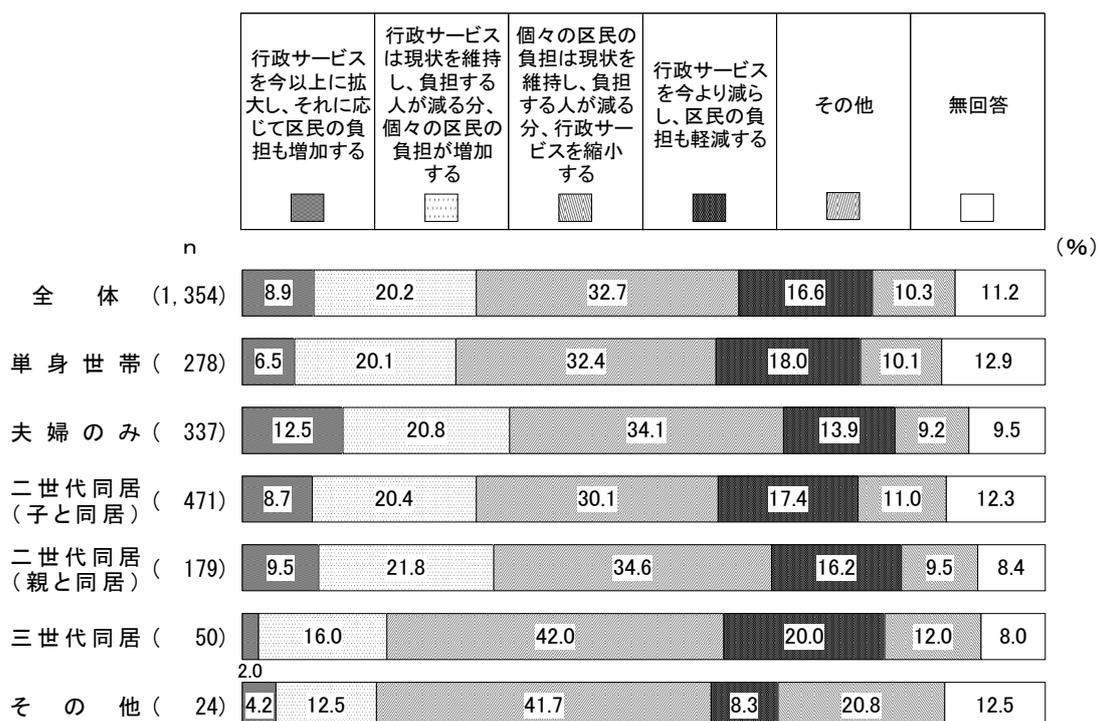
図4-2-5 将来的な行政サービスと住民負担のバランス（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は三世帯同居（42.0%）で4割を超えて高くなっています。また、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」は三世帯同居（20.0%）で2割と高く、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」は夫婦のみ（12.5%）で1割を超えて高くなっています。（図4-2-6）

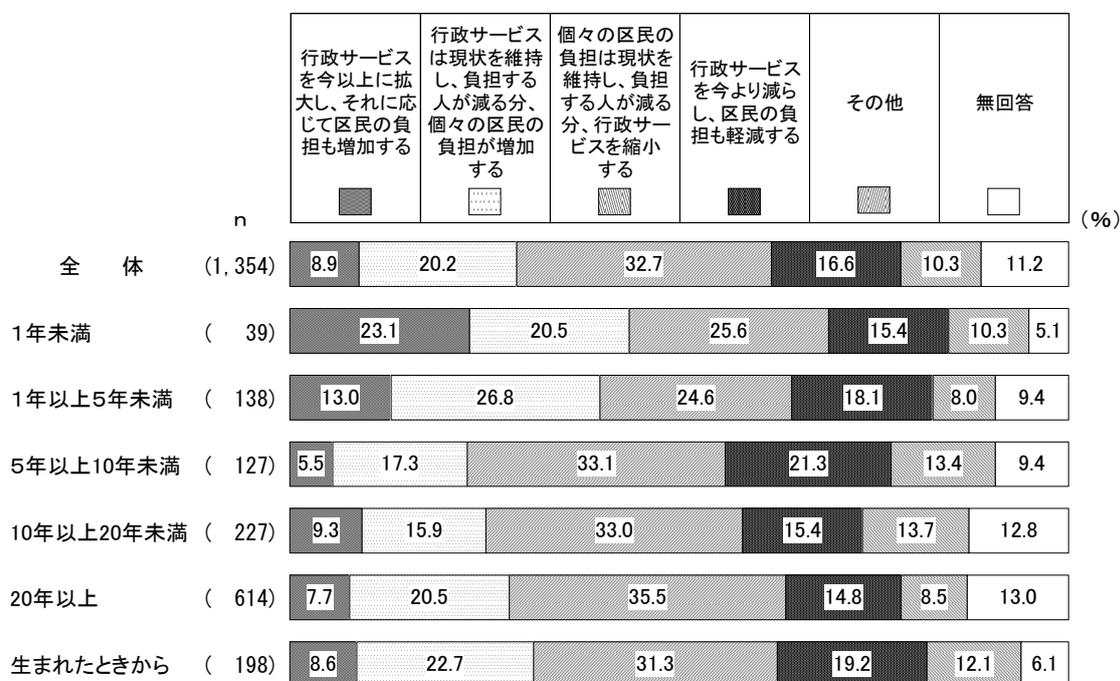
図4-2-6 将来的な行政サービスと住民負担のバランス（世帯構成別）



## ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は1年以上5年未満(26.8%)で2割半ばと高くなっています。また、「行政サービスを今以上に拡大し、それに伴って区民の負担も増加する」は1年未満(23.1%)で2割を超えて高くなっています。(図4-2-7)

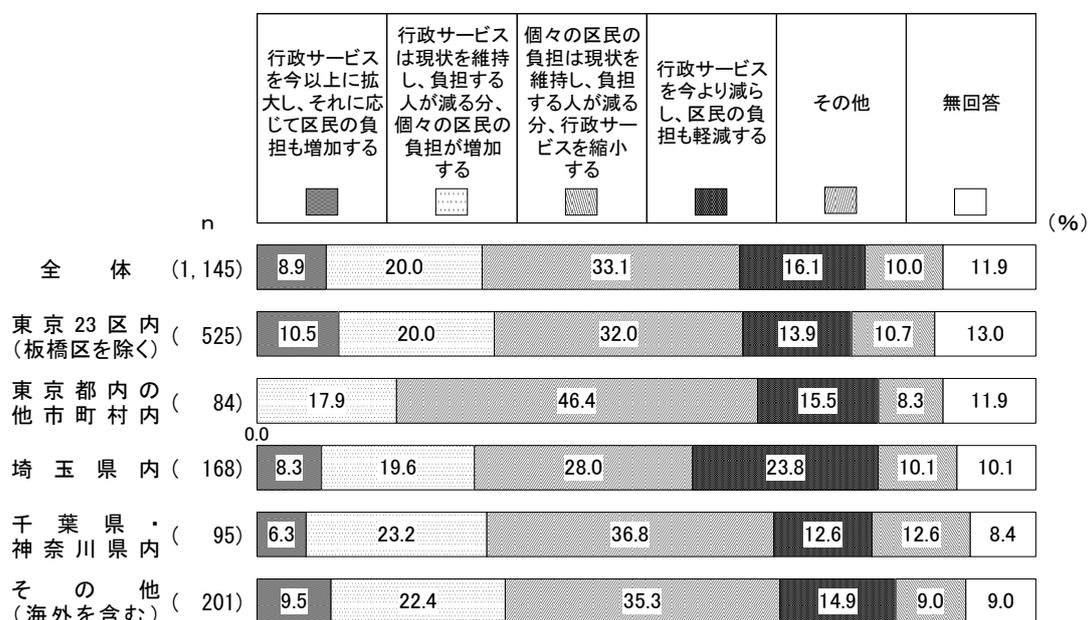
図4-2-7 将来的な行政サービスと住民負担のバランス(居住年数別)



## ⑦ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は東京都内の他市町村内(46.4%)で4割半ばと高くなっています。また、「行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する」は埼玉県内(23.8%)で2割を超えて高くなっています。(図4-2-8)

図4-2-8 将来的な行政サービスと住民負担のバランス(直前の居住地別)

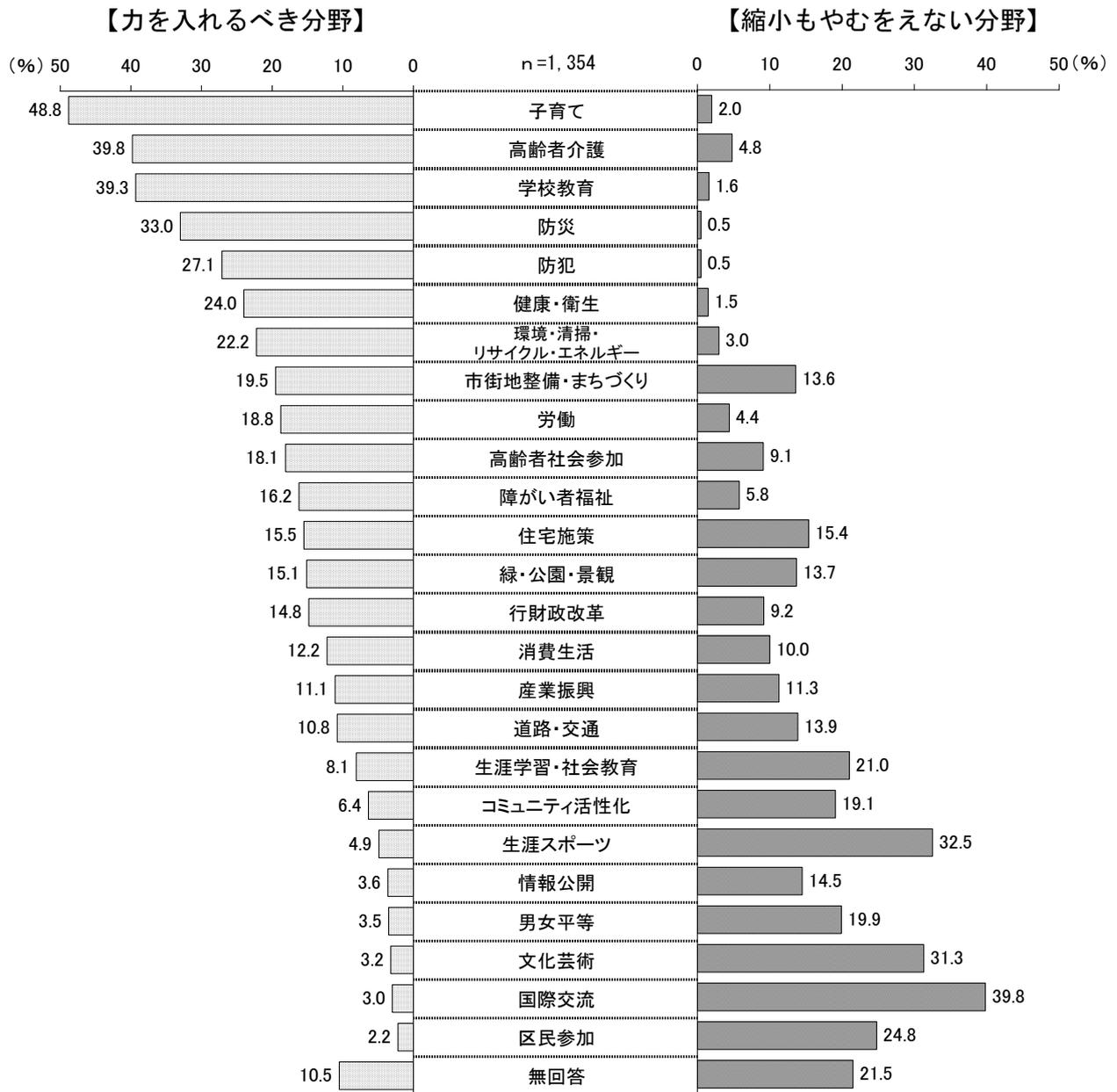


### (3) 行政サービスで力を入れるべき分野と縮小もやむをえない分野

◇力を入れるべき分野は「子育て」が5割近く、縮小もやむをえない分野は「国際交流」が約4割

問8 今後、区の持続的な発展を可能とするためには、生産年齢人口を増やし定住化を促す施策として、区民生活の質の向上につながる魅力の創出や将来の活力に向けた全体像を示すとともに、「選択と集中」による成長戦略を総合的に展開していくことが不可欠となってきます。そのような状況にあって、重点的に力を入れて行政サービスを提供していくべき分野と、縮小もやむを得ない分野を選ぶとしたらどのような分野だと思いますか。あなたのお考えに近いものをそれぞれ5つまで選び、下の表に番号を記入してください。(順不同)

図4-3-1



限られた財源の中で、重点的に力を入れて行政サービスを提供していくべき分野と、縮小もやむを得ない分野を選ぶとしたらどのような分野だと思うか聞いたところ、25の分野について、「力を入れるべき分野」では、「子育て」(48.8%)が5割近くと最も高く、次いで「高齢者介護」(39.8%)、「学校教育」(39.3%)などとなっています。

一方、「縮小もやむをえない分野」では、「国際交流」(39.8%)が約4割と最も高く、次いで「生涯スポーツ」(32.5%)、「文化芸術」(31.3%)などとなっています。(図4-3-1)

### ① 性別

「力を入れるべき分野」の上位10項目を性別でみると、「労働」は女性（21.3%）が男性（15.2%）より6.1ポイント、「学校教育」は女性（41.7%）が男性（36.5%）より5.2ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「防犯」は男性（29.0%）が女性（25.9%）より3.1ポイント高くなっています。（図4-3-2）

「縮小もやむをえない分野」の上位10項目を性別でみると、「コミュニティ活性化」は女性（22.2%）が男性（15.0%）より7.2ポイント、「生涯スポーツ」は女性（33.9%）が男性（30.9%）より3.0ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「国際交流」は男性（42.7%）が女性（38.6%）より4.1ポイント、「男女平等」は男性（21.9%）が女性（18.4%）より3.5ポイント、それぞれ高くなっています。（図4-3-3）

図4-3-2 行政サービスで力を入れるべき分野（性別）-上位10項目

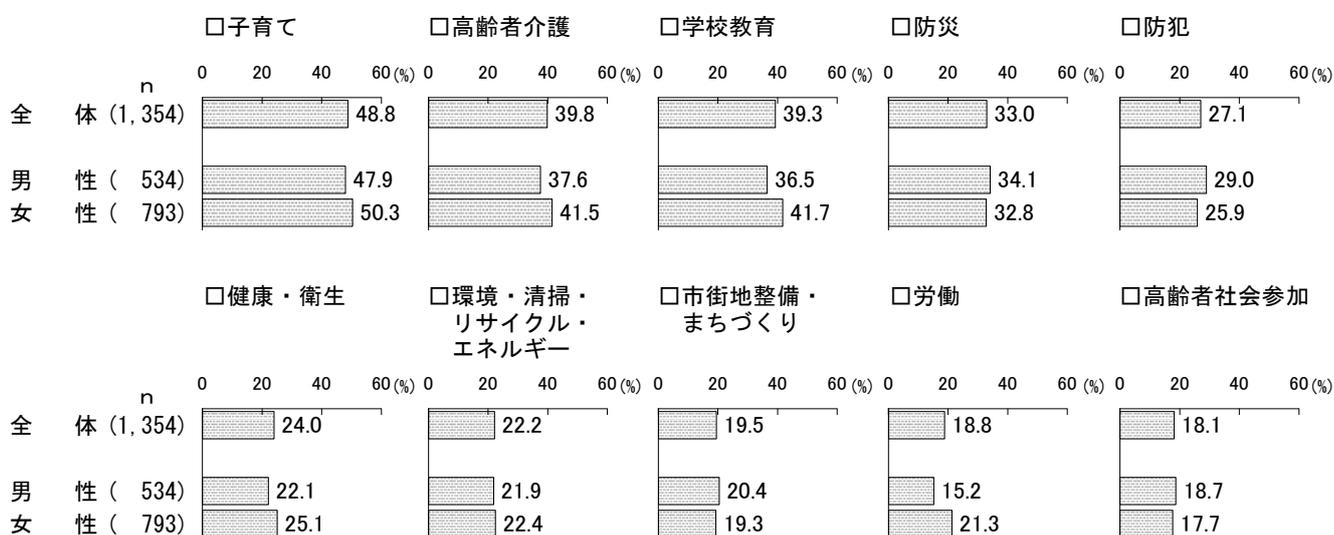
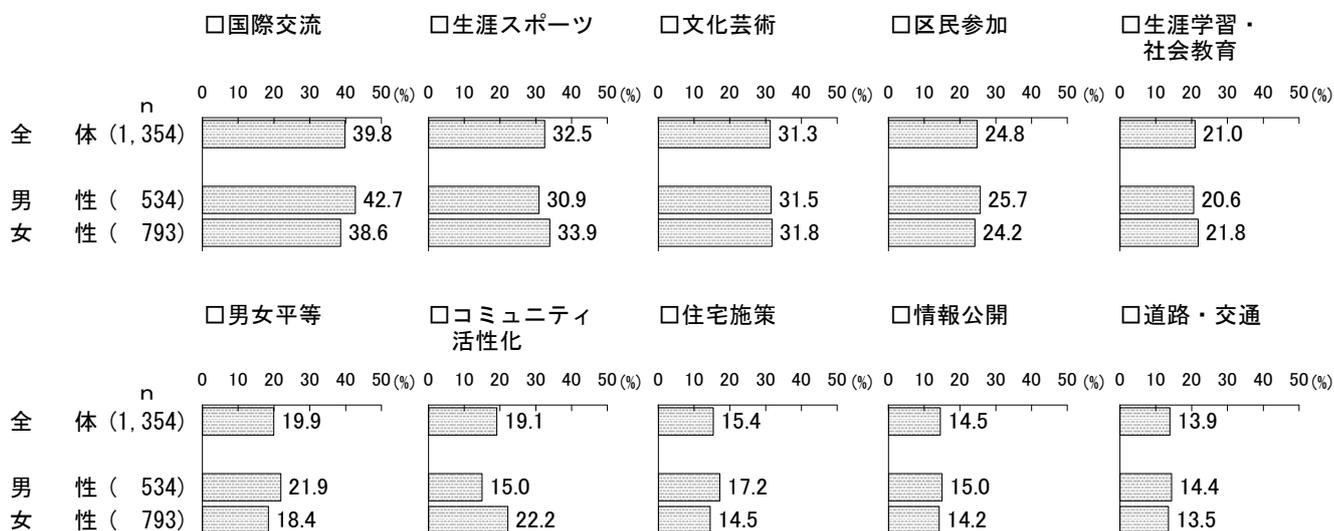


図4-3-3 行政サービスで縮小もやむをえない分野（性別）-上位10項目



## ② 年代別

「力を入れるべき分野」の上位10項目を年代別で見ると、「子育て」はおおむね年齢が下がるほど割合が高く、20歳代(60.9%)と30歳代(68.5%)では6割台となっています。また、「学校教育」は30歳代(52.5%)で5割を超えて高くなっています。(図4-3-4)

「縮小もやむをえない分野」の上位10項目を年代別で見ると、「国際交流」は40歳代(50.6%)と50歳代(52.1%)で5割台と高く、「文化芸術」は50歳代(40.3%)で4割と高くなっています。(図4-3-5)

図4-3-4 行政サービスで力を入れるべき分野(年代別)-上位10項目

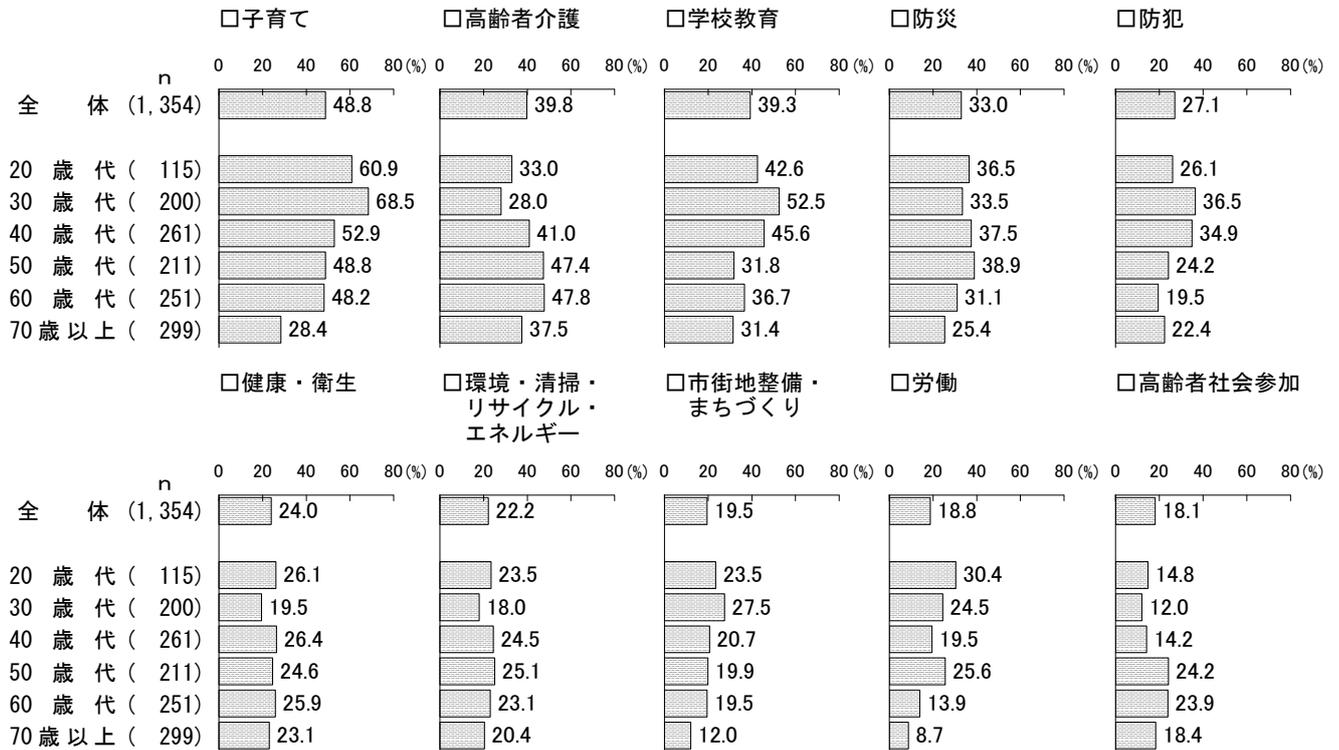
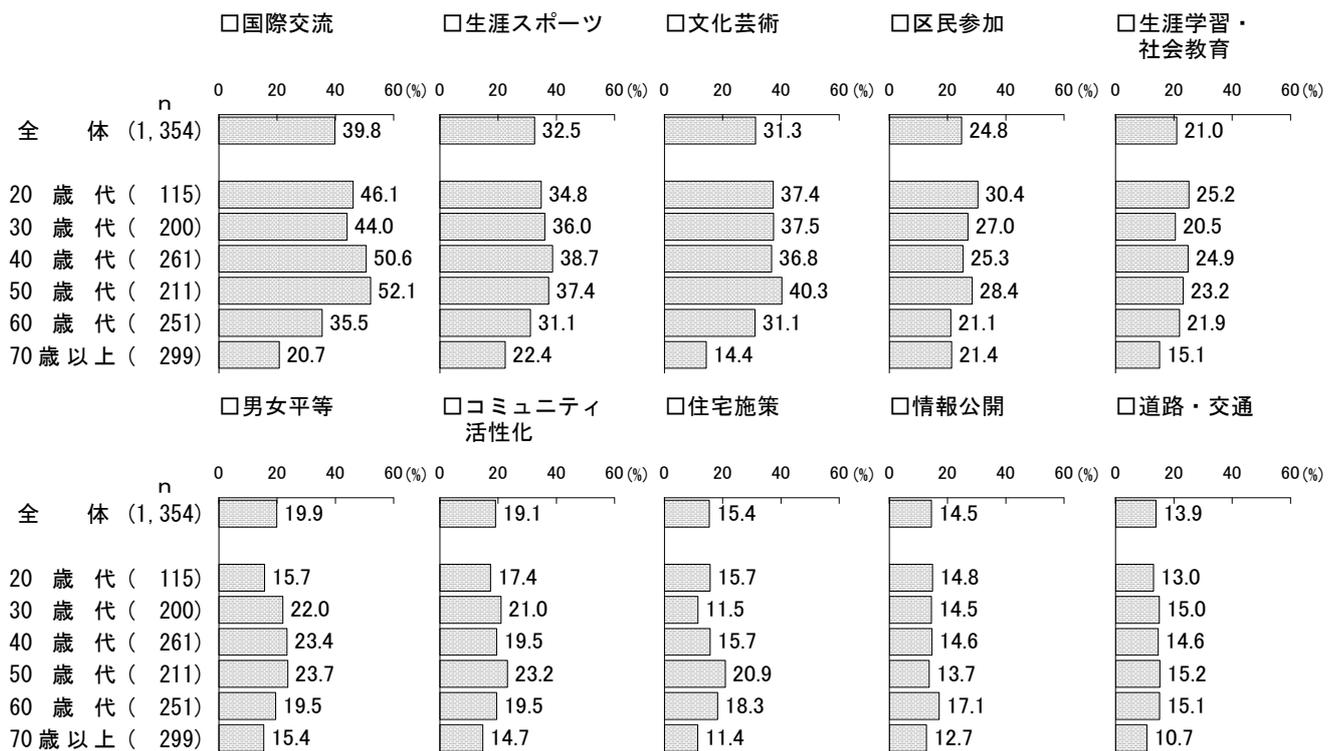


図4-3-5 行政サービスで縮小もやむをえない分野(年代別)-上位10項目



### ③ 地域別

「力を入れるべき分野」の上位10項目を地域別でみると、「子育て」は常盤台地域（54.5%）と赤塚地域（53.1%）で5割台と高くなっています。また、「高齢者介護」は赤塚地域（46.9%）で4割半ばと高くなっています。（図4-3-6）

「縮小もやむをえない分野」の上位10項目を地域別でみると、「国際交流」は赤塚地域（43.1%）と高島平地域（40.7%）で4割台と高くなっています。また、「生涯スポーツ」は常盤台地域（38.7%）と赤塚地域（37.7%）で4割近くと高くなっています。（図4-3-7）

図4-3-6 行政サービスで力を入れるべき分野（地域別）-上位10項目

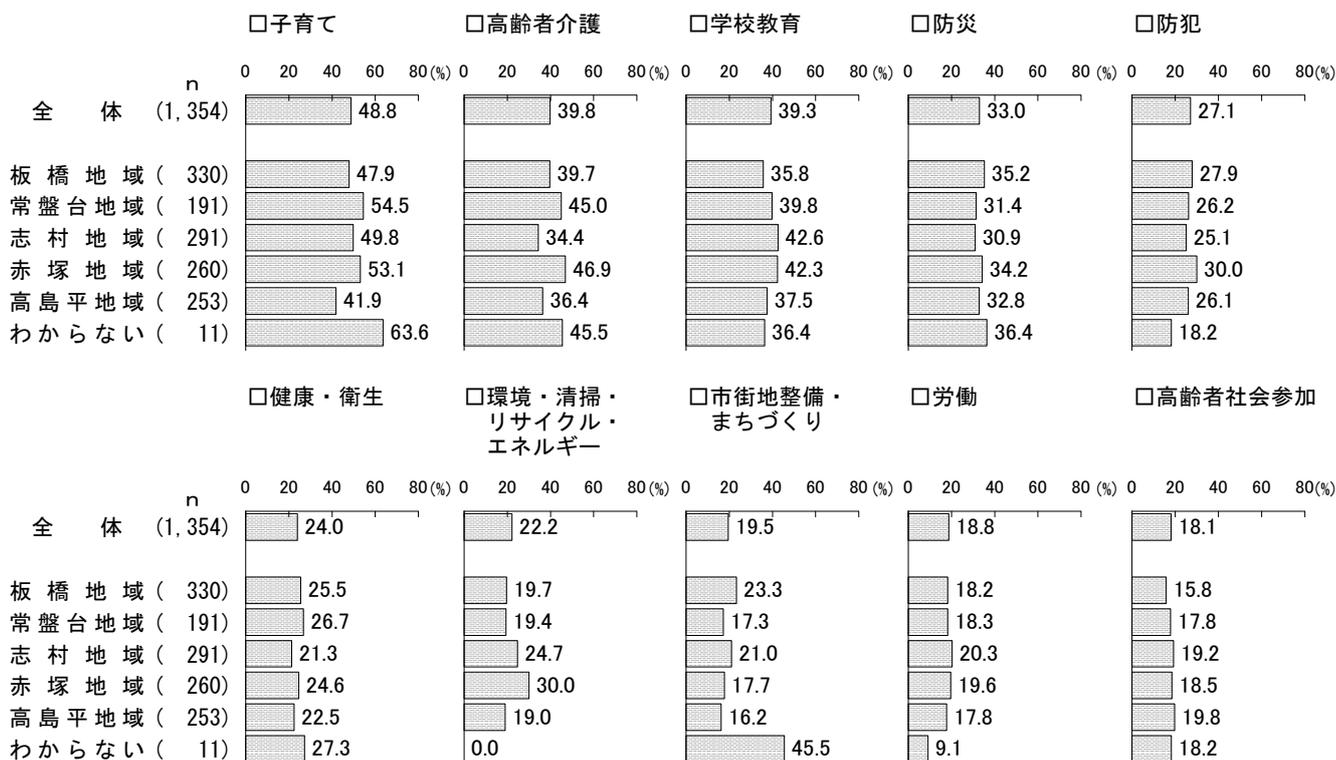
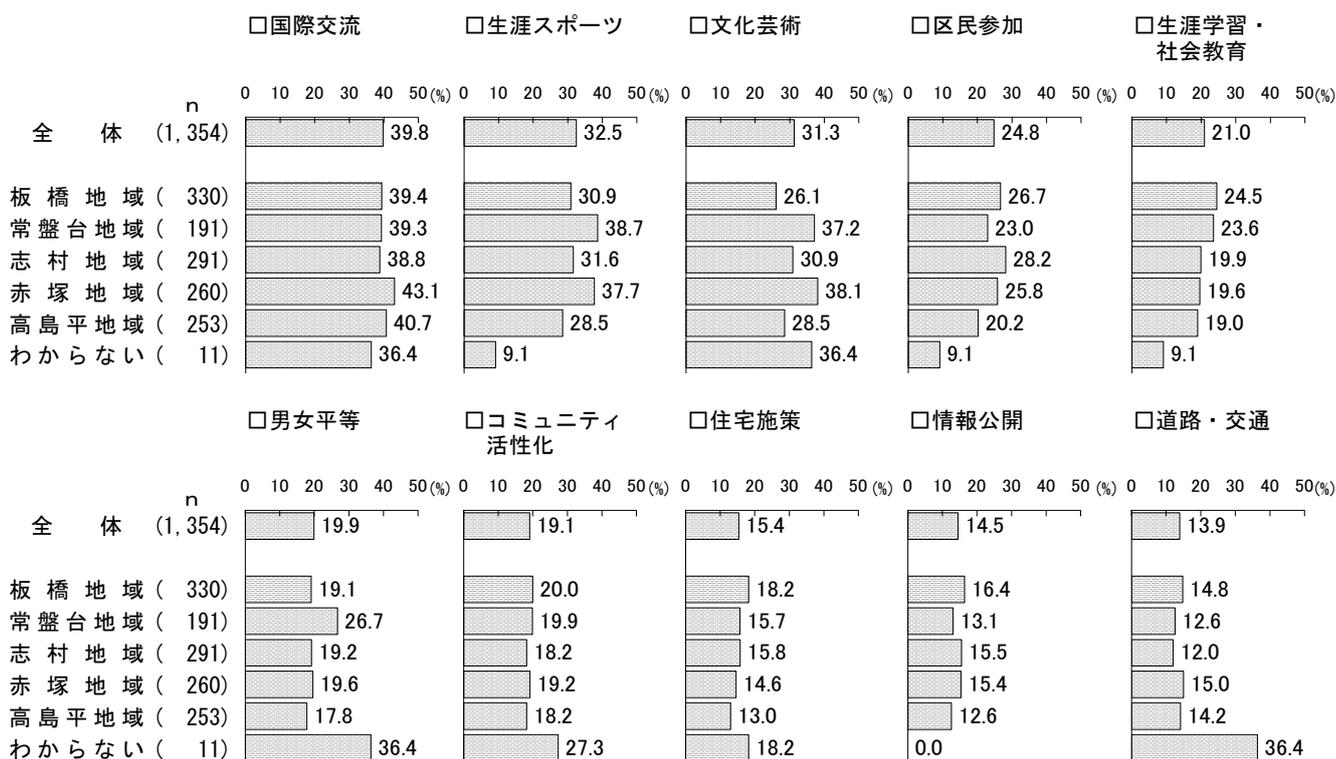


図4-3-7 行政サービスで縮小もやむをえない分野（地域別）-上位10項目



#### ④ 職業別

「力を入れるべき分野」の上位 10 項目を職業別で見ると、「学校教育」は会社役員（57.1%）で 6 割近くと高くなっている一方、無職（31.5%）と自営業・自由業（31.7%）では 3 割を超える程度となっています。また、「子育て」は会社員・公務員（55.9%）で 5 割半ばと高くなっている一方、無職（34.3%）では 3 割半ばとなっています。（図 4-3-8）

「縮小もやむをえない分野」の上位 10 項目を職業別で見ると、「国際交流」は会社員・公務員（48.4%）と学生（48.1%）で 5 割近くと高く、「生涯スポーツ」はアルバイト・パート（41.1%）で 4 割を超えて高くなっています。また、「住宅施策」は学生（40.7%）で約 4 割と高く、「文化芸術」は会社員・公務員（38.2%）で 4 割近くと高くなっています。（図 4-3-9）

図 4-3-8 行政サービスで力を入れるべき分野（職業別）-上位 10 項目

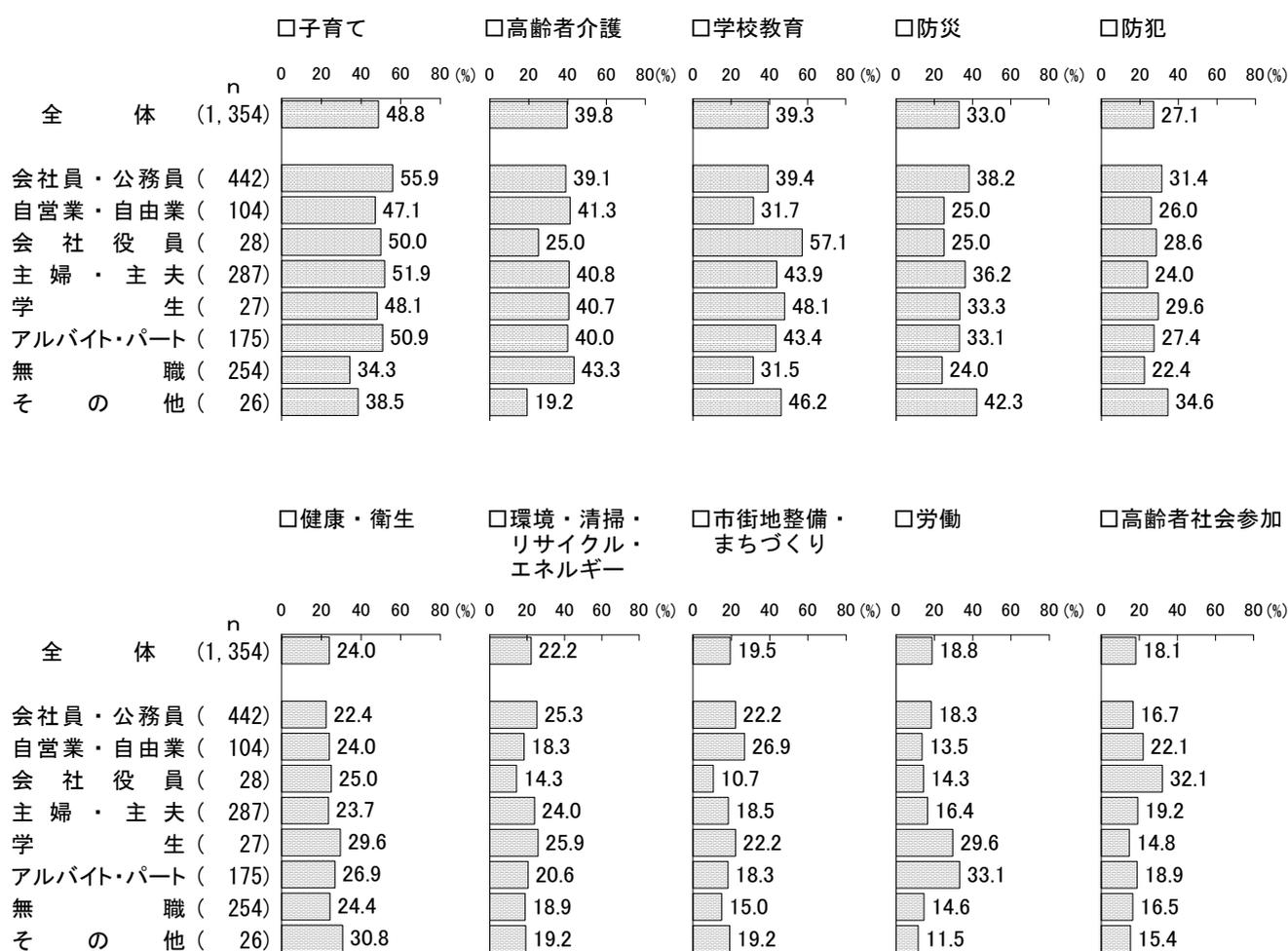
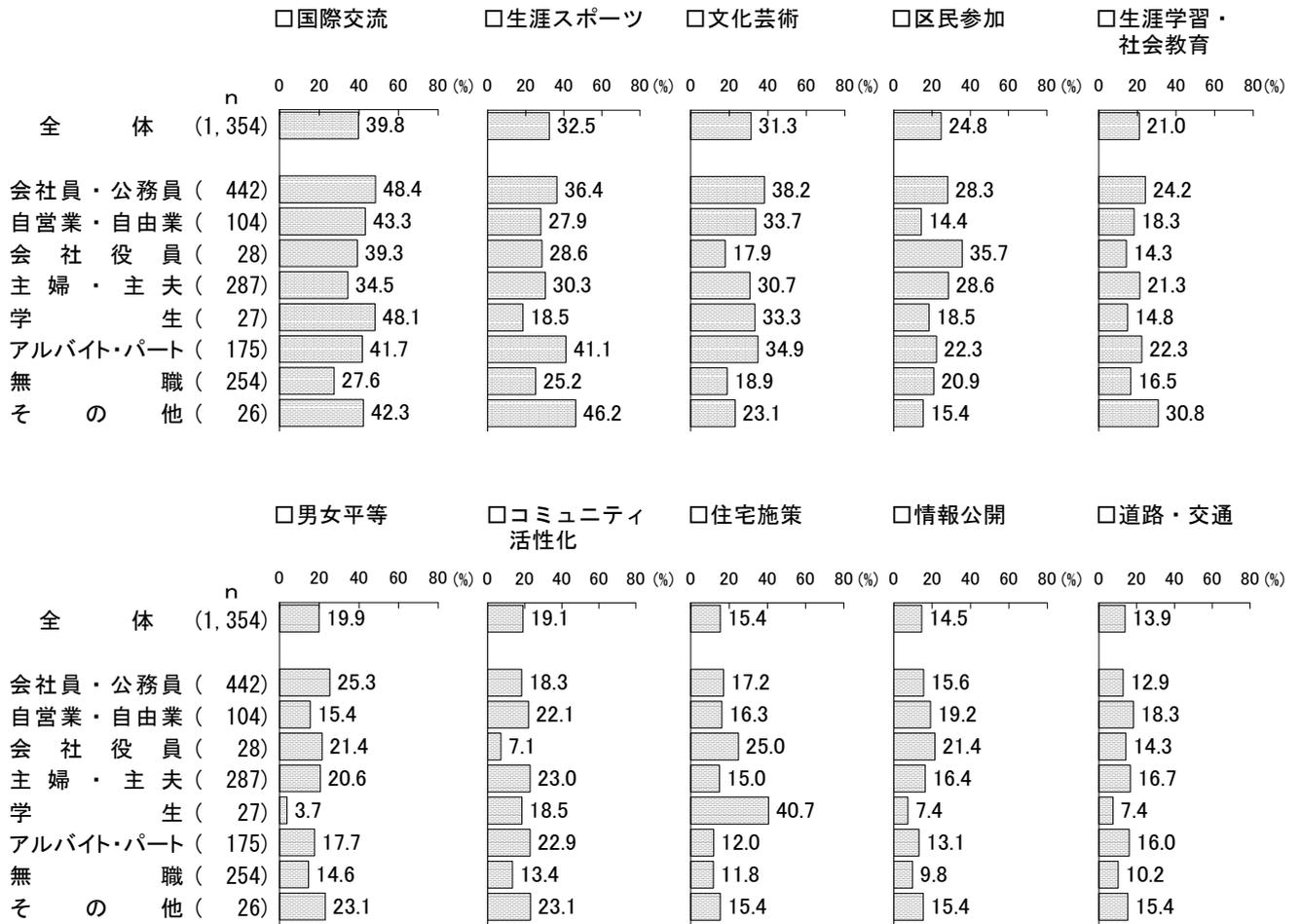


図4-3-9 行政サービスで縮小もやむをえない分野（職業別）-上位10項目



### ⑤ 世帯構成別

「力を入れるべき分野」の上位 10 項目を世帯構成別でみると、「子育て」は二世帯同居(子と同居) (55.8%) で 5 割半ばと高く、「学校教育」は二世帯同居(子と同居) (46.5%) で 4 割半ばと高くなっています。また、「高齢者介護」は二世帯同居(親と同居) (45.3%) で 4 割半ばと高く、「防災」は二世帯同居(親と同居) (37.4%) で 4 割近くと高くなっています。(図 4-3-10)

「縮小もやむをえない分野」の上位 10 項目を世帯構成別でみると、「国際交流」は二世帯同居(親と同居) (46.4%) で 4 割半ばと高くなっています。また、「道路・交通」は三世帯同居 (30.0%) で 3 割と高くなっています。(図 4-3-11)

図 4-3-10 行政サービスで力を入れるべき分野（世帯構成別）-上位 10 項目

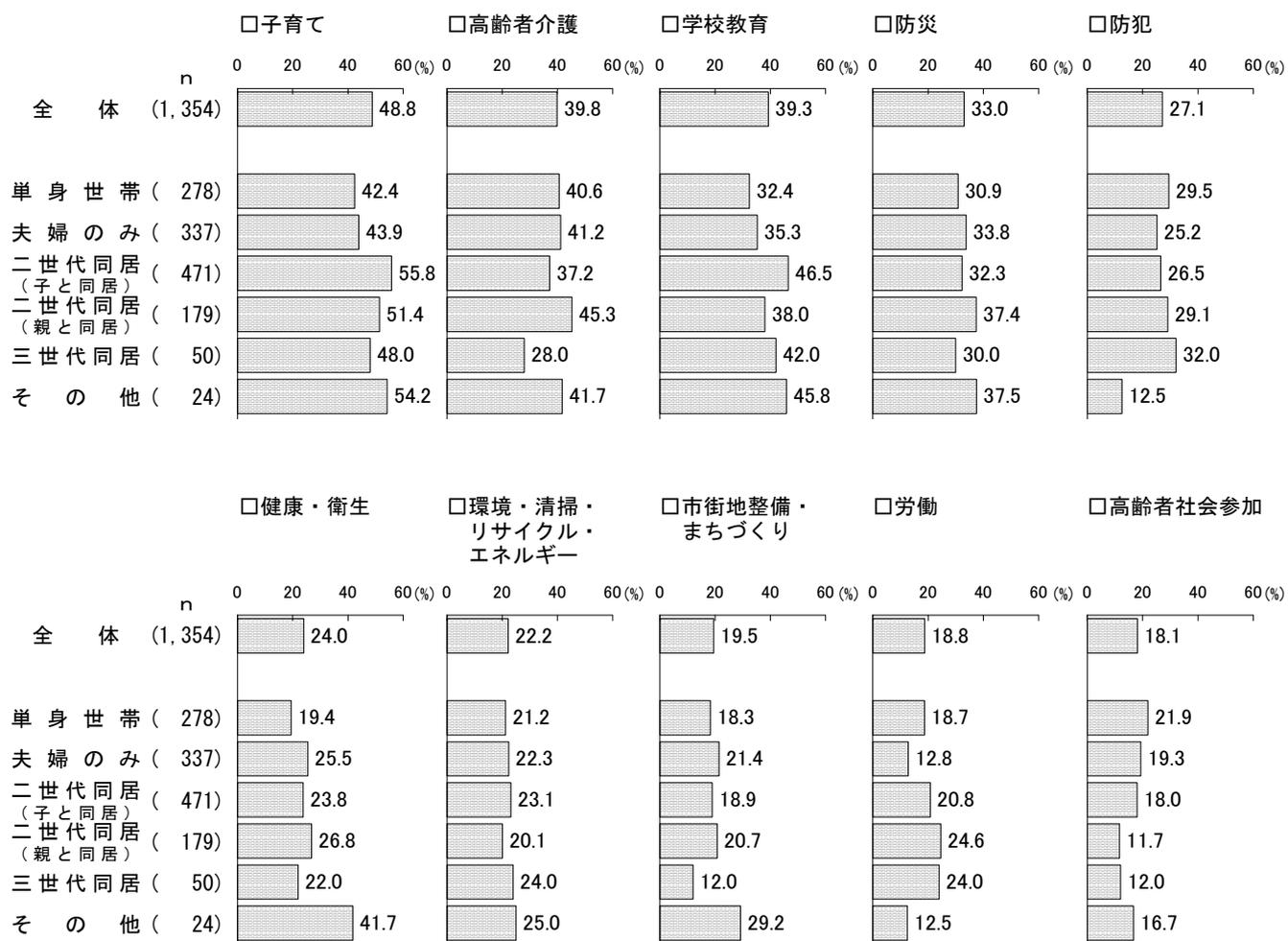
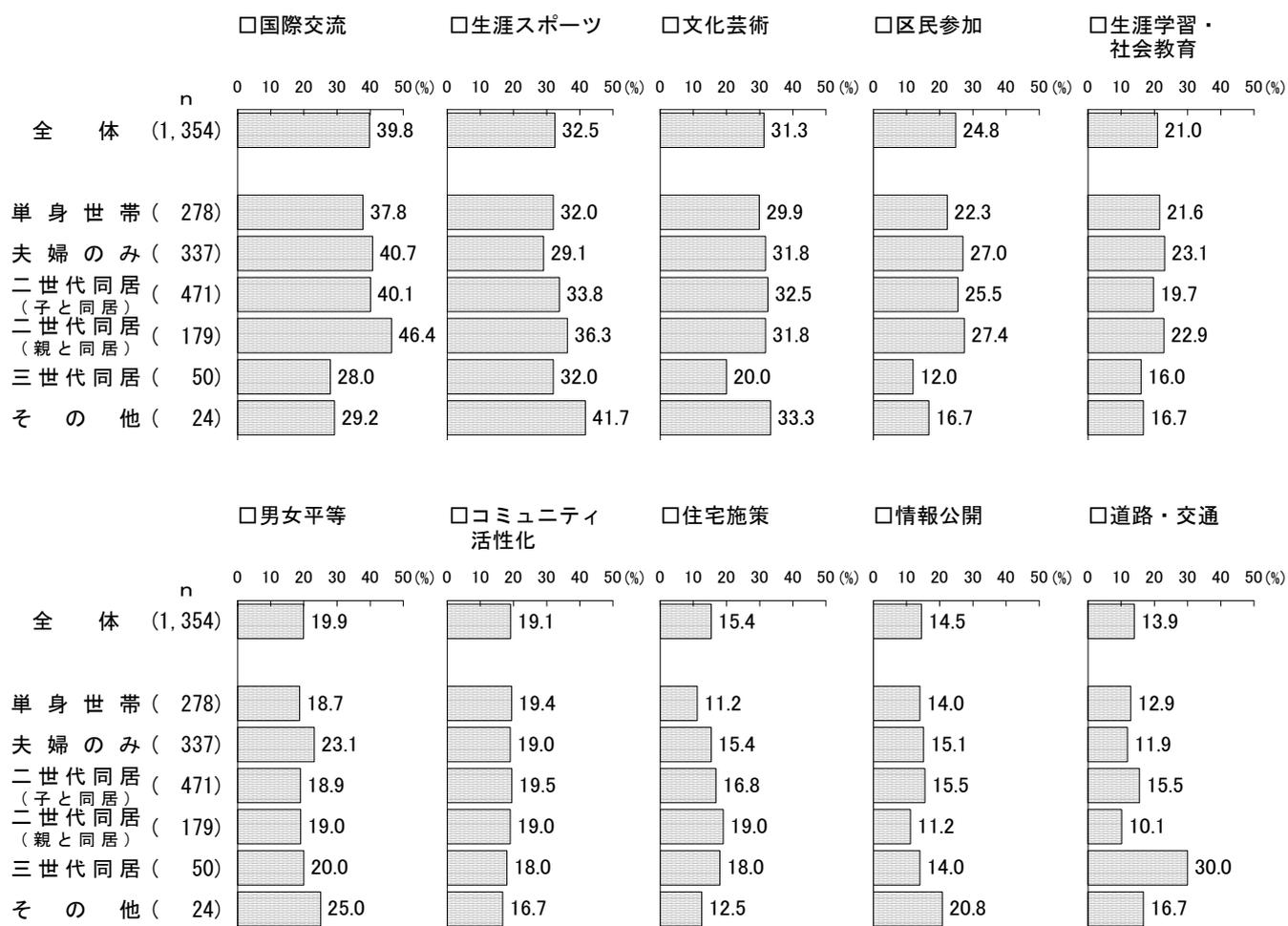


図4-3-11 行政サービスで縮小もやむをえない分野（世帯構成別）-上位10項目



⑥ 居住年数別

「力を入れるべき分野」の上位 10 項目を居住年数別で見ると、「子育て」は 5 年以上 10 年未満 (59.8%) で約 6 割と高くなっています。また、「学校教育」は 5 年以上 10 年未満 (49.6%) で約 5 割、「高齢者介護」は生まれたときから (46.5%) で 4 割半ばと高くなっています。(図 4-3-12)

「縮小もやむをえない分野」の上位 10 項目を居住年数別で見ると、「文化芸術」は 1 年未満 (61.5%) で 6 割を超えて高く、「国際交流」は 1 年未満 (56.4%) と 5 年以上 10 年未満 (52.8%) で 5 割台と高くなっています。(図 4-3-13)

図 4-3-12 行政サービスで力を入れるべき分野（居住年数別）-上位 10 項目

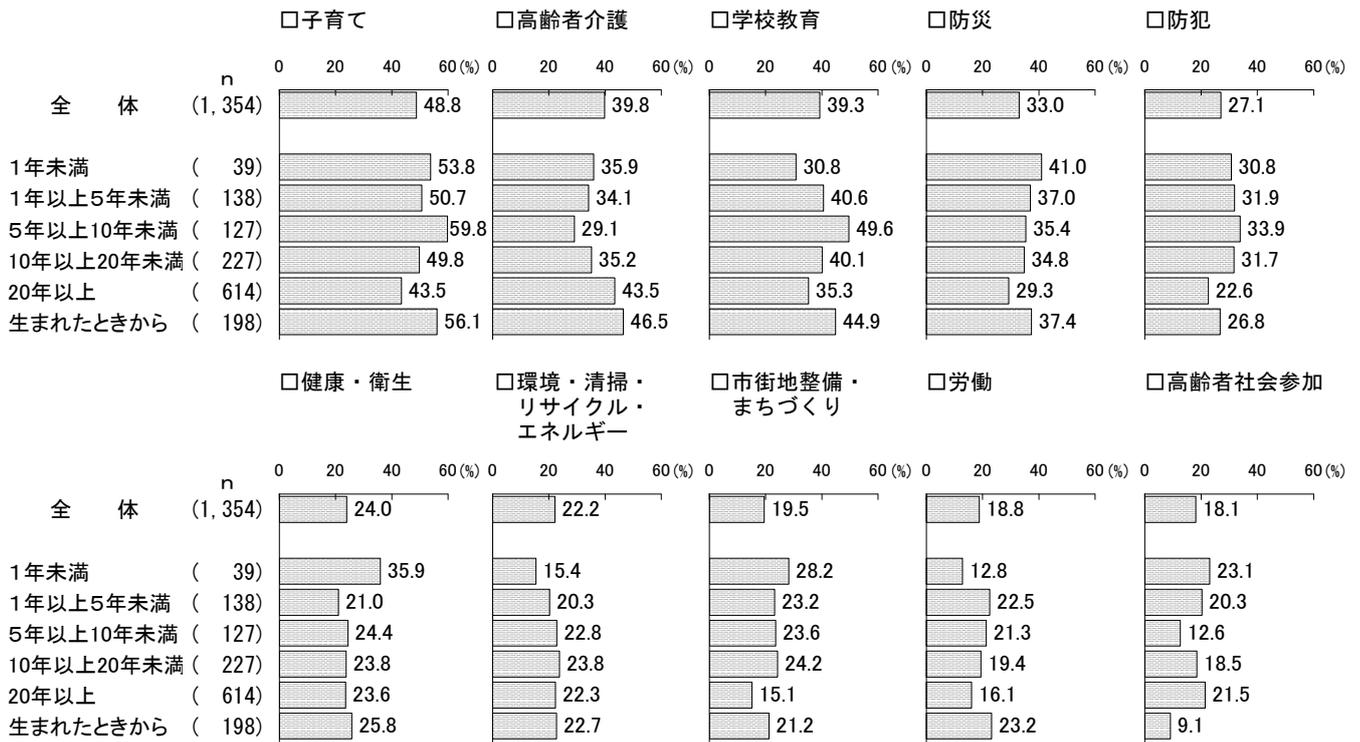
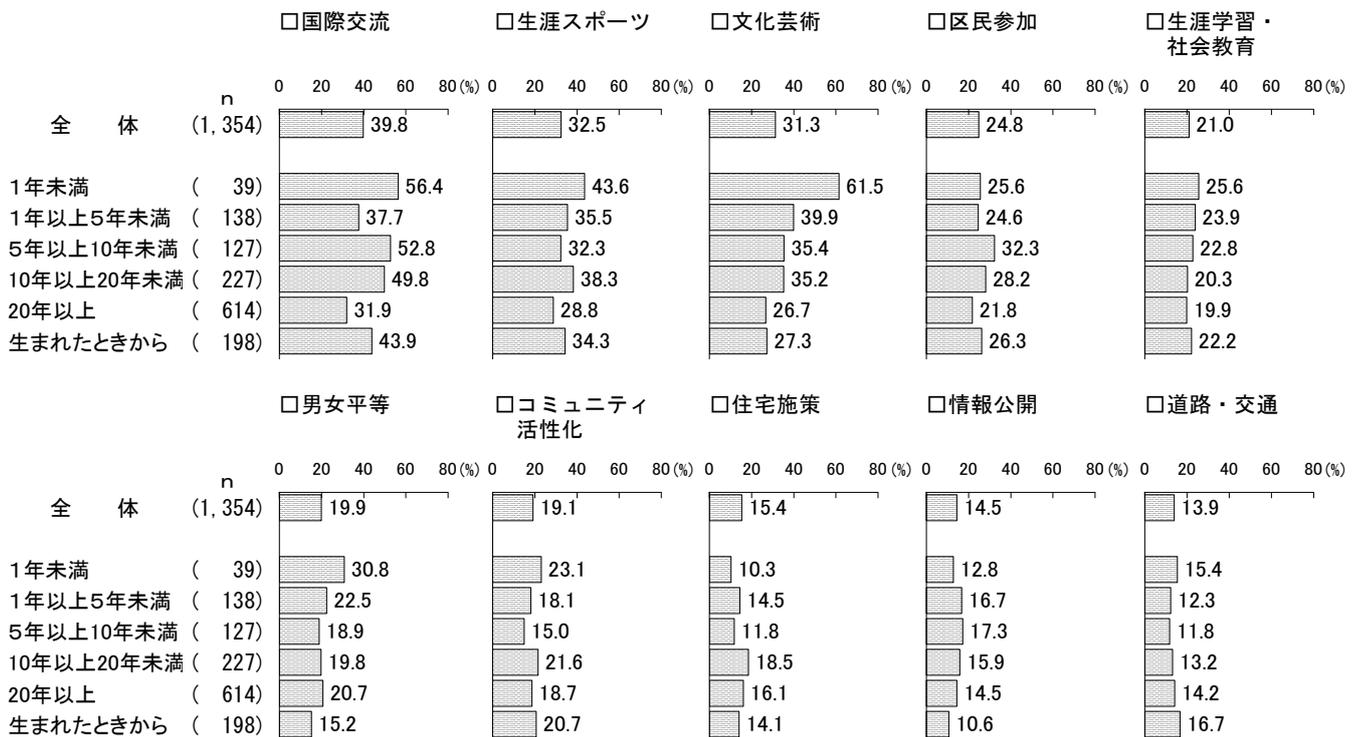


図 4-3-13 行政サービスで縮小もやむをえない分野（居住年数別）-上位 10 項目



### ⑦ 直前の居住地別

「力を入れるべき分野」の上位 10 項目を直前の居住地別で見ると、「子育て」は千葉県・神奈川県内 (61.1%) で 6 割を超えて高く、「学校教育」は東京都内の他市町村内 (44.0%) で 4 割半ばと高くなっています。また、「防災」は埼玉県内 (38.7%) で 4 割近くと高く、「健康・衛生」は東京都内の他市町村内 (36.9%) で 3 割半ばと高くなっています。(図 4-3-14)

「縮小もやむをえない分野」の上位 10 項目を直前の居住地別で見ると、「国際交流」は千葉県・神奈川県内 (45.3%) と埼玉県内 (44.6%) で 4 割半ばと高く、「生涯スポーツ」は千葉県・神奈川県内 (37.9%) で 4 割近くと高くなっています。また、「文化芸術」は千葉県・神奈川県内 (35.8%) とその他 (海外を含む) (34.3%) で 3 割半ばと高く、「住宅施策」は千葉県・神奈川県内 (30.5%) で約 3 割と高くなっています。(図 4-3-15)

図 4-3-14 行政サービスで力を入れるべき分野 (直前の居住地別) - 上位 10 項目

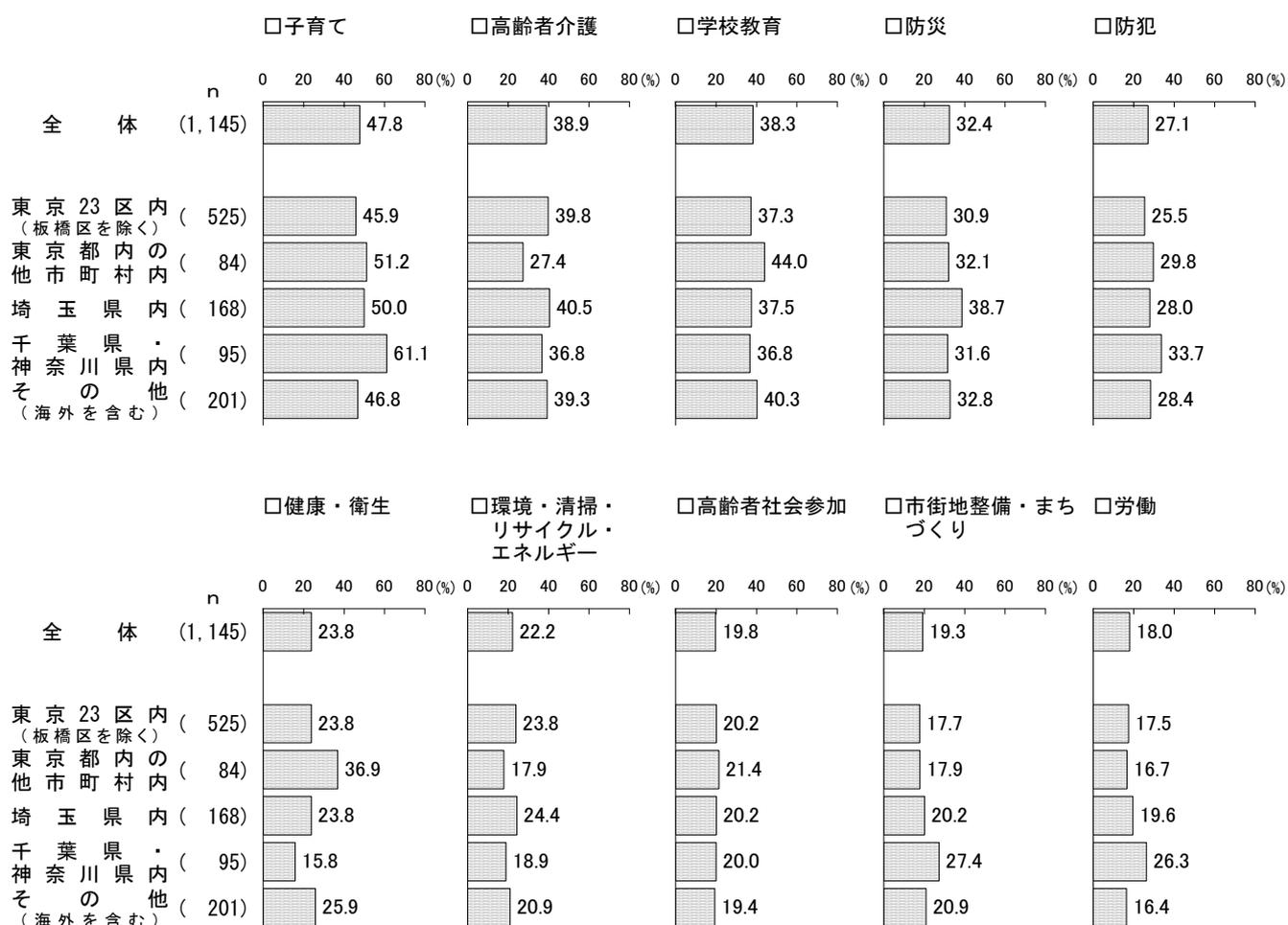
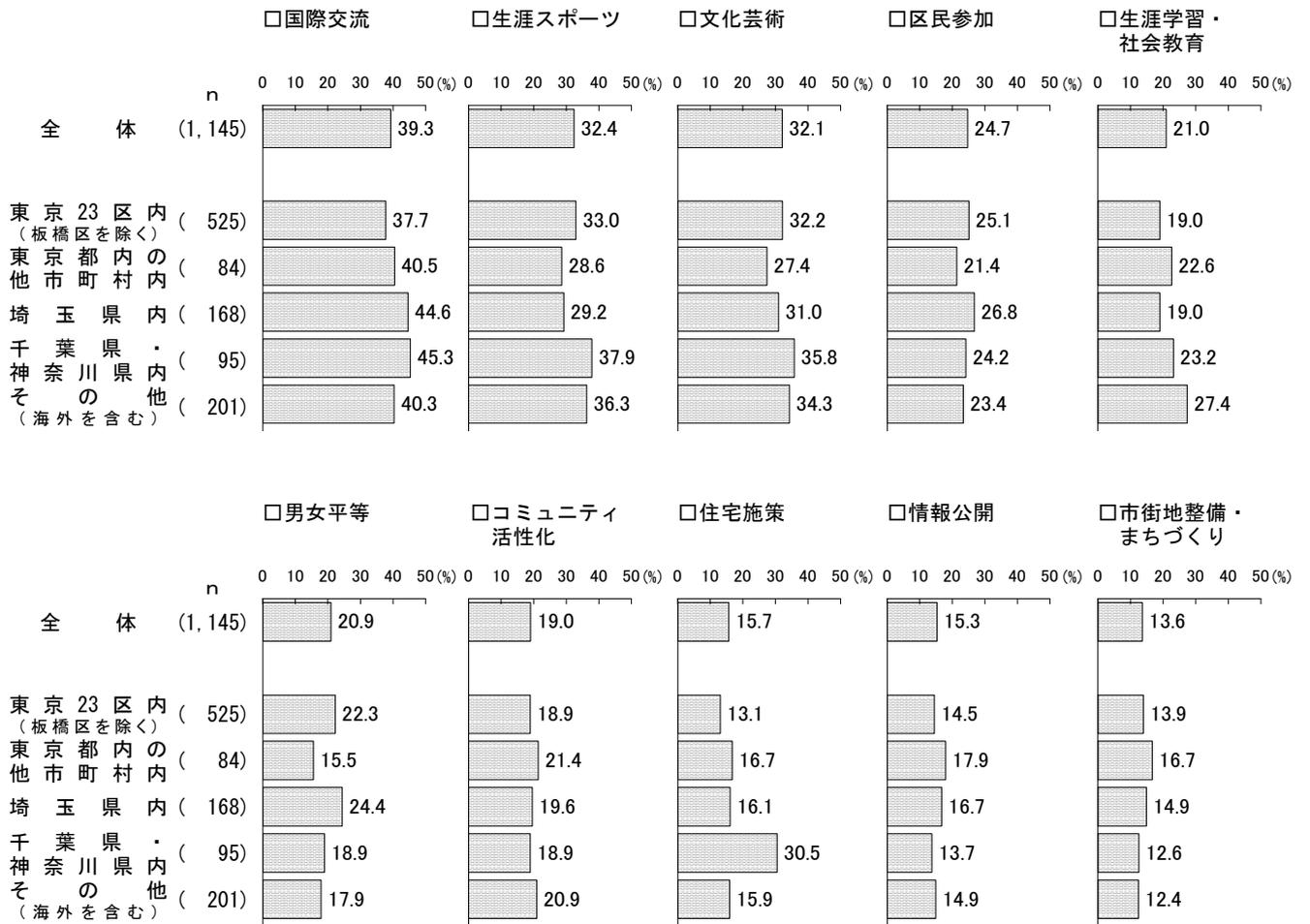


図4-3-15 行政サービスで縮小もやむをえない分野（直前の居住地別）-上位10項目



## 5. 板橋区職員に期待する能力・資質

### (1) 最近1年間での職員と接する機会の有無

◇「接する機会があった」が6割近く

問9 あなたは最近1年間で、区役所の窓口を利用したり電話で問合せをしたりするなどして職員と接する機会がありましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図5-1-1

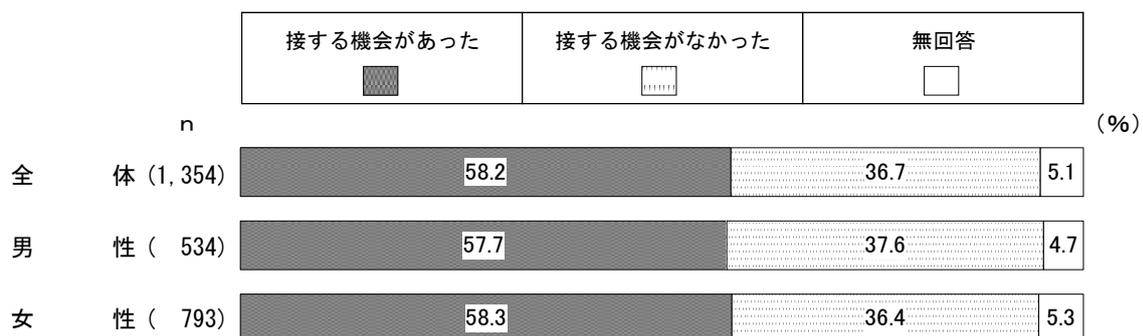


最近1年間で、区役所の窓口を利用したり電話で問合せをしたりするなどして職員と接する機会があったか聞いたところ、「接する機会があった」(58.2%)が6割近く、「接する機会がなかった」(36.7%)は3割半ばとなっています。(図5-1-1)

#### ① 性別

性別でみると、大きな違いはみられません。(図5-1-2)

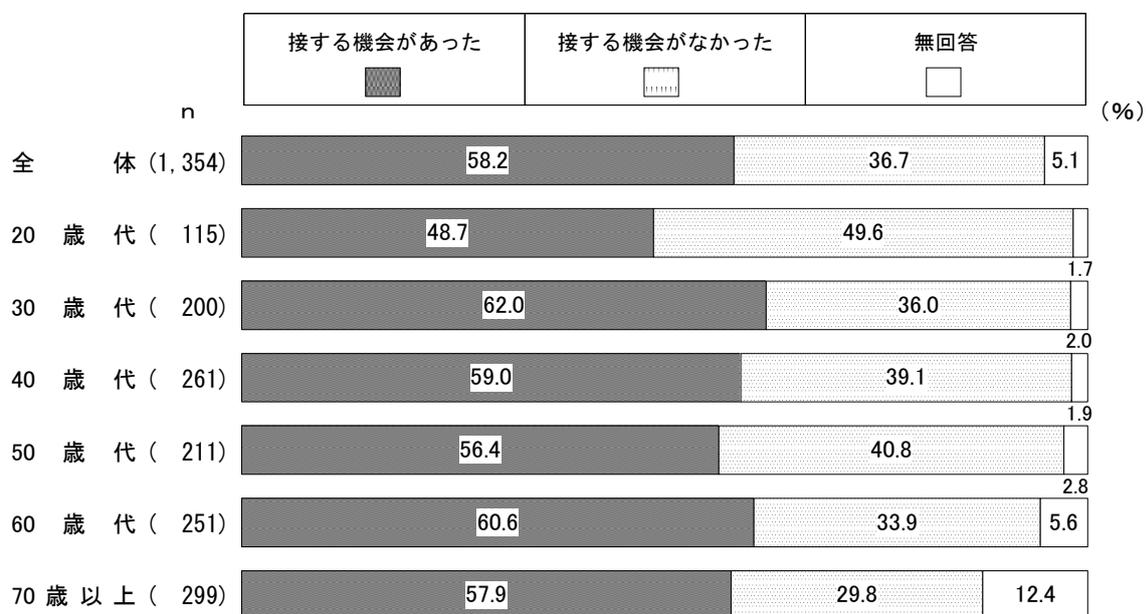
図5-1-2 最近1年間での職員と接する機会の有無(性別)



## ② 年代別

年代別でみると、「接する機会があった」は30歳代（62.0%）と60歳代（60.6%）で6割台と高くなっています。一方、「接する機会がなかった」は20歳代（49.6%）で約5割と高くなっています。（図5-1-3）

図5-1-3 最近1年間での職員と接する機会の有無（年代別）

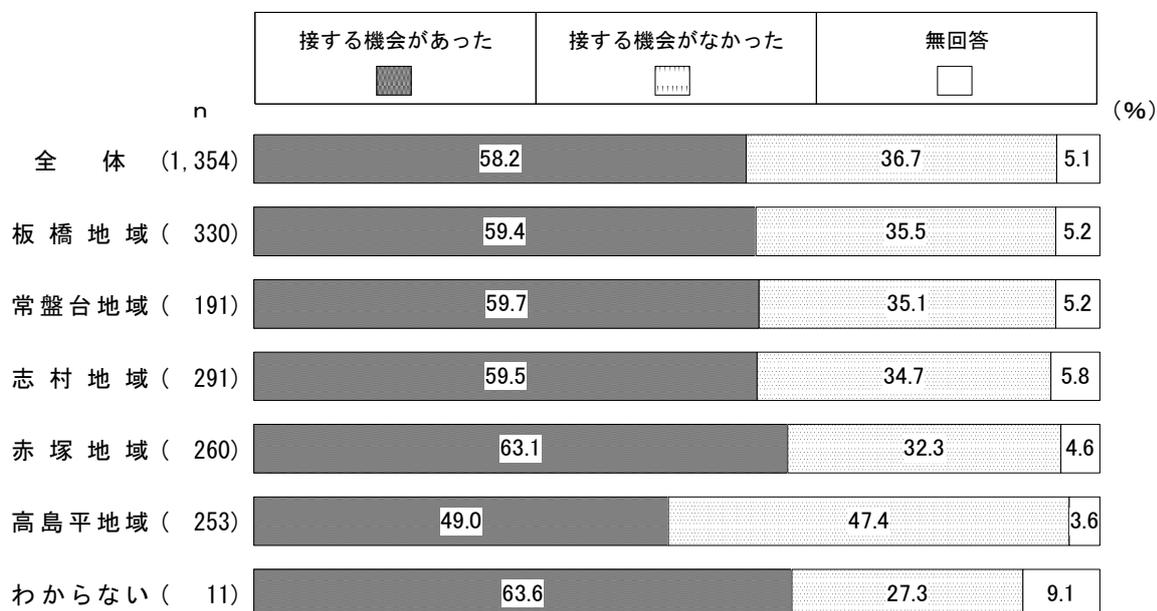


## ③ 地域別

地域別でみると、「接する機会があった」は赤塚地域（63.1%）で6割を超えて高くなっています。一方、「接する機会がなかった」は高島平地域（47.4%）で5割近くと高くなっています。

（図5-1-4）

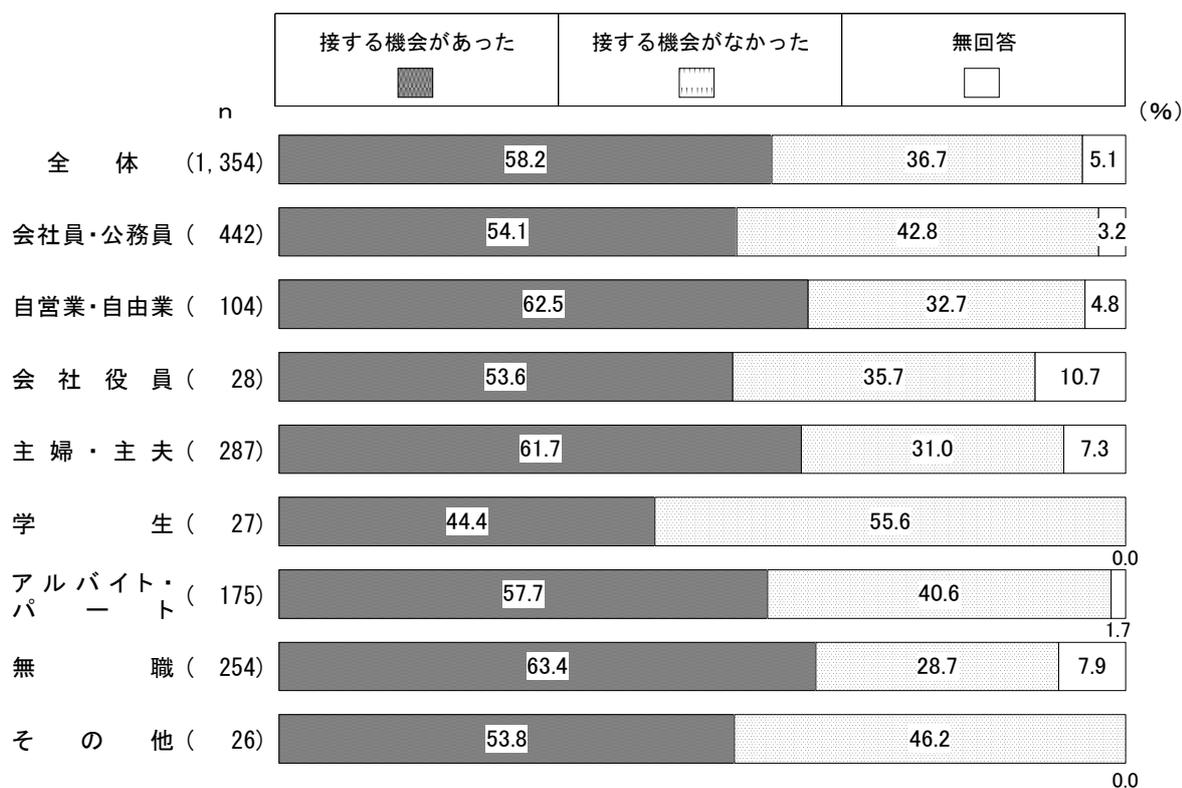
図5-1-4 最近1年間での職員と接する機会の有無（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、「接する機会があった」は無職（63.4%）、自営業・自由業（62.5%）、主婦・主夫（61.7%）で6割を超えて高くなっています。一方、「接する機会がなかった」は学生（55.6%）で5割半ばと高くなっています。（図5-1-5）

図5-1-5 最近1年間での職員と接する機会の有無（職業別）

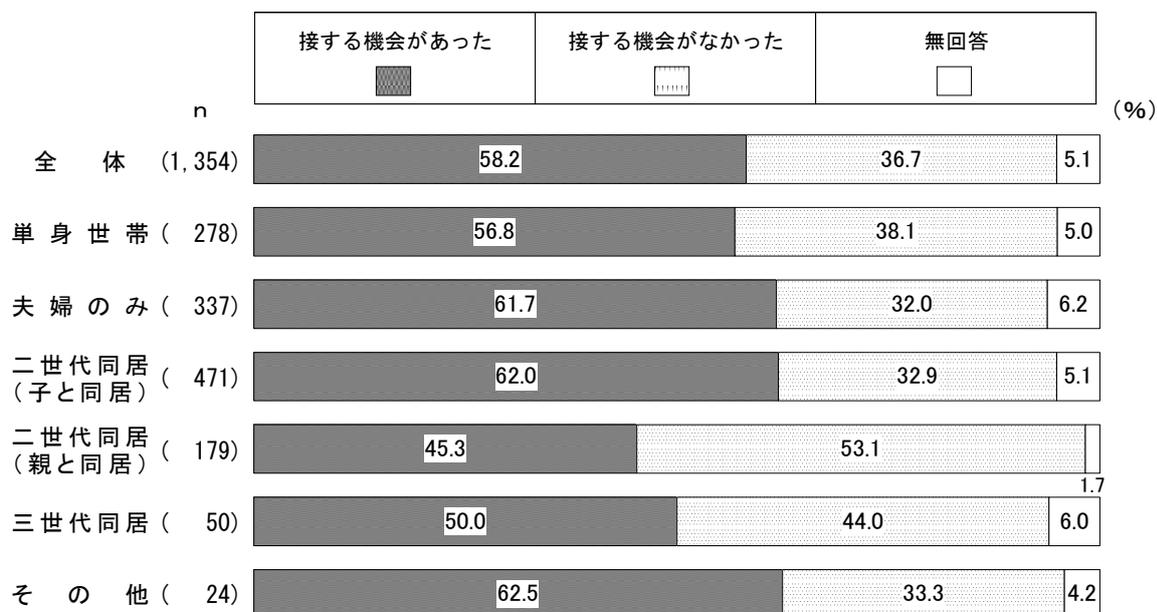


### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「接する機会があった」は二世帯同居(子と同居) (62.0%) と夫婦のみ (61.7%) で6割を超えて高くなっています。一方、「接する機会がなかった」は二世帯同居(親と同居) (53.1%) で5割を超え、三世帯同居 (44.0%) で4割半ばと高くなっています。

(図5-1-6)

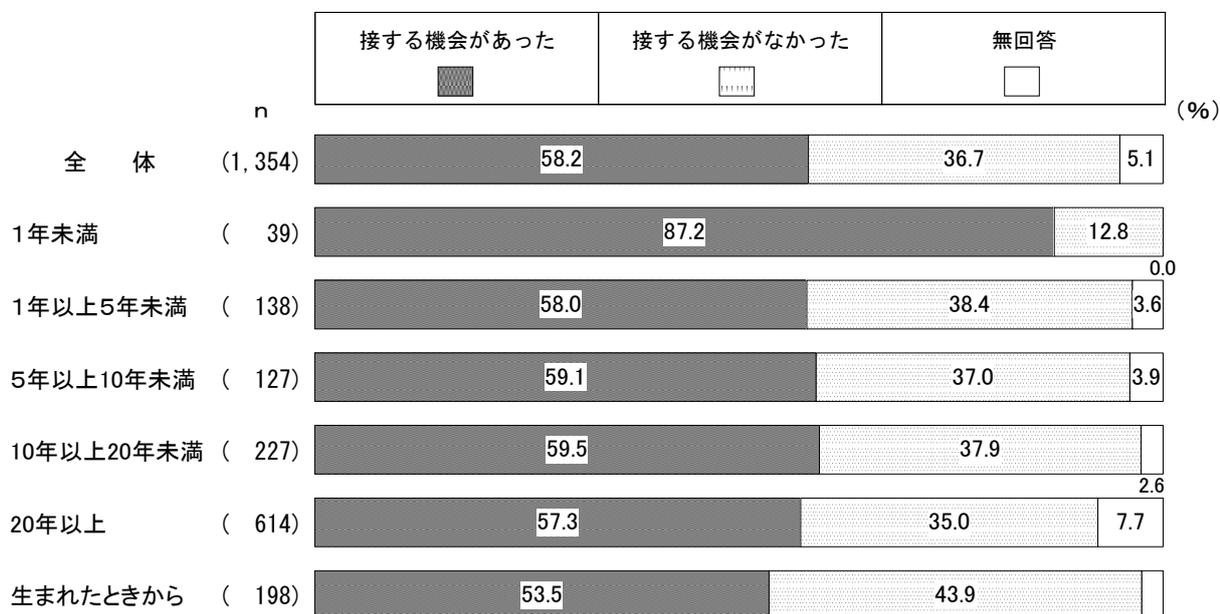
図5-1-6 最近1年間での職員と接する機会の有無(世帯構成別)



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「接する機会があった」は1年未満 (87.2%) で9割近くと高くなっています。一方、「接する機会がなかった」は生まれたときから (43.9%) で4割を超えて高くなっています。(図5-1-7)

図5-1-7 最近1年間での職員と接する機会の有無(居住年数別)



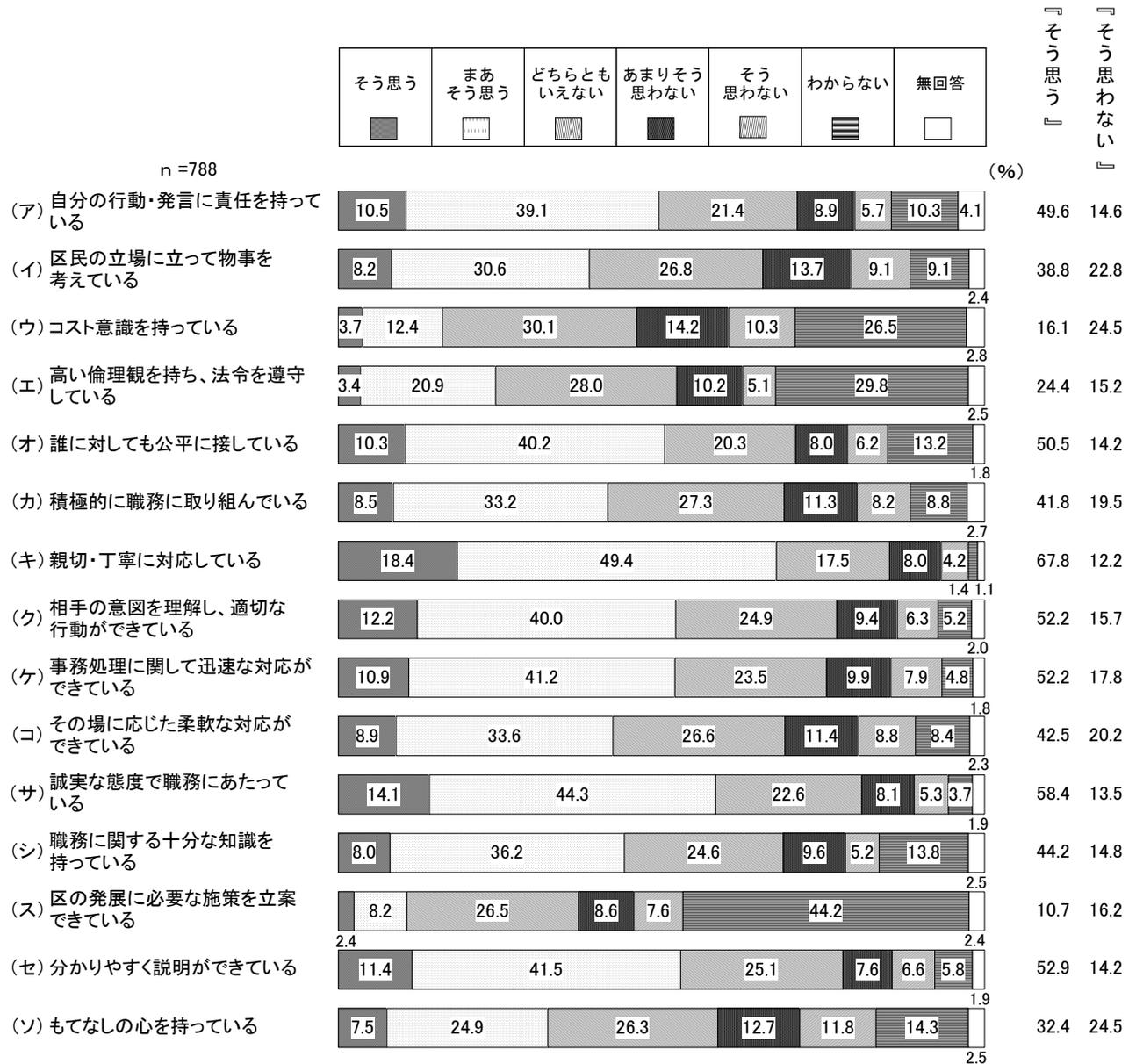
(1-1) 職員の能力・資質の現状評価

◇『そう思う』では、「親切・丁寧に対応している」が7割近く

(問9で「接する機会があった」と回答した方へ)

問9-1 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。次のア～ソについて、該当するものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図5-1-8



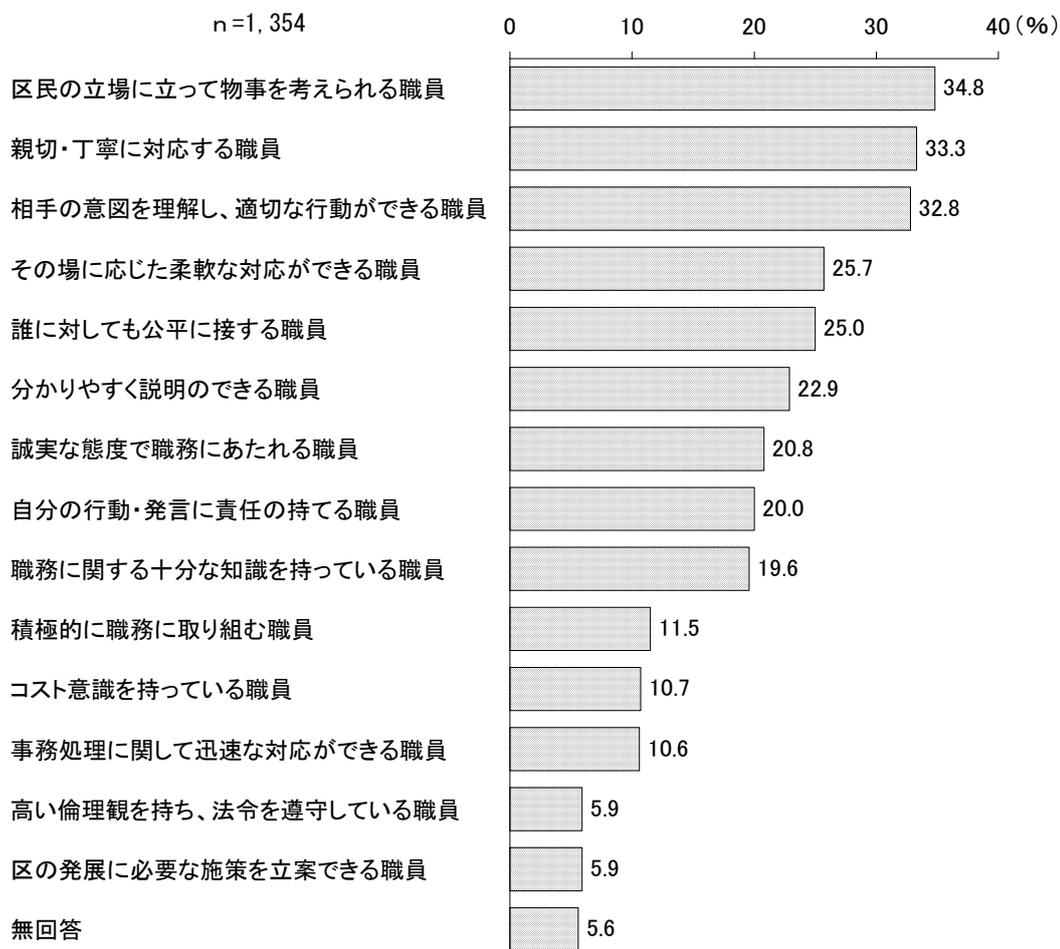
問9で、「接する機会があった」と答えた人（788人）に、職員の能力・資質の現状評価を聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』では、「親切・丁寧に対応している」（67.8%）が7割近くと最も高く、次いで「誠実な態度で職務にあたっている」（58.4%）などとなっています。また、否定的な回答が肯定的な回答を上回ったのは、「コスト意識を持っている」と「区の実現に必要な施策を立案できています」の2つだけとなっています。（図5-1-8）

## (2) 職員に求める姿

◇「区民の立場に立って物事を考えられる職員」が3割半ば

問 10 あなたが特に求める板橋区職員の姿は何ですか。該当するものを3つ選び、番号に○印をつけてください。

図 5-2-1



特に求める板橋区職員の姿は何か聞いたところ、「区民の立場に立って物事を考えられる職員」(34.8%)が3割半ばと最も高くなっています。次いで「親切・丁寧に対応する職員」(33.3%)、「相手の意図を理解し、適切な行動ができる職員」(32.8%)、「その場に応じた柔軟な対応ができる職員」(25.7%)などとなっています。(図5-2-1)

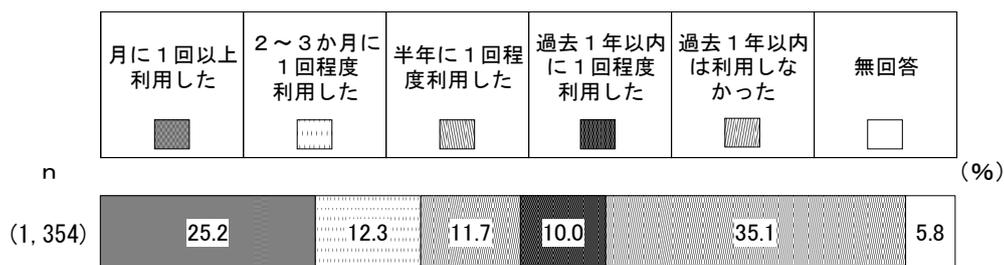
## 6. 板橋区の公共施設のあり方

### (1) 公共施設の利用状況

◇「月に1回以上利用した」が2割半ば

問11 過去1年間に板橋区の集会施設、体育施設、文化・社会教育施設、図書館など、多くの区民が利用できる公共施設を利用しましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図6-1-1



過去1年間の公共施設の利用状況を聞いたところ、利用した人の中では「月に1回以上利用した」(25.2%)が2割半ばと最も高く、「2～3か月に1回程度利用した」(12.3%)、「半年に1回程度利用した」(11.7%)、「過去1年以内に1回程度利用した」(10.0%)がいずれも1割台となっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」(35.1%)は3割半ばとなっています。(図6-1-1)

#### ① 性別

性別でみると、大きな違いはみられません。(図6-1-2)

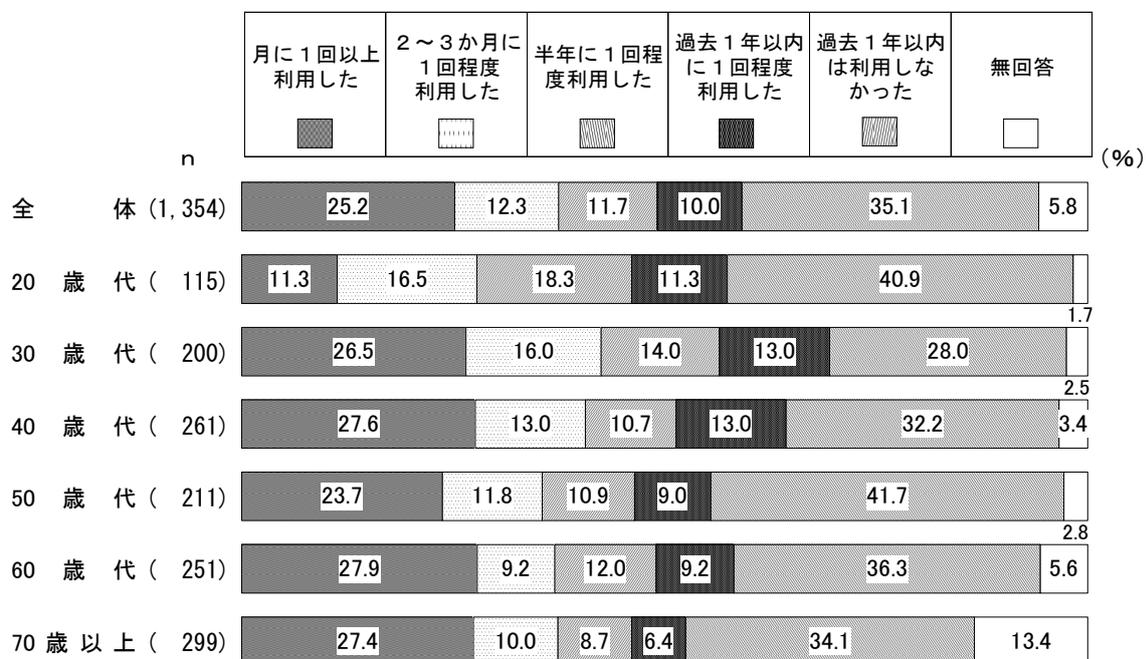
図6-1-2 公共施設の利用状況(性別)



## ② 年代別

年代別で見ると、「月に1回以上利用した」は20歳代（11.3%）を除くすべての年代で2割台となっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」は20歳代（40.9%）と50歳代（41.7%）で4割台と高くなっています。（図6-1-3）

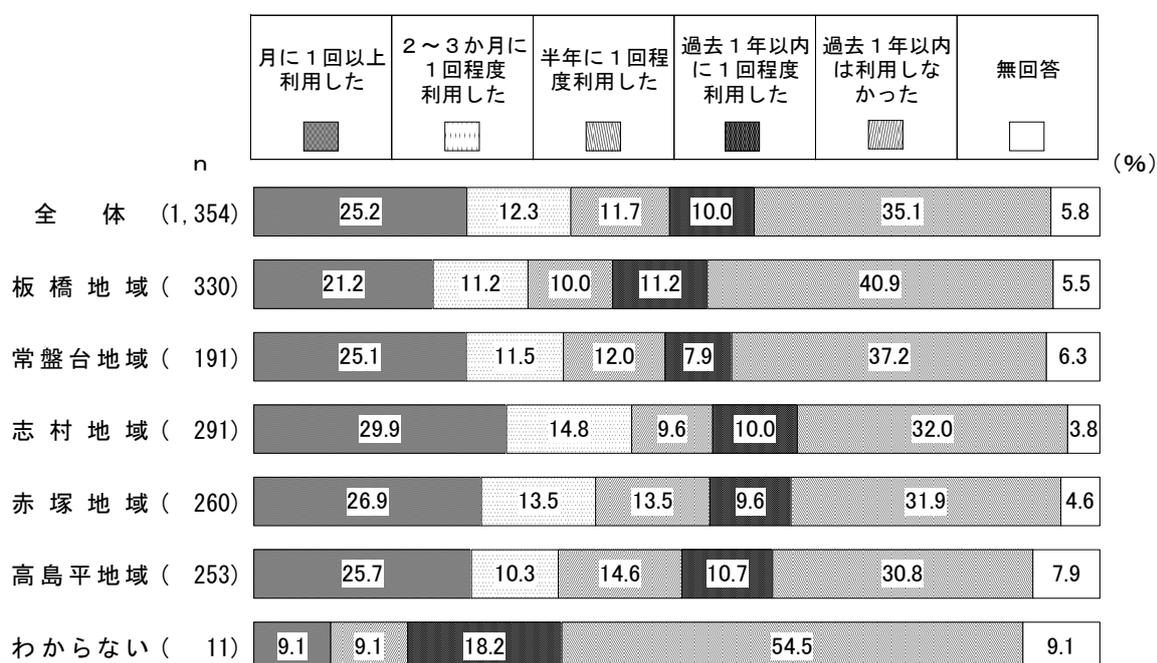
図6-1-3 公共施設の利用状況（年代別）



## ③ 地域別

地域別で見ると、「月に1回以上利用した」は志村地域（29.9%）で約3割と高くなっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」は板橋地域（40.9%）で約4割、常盤台地域（37.2%）で4割近くと高くなっています。（図6-1-4）

図6-1-4 公共施設の利用状況（地域別）

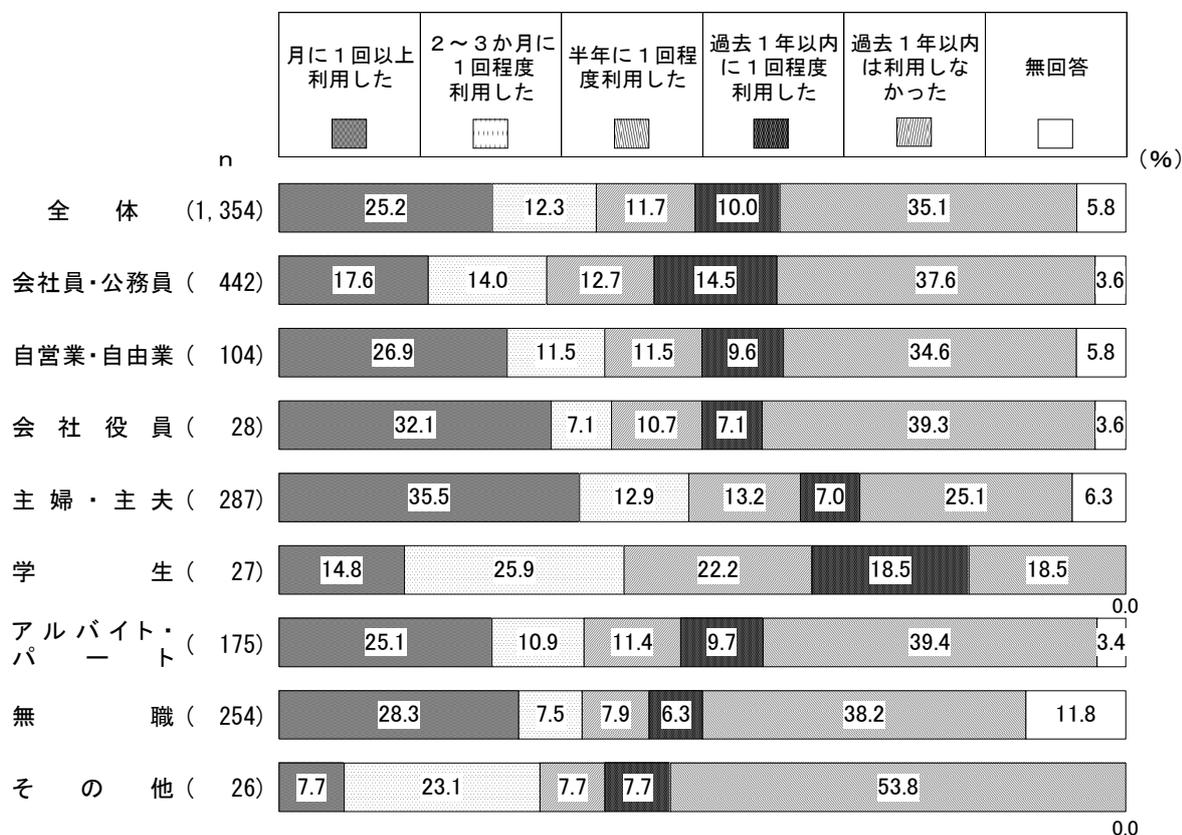


0.0

#### ④ 職業別

職業別でみると、「月に1回以上利用した」は主婦・主夫（35.5%）で3割半ば、会社役員（32.1%）で3割を超えて高くなっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」はアルバイト・パート（39.4%）と会社役員（39.3%）で約4割と高くなっています。（図6-1-5）

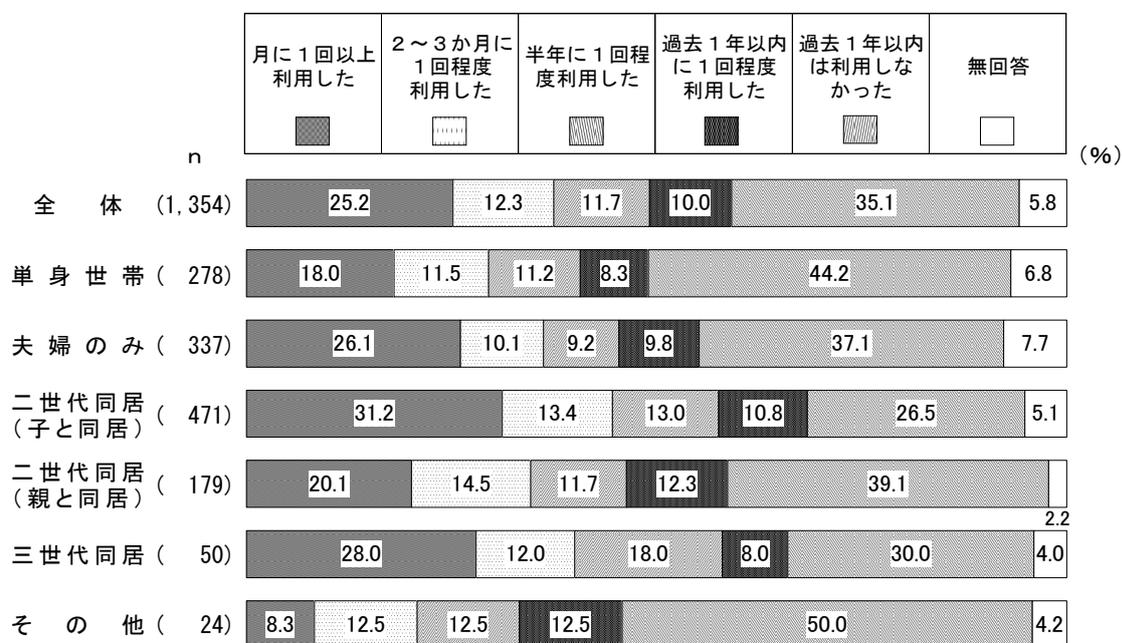
図6-1-5 公共施設の利用状況（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別で見ると、「月に1回以上利用した」は二世帯同居(子と同居) (31.2%) で3割を超えて高くなっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」は単身世帯 (44.2%) で4割半ば、二世帯同居(親と同居) (39.1%) で約4割と高くなっています。(図6-1-6)

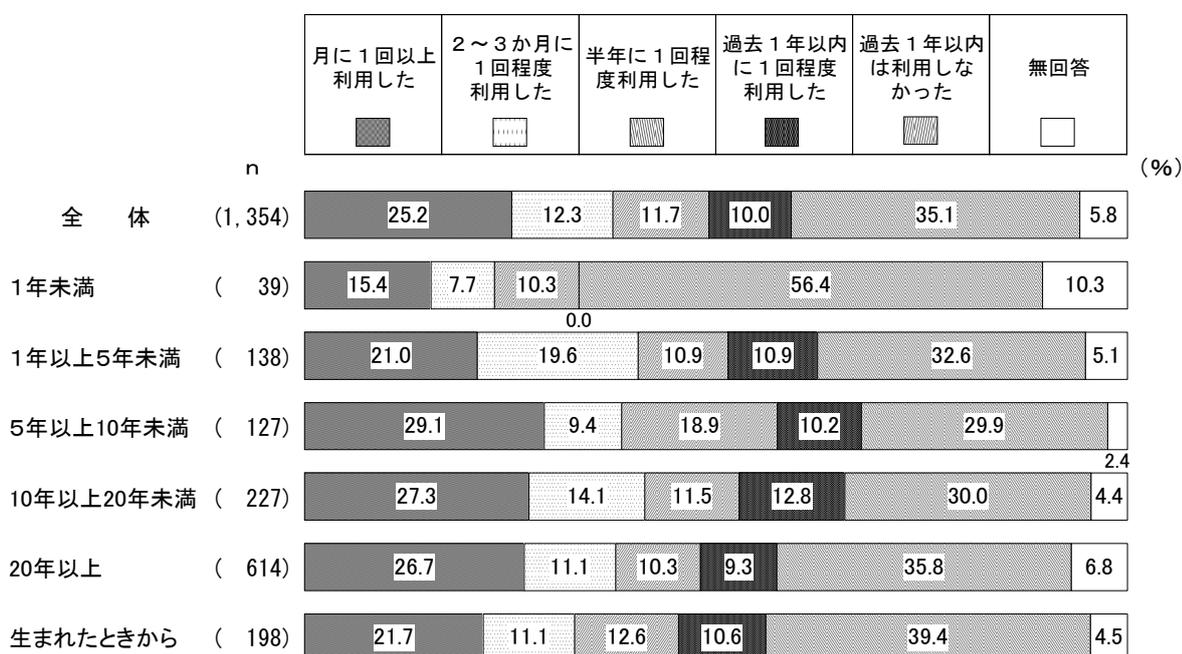
図6-1-6 公共施設の利用状況 (世帯構成別)



### ⑥ 居住年数別

居住年数別で見ると、「月に1回以上利用した」は5年以上10年未満 (29.1%) で約3割と高くなっています。一方、「過去1年以内は利用しなかった」は1年未満 (56.4%) で5割半ばと高くなっています。(図6-1-7)

図6-1-7 公共施設の利用状況 (居住年数別)



## (2) 公共施設の量の充足

◇『充足している』が4割半ば

問 12 板橋区の公共施設の量は充足していると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図 6-2-1

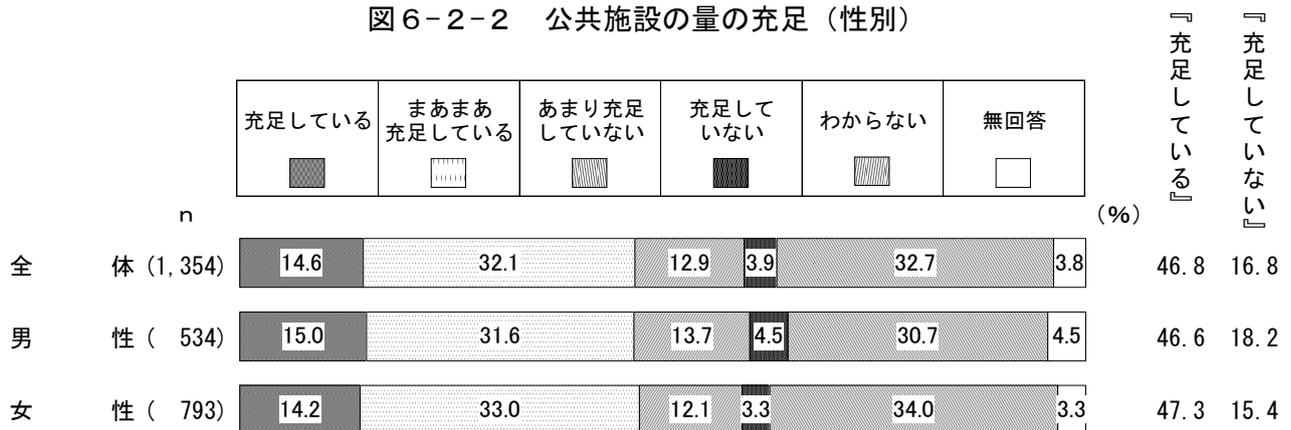


板橋区の公共施設の量は充足していると思うか聞いたところ、「充足している」(14.6%)と「まあまあ充足している」(32.1%)を合わせた『充足している』(46.8%)が4割半ばとなっています。一方、「あまり充足していない」(12.9%)と「充足していない」(3.9%)を合わせた『充足していない』(16.8%)は1割半ばとなっています。(図6-2-1)

### ① 性別

性別でみると、大きな違いはみられません。(図6-2-2)

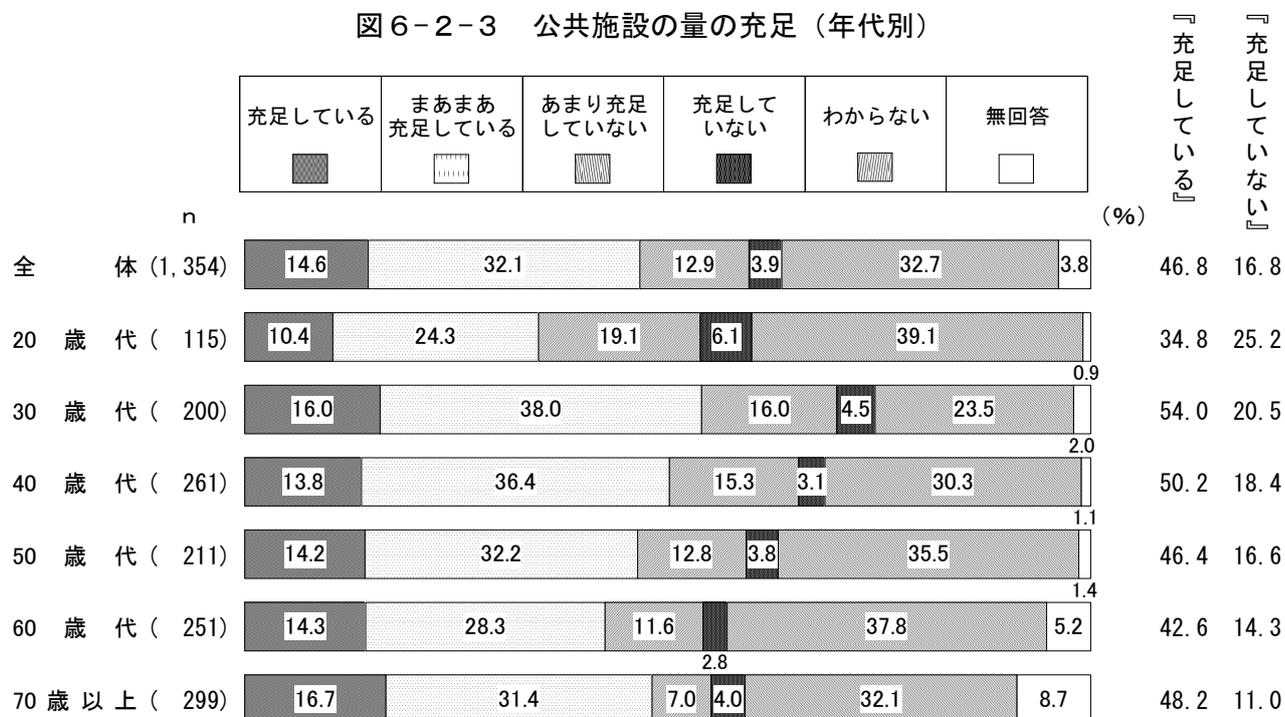
図 6-2-2 公共施設の量の充足 (性別)



## ② 年代別

年代別でみると、『充足している』は30歳代（54.0%）と40歳代（50.2%）で5割台と高くなっています。一方、『充足していない』は年齢が下がるほど割合が高く、20歳代（25.2%）では2割半ばとなっています。（図6-2-3）

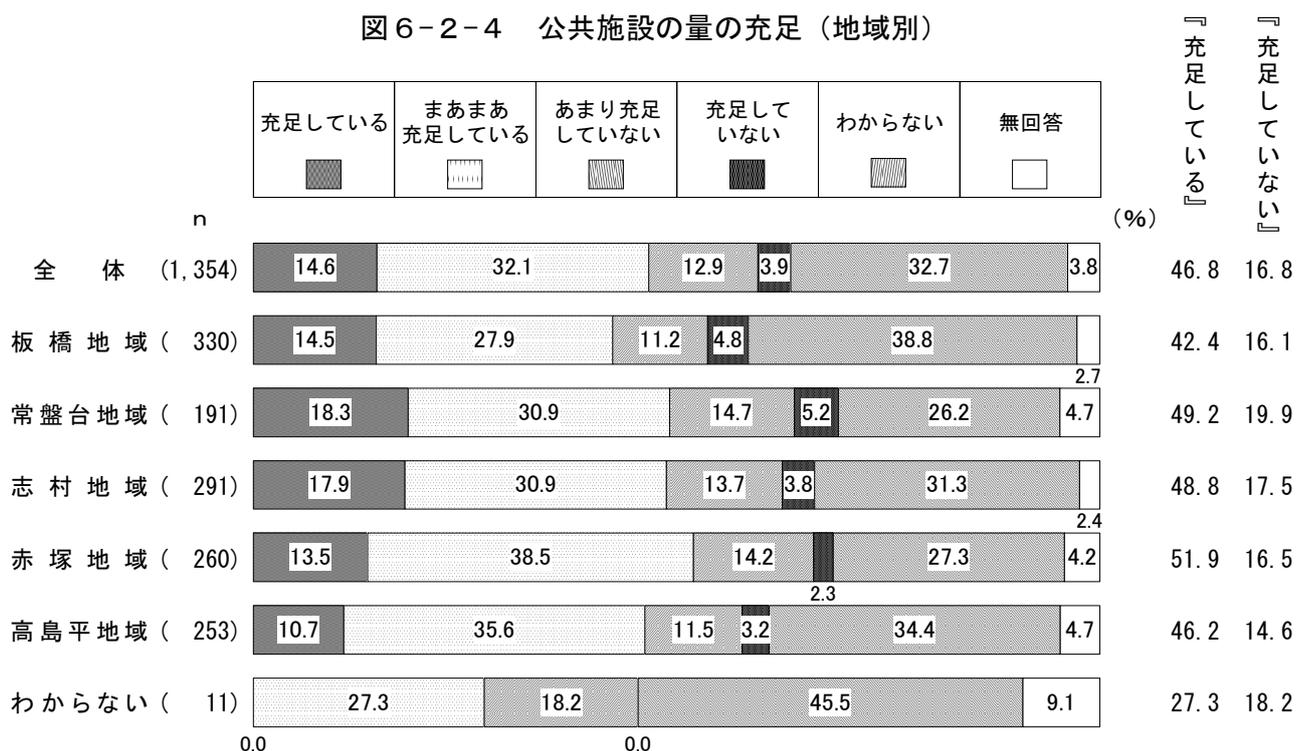
図6-2-3 公共施設の量の充足（年代別）



## ③ 地域別

地域別でみると、『充足している』は赤塚地域（51.9%）で5割を超えて高くなっています。一方、『充足していない』は常盤台地域（19.9%）で約2割と高くなっています。（図6-2-4）

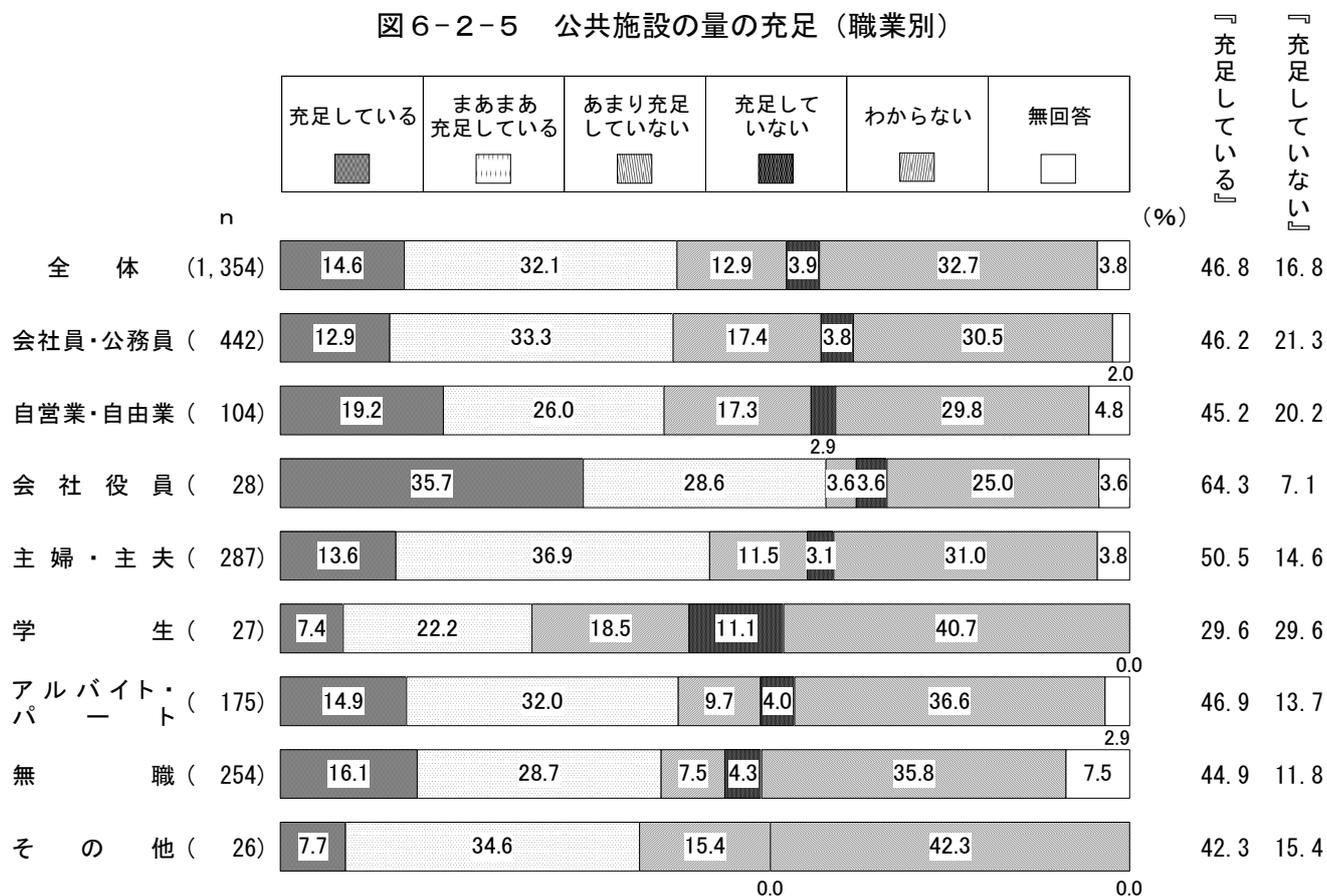
図6-2-4 公共施設の量の充足（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、『充足している』は会社役員（64.3%）で6割半ば、主婦・主夫（50.5%）で約5割と高くなっています。一方、『充足していない』は学生（29.6%）で約3割、会社員・公務員（21.3%）と自営業・自由業（20.2%）で2割台と高くなっています。（図6-2-5）

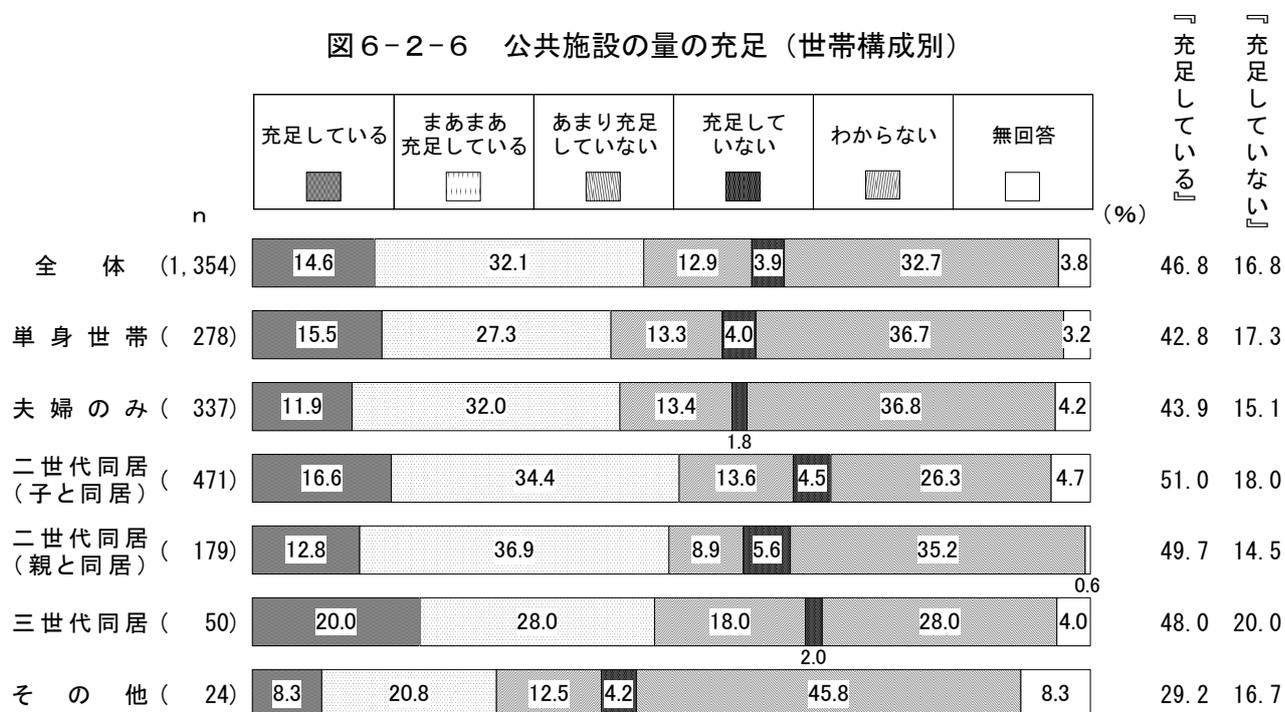
図6-2-5 公共施設の量の充足（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

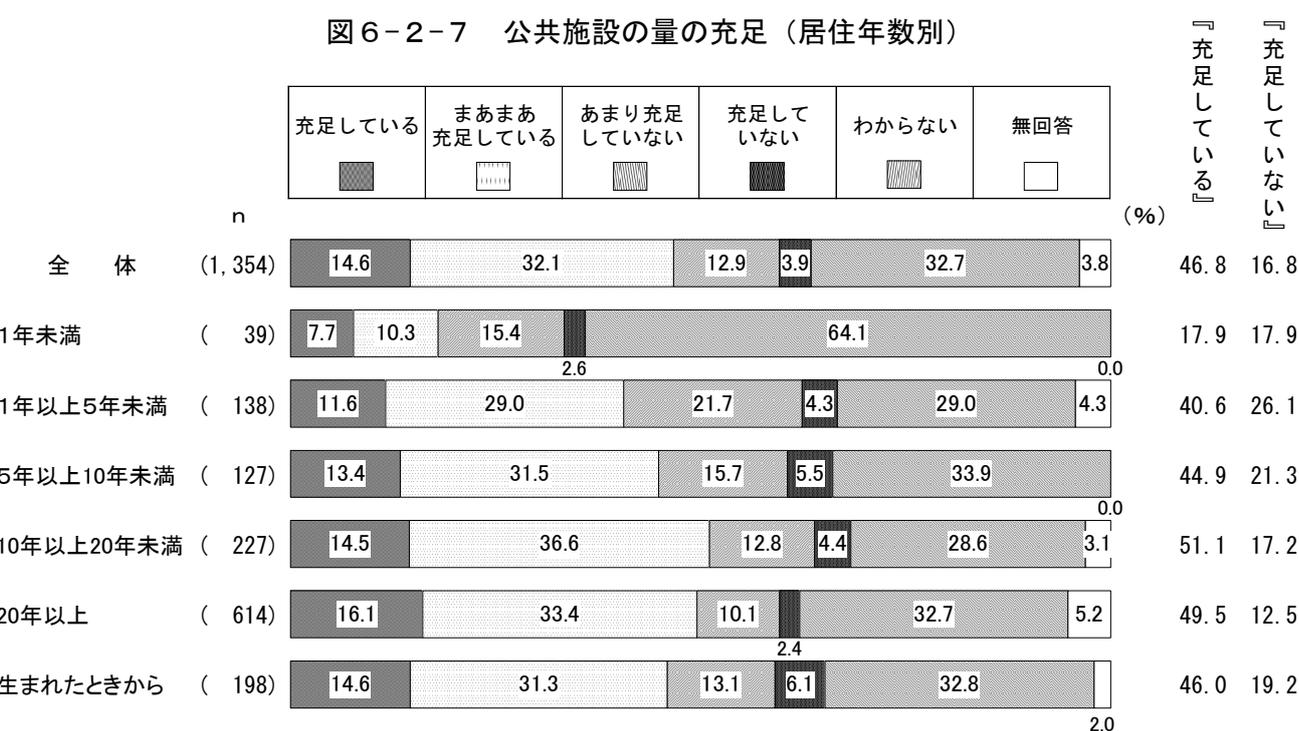
世帯構成別で見ると、『充足している』は二世帯同居(子と同居) (51.0%) で5割を超えて高くなっています。一方、『充足していない』は三世帯同居 (20.0%) で2割と高くなっています。

(図6-2-6)



### ⑥ 居住年数別

居住年数別で見ると、『充足している』は10年以上20年未満 (51.1%) で5割を超えて高くなっています。一方、『充足していない』は1年以上5年未満 (26.1%) と5年以上10年未満 (21.3%) で2割台と高くなっています。(図6-2-7)

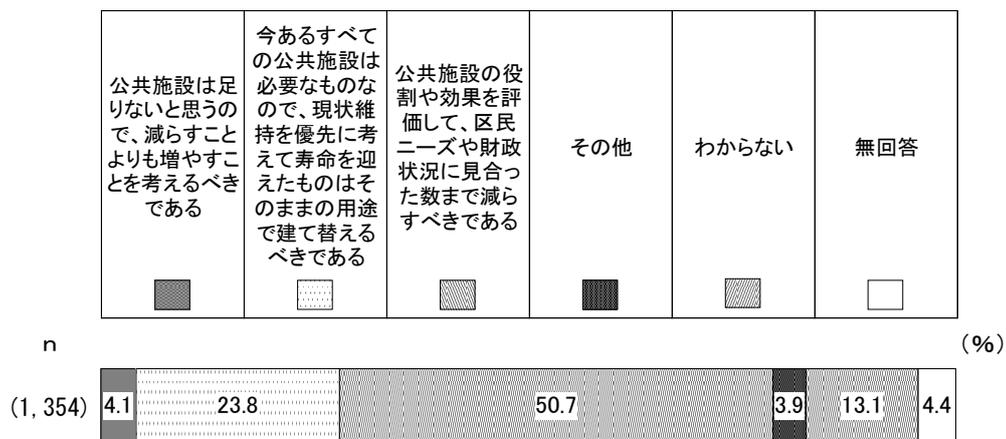


### (3) 公共施設の総量の抑制

◇「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」が約5割

問13 今後、公共施設の維持や改修、改築に必要な財源が不足してくることが予測されており、今あるすべての公共施設を将来にわたって維持することが難しくなることが考えられます。板橋区では、マスタープランにおいて「施設総量の抑制」を基本方針の一つに掲げていますが、公共施設の総量（施設数や面積）を現在よりも抑制していくことに対するあなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図 6-3-1



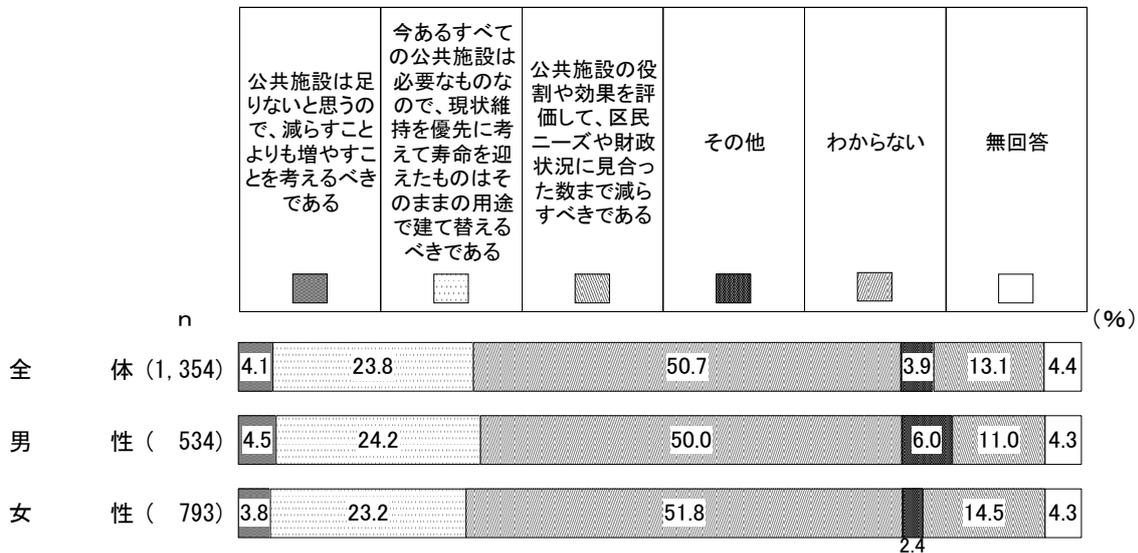
公共施設の総量（施設数や面積）を現在よりも抑制していくことに対する考えを聞いたところ、「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」（50.7%）が約5割と最も高く、「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」（23.8%）が2割を超え、「公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである」（4.1%）はわずかとなっています。

（図 6-3-1）

① 性別

性別でみると、大きな違いはみられません。(図6-3-2)

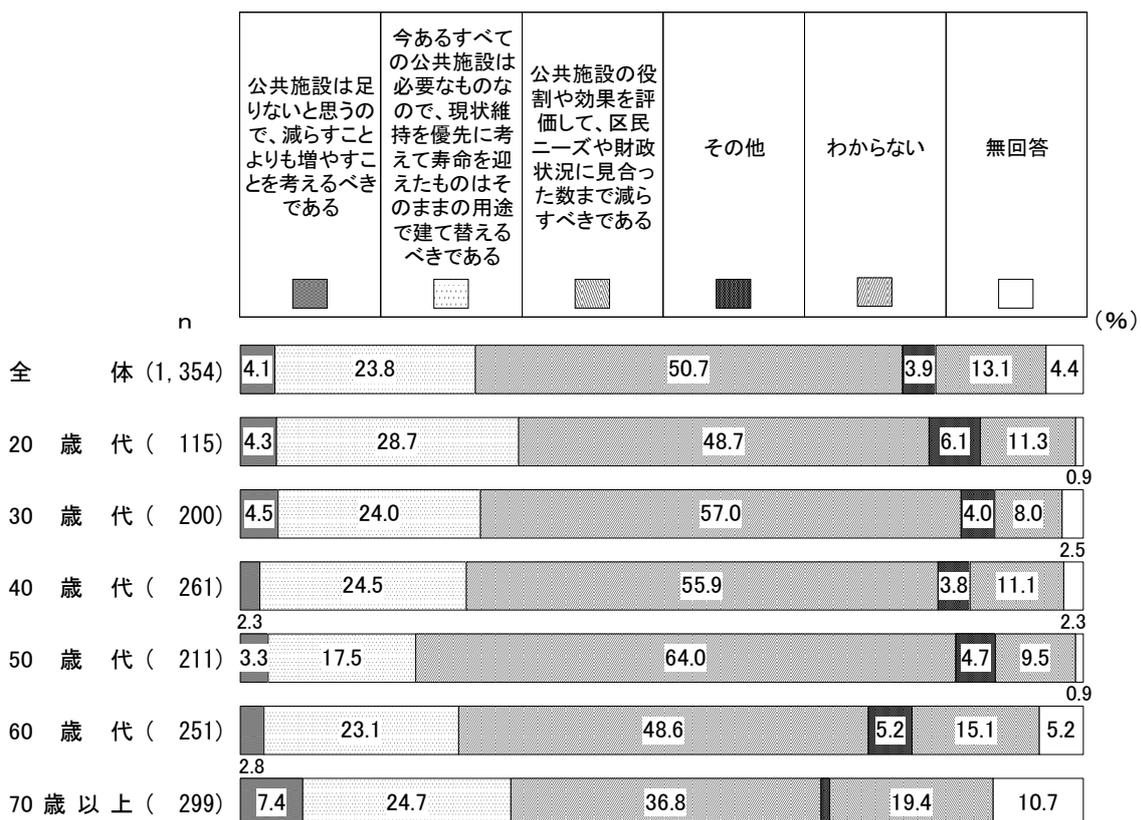
図6-3-2 公共施設の総量の抑制(性別)



② 年代別

年代別でみると、「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」は50歳代(64.0%)で6割半ばと高くなっています。また、「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」は20歳代(28.7%)で3割近くと高くなっています。(図6-3-3)

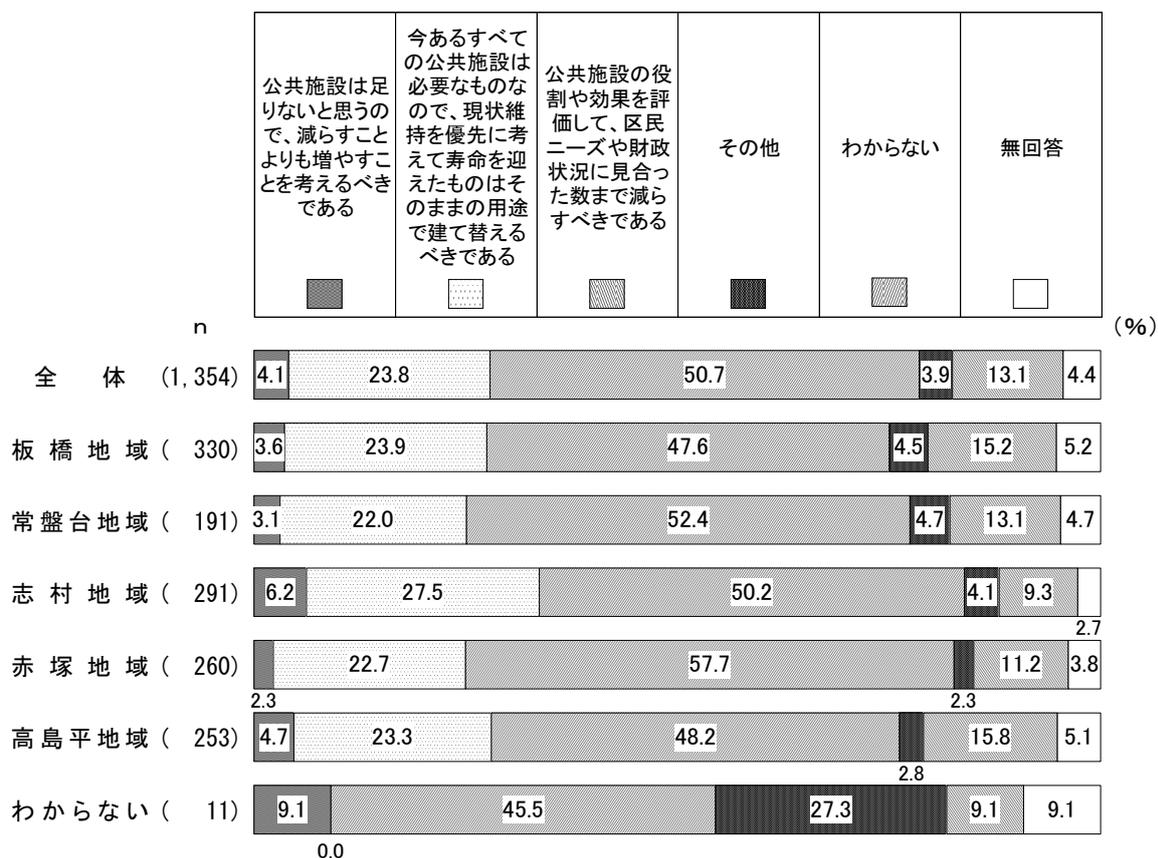
図6-3-3 公共施設の総量の抑制(年代別)



### ③ 地域別

地域別でみると、「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」は赤塚地域（57.7%）で6割近くと高くなっています。また、「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」は志村地域（27.5%）で3割近くと高くなっています。（図6-3-4）

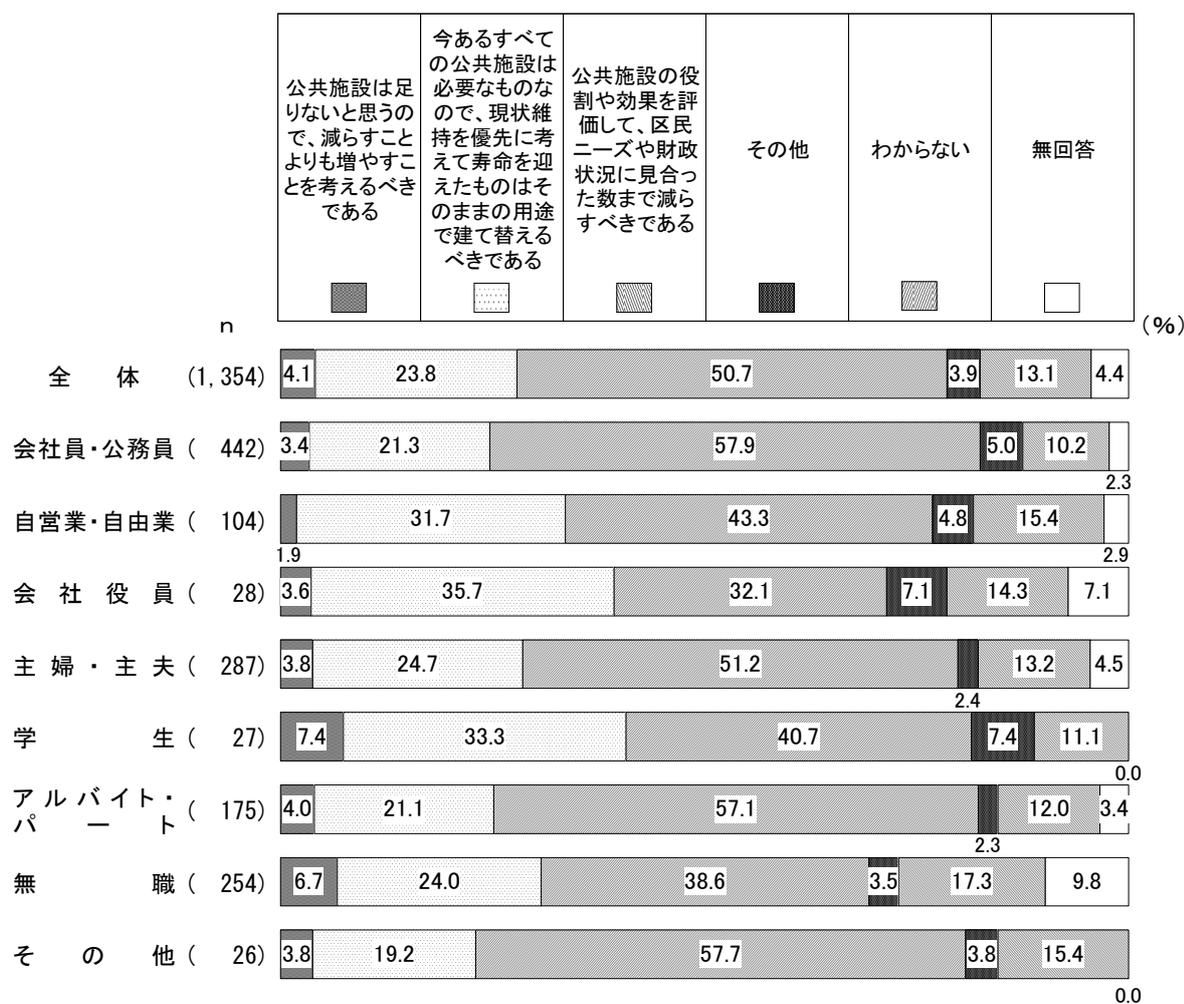
図6-3-4 公共施設の総量の抑制（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」は会社員・公務員（57.9%）とアルバイト・パート（57.1%）で6割近くと高くなっています。また、「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」は会社役員（35.7%）、学生（33.3%）、自営業・自由業（31.7%）で3割台と高くなっています。（図6-3-5）

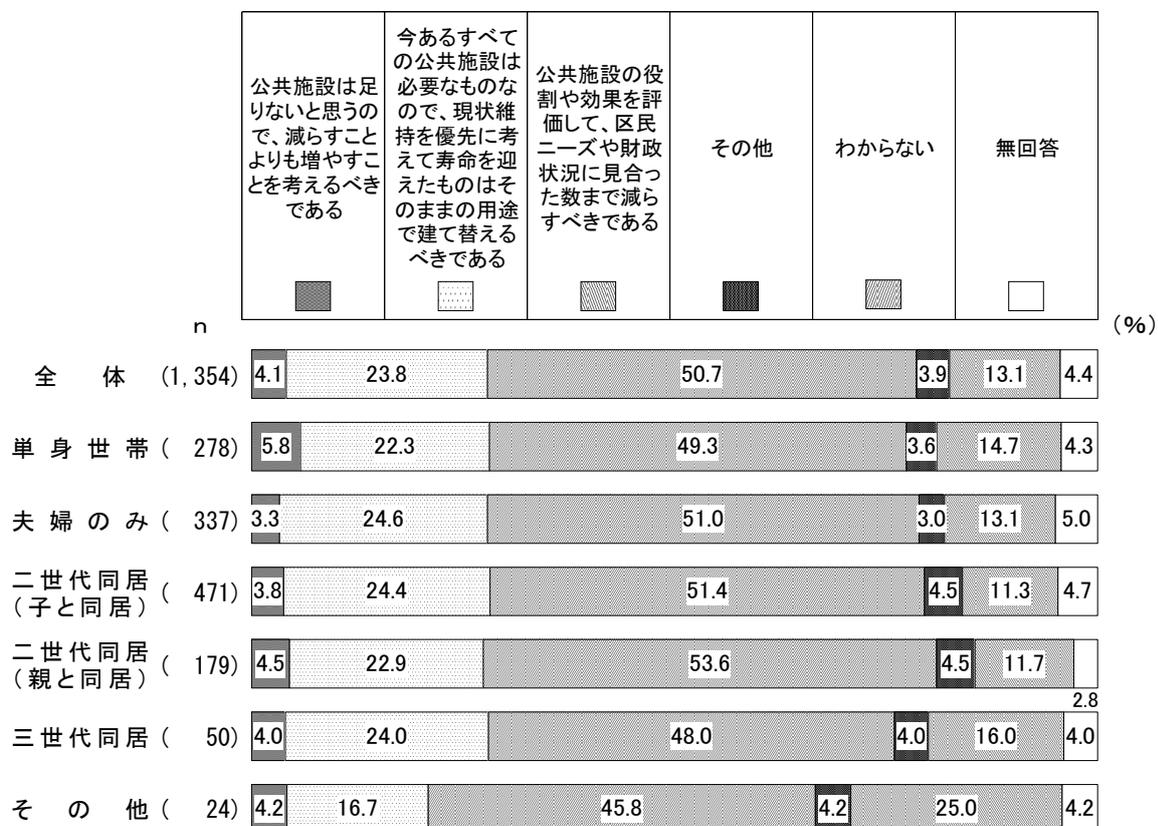
図6-3-5 公共施設の総量の抑制（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、大きな違いはみられません。(図 6-3-6)

図 6-3-6 公共施設の総量の抑制 (世帯構成別)

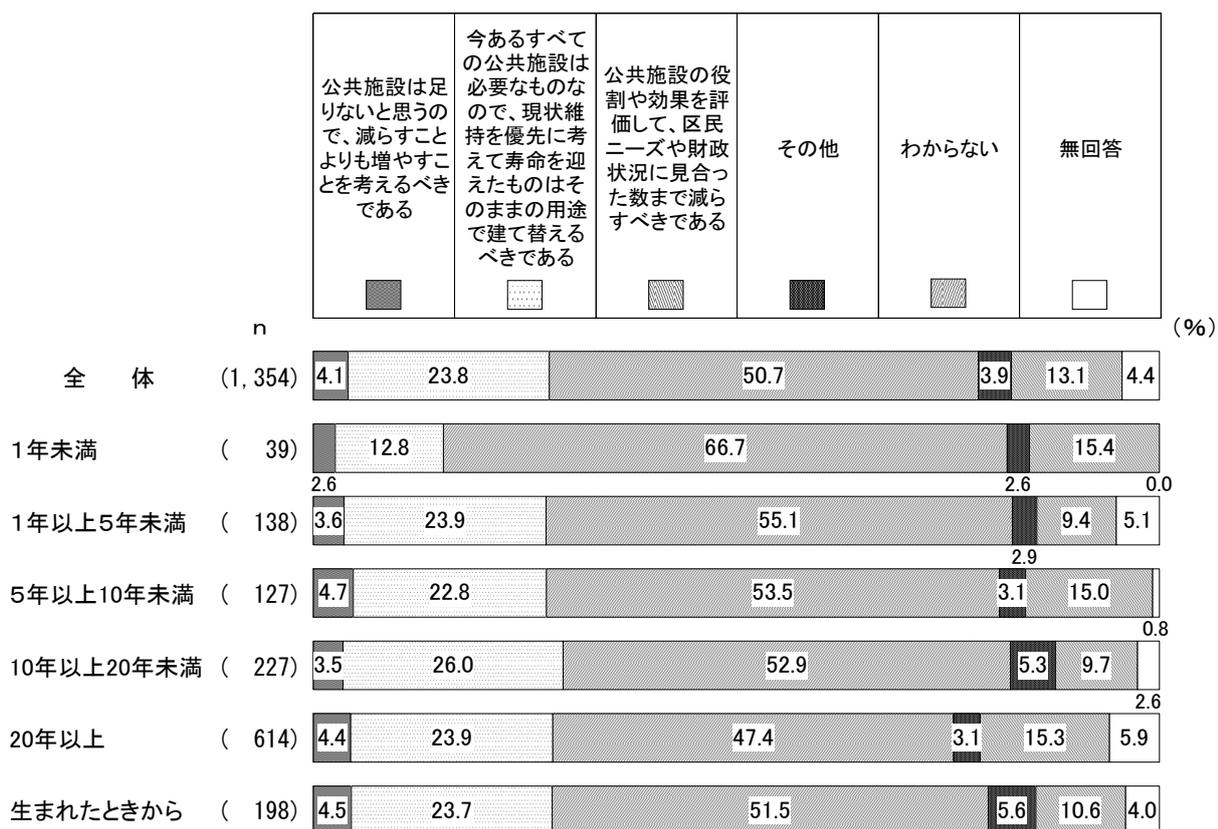


## ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである」は1年未満（66.7%）で6割半ばと高くなっています。また、「今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである」は1年未満（12.8%）を除くすべての居住年数で2割台となっています。

（図6-3-7）

図6-3-7 公共施設の総量の抑制（居住年数別）

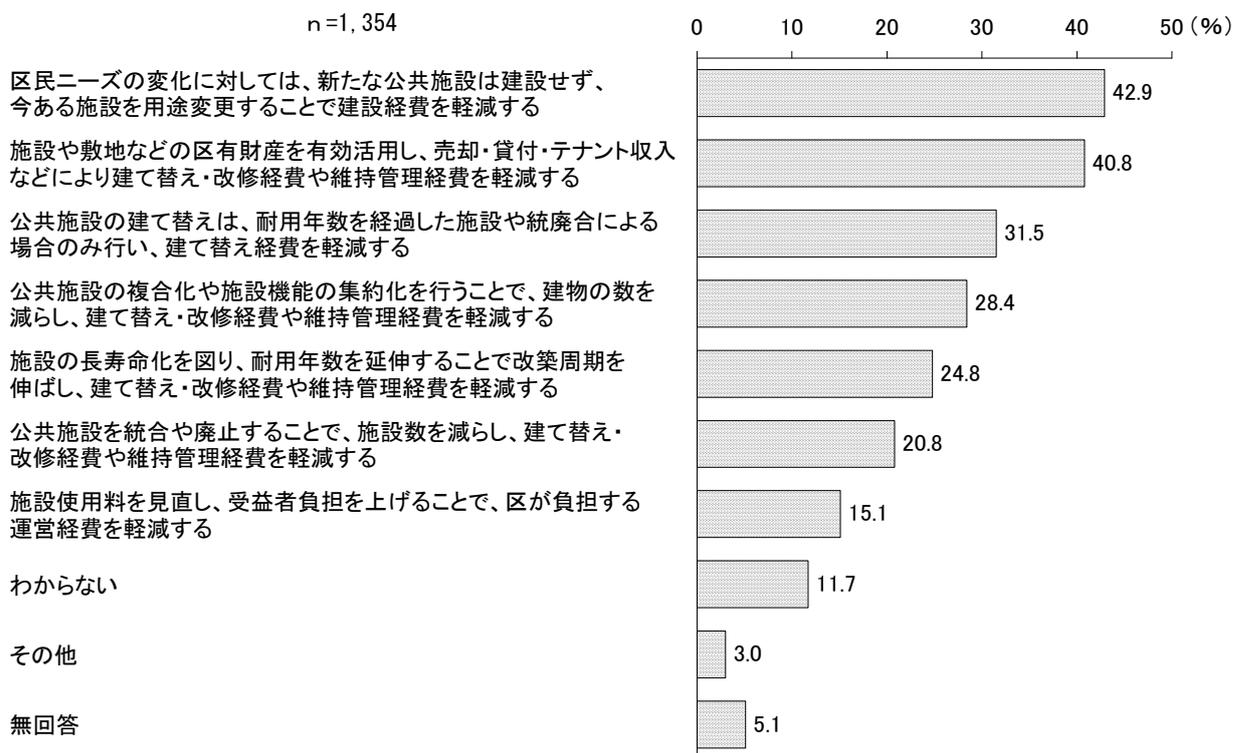


#### (4) 公共施設に対する今後の方策

◇「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」が4割を超える

問 14 板橋区ではマスタープランにおいて、施設の建て替え時に集約化・複合化によって行政サービスを維持しながら、公共施設の総量を抑制したり、計画的に管理・保全を行って施設の耐用年数を延ばすなどの取り組みによって、施設にかかる経費を約2割程度削減していく必要があると考えています。公共施設に対する今後の方策として、あなたが適切と考えるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 6-4-1

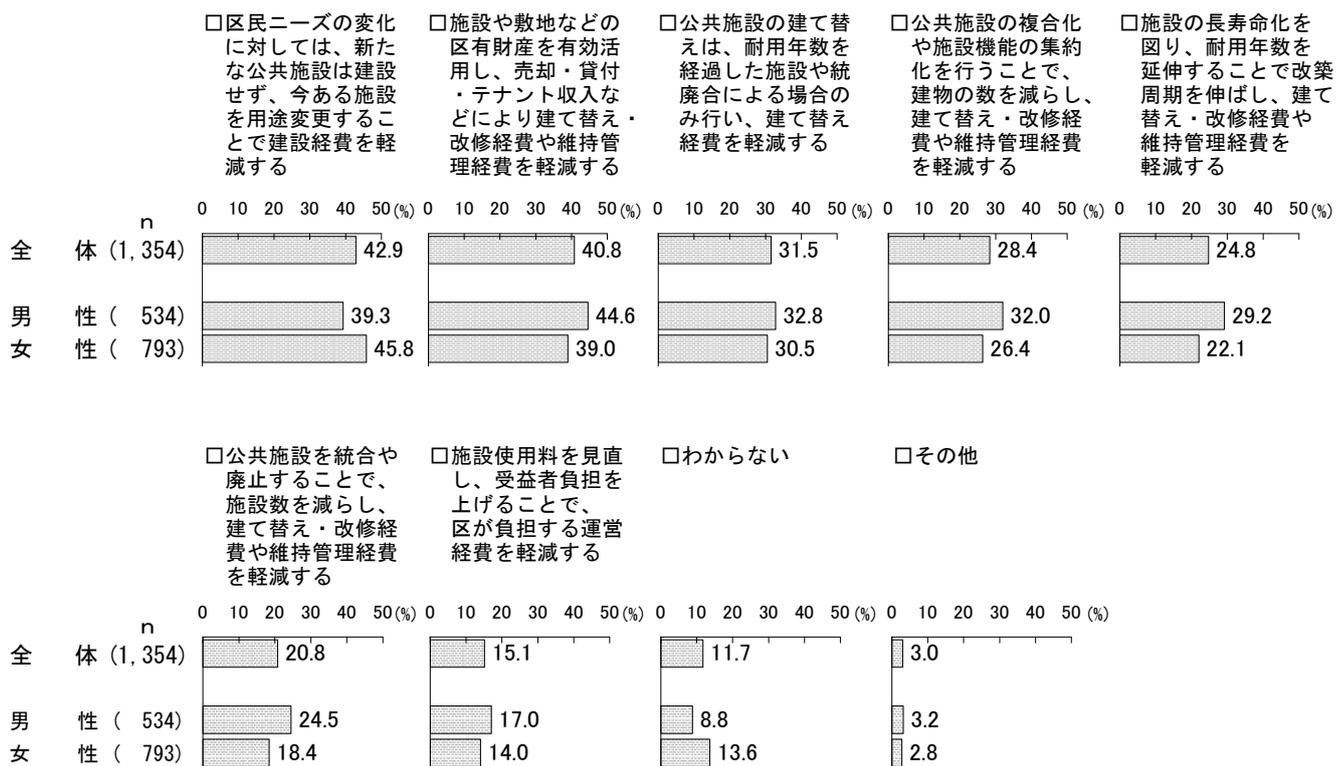


公共施設に対する今後の方策として、適切と考えるものを聞いたところ、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」(42.9%)が4割を超えて最も高くなっています。次いで「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」(40.8%)、「公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する」(31.5%)などとなっています。(図6-4-1)

① 性別

性別でみると、「施設の長寿命化を図り、耐用年数を延伸することで改築周期を伸ばし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は男性（29.2%）が女性（22.1%）より7.1ポイント、「公共施設を統合や廃止することで、施設数を減らし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は男性（24.5%）が女性（18.4%）より6.1ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」は女性（45.8%）が男性（39.3%）より6.5ポイント高くなっています。（図6-4-2）

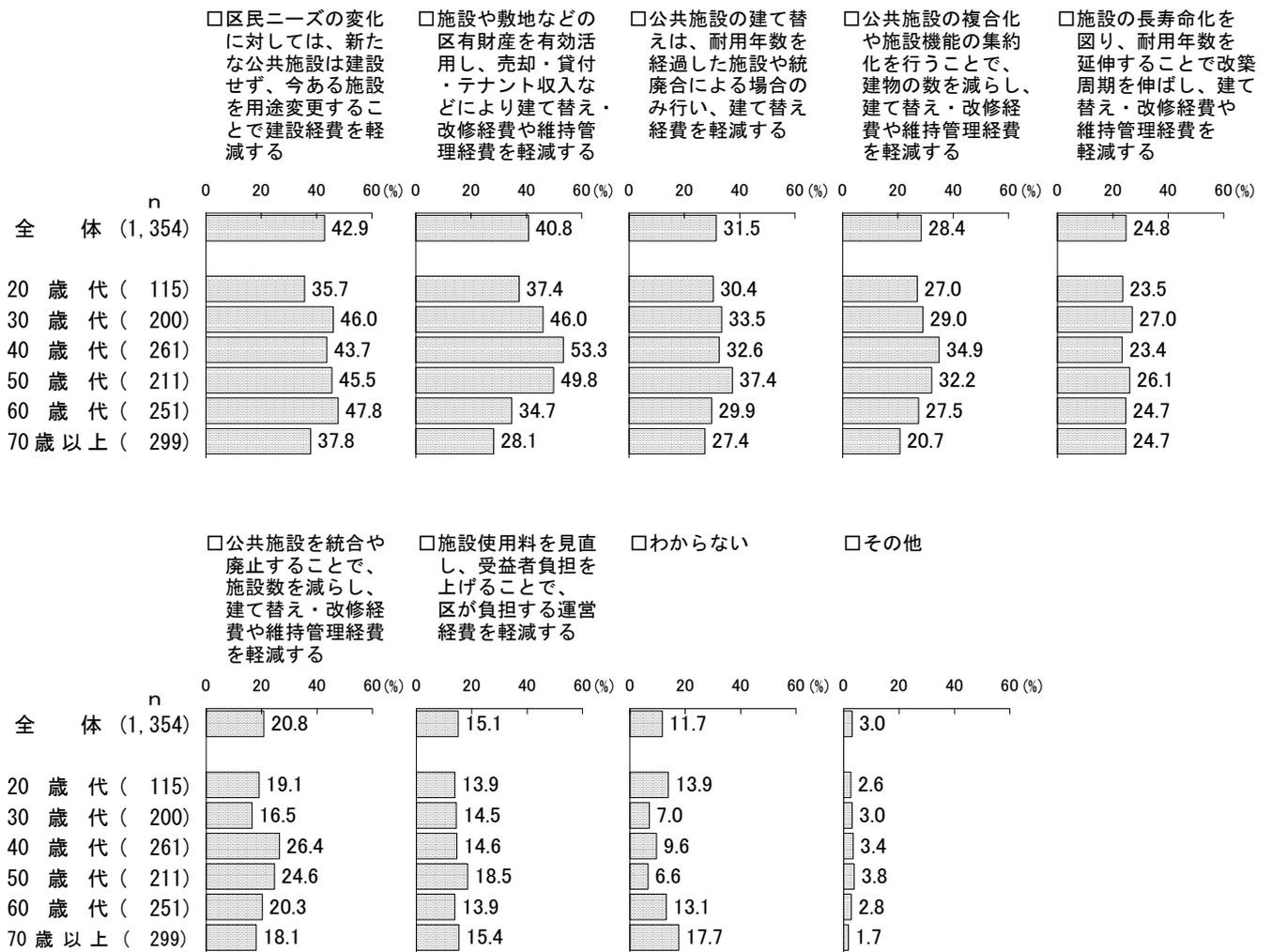
図6-4-2 公共施設に対する今後の方策（性別）



## ② 年代別

年代別でみると、「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は40歳代(53.3%)で5割を超えて高くなっています。また、「公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する」は50歳代(37.4%)で4割近くと高く、「公共施設の複合化や施設機能の集約化を行うことで、建物の数を減らし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は40歳代(34.9%)で3割半ばと高くなっています。(図6-4-3)

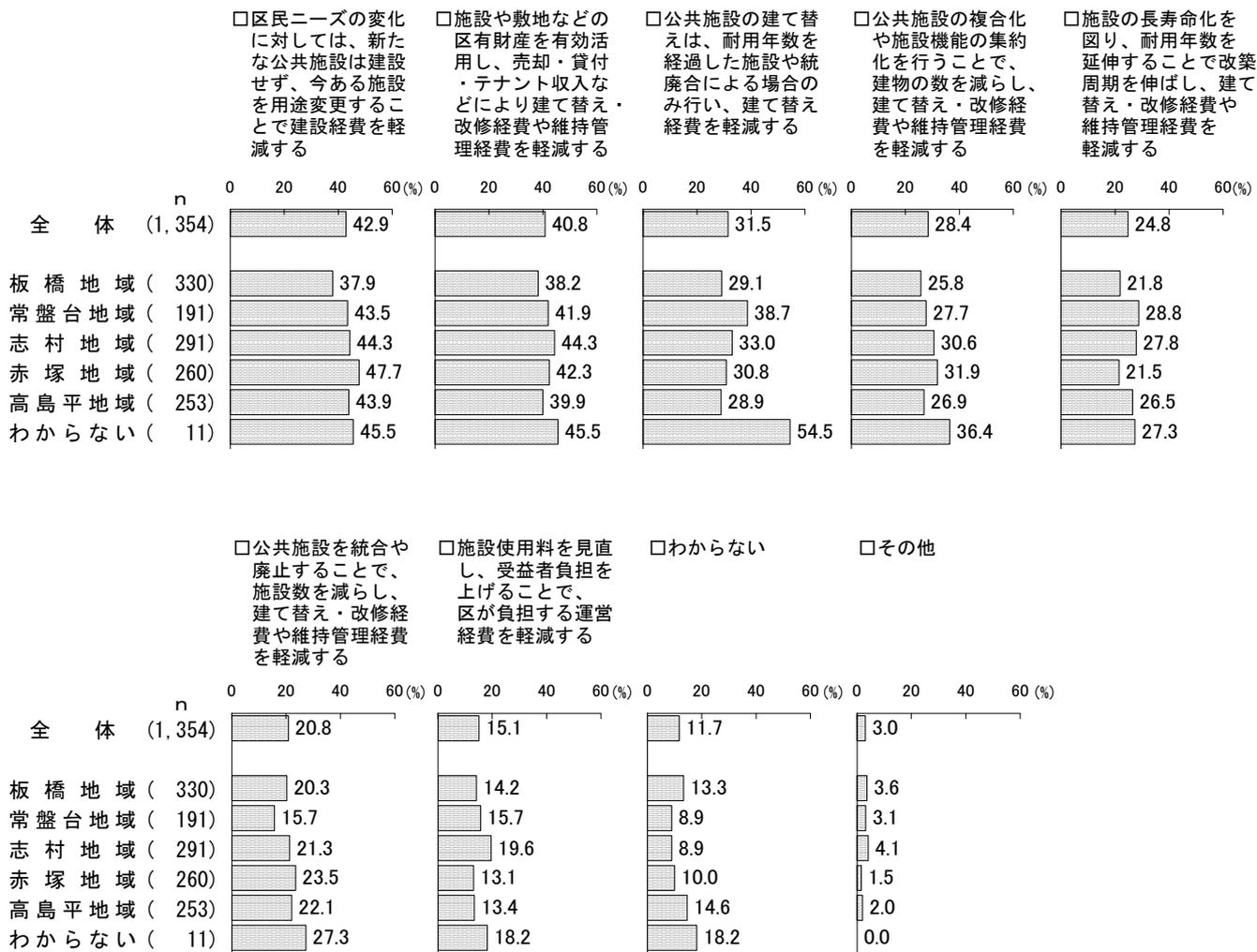
図6-4-3 公共施設に対する今後の方策(年代別)



### ③ 地域別

地域別でみると、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」は赤塚地域（47.7%）で5割近くと高くなっています。また、「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は志村地域（44.3%）で4割半ばと高く、「公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する」は常盤台地域（38.7%）で4割近くと高くなっています。（図6-4-4）

図6-4-4 公共施設に対する今後の方策（地域別）

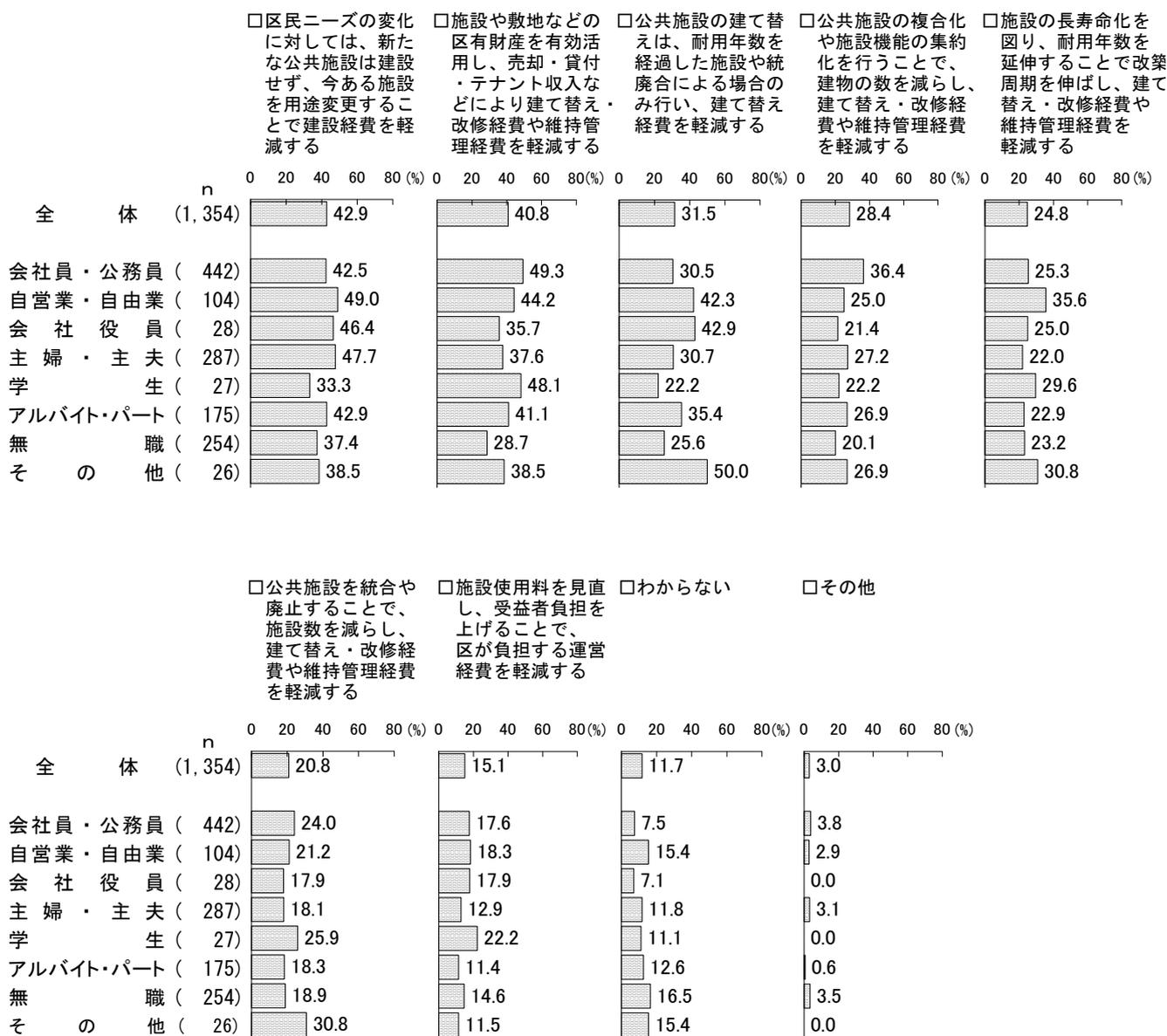


#### ④ 職業別

職業別でみると、「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は会社員・公務員(49.3%)で約5割、学生(48.1%)で5割近くと高くなっています。また、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」は自営業・自由業(49.0%)で約5割と高く、「公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する」は会社役員(42.9%)と自営業・自由業(42.3%)で4割を超えて高くなっています。

(図6-4-5)

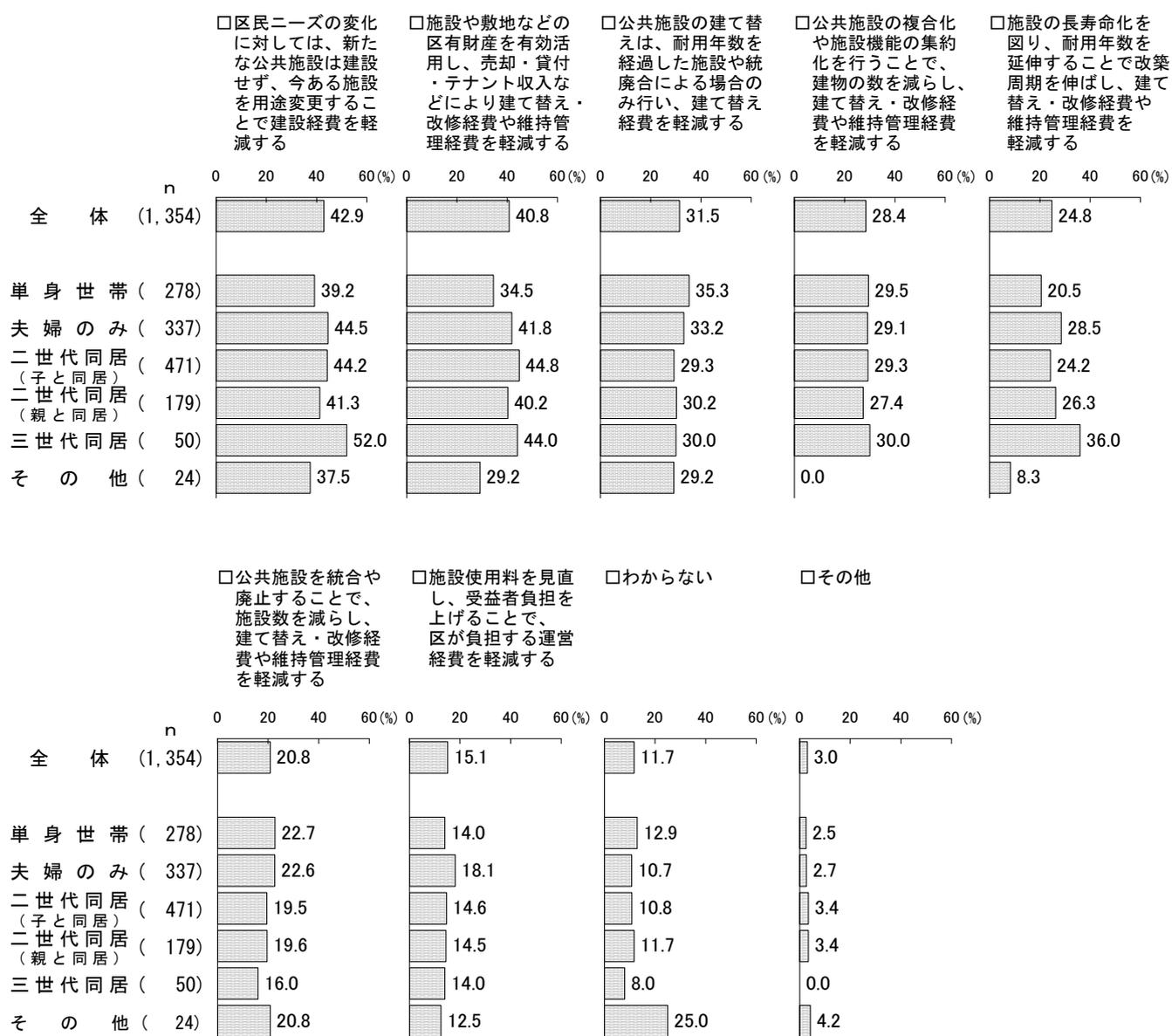
図6-4-5 公共施設に対する今後の方策（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」は三世帯同居（52.0%）で5割を超えて高くなっています。また、「施設の長寿命化を図り、耐用年数を延伸することで改築周期を伸ばし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は三世帯同居（36.0%）で3割半ばと高く、「公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する」は単身世帯（35.3%）で3割半ばと高くなっています。（図6-4-6）

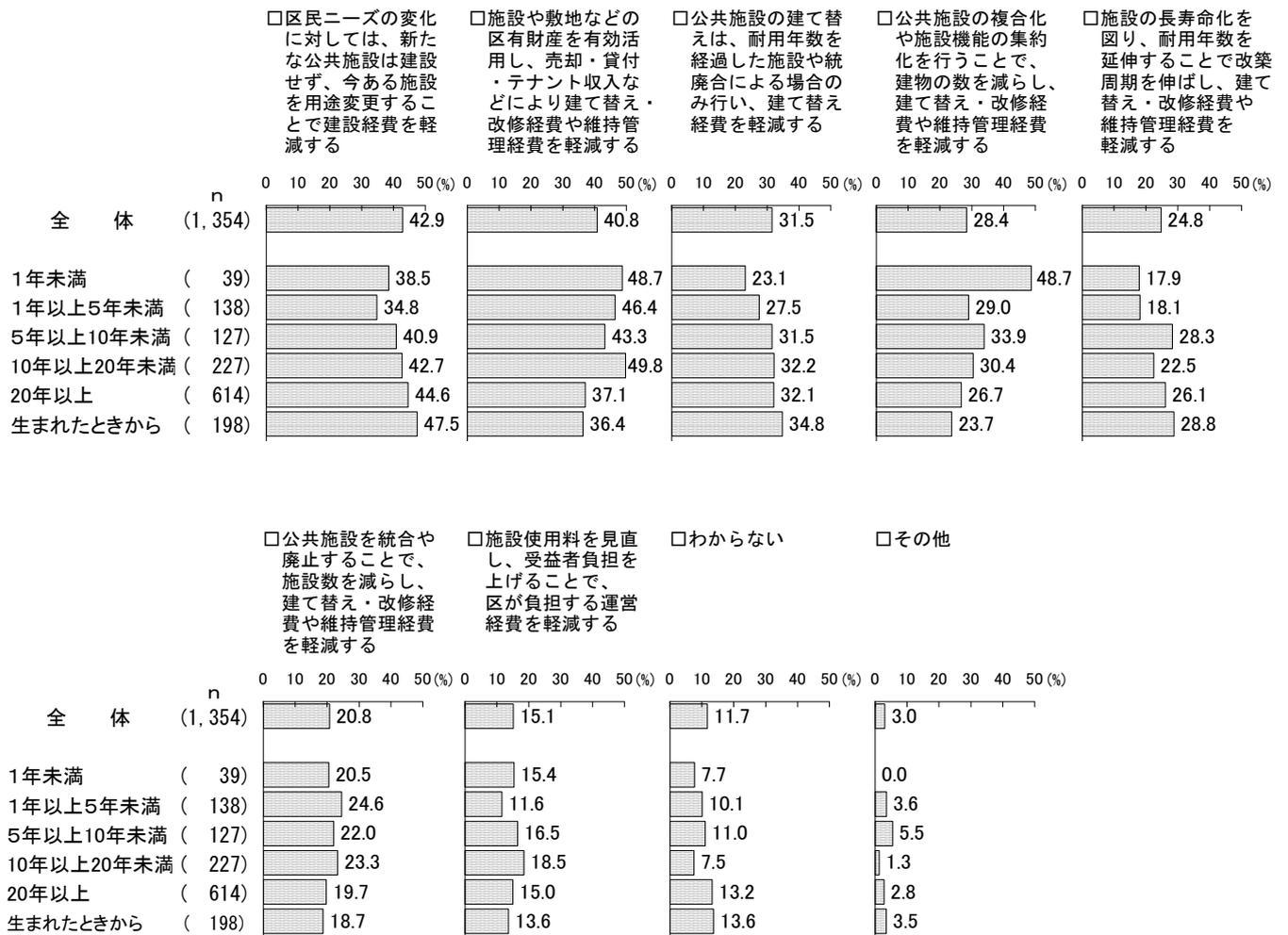
図6-4-6 公共施設に対する今後の方策（世帯構成別）



## ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は10年以上20年未満（49.8%）で約5割と高くなっています。また、「公共施設の複合化や施設機能の集約化を行うことで、建物の数を減らし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する」は1年未満（48.7%）で5割近くと高く、「区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する」は生まれたときから（47.5%）で5割近くと高くなっています。（図6-4-7）

図6-4-7 公共施設に対する今後の方策（居住年数別）

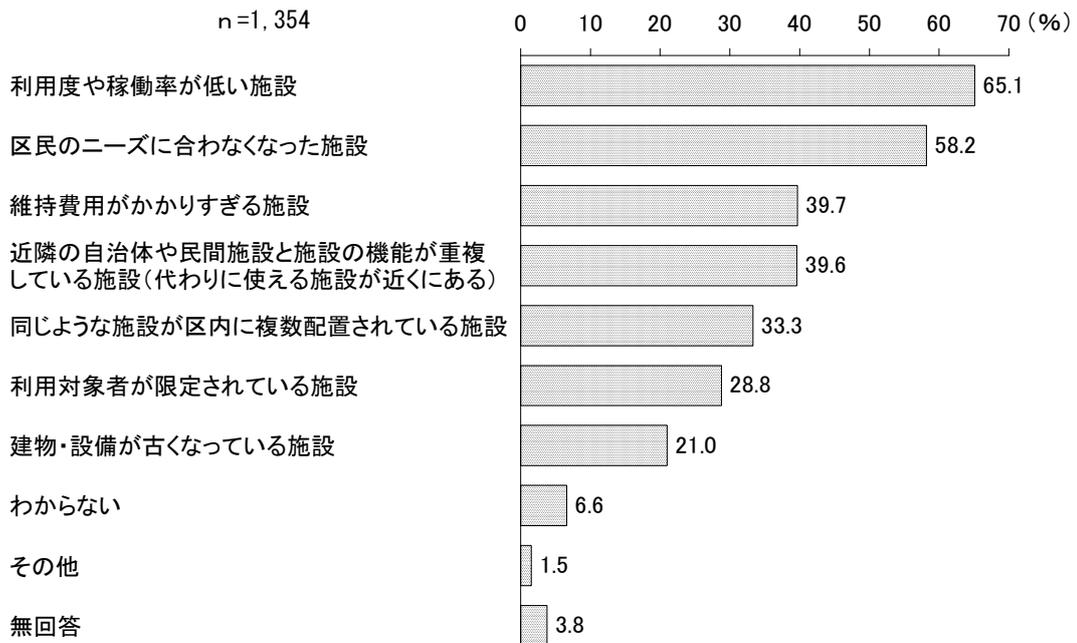


(5) 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設

◇「利用度や稼働率が低い施設」が6割半ば

問 15 公共施設にかかる経費を縮減していくために、公共施設の総量を抑制していかなければならなくなった場合、あなたはどのような施設から減らしていくべきだと考えますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 6-5-1



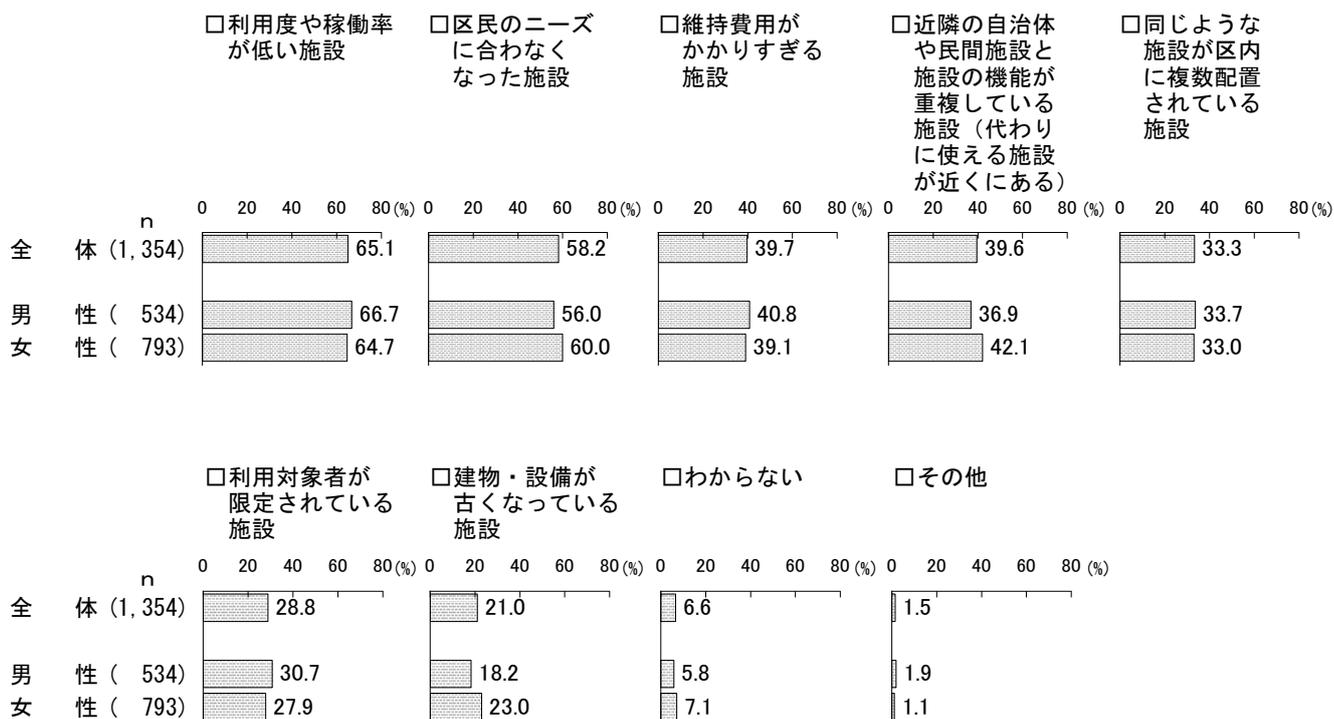
公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設を聞いたところ、「利用度や稼働率が低い施設」(65.1%)が6割半ばと最も高くなっています。次いで「区民のニーズに合わなくなった施設」(58.2%)、「維持費用がかかりすぎる施設」(39.7%)、「近隣の自治体や民間施設と施設の機能が重複している施設(代わりに使える施設が近くにある)」(39.6%)などとなっています。(図6-5-1)

① 性別

性別でみると、「近隣の自治体や民間施設と施設の機能が重複している施設（代わりに使える施設が近くにある）」は女性（42.1%）が男性（36.9%）より5.2ポイント、「建物・設備が古くなっている施設」は女性（23.0%）が男性（18.2%）より4.8ポイント、それぞれ高くなっています。

（図 6-5-2）

図 6-5-2 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（性別）

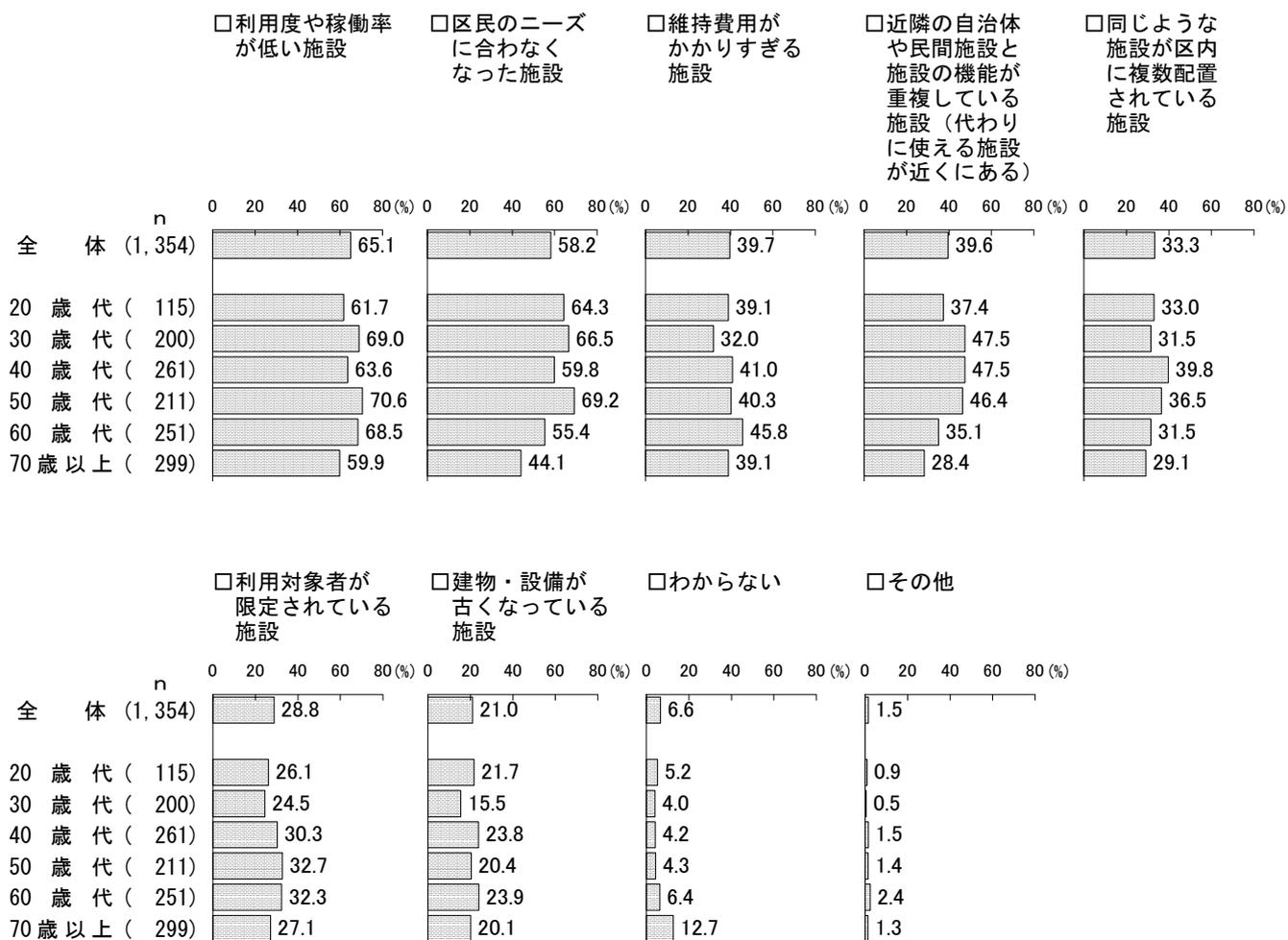


② 年代別

年代別でみると、「利用度や稼働率が低い施設」は30歳代（69.0%）と50歳代（70.6%）で約7割と高くなっています。また、「区民のニーズに合わなくなった施設」は50歳代（69.2%）で約7割と高く、「維持費用がかかりすぎる施設」は60歳代（45.8%）で4割半ばと高くなっています。

(図6-5-3)

図6-5-3 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（年代別）

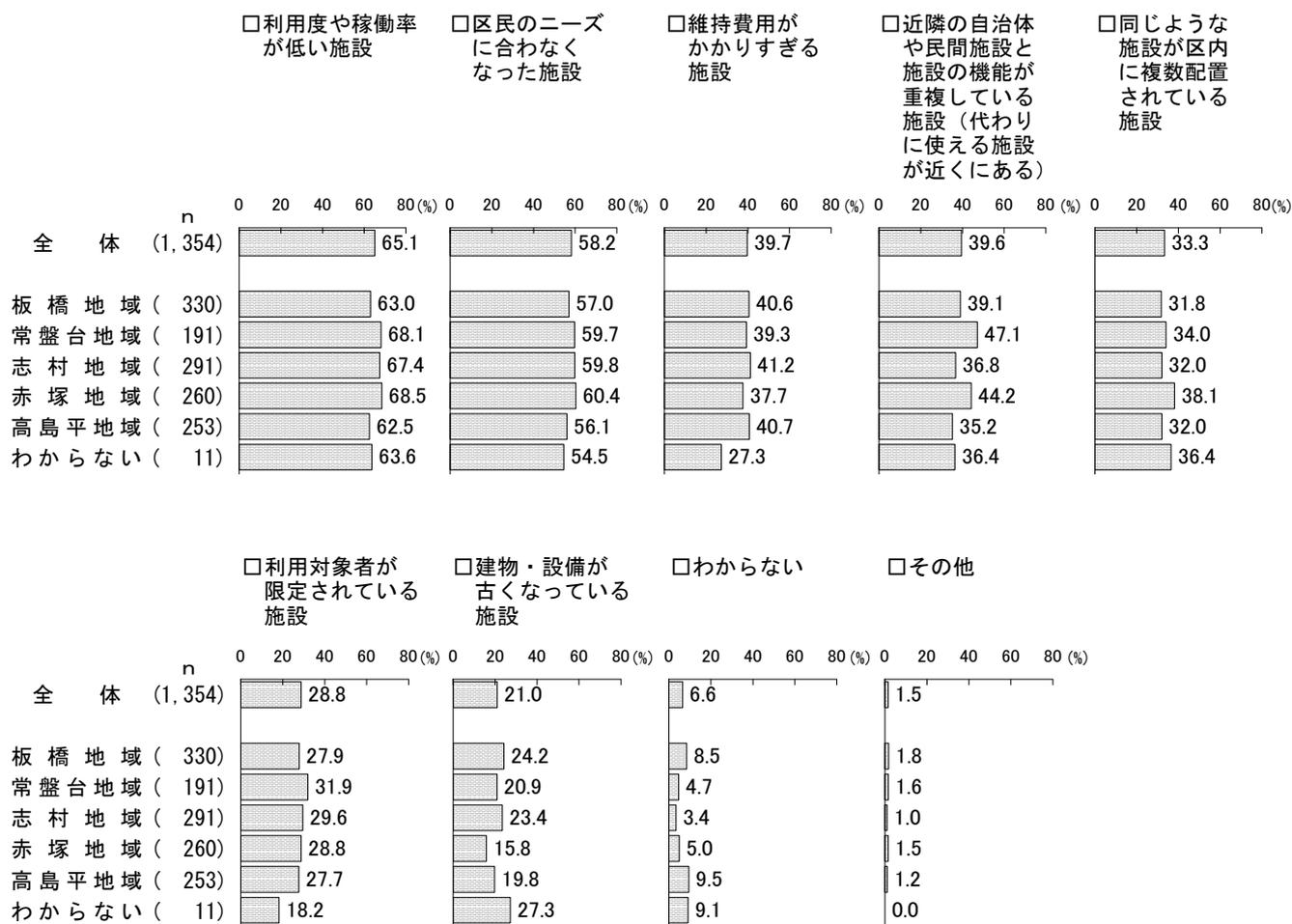


### ③ 地域別

地域別でみると、「近隣の自治体や民間施設と施設の機能が重複している施設（代わりに使える施設が近くにある）」は常盤台地域（47.1%）で5割近くと高くなっています。また、「同じような施設が区内に複数配置されている施設」は赤塚地域（38.1%）で4割近くと高くなっています。

(図 6-5-4)

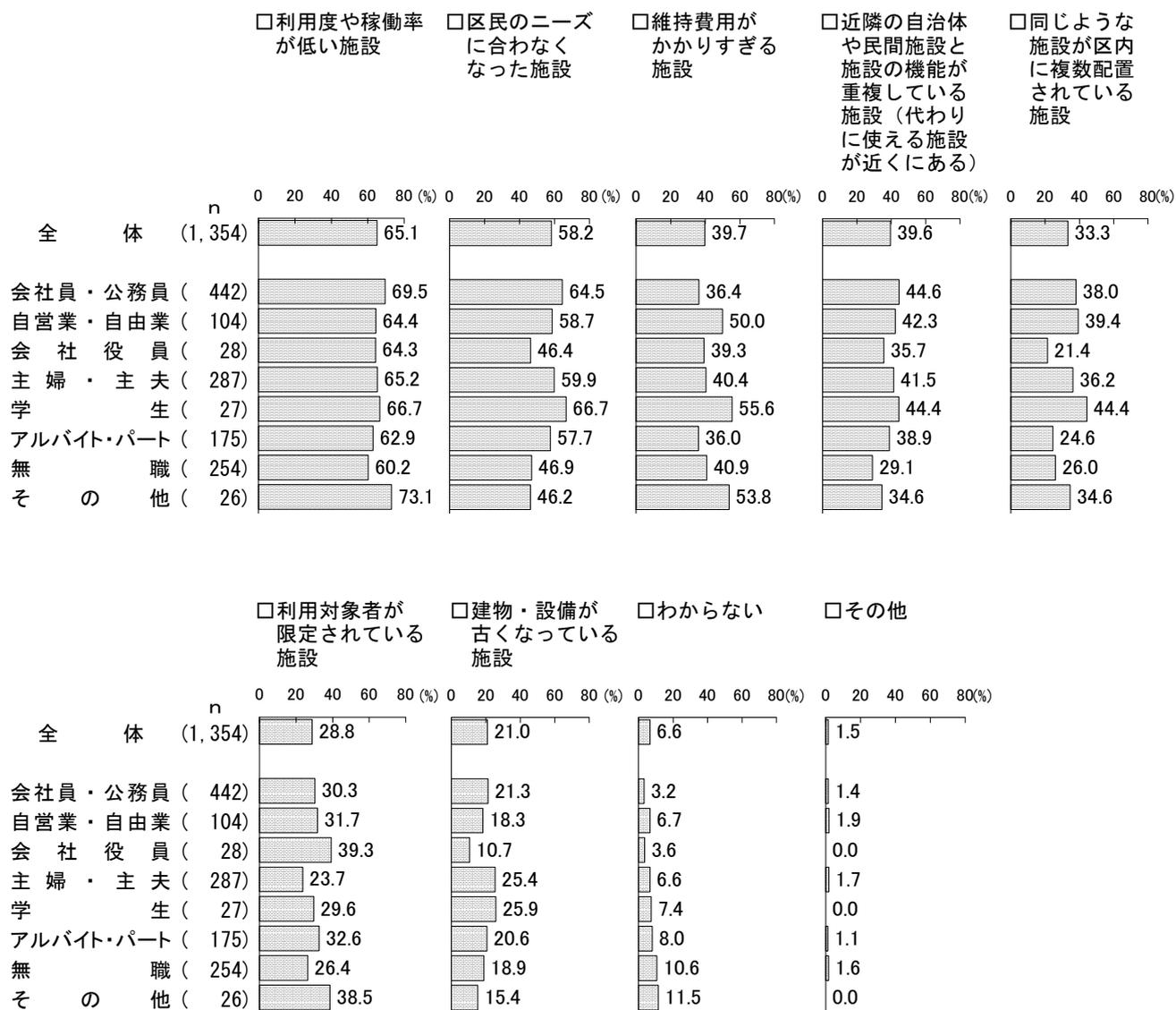
図 6-5-4 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、「利用度や稼働率が低い施設」は会社員・公務員（69.5%）で約7割と高くなっています。また、「区民のニーズに合わなくなった施設」は学生（66.7%）と会社員・公務員（64.5%）で6割台と高く、「維持費用がかかりすぎる施設」は学生（55.6%）と自営業・自由業（50.0%）で5割台と高くなっています。（図6-5-5）

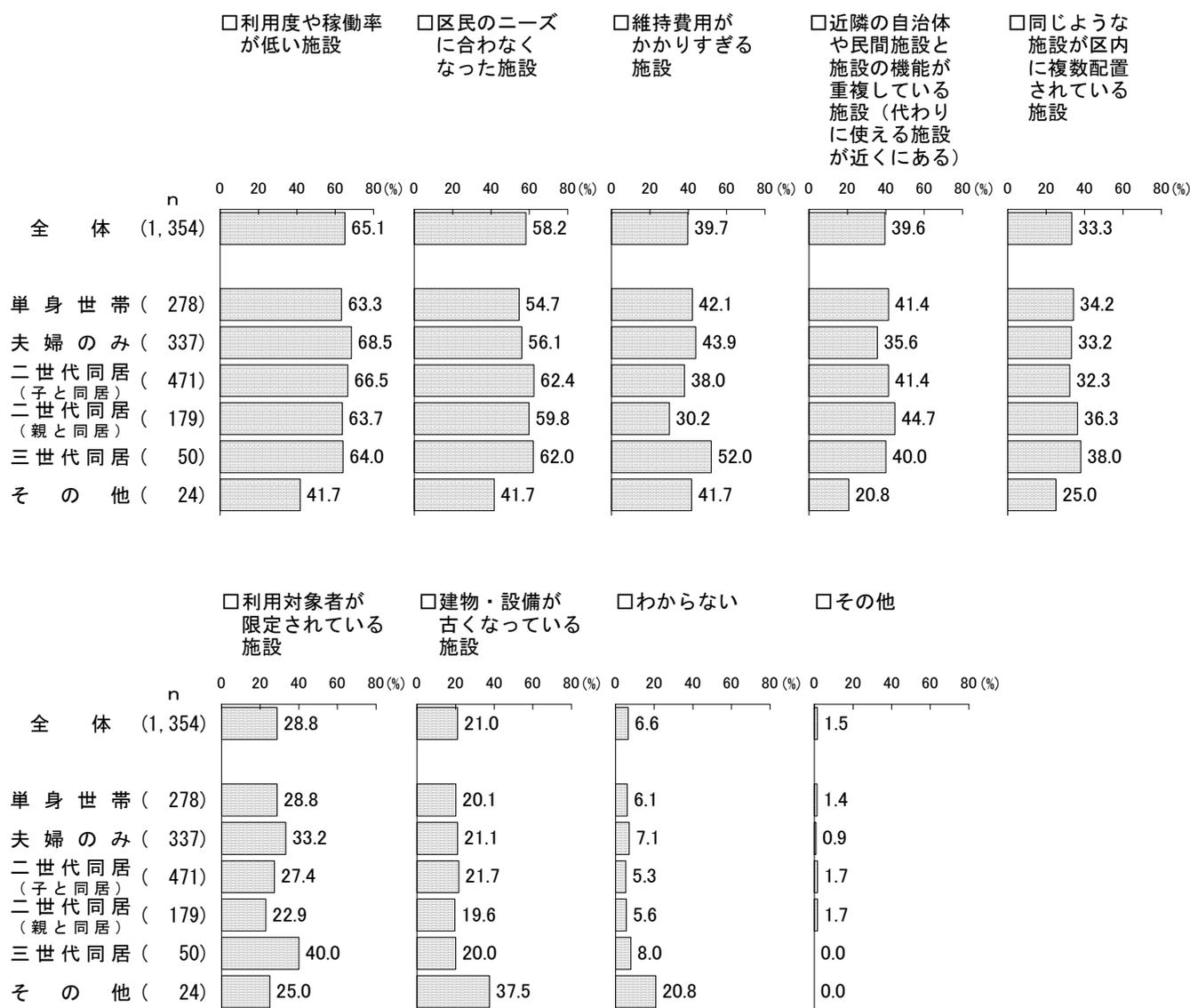
図6-5-5 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「利用度や稼働率が低い施設」は夫婦のみ（68.5%）と二世世代同居（子と同居）（66.5%）で6割半ばと高くなっています。また、「区民のニーズに合わなくなった施設」は二世世代同居（子と同居）（62.4%）と三世世代同居（62.0%）で6割を超えて高く、「維持費用がかかりすぎる施設」は三世世代同居（52.0%）で5割を超えて高くなっています。（図6-5-6）

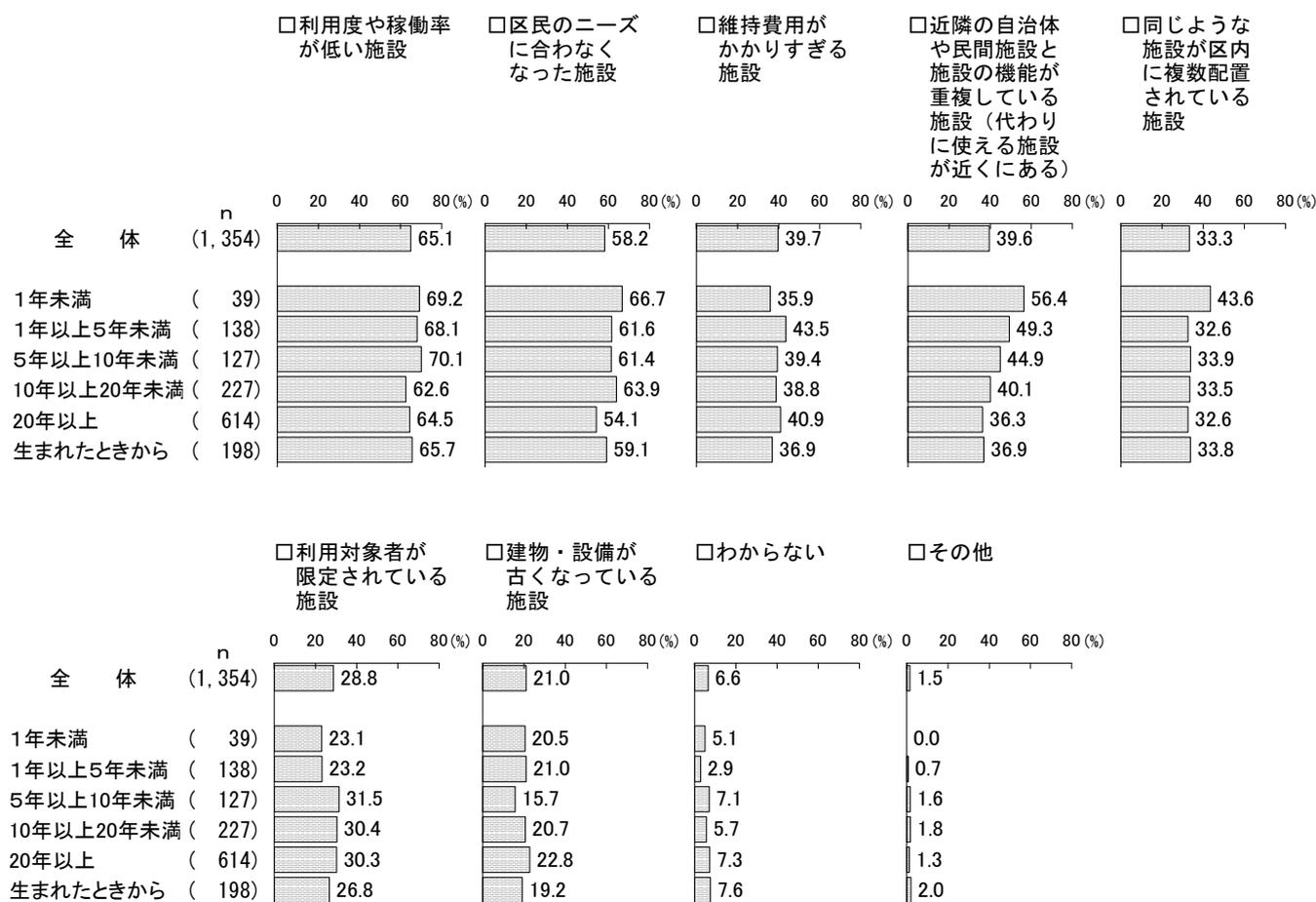
図6-5-6 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（世帯構成別）



## ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「区民のニーズに合わなくなった施設」は1年未満（66.7%）で6割半ばと高く、「維持費用がかかりすぎる施設」は1年以上5年未満（43.5%）で4割を超えて高くなっています。また、「近隣の自治体や民間施設と施設の機能が重複している施設（代わりに使える施設が近くにある）」は居住年数が短くなるほど割合が高く、1年未満（56.4%）では5割半ばとなっています。（図6-5-7）

図6-5-7 公共施設の総量を抑制する際に減らすべき施設（居住年数別）

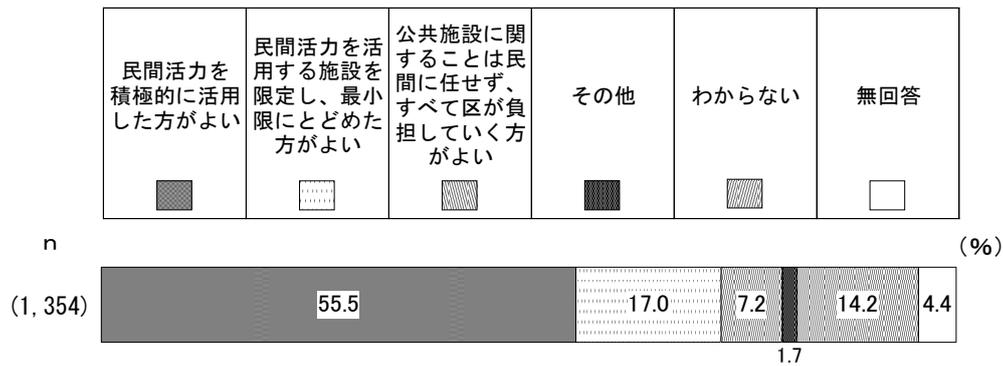


(6) 民間活力を活用した整備や管理運営

◇「民間活力を積極的に活用した方がよい」が5割半ば

問 16 建て替え時に民間資金やノウハウなどの民間活力を活用した整備や管理運営を行うことにより、更なる区民サービスの向上と経費負担の軽減を検討していく必要があります。このことについて、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

図 6-6-1

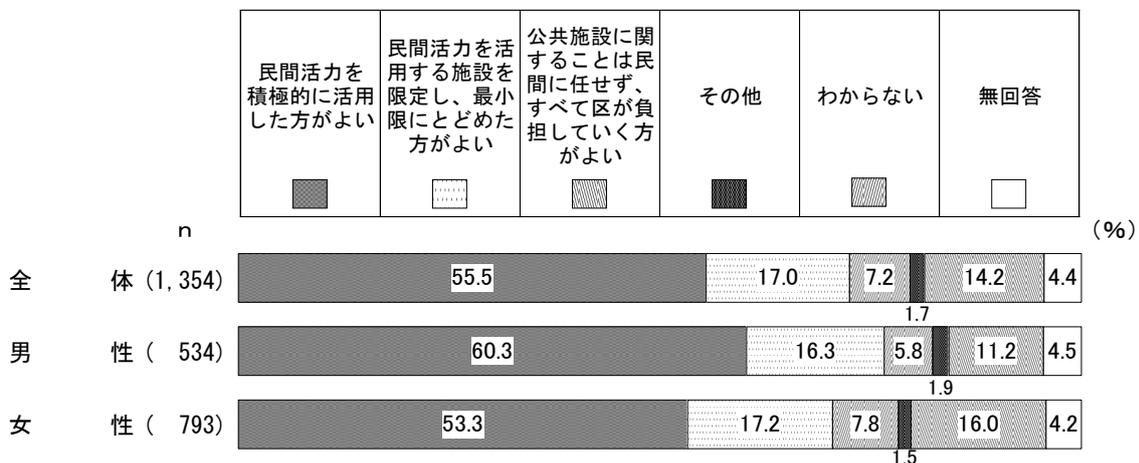


民間活力を活用した整備や管理運営について聞いたところ、「民間活力を積極的に活用した方がよい」(55.5%)が5割半ばと最も高く、「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」(17.0%)が2割近く、「公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい」(7.2%)は1割未満となっています。(図6-6-1)

① 性別

性別でみると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」は男性(60.3%)が女性(53.3%)より7.0ポイント高くなっています。(図6-6-2)

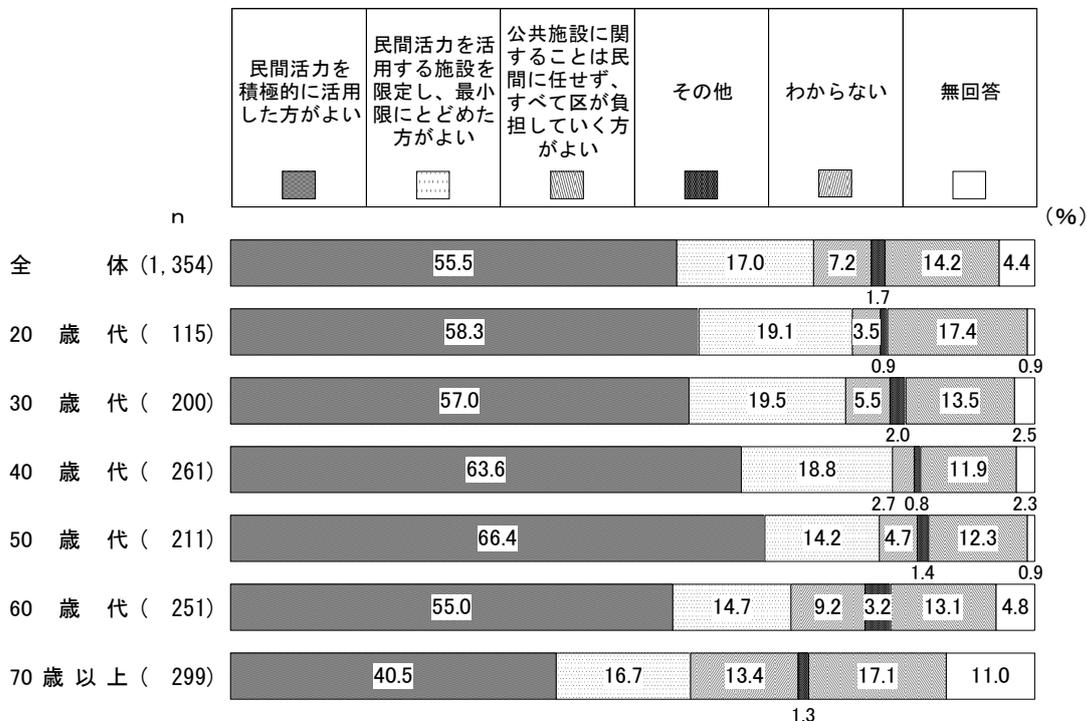
図 6-6-2 民間活力を活用した整備や管理運営 (性別)



## ② 年代別

年代別でみると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」は40歳代(63.6%)と50歳代(66.4%)で6割台と高くなっています。(図6-6-3)

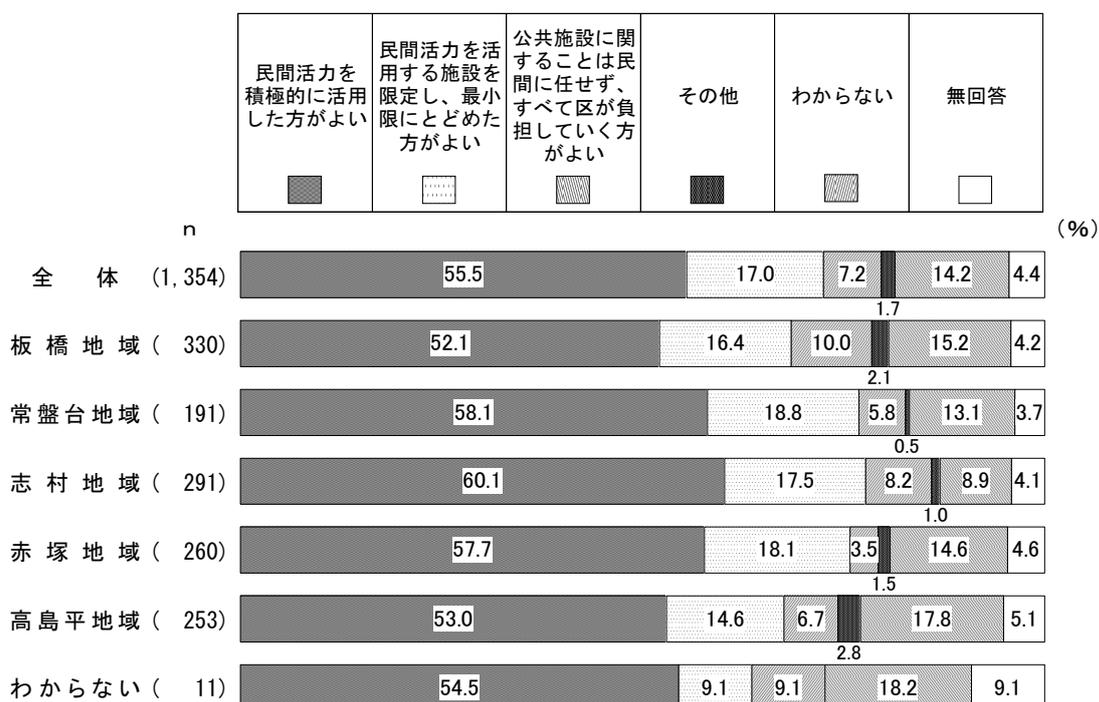
図6-6-3 民間活力を活用した整備や管理運営(年代別)



## ③ 地域別

地域別でみると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」は志村地域(60.1%)で6割と高くなっています。(図6-6-4)

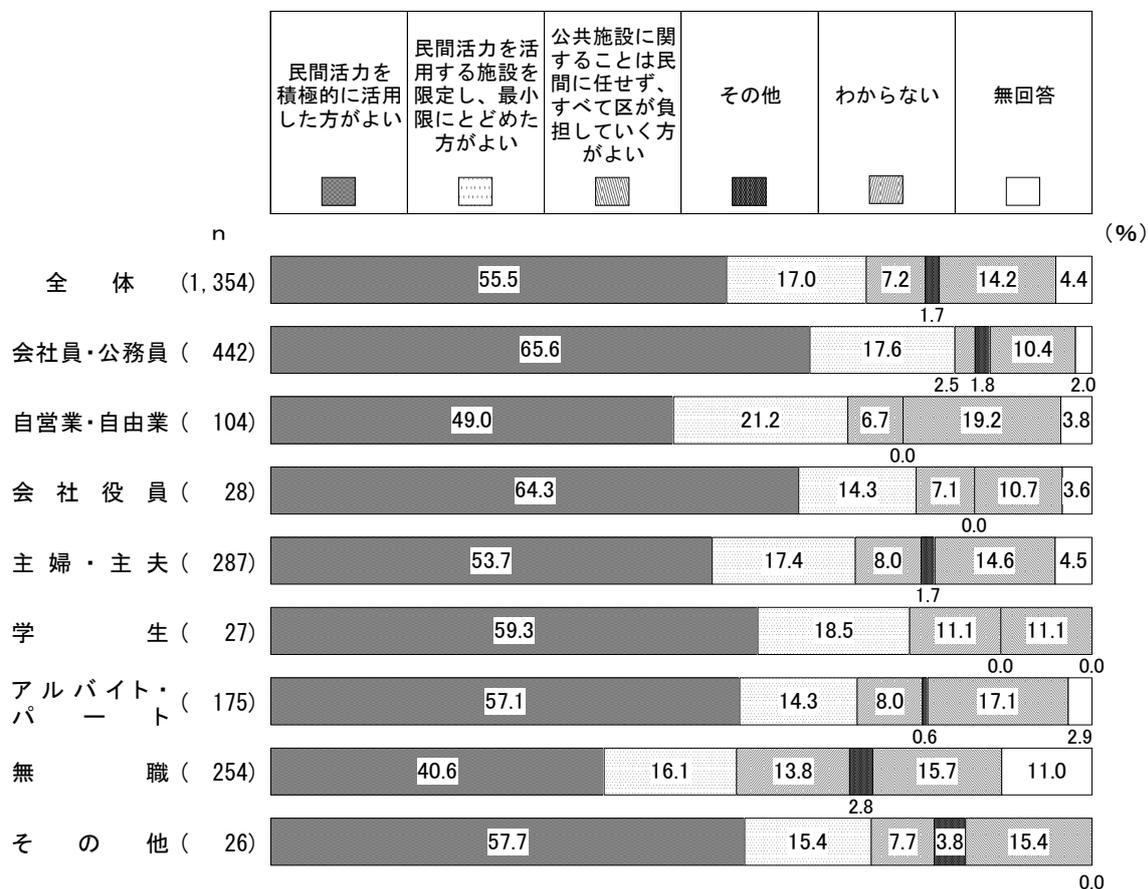
図6-6-4 民間活力を活用した整備や管理運営(地域別)



#### ④ 職業別

職業別でみると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」は会社員・公務員（65.6%）と会社役員（64.3%）で6割半ばと高くなっています。また、「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」は自営業・自由業（21.2%）で2割を超えて高くなっています。（図6-6-5）

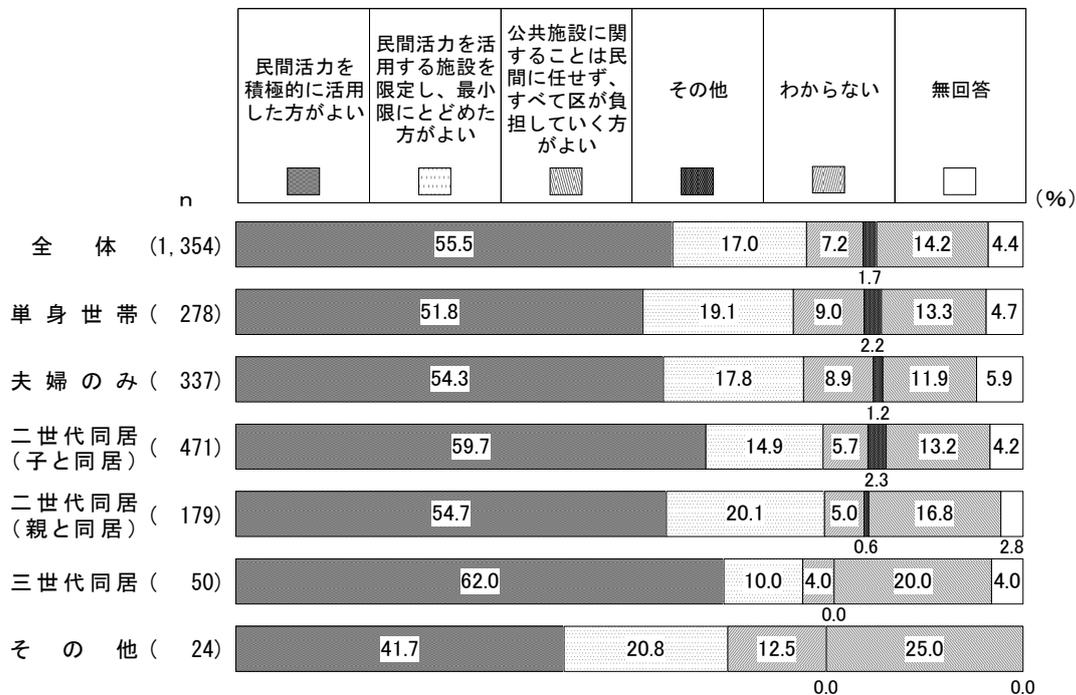
図6-6-5 民間活力を活用した整備や管理運営（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」は三世帯同居（62.0%）で6割を超えて高くなっています。また、「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」は二世帯同居（親と同居）（20.1%）で2割と高くなっています。（図6-6-6）

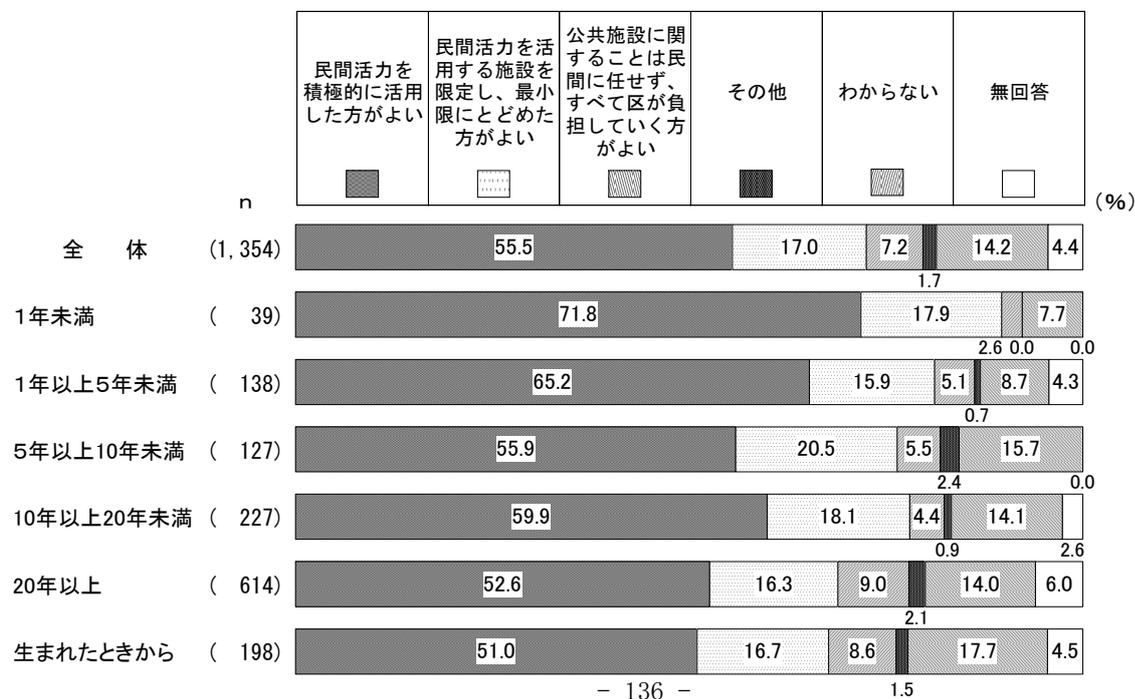
図6-6-6 民間活力を活用した整備や管理運営（世帯構成別）



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「民間活力を積極的に活用した方がよい」はおおむね居住年数が短くなるほど割合が高く、1年未満（71.8%）では7割を超えています。また、「民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい」は5年以上10年未満（20.5%）で約2割と高くなっています。（図6-6-7）

図6-6-7 民間活力を活用した整備や管理運営（居住年数別）



## 7. 町会・自治会、NPO団体への加入状況等

### (1) 町会・自治会、NPO団体への加入状況

◇「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」が4割を超える

問17 あなたは、現在、町会・自治会やNPO団体に加入していますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※町会・自治会：古くからの地縁による組織として、防犯、防火・防災、青少年健全育成、環境美化及び地域住民の親睦など、地域コミュニティの活性化や福祉の向上に区と協働して取り組んでいる団体

NPO団体：Non-Profit Organization（ノンプロフィット・オーガニゼーション）の略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人）のこと

図7-1-1

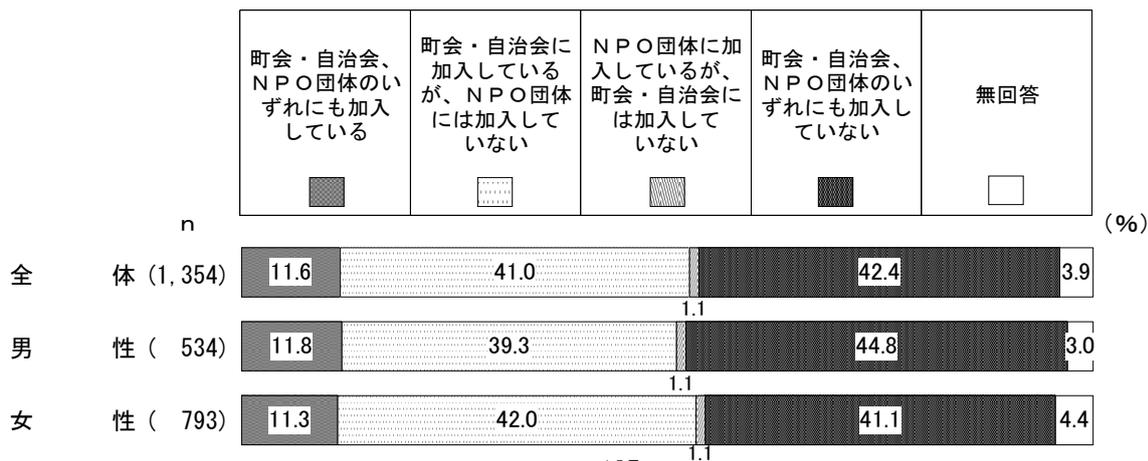


現在、町会・自治会やNPO団体に加入しているか聞いたところ、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」(41.0%)が4割を超えて高く、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」(11.6%)が1割を超え、「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」(1.1%)はわずかとなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」(42.4%)は4割を超えています。(図7-1-1)

#### ① 性別

性別でみると、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は男性(44.8%)が女性(41.1%)より3.7ポイント高くなっています。(図7-1-2)

図7-1-2 町会・自治会、NPO団体への加入状況（性別）

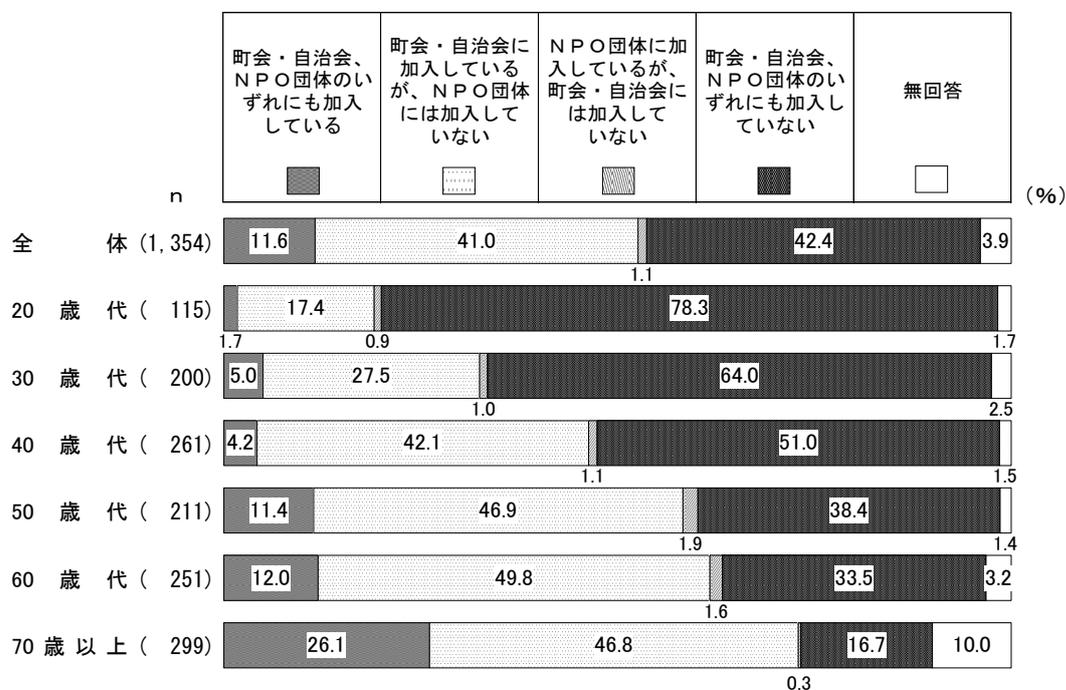


## ② 年代別

年代別でみると、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」は60歳代（49.8%）で約5割と高くなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は年齢が低くなるほど割合が高く、20歳代（78.3%）では8割近くとなっています。

（図7-1-3）

図7-1-3 町会・自治会、NPO団体への加入状況（年代別）

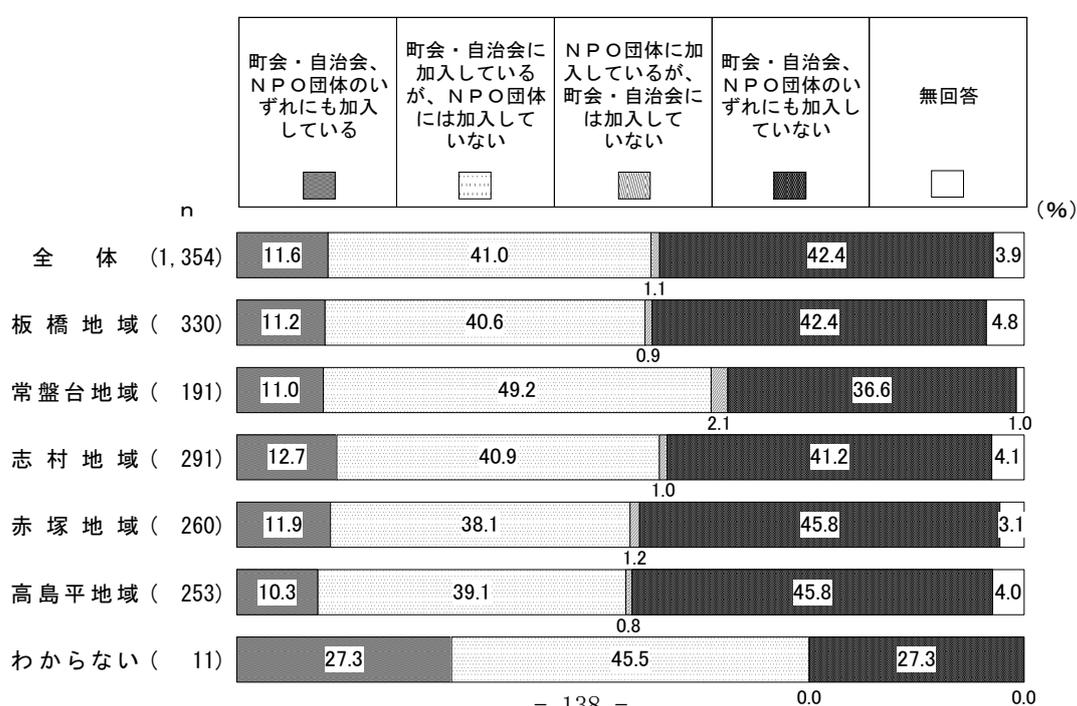


## ③ 地域別

地域別でみると、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」は常盤台地域（49.2%）で約5割と高くなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は赤塚地域と高島平地域（ともに45.8%）で4割半ばと高くなっています。

（図7-1-4）

図7-1-4 町会・自治会、NPO団体への加入状況（地域別）

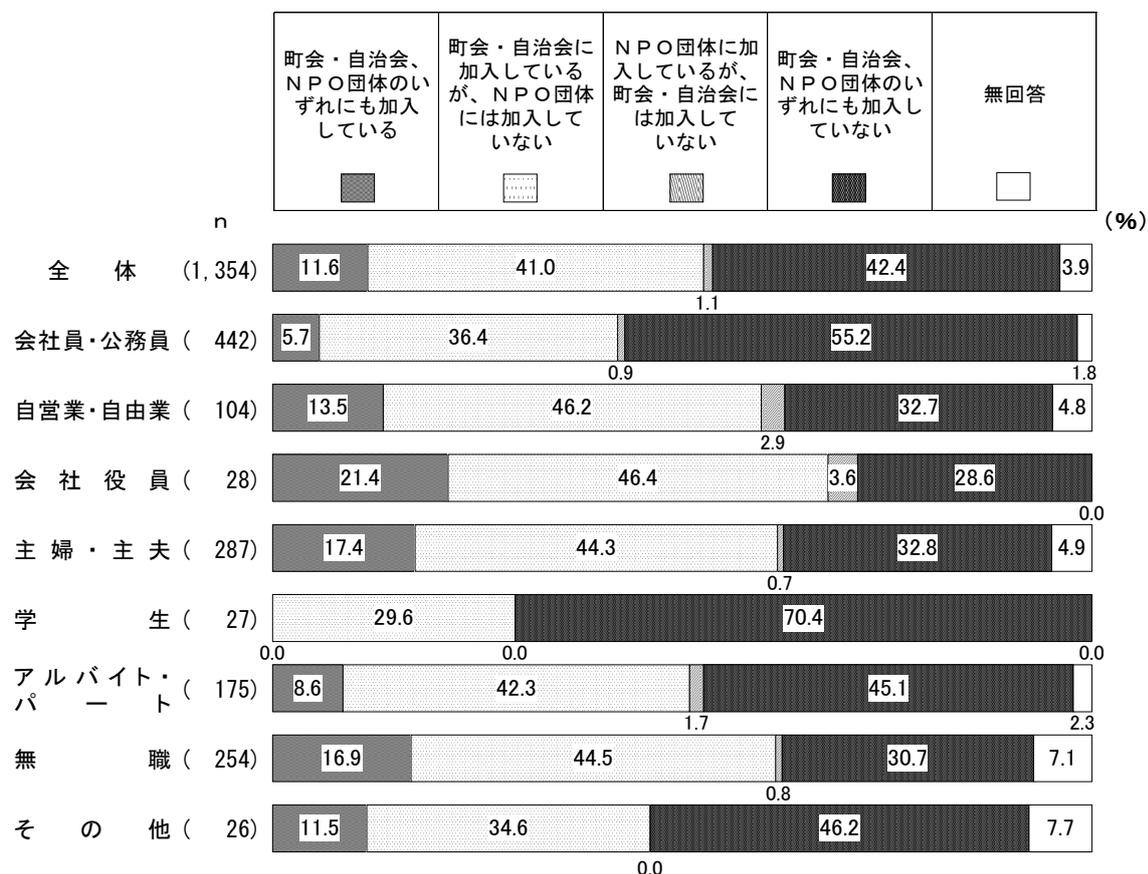


#### ④ 職業別

職業別でみると、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入している」は会社役員（21.4%）で2割を超えて高くなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は学生（70.4%）で7割、会社員・公務員（55.2%）で5割半ばと高くなっています。

（図7-1-5）

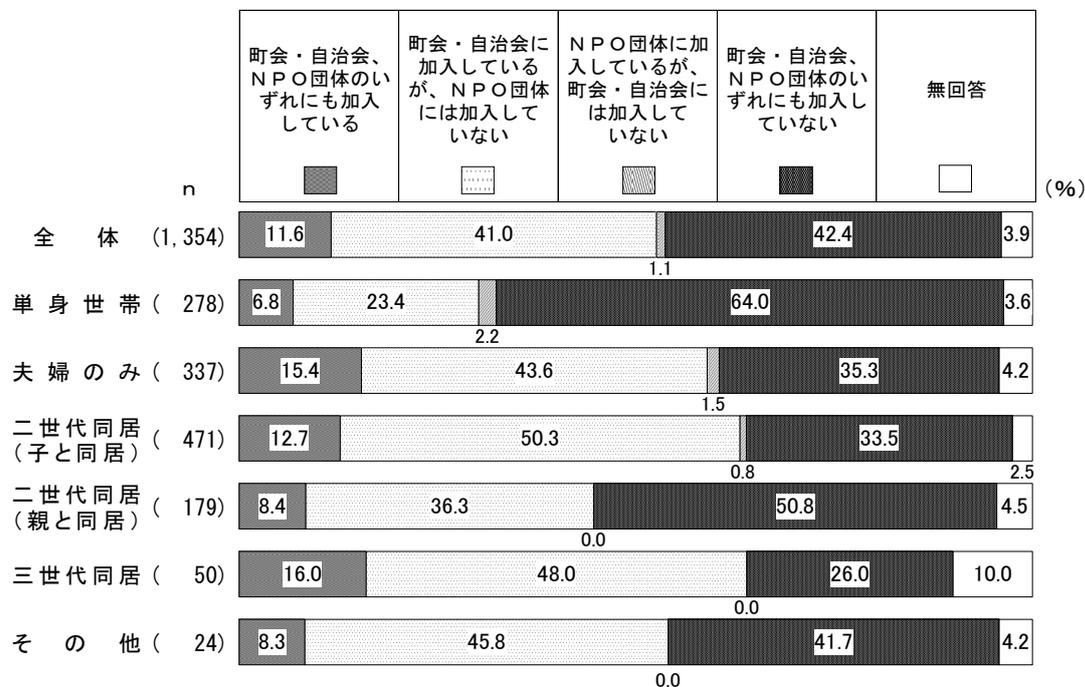
図7-1-5 町会・自治会、NPO団体への加入状況（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」は二世世代同居(子と同居) (50.3%) で5割と高くなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は単身世帯 (64.0%) で6割半ばと高くなっています。(図7-1-6)

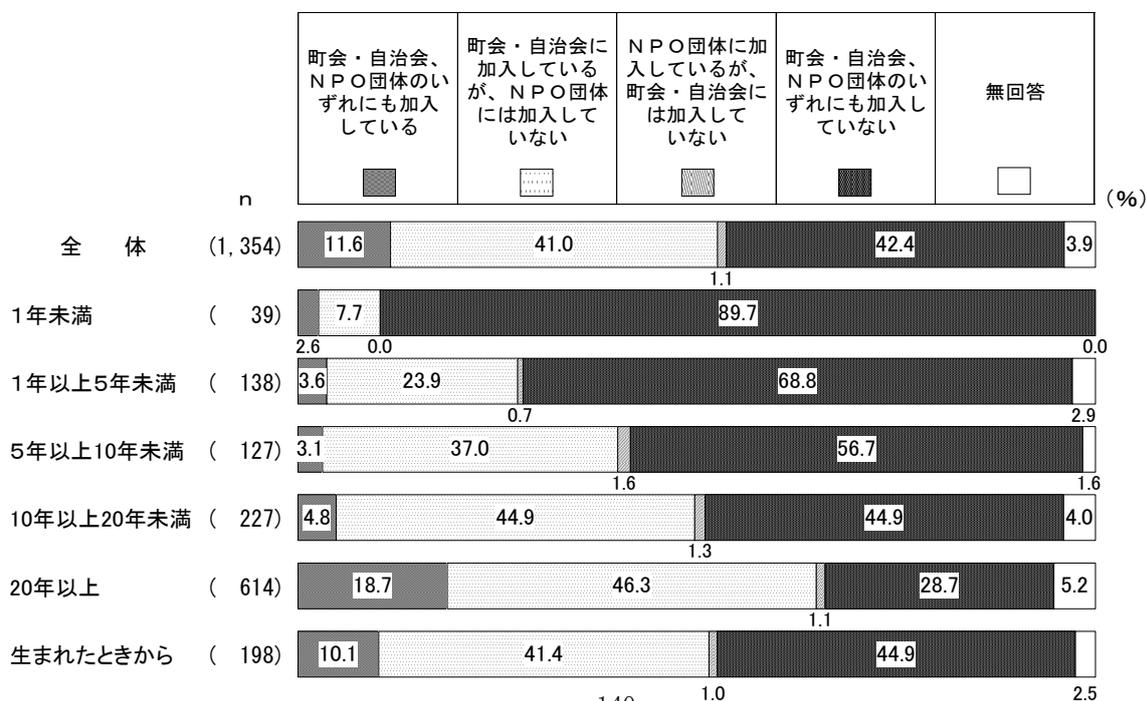
図7-1-6 町会・自治会、NPO団体への加入状況 (世帯構成別)



### ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」は20年以上 (46.3%) で4割半ばと高くなっています。一方、「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」は居住年数が短くなるほど割合が高く、1年未満 (89.7%) では約9割となっています。(図7-1-7)

図7-1-7 町会・自治会、NPO団体への加入状況 (居住年数別)



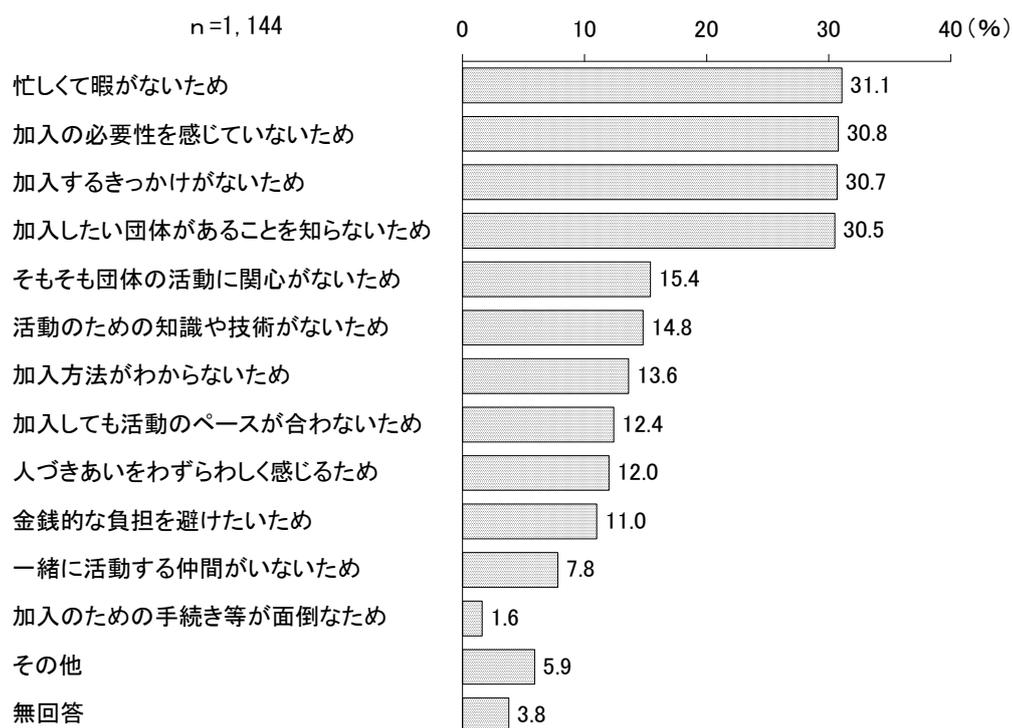
## (1-1) 加入していない理由

◇「忙しくて暇がないため」が3割を超える

(問17で「町会・自治会に加入しているが、NPO団体には加入していない」「NPO団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない」「町会・自治会、NPO団体のいずれにも加入していない」と回答した方へ)

問17-1 加入していない主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図7-1-8



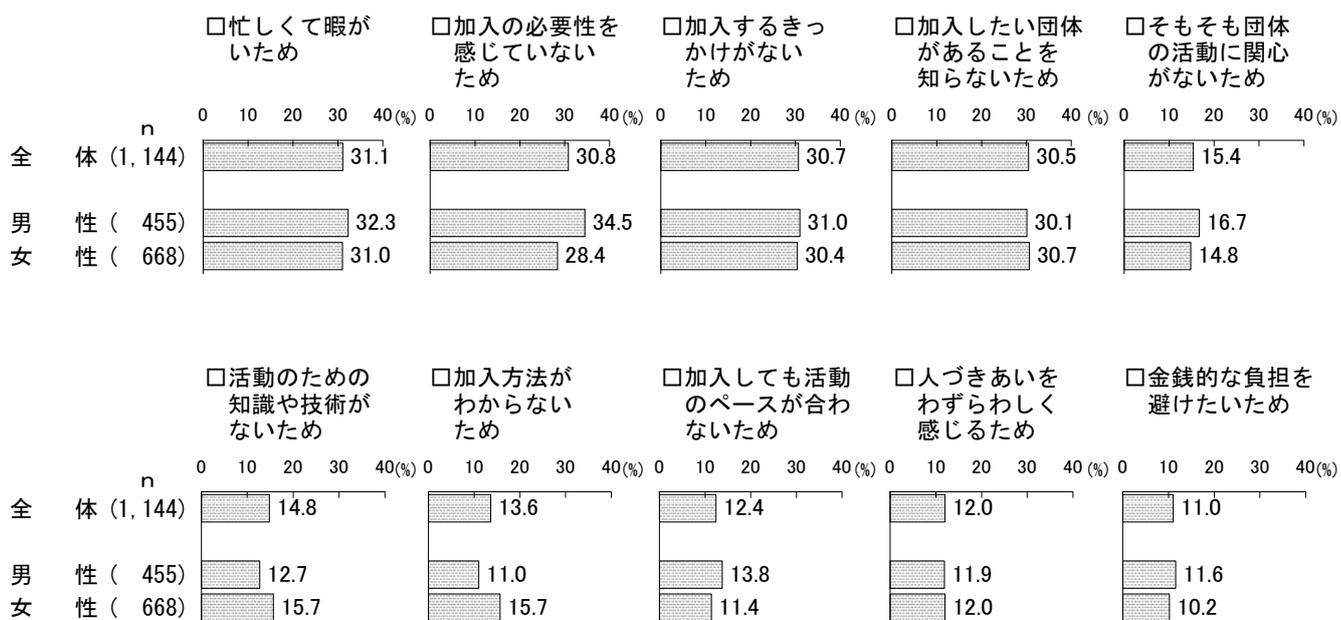
問17で、町会・自治会、NPO団体のいずれか、または、いずれにも「加入していない」と答えた人(1,144人)に、その理由を聞いたところ、「忙しくて暇がないため」(31.1%)が3割を超えて最も高くなっています。次いで「加入の必要性を感じていないため」(30.8%)、「加入するきっかけがないため」(30.7%)、「加入したい団体があることを知らないため」(30.5%)などとなっています。

(図7-1-8)

① 性別

上位10項目を性別で見ると、「加入の必要性を感じていないため」は男性(34.5%)が女性(28.4%)より6.1ポイント高くなっています。一方、「加入方法がわからないため」は女性(15.7%)が男性(11.0%)より4.7ポイント、「活動のための知識や技術がないため」は女性(15.7%)が男性(12.7%)より3.0ポイント、それぞれ高くなっています。(図7-1-9)

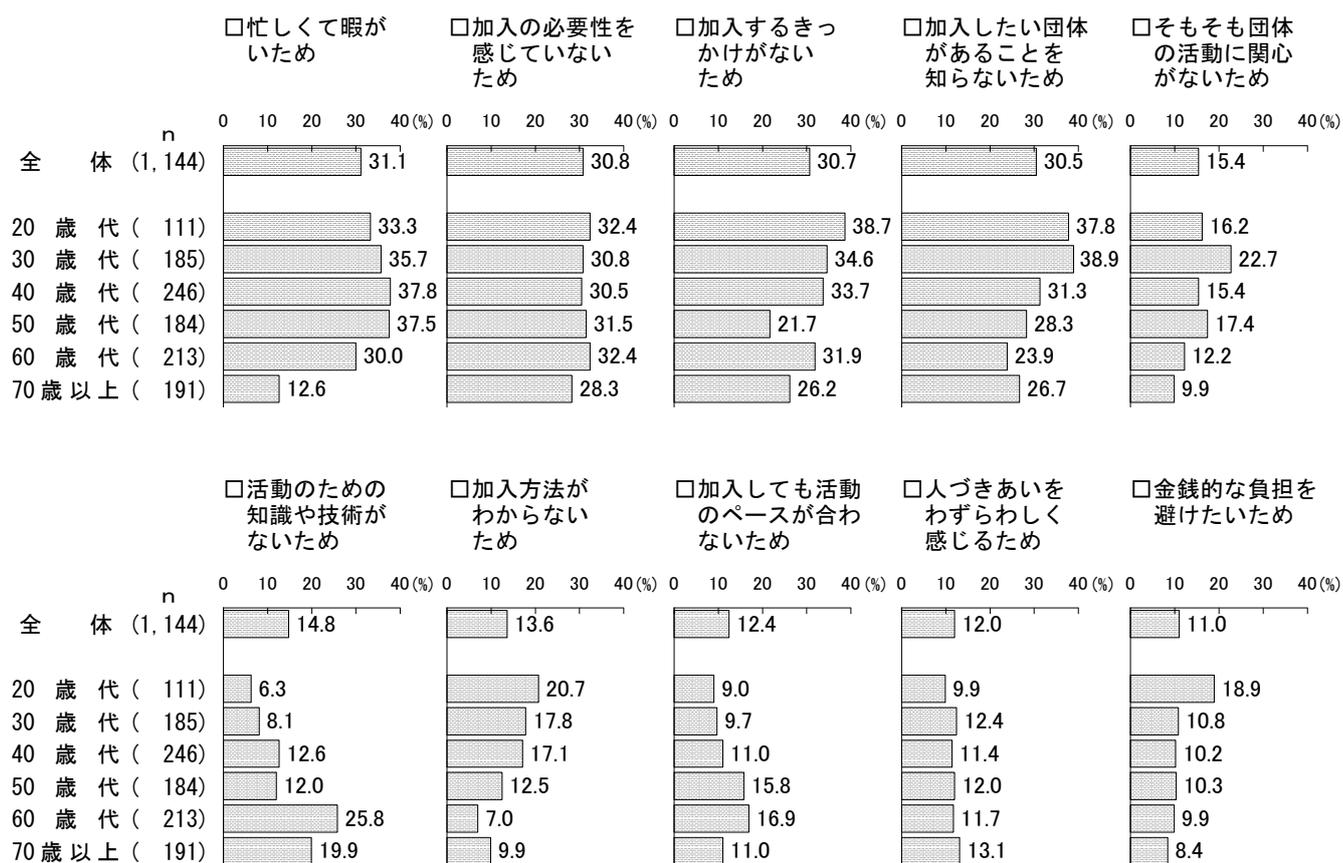
図7-1-9 加入していない理由(性別) - 上位10項目



## ② 年代別

上位 10 項目を年代別で見ると、「加入したい団体があることを知らないため」は 20 歳代 (37.8%) と 30 歳代 (38.9%) で 4 割近くと高く、「加入するきっかけがないため」は 20 歳代 (38.7%) で 4 割近くと高くなっています。また、「忙しくて暇がないため」は 40 歳代 (37.8%) と 50 歳代 (37.5%) で 4 割近くと高く、「活動のための知識や技術がないため」は 60 歳代 (25.8%) で 2 割半ばと高くなっています。(図 7-1-10)

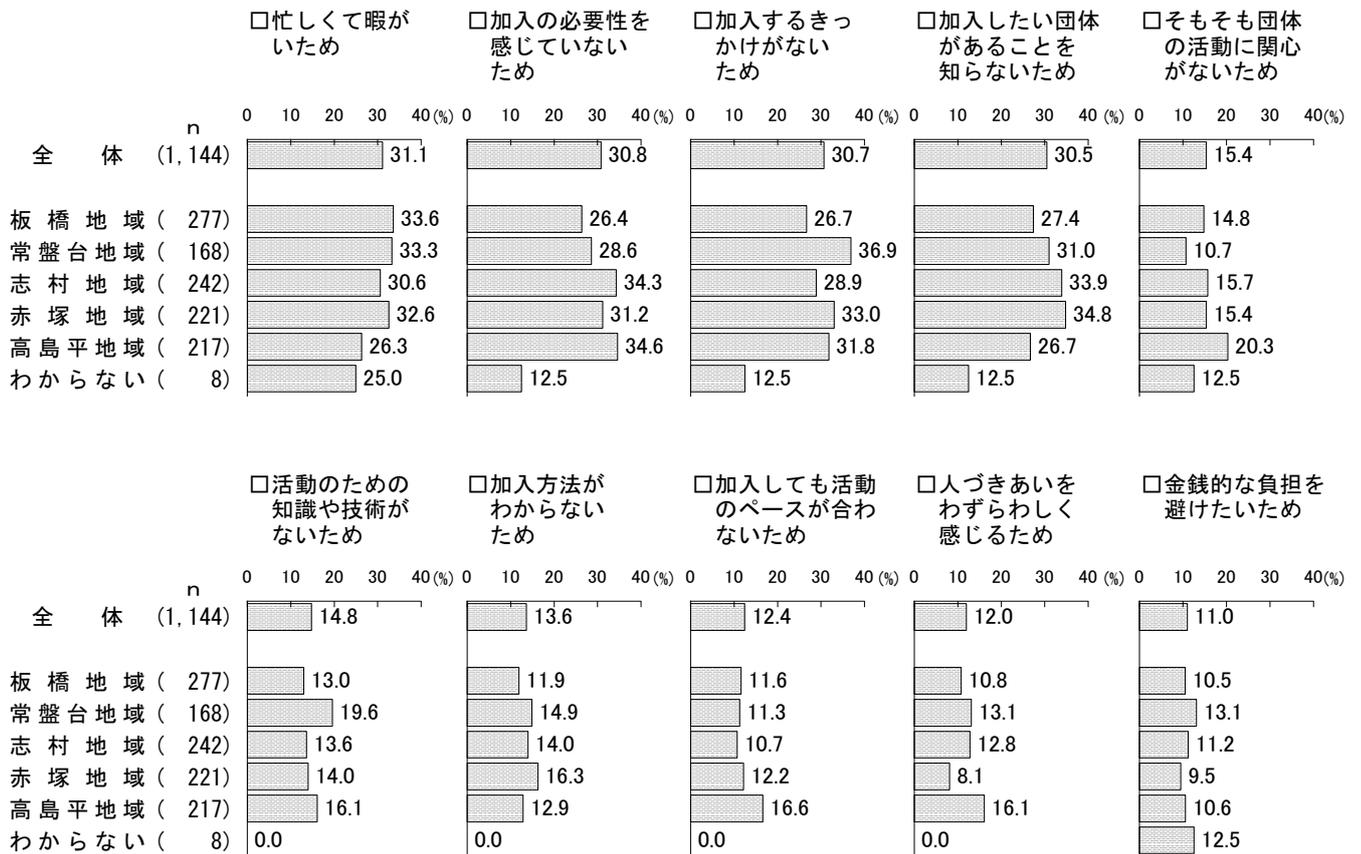
図 7-1-10 加入していない理由 (年代別) - 上位 10 項目



### ③ 地域別

上位 10 項目を地域別でみると、「加入するきっかけがないため」は常盤台地域（36.9%）で3割半ばと高くなっています。また、「加入したい団体があることを知らないため」は赤塚地域（34.8%）で3割半ばと高く、「加入の必要性を感じていないため」は高島平地域（34.6%）と志村地域（34.3%）で3割半ばと高くなっています。（図 7-1-11）

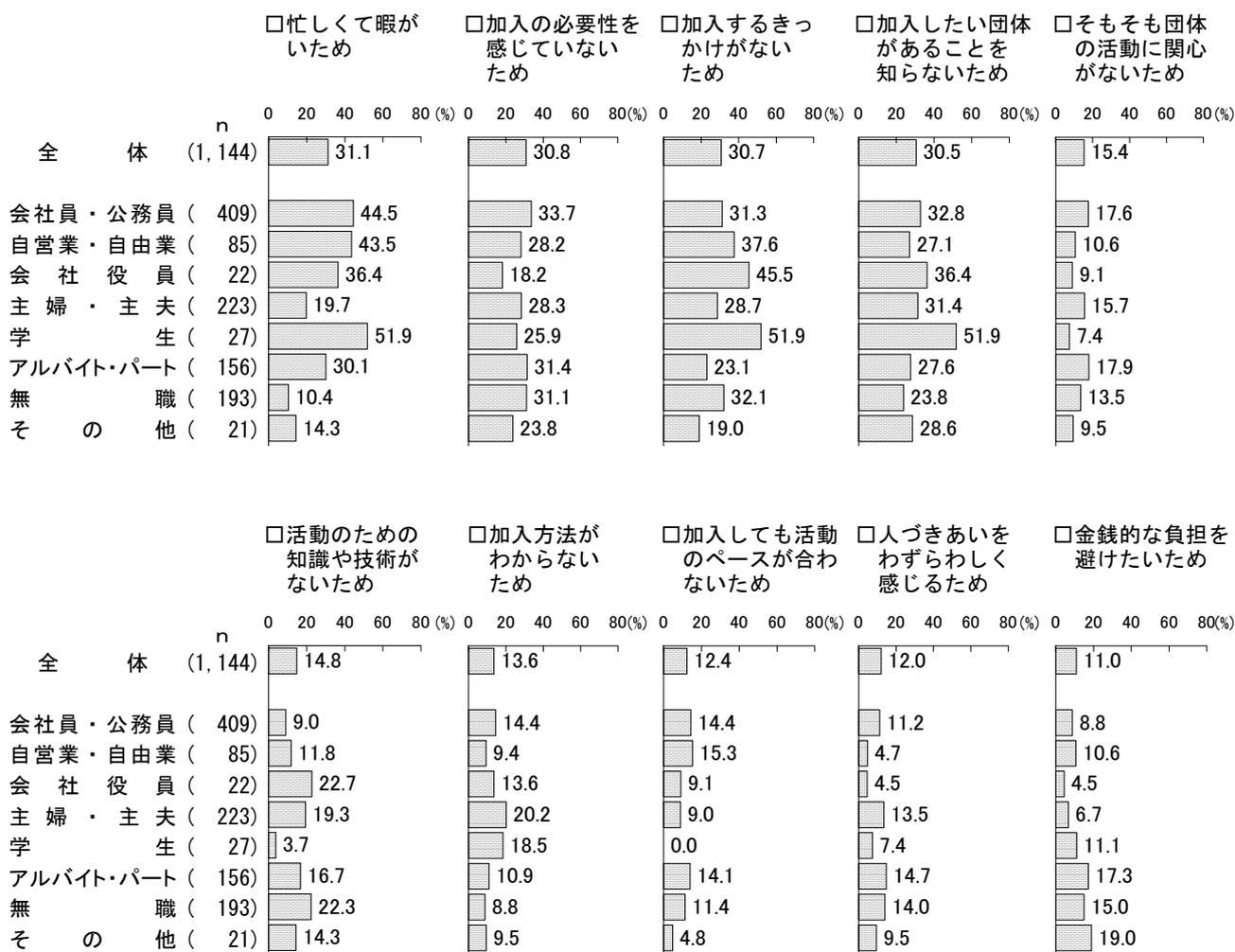
図 7-1-11 加入していない理由（地域別）-上位 10 項目



#### ④ 職業別

上位 10 項目を職業別で見ると、「忙しくて暇がないため」は学生 (51.9%) で 5 割を超え、会社員・公務員 (44.5%) と自営業・自由業 (43.5%) で 4 割台と高くなっています。また、「加入するきっかけがないため」は学生 (51.9%) で 5 割を超え、会社役員 (45.5%) で 4 割半ばと高くなっています。(図 7-1-12)

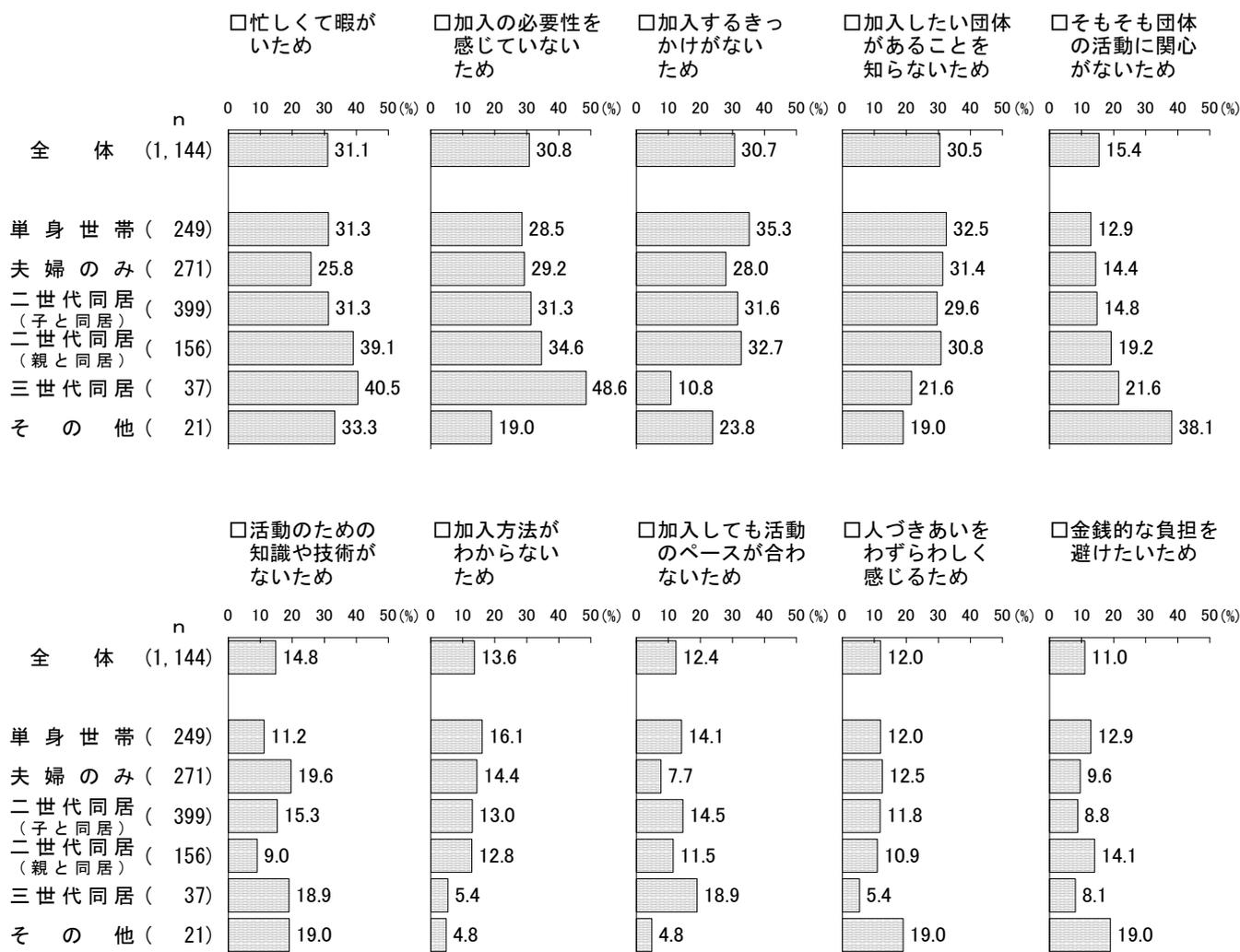
図 7-1-12 加入していない理由 (職業別) - 上位 10 項目



### ⑤ 世帯構成別

上位 10 項目を世帯構成別で見ると、「加入の必要性を感じていないため」は三世帯同居（48.6%）で5割近くと高くなっています。また、「忙しくて暇がないため」は三世帯同居（40.5%）と二世帯同居（親と同居）（39.1%）で約4割と高く、「加入するきっかけがないため」は単身世帯（35.3%）で3割半ばと高くなっています。（図7-1-13）

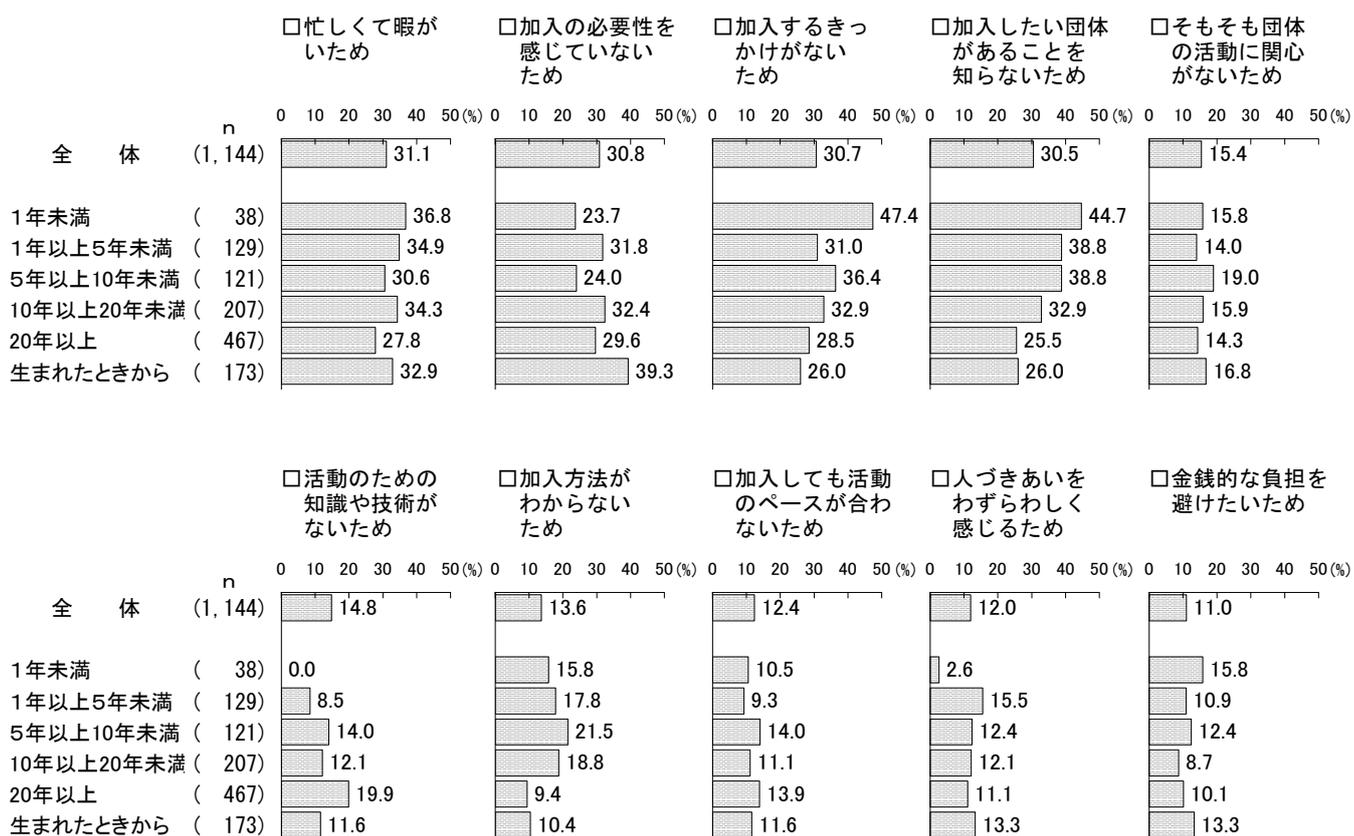
図7-1-13 加入していない理由（世帯構成別）-上位 10項目



## ⑥ 居住年数別

上位 10 項目を居住年数別で見ると、「加入するきっかけがないため」は1年未満（47.4%）で5割近くと高くなっています。また、「加入したい団体があることを知らないため」は1年未満（44.7%）で4割半ばと高く、「加入の必要性を感じていないため」は生まれたときから（39.3%）で約4割と高くなっています。（図7-1-14）

図7-1-14 加入していない理由（居住年数別）-上位 10 項目

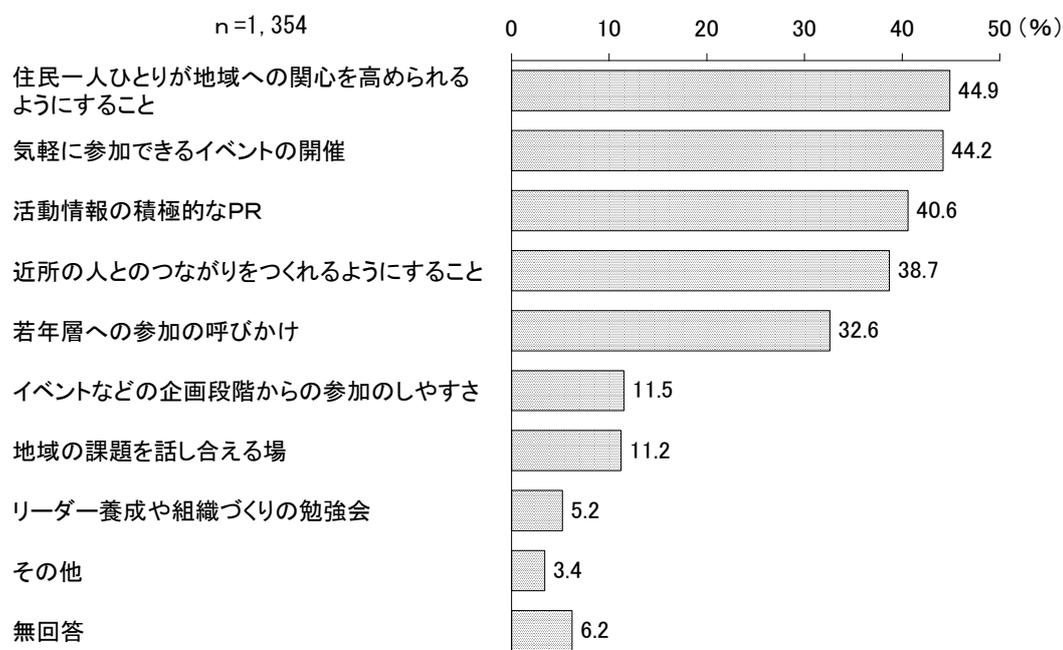


## (2) 地域の活動を活発にするために必要なこと

◇「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」が4割半ば

問18 あなたは、地域の活動をより活発にするためには主に何が重要だと思いますか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

図7-2-1

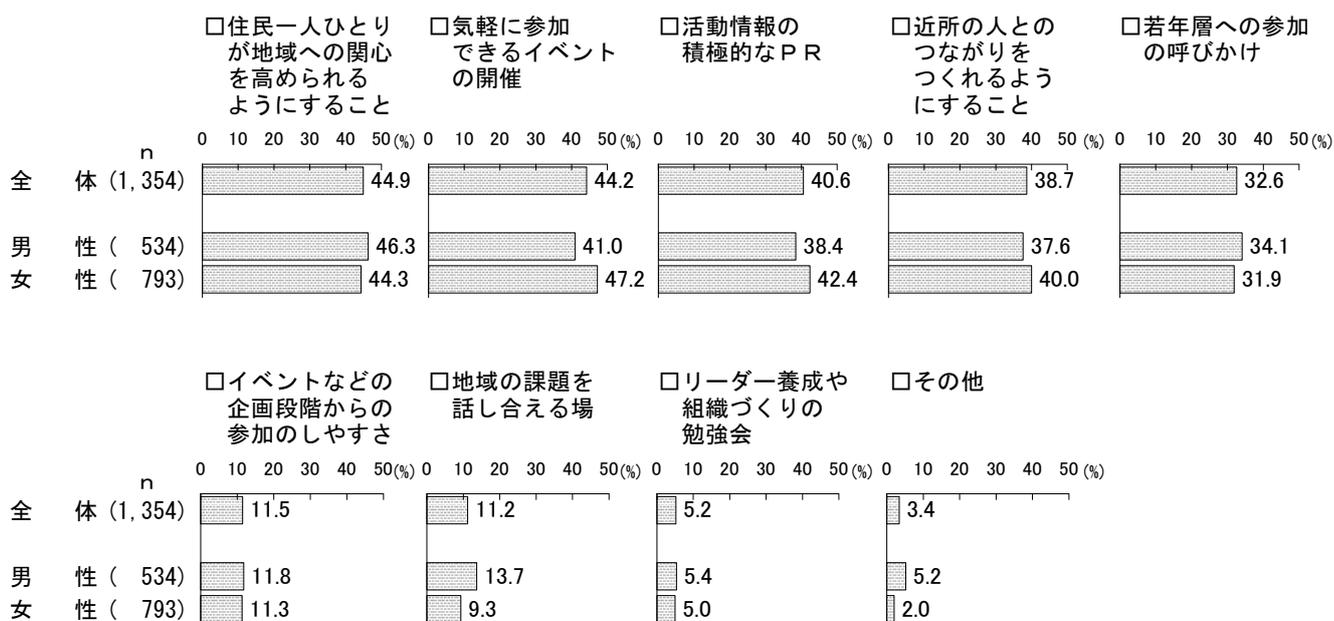


地域の活動を活発にするために必要なことを聞いたところ、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(44.9%)が4割半ばと最も高くなっています。次いで「気軽に参加できるイベントの開催」(44.2%)、「活動情報の積極的なPR」(40.6%)、「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」(38.7%)などとなっています。(図7-2-1)

### ① 性別

性別でみると、「気軽に参加できるイベントの開催」は女性（47.2%）が男性（41.0%）より6.2ポイント、「活動情報の積極的なPR」は女性（42.4%）が男性（38.4%）より4.0ポイント、それぞれ高くなっています。一方、「地域の課題を話し合える場」は男性（13.7%）が女性（9.3%）より4.4ポイント高くなっています。（図7-2-2）

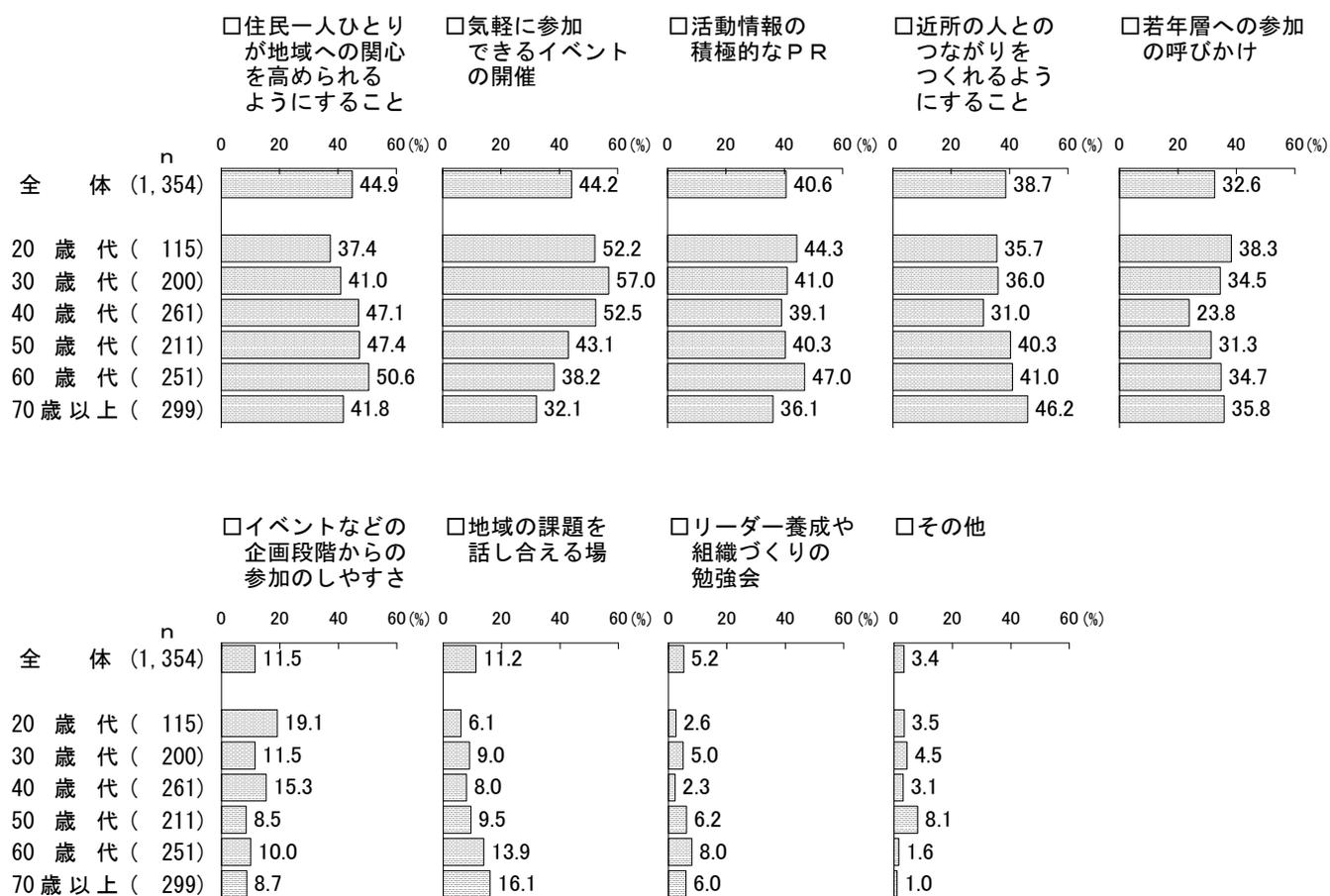
図7-2-2 地域の活動を活発にするために必要なこと（性別）



## ② 年代別

年代別でみると、「気軽に参加できるイベントの開催」は30歳代（57.0%）で6割近くと高く、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」は60歳代（50.6%）で約5割と高くなっています。また、「活動情報の積極的なPR」は60歳代（47.0%）で5割近くと高く、「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」は70歳以上（46.2%）で4割半ばと高くなっています。（図7-2-3）

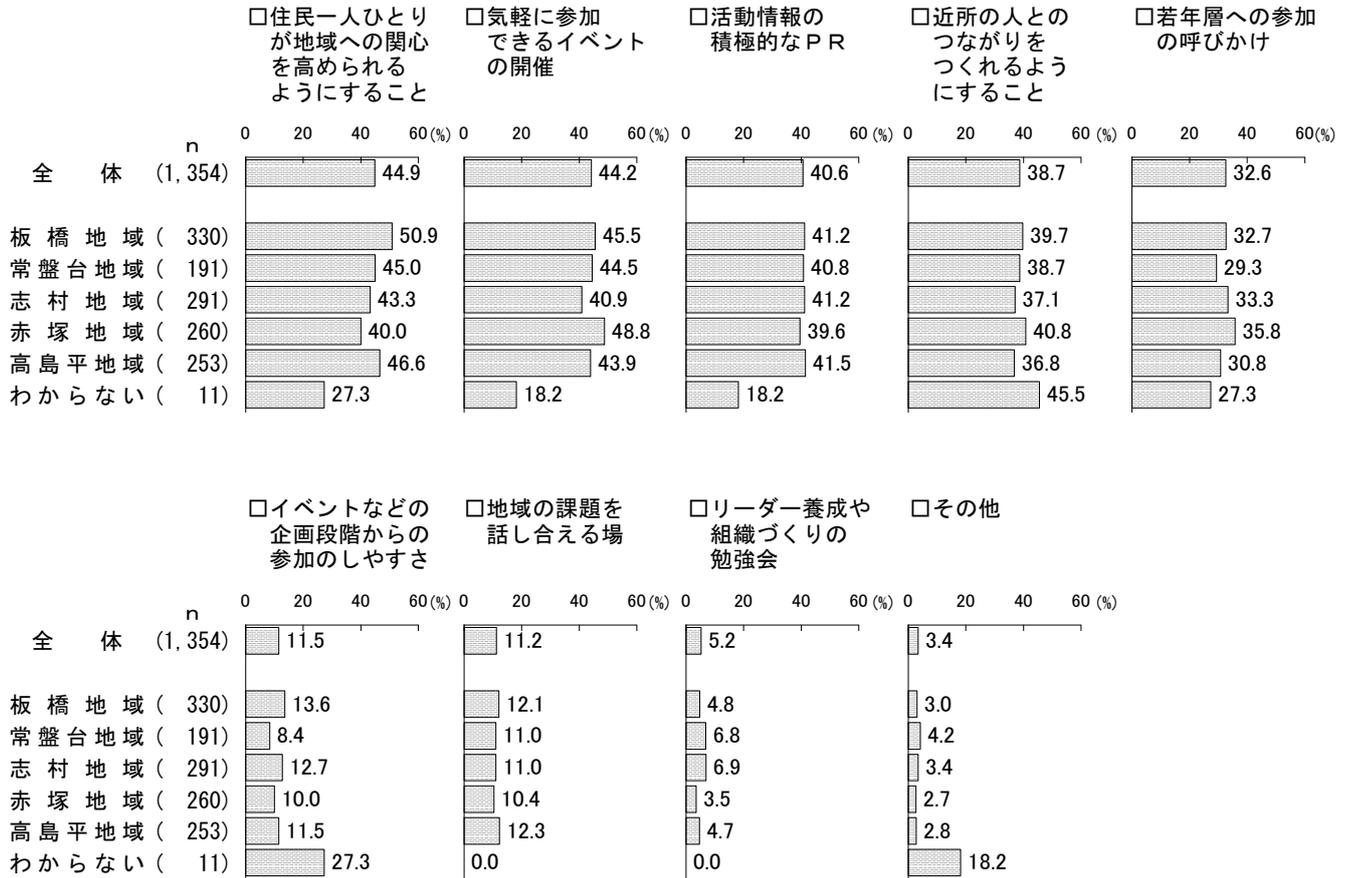
図7-2-3 地域の活動を活発にするために必要なこと（年代別）



### ③ 地域別

地域別でみると、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」は板橋地域（50.9%）で約5割と高くなっています。また、「気軽に参加できるイベントの開催」は赤塚地域（48.8%）で5割近くと高くなっています。（図7-2-4）

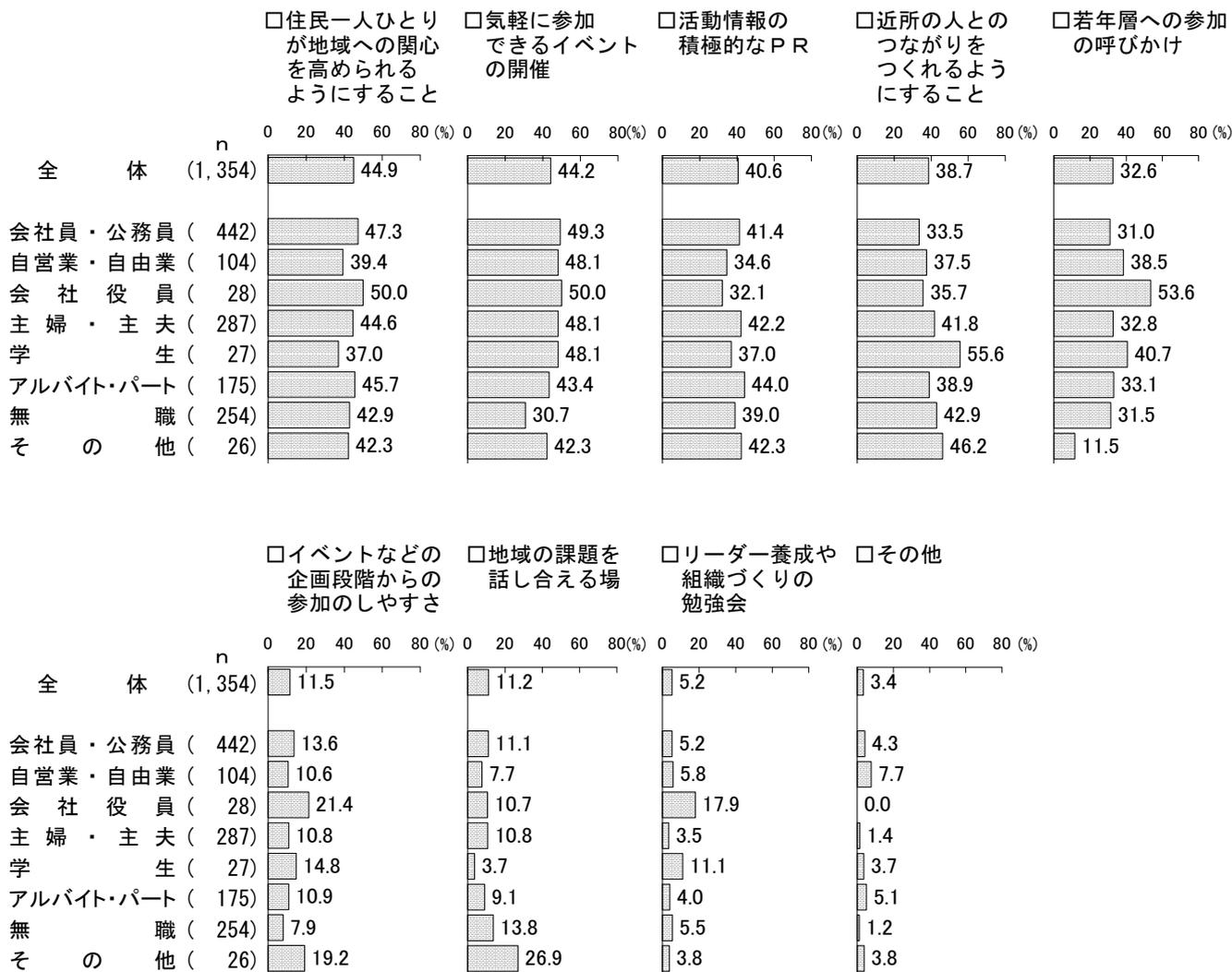
図7-2-4 地域の活動を活発にするために必要なこと（地域別）



#### ④ 職業別

職業別でみると、「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」は学生（55.6%）で5割半ばと高く、「若年層への参加の呼びかけ」は会社役員（53.6%）で5割を超えて高くなっています。また、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」は会社役員（50.0%）で5割と高く、「活動情報の積極的なPR」はアルバイト・パート（44.0%）で4割半ばと高くなっています。（図7-2-5）

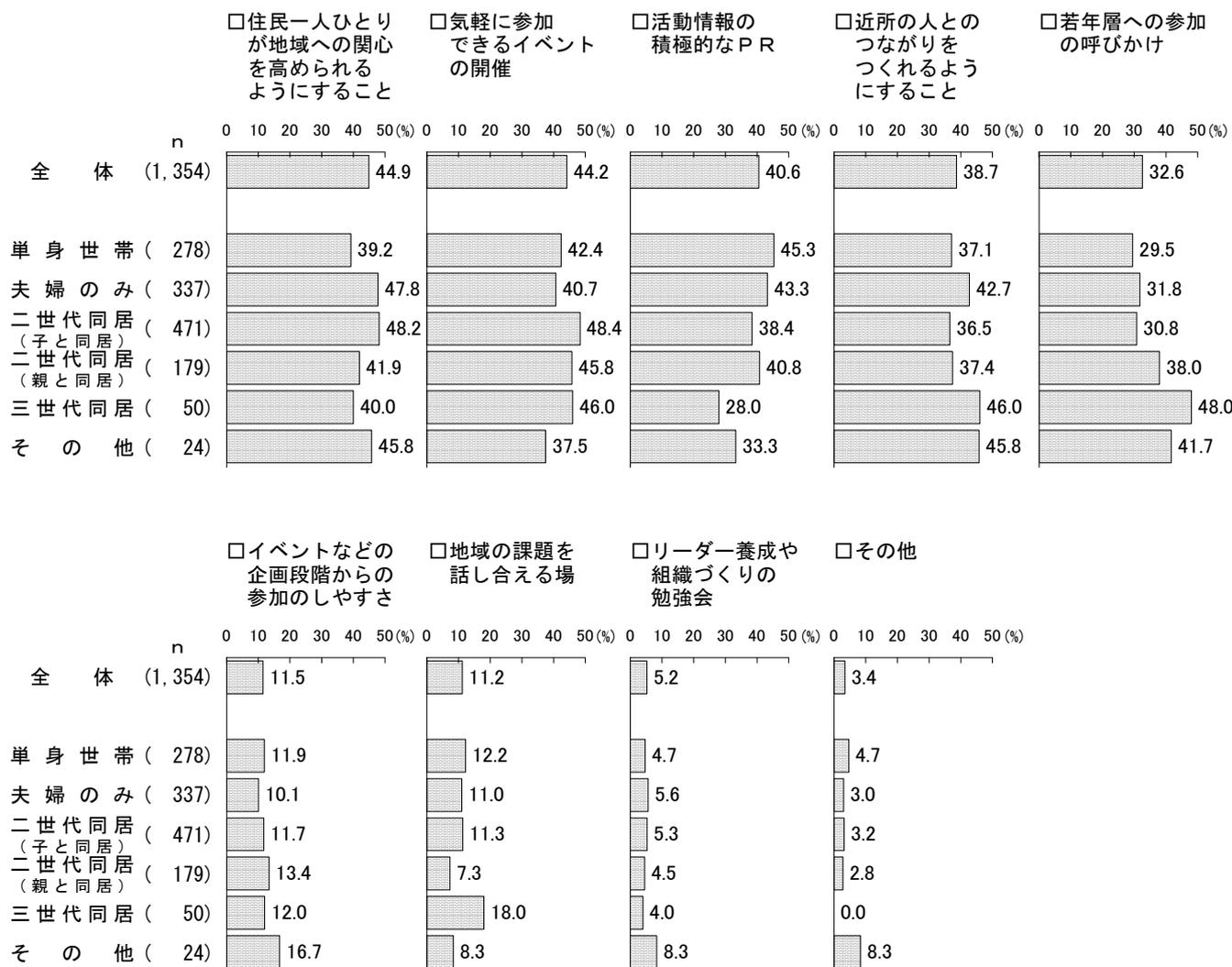
図7-2-5 地域の活動を活発にするために必要なこと（職業別）



### ⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「気軽に参加できるイベントの開催」は二世世代同居(子と同居) (48.4%) で5割近くと高くなっています。また、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」は二世世代同居(子と同居) (48.2%) と夫婦のみ (47.8%) で5割近くと高く、「若年層への参加の呼びかけ」は三世世代同居 (48.0%) で5割近くと高くなっています。(図7-2-6)

図7-2-6 地域の活動を活発にするために必要なこと (世帯構成別)



## ⑥ 居住年数別

居住年数別でみると、「気軽に参加できるイベントの開催」は5年以上10年未満（58.3%）で6割近くと高く、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」は10年以上20年未満（51.1%）で5割を超えて高くなっています。また、「活動情報の積極的なPR」は1年以上5年未満（46.4%）で4割半ばと高く、「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」は20年以上（45.0%）で4割半ばと高くなっています。（図7-2-7）

図7-2-7 地域の活動を活発にするために必要なこと（居住年数別）

